

第14回  
入間市市民意識調査  
報告書

令和7年1月  
入間市

# 入間市民憲章

わたくしたちは、武蔵野の自然にめぐまれた  
入間市を愛し、より明るく、豊かな文化のまちを  
つくるため、ここに市民憲章を定めます。

- 一． 自然を愛し、  
環境のよいまちをつくりましょう。
- 一． きまりを守り、  
平和な住みよいまちをつくりましょう。
- 一． 健康で働き、  
希望にみちたまちをつくりましょう。
- 一． 教養を高め、  
心豊かなまちをつくりましょう。
- 一． お互いに助けあい、  
やすらぎのあるまちをつくりましょう。

# はじめに

入間市では、全ての市民が生き生きと暮らせるまちづくりを進めるとともに、地域を活性化し、まちの魅力を発見・創造していくために、まちづくりのビジョンとして「香り豊かな緑の文化都市」を掲げ、現在は「第6次入間市総合計画」を市政運営の基本方針とし、「みんなでつくる 住みやすさが実感できるまち いるま」を目指して、総合的かつ計画的にまちづくりを進めています。

市民意識調査は、市政の運営に必要なまちづくりの成果や市民ニーズ等を把握することを目的に、昭和53年（1978年）から実施しています。この報告書は、令和6年9月2日から9月24日に実施した「第14回市民意識調査」の結果をまとめたものです。

社会経済情勢、生活環境および地域社会が大きく変化する中で、市民の生活様式や一人ひとりの考え方・価値観も多様化してきています。得られた調査結果を十分に分析することで、市民ニーズをできる限りの確に把握して、これからのまちづくりを進めるための基礎的かつ客観的な資料として幅広く活用していくとともに、次期総合計画策定のための資料としても活用してまいります。

結びに、本調査にご協力をいただきました市民の皆様には厚くお礼を申し上げますとともに、市民の皆様がずっと住み続けたいと思っていただける、また、誇りに感じていただけるような入間市を実現するため、未来のまちづくりに取り組んでまいりますので、市政に対するなお一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年1月

入間市長 杉島 理一郎

## I 調査の概要

1. 調査目的	3
2. 調査設計	3
3. 回収状況	3
4. 標本誤差	4
5. 調査項目	4
6. 報告書の見方	4

## II 基本的な属性

### 1. フェースシート集計

(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 性・年齢	7
(4) 家族構成	8
(5) 居住年数	8
(6) 前居住地	8
(7) 職業	8
(8) 職場（通学地）の所在地	9
(9) 住居形態	9
(10) 居住地区	9

## III 調査結果の分析

### 1. くらしやイメージ、地域活動などについて

(1) 住みよさ	13
(2) 住みよい理由	16
(3) 住みにくい理由	19
(4) 誇りや愛着	20
(5) 入間市の魅力	23
(6) 市が優先してPRに取り組むべきもの	25
(7) 将来の入間市のまちづくり	27
(8) 住みやすいと感じる点	30
(9) 住みやすさを実現していくために必要な取組	34
(10) 定住意向	37
(11) 住み続ける理由	40
(12) 市外へ移りたい理由	42
(13) 近所付き合い	44
(14) 区・自治会への加入	47
(15) 地域活動への参加	50
(16) 地域活動に参加する主な理由	53

# 目次

---

(17) 地域活動に消極的な理由	56
(18) 区・自治会に加入しない主な理由	59
(19) 区・自治会を退会した主な理由	60
<b>2. 生活環境について</b>	
(1) 生活環境の満足度と重要度	61
(2) 優先的に取り組むべき施策	93
<b>3. 防災について</b>	
(1) 防災への準備や対策	98
(2) 防災に対する具体的な内容	101
<b>4. ボランティア活動について</b>	
(1) 今後のボランティア活動の参加意向	103
(2) 参加したいボランティア活動の内容	105
<b>5. 情報化について</b>	
(1) メディアの利用状況	107
(2) 市公式ホームページの閲覧状況	108
(3) 市公式ホームページの満足度	110
(4) 市のインターネットサービスで利用している（利用したい）情報	114
<b>6. 市政情報について</b>	
(1) 入間市の情報入手先	116
(2) 「広報いるま」について	118
(3) 「広報いるま」を読んでいる理由	120
(4) 「広報いるま」を読んでいない理由	121
(5) 市議会の情報入手先	122
<b>7. 施設利用について</b>	
(1) 施設の利用状況	124
<b>8. 健康・スポーツ、芸術文化活動について</b>	
(1) スポーツの状況	127
(2) スポーツの内容	130
(3) スポーツを行う場所	132
(4) スポーツを行った目的	133
(5) スポーツを行わなかった（少なかった）理由	134
(6) 芸術文化活動について	136
(7) 芸術文化の振興のための市の取組について	137

---

9. 市で行っている行政改革の取組について	
（1）重点的に取り組むべき行財政改革	138
（2）行政サービスの利用者負担について	140
（3）公共的なサービスの民間委託について	142
（4）目的を達成した事業・効果が低くなった事業の廃止・見直し・再構築について	144
（5）歳入の増加・歳出の削減の取組について	146
（6）市役所の組織の見直しについて	148
（7）施設で提供するサービスや施設機能の見直しが進むことについて	150
（8）施設の統廃合や複合化が進むことについて	153
10. 人権やSDGs（持続可能な開発目標）について	
（1）差別を受けたと感じた・差別しているのを見聞きしたことがあるか	156
（2）差別の内容	158
（3）SDGs（持続可能な開発目標）について	160
（4）入間のパーパスについて	163
（5）入間のパーパスを知ったきっかけ	165
IV 調査票	169

# I 調査の概要

## 1. 調査目的

本調査は、市民の生活実態や生活環境に関する意識、および行政に対する要望など、市民生活全般にわたり市民の意識を聴取し、今後の行政施策の基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査設計

- (1) 調査地域 入間市全域
- (2) 調査対象 入間市在住の満18歳以上の個人
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳による等間隔無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送配布、郵送回収及びインターネット回答
- (6) 調査期間 令和6年9月2日～9月24日

## 3. 回収状況

- (1) 配布数 2,000件
- (2) 回収数 890件（インターネット回答339件含む）
- (3) 有効回答数 889件 ※分析は有効回答数で実施
- (4) 回収率 44.5%

### ①年齢別の基数と回収率（人口は18歳以上）

年齢	人口	比率	発送数	回収数	回収率	うちインターネット回答数	インターネット回答/全体回収
合計	125,172	100.0%	2,000	889	44.5%	339	38.1%
18～29歳	16,306	13.0%	251	56	22.3%	41	73.2%
30～39歳	13,967	11.2%	263	101	38.4%	67	66.3%
40～49歳	18,752	15.0%	365	124	34.0%	72	58.1%
50～59歳	22,650	18.1%	381	164	43.0%	80	48.8%
60～69歳	17,901	14.3%	356	199	55.9%	53	26.6%
70歳以上	35,596	28.4%	384	229	59.6%	24	10.5%
無回答	-	-	-	16	-	2	12.5%

### ②地区別の基数と回収率（人口は18歳以上）

年齢	人口	比率	発送数	回収数	回収率	うちインターネット回答数	インターネット回答/全体回収
合計	125,172	100.0%	2,000	889	44.5%	339	38.1%
豊岡	45,903	36.7%	717	281	39.2%	113	40.2%
東金子	13,970	11.2%	228	91	39.9%	35	38.5%
金子	8,018	6.4%	141	69	48.9%	21	30.4%
宮寺・二本木	9,543	7.6%	160	69	43.1%	30	43.5%
藤沢	29,257	23.4%	456	223	48.9%	87	39.0%
西武	18,481	14.8%	298	134	45.0%	51	38.1%
無回答	-	-	-	22	-	2	9.1%

#### 4. 標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体（入間市に住む満18歳以上の男女）の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差の算出式と早見表を以下に示す。

統計学上の標本誤差は、①比率算出の基数（サンプル数）および②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。「ある設問の回答者数が889人で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差範囲は、最高でも3.29%である」というようにみる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N：母集団数（=125,172：入間市に住む満18歳以上の男女）  
n：回答サンプル数（=889）  
p：サンプルの回答比率

〈標本誤差早見表〉

回答比率（p） サンプル数（n）	5%または 95%	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
889	±1.46%	±2.01%	±2.68%	±3.07%	±3.29%	±3.35%
700	±1.65%	±2.27%	±3.02%	±3.46%	±3.70%	±3.78%
500	±1.95%	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
200	±3.08%	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
100	±4.36%	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  として算出。この表の計算式の信頼度は95%である。

#### 5. 調査項目

- (1) くらしやイメージ、地域活動などについて
- (2) 生活環境について
- (3) 防災について
- (4) ボランティア活動について
- (5) 情報化について
- (6) 市政情報について
- (7) 施設利用について
- (8) 健康・スポーツ、芸術文化活動について
- (9) 市で行っている行政改革の取組について
- (10) 人権やSDGs（持続可能な開発目標）について
- (11) フェースシート
- (12) 自由意見

#### 6. 報告書の見方

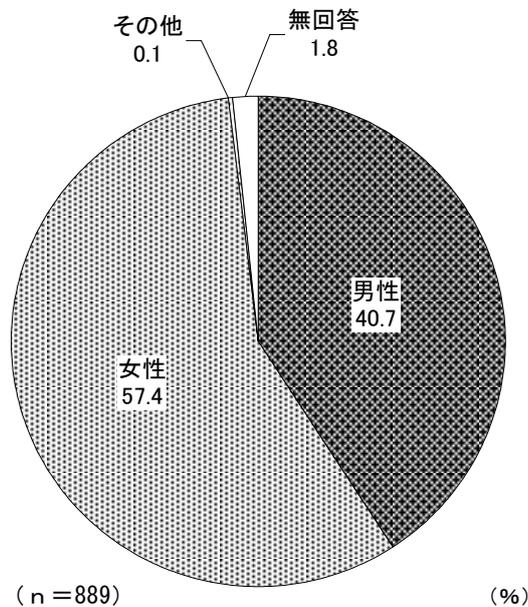
- (1) 図表中のnとは、回答者総数のことである。
- (2) 割合比はnを100.0%として算出し、小数点以下第二位を四捨五入したため合計が100.0%にならない場合がある。
- (3) 回答が2つ以上ありうる複数回答は、比率の合計は100.0%を超える場合がある。
- (4) 属性別（クロス集計）の記述では、原則として全体の集計結果と比較し、特徴または傾向が見られるものをコメントの対象とした。ただし、件数が20未満の項目については特徴または傾向が見られる場合でも本文中では原則としてふれていない。

## Ⅱ 基本的な属性

# 1. フェースシート集計

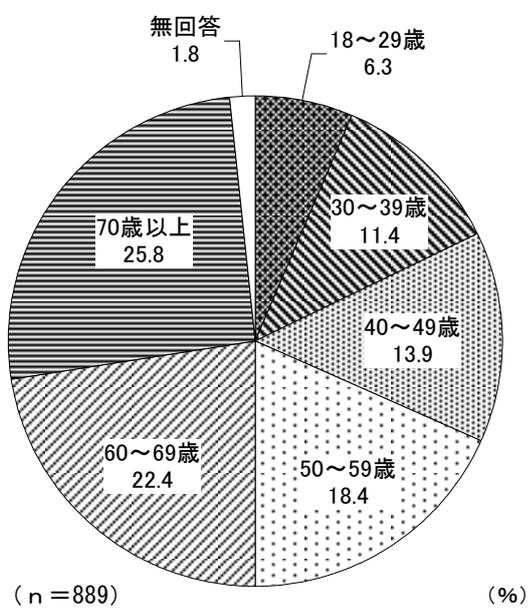
## (1) 性別

性別は、「男性」(40.7%) がほぼ4割で、「女性」(57.4%) が6割近くとなっている。



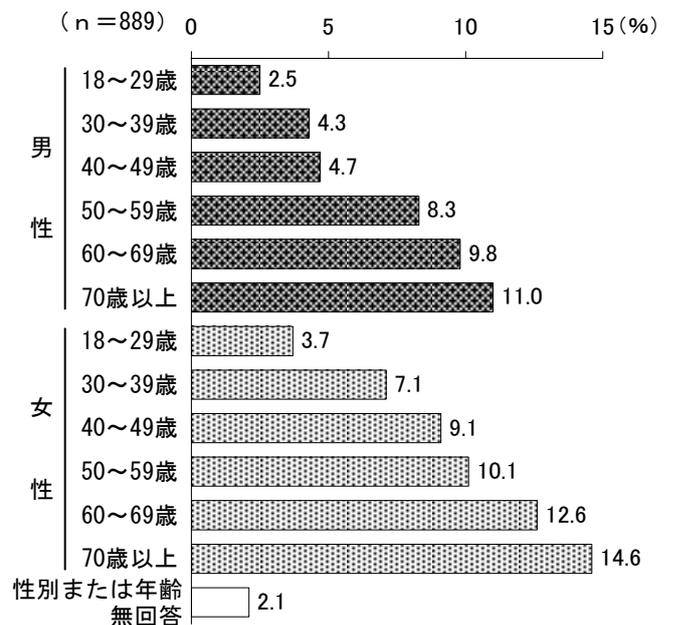
## (2) 年齢

年齢は、「70歳以上」(25.8%) が2割半ばで最も高く、次いで「60～69歳」(22.4%)、「50～59歳」(18.4%)、「40～49歳」(13.9%)、「30～39歳」(11.4%)、「18～29歳」(6.3%) の順となっている。



## (3) 性・年齢

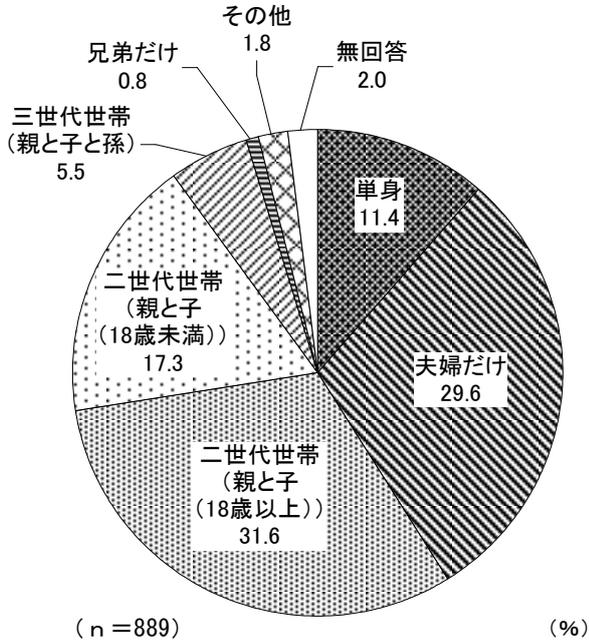
性・年齢は、「女性70歳以上」(14.6%) が1割半ばとなっている。



※「性別または年齢無回答」には、性別で「その他」(1件)と答えた方が含まれている。

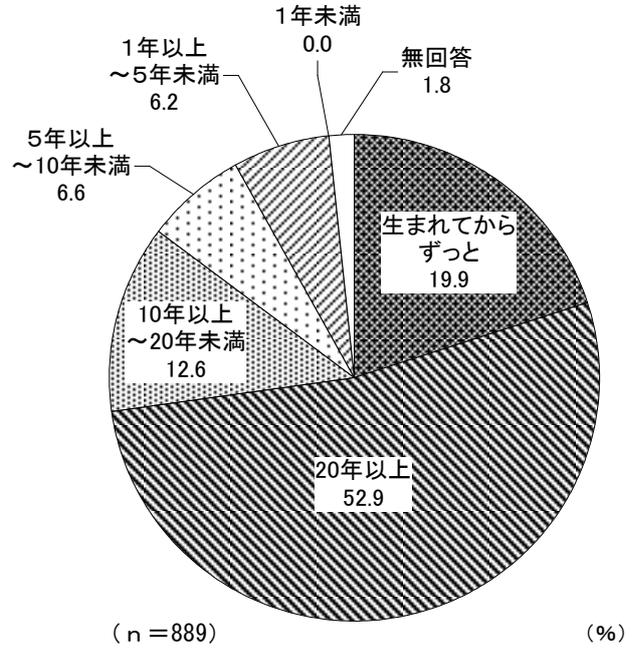
#### (4) 家族構成

家族構成は、「二世世代世帯（親と子（18歳以上）」（31.6%）が3割を超えて最も高く、次いで「夫婦だけ」（29.6%）、「二世世代世帯（親と子（18歳未満）」（17.3%）、「単身」（11.4%）などの順となっている。



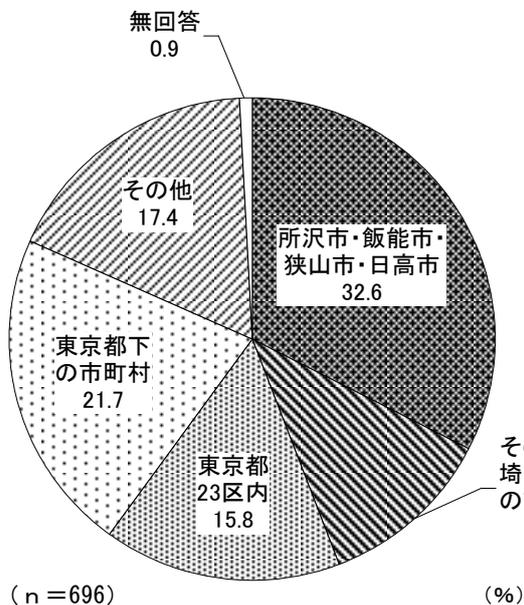
#### (5) 居住年数

居住年数は、「20年以上」（52.9%）が5割を超えて最も高く、次いで「生まれてからずっと」（19.9%）、「10年以上～20年未満」（12.6%）、「5年以上～10年未満」（6.6%）などの順となっている。



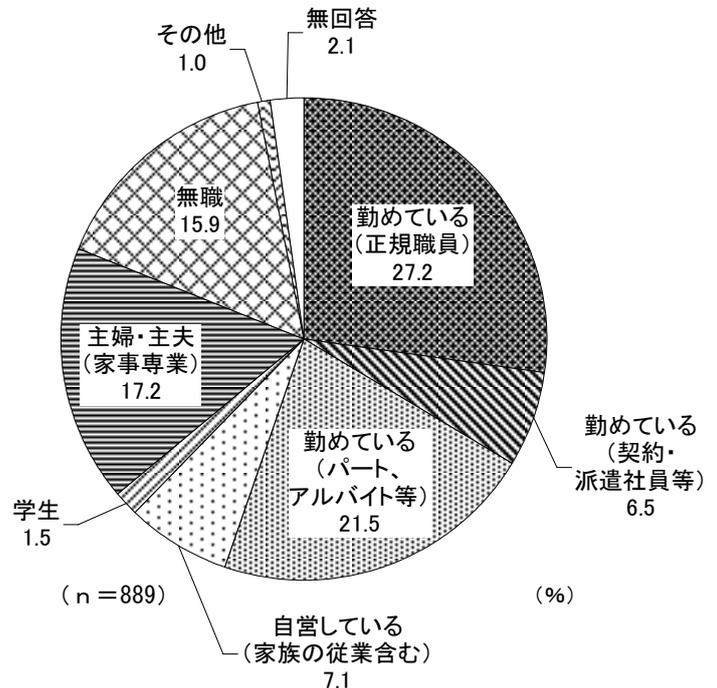
#### (6) 前居住地

前居住地は、「所沢市・飯能市・狭山市・日高市」（32.6%）が3割を超えて最も高く、次いで「東京都下の市町村」（21.7%）、「東京都23区内」（15.8%）、「その他の埼玉県内の市町村」（11.6%）などの順となっている。



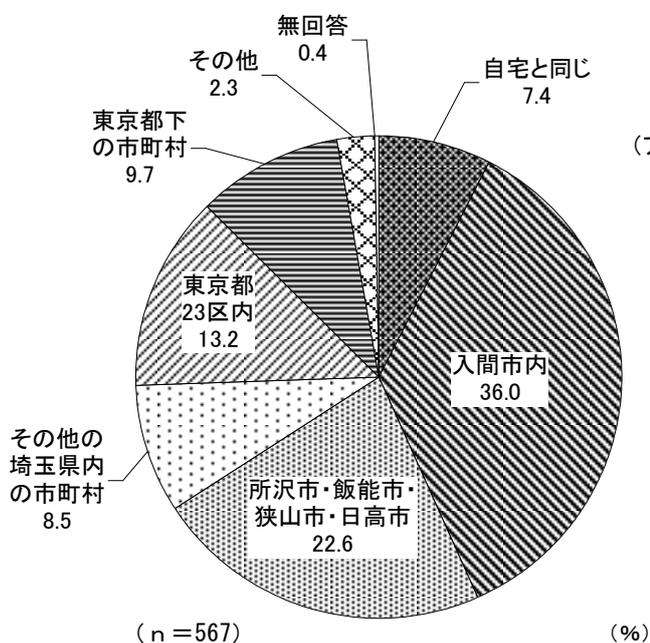
#### (7) 職業

職業は、「勤めている（正規職員）」（27.2%）が3割近くで最も高く、次いで「勤めている（パート、アルバイト等）」（21.5%）、「主婦・主夫（家事専業）」（17.2%）、「無職」（15.9%）などの順となっている。



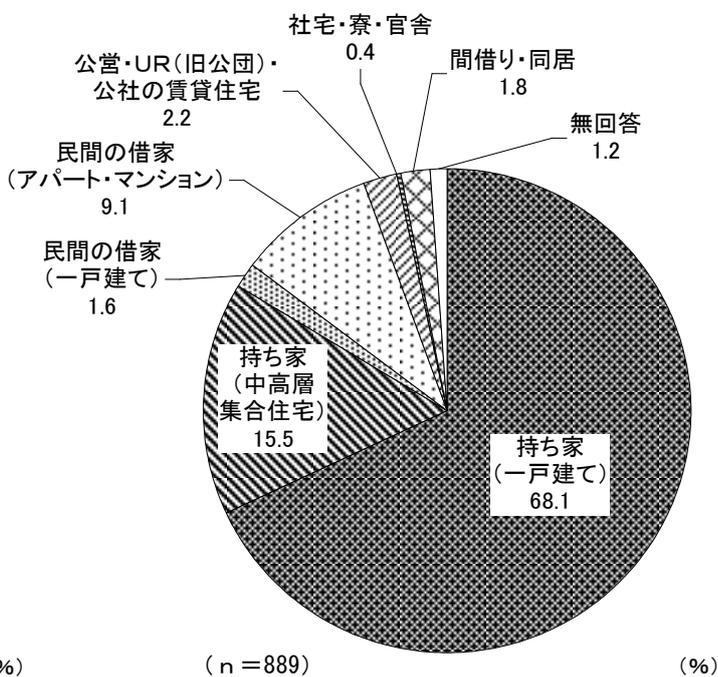
### (8) 職場（通学地）の所在地

職場（通学地）の所在地は、「入間市内」(36.0%)が3割半ばで最も高く、次いで「所沢市・飯能市・狭山市・日高市」(22.6%)、「東京都23区内」(13.2%)、「東京都下の市町村」(9.7%)などの順となっている。



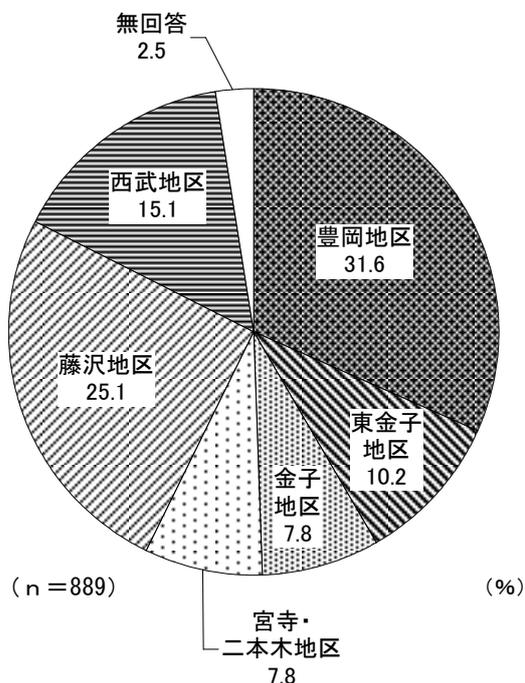
### (9) 住居形態

住居形態は、「持ち家（一戸建て）」(68.1%)が7割近くで最も高く、次いで「持ち家（中高層集合住宅）」(15.5%)、「民間の借家（アパート・マンション）」(9.1%)などの順となっている。



### (10) 居住地区

居住地区は、「豊岡地区」(31.6%)が3割を超えて最も高く、次いで「藤沢地区」(25.1%)、「西武地区」(15.1%)、「東金子地区」(10.2%)などの順となっている。



### Ⅲ 調査結果の分析

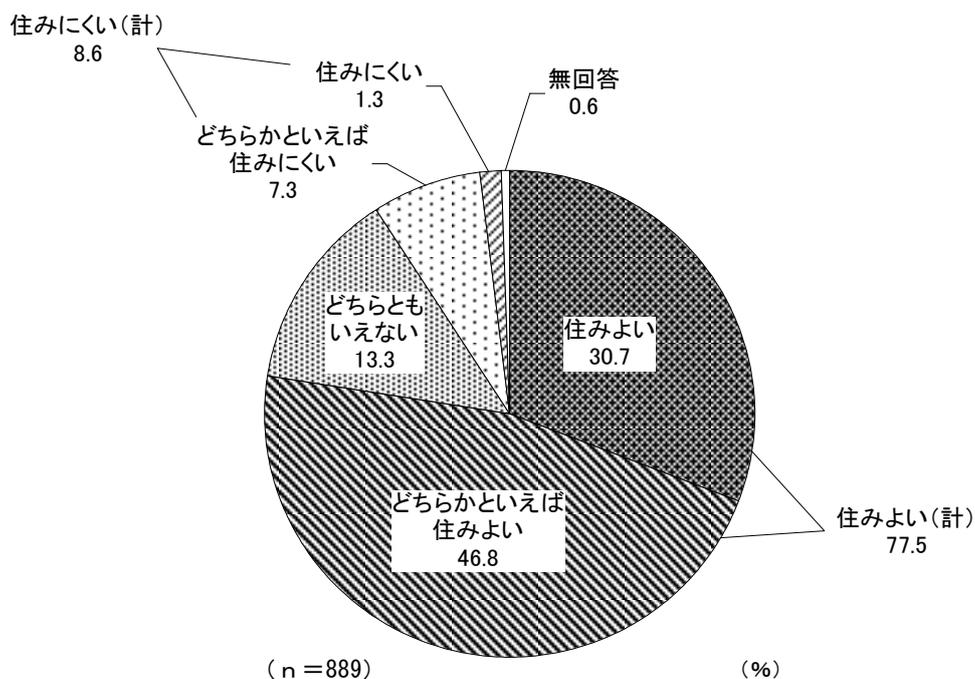
# 1. くらしやイメージ、地域活動などについて

## (1) 住みよさ

◇『住みよい(計)』が8割近く

問1 あなたは、今住んでいる入間市を住みよい所であると思いますか。それとも住みにくい所であると思いますか。次の中から1つ選んでください。

図1-1-1

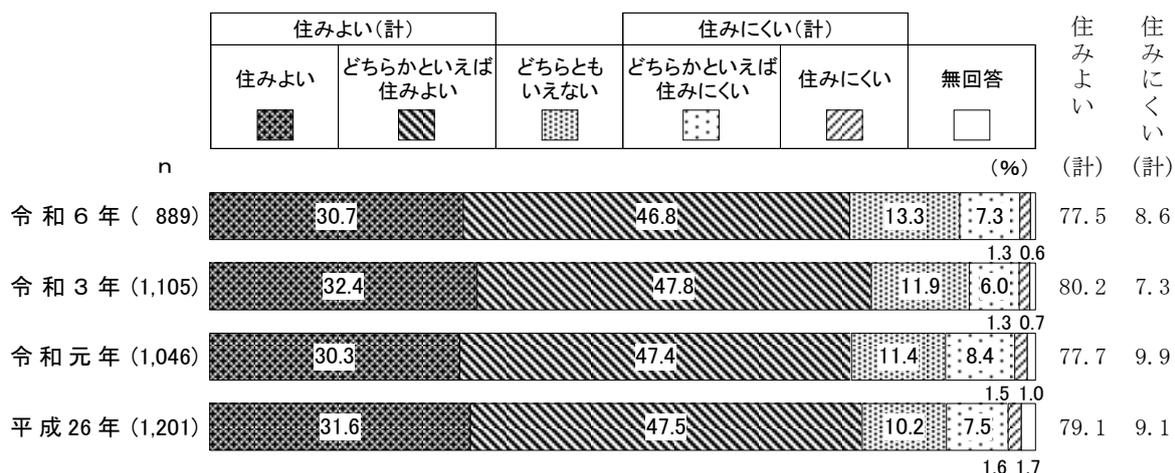


入間市の住みよさについて聞いたところ、「住みよい」(30.7%)と「どちらかといえば住みよい」(46.8%)を合わせた『住みよい(計)』(77.5%)が8割近くと高くなっている。一方、「どちらかといえば住みにくい」(7.3%)と「住みにくい」(1.3%)を合わせた『住みにくい(計)』(8.6%)は1割未満となっている。(図1-1-1)

過年度調査と比較すると、令和3年調査と比べて大きな傾向の違いはみられない。

(図1-1-2)

図1-1-2 住みよさ(経年比較)

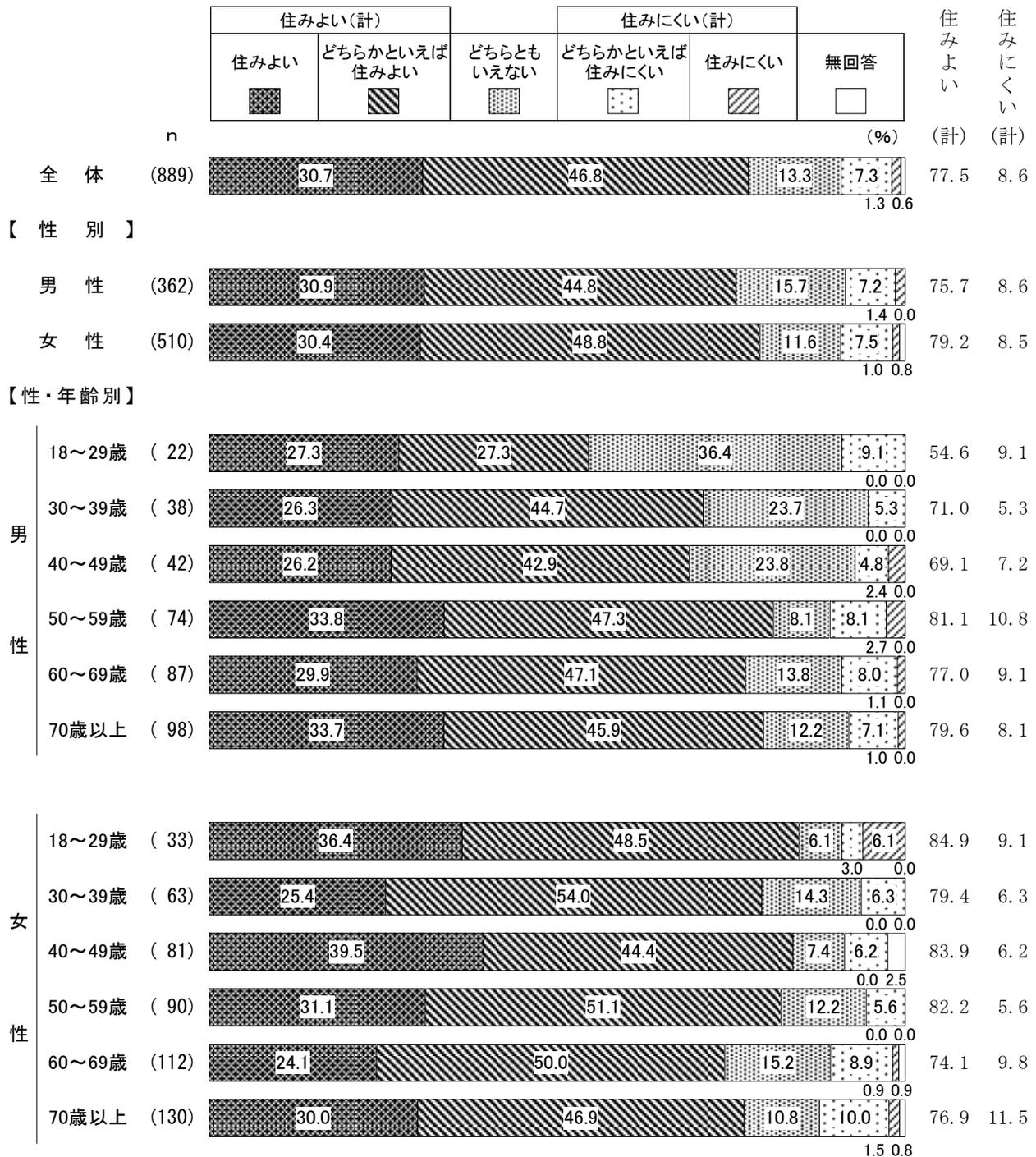


性別にみると、『住みよい（計）』は女性（79.2%）が男性（75.7%）より3.5ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『住みよい（計）』は女性18～29歳（84.9%）で8割半ばと高くなっている。

（図1-1-3）

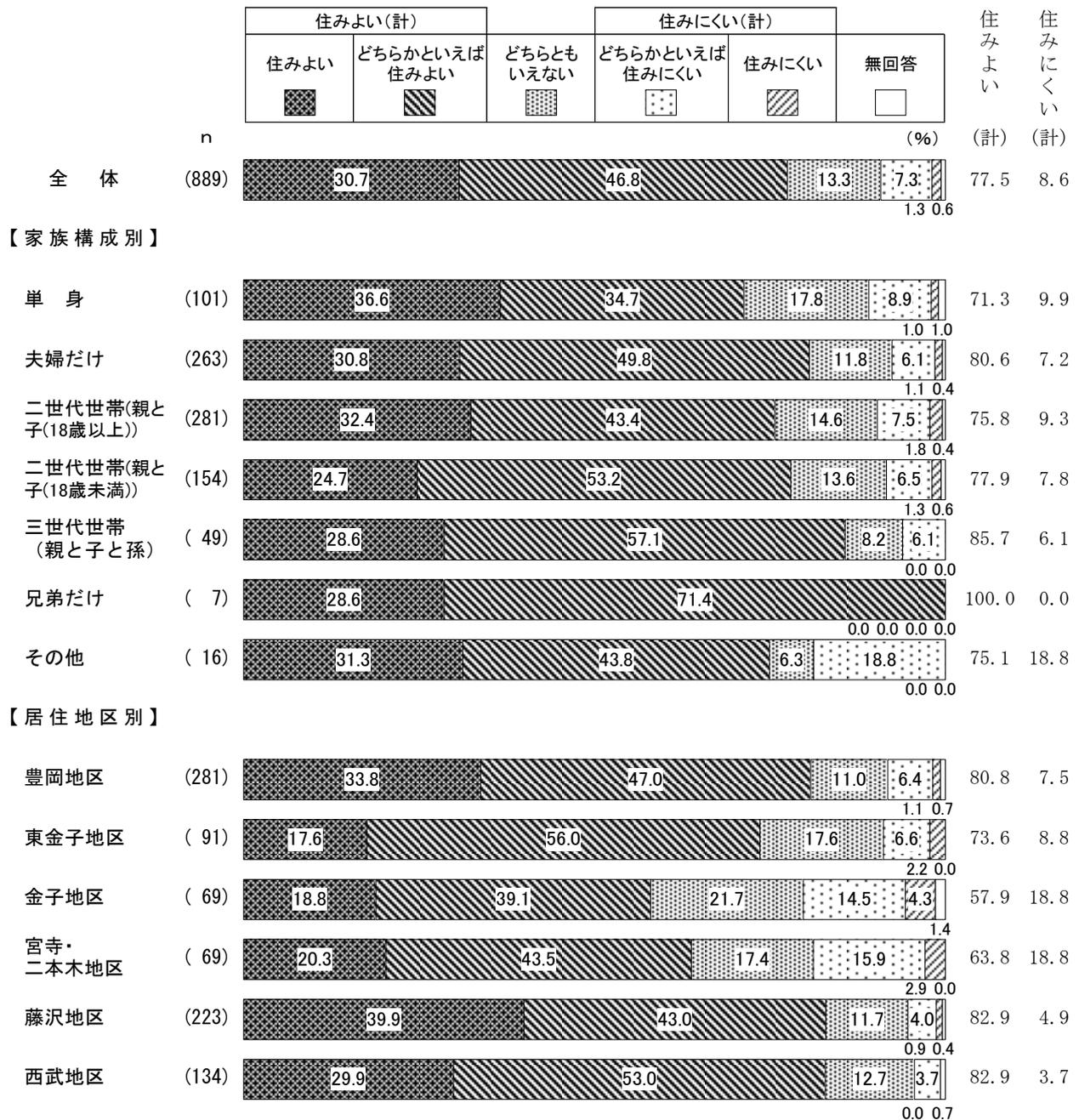
図1-1-3 住みよさ（性・年齢別）



家族構成別にみると、『住みよい（計）』は“三世代世帯（親と子と孫）”（85.7%）で8割半ばと高くなっている。

居住地区別にみると、『住みよい（計）』は藤沢地区と西武地区（ともに82.9%）で8割を超えて高くなっている。（図1-1-4）

図1-1-4 住みよさ（家族構成別、居住地区別）



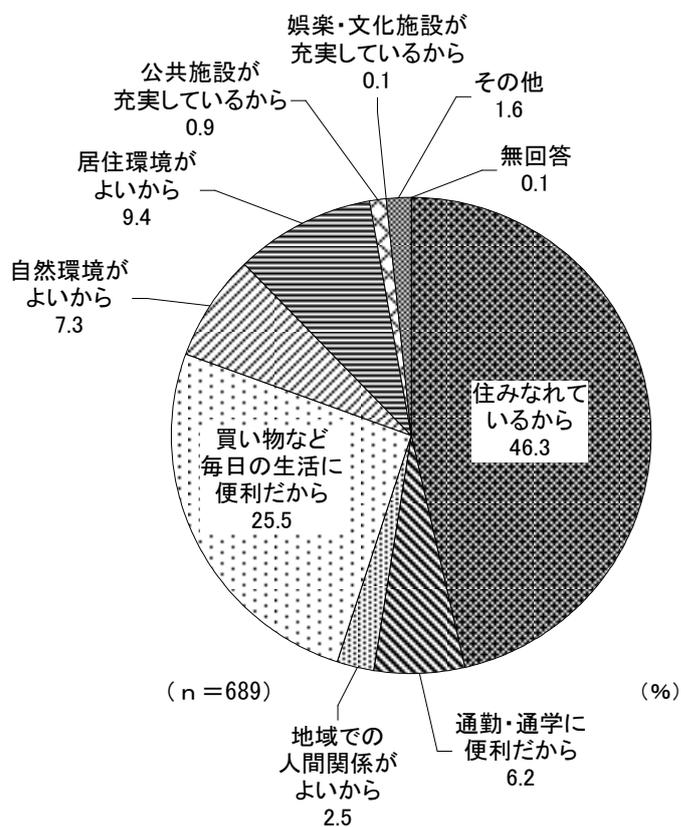
## (2) 住みよい理由

◇「住みなれているから」が4割半ば

(問1で、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と答えた方に)

問1-1 住みよいと思われる理由を1つ選んでください。

図1-2-1

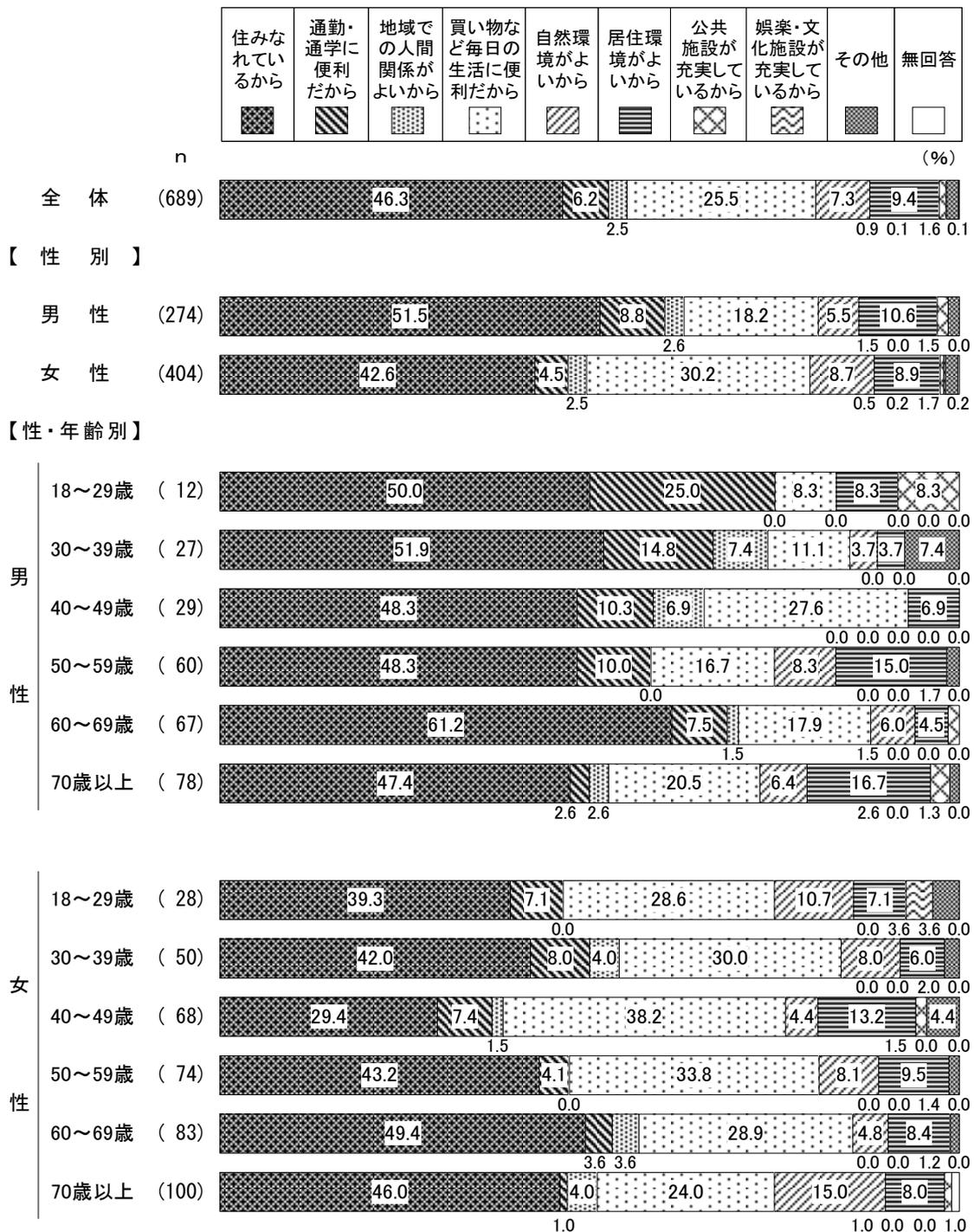


入間市を「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と答えた人(689人)に、その理由について聞いたところ、「住みなれているから」(46.3%)が4割半ばで最も高く、次いで「買い物など毎日の生活に便利だから」(25.5%)、「居住環境がよいから」(9.4%)、「自然環境がよいから」(7.3%)などの順となっている。(図1-2-1)

性別にみると、「買い物など毎日の生活に便利だから」は女性（30.2%）が男性（18.2%）より12.0ポイント高くなっている。一方、「住みなれているから」は男性（51.5%）が女性（42.6%）より8.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「住みなれているから」は男性60～69歳（61.2%）で6割を超えて高くなっている。「買い物など毎日の生活に便利だから」は女性40～49歳（38.2%）で4割近くと高くなっている。（図1-2-2）

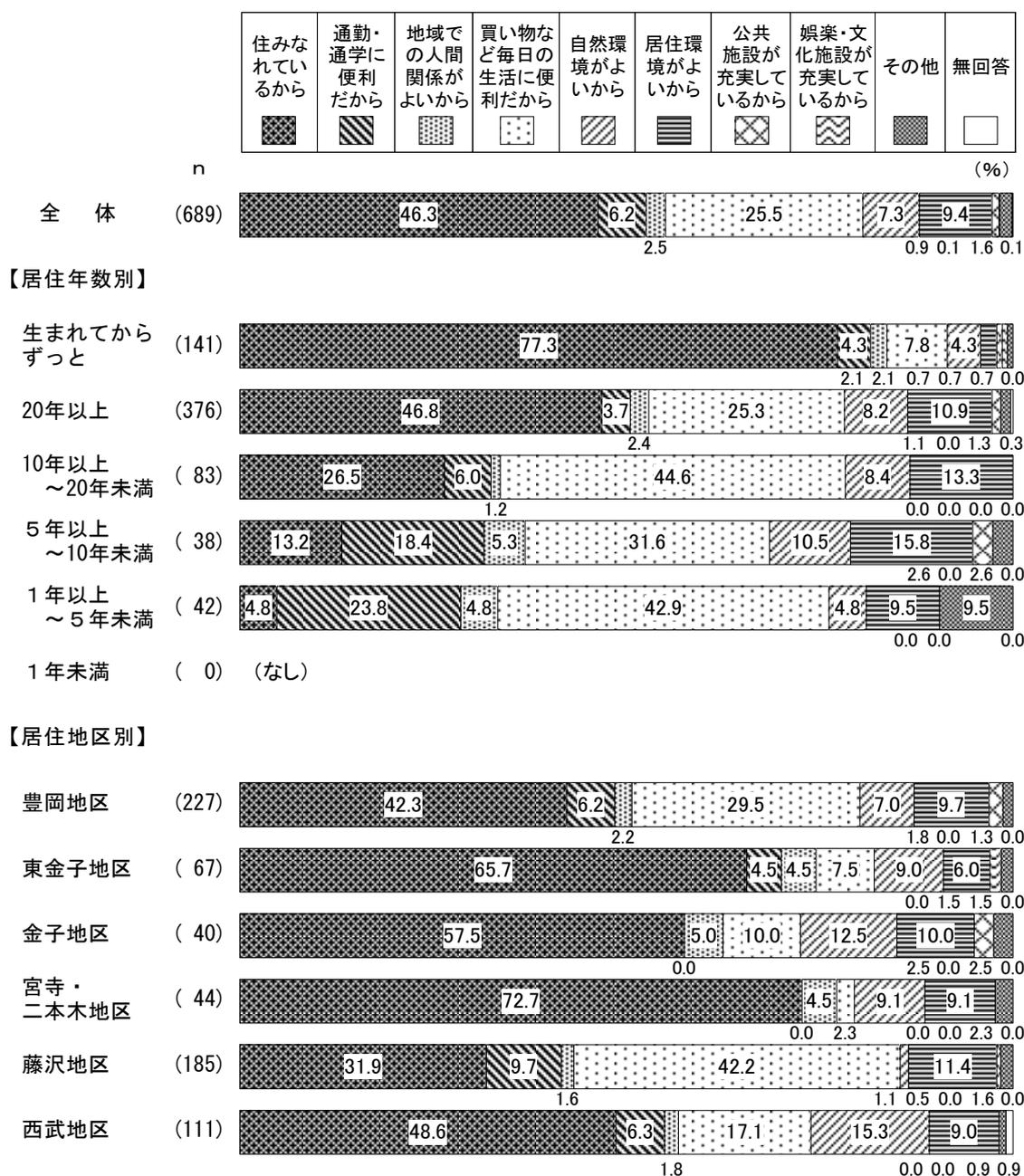
図1-2-2 住みよい理由（性・年齢別）



居住年数別にみると、「住みなれているから」は“生まれてからずっと”(77.3%)で8割近くと高くなっている。「通勤・通学に便利だから」は“1年以上～5年未満”(23.8%)で2割を超えて高くなっている。「買い物など毎日の生活に便利だから」は“10年以上～20年未満”(44.6%)で4割半ばと高くなっている。

居住地区別にみると、「住みなれているから」は宮寺・二本木地区(72.7%)で7割を超えて高くなっている。「買い物など毎日の生活に便利だから」は藤沢地区(42.2%)で4割を超えて高くなっている。(図1-2-3)

図1-2-3 住みよい理由(居住年数別、居住地区別)



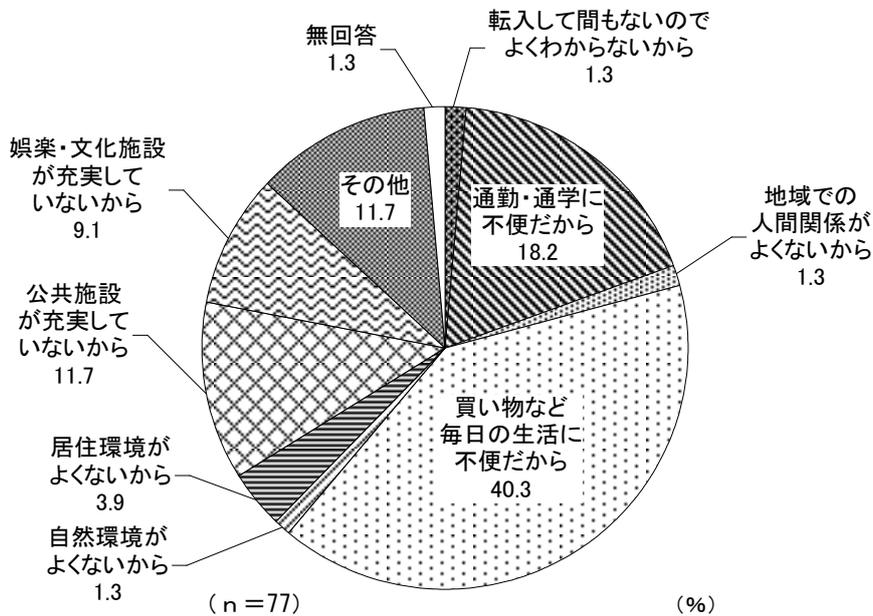
### (3) 住みにくい理由

◇「買い物など毎日の生活に不便だから」が4割

(問1で、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方に)

問1-2 住みにくいと思われる理由を1つ選んでください。

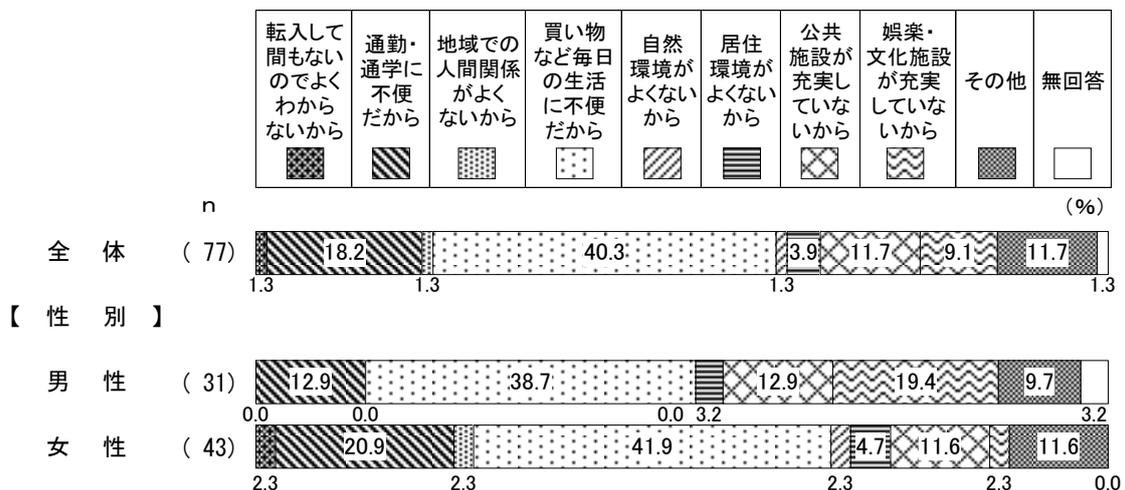
図1-3-1



入間市に「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた人(77人)に、その理由について聞いたところ、「買い物など毎日の生活に不便だから」(40.3%)が4割で最も高く、次いで「通勤・通学に不便だから」(18.2%)、「公共施設が充実していないから」(11.7%)などの順となっている。(図1-3-1)

性別にみると、「娯楽・文化施設が充実していないから」は男性(19.4%)が女性(2.3%)より17.1ポイント高くなっている。一方、「通勤・通学に不便だから」は女性(20.9%)が男性(12.9%)より8.0ポイント高くなっている。(図1-3-2)

図1-3-2 住みにくい理由(性別)

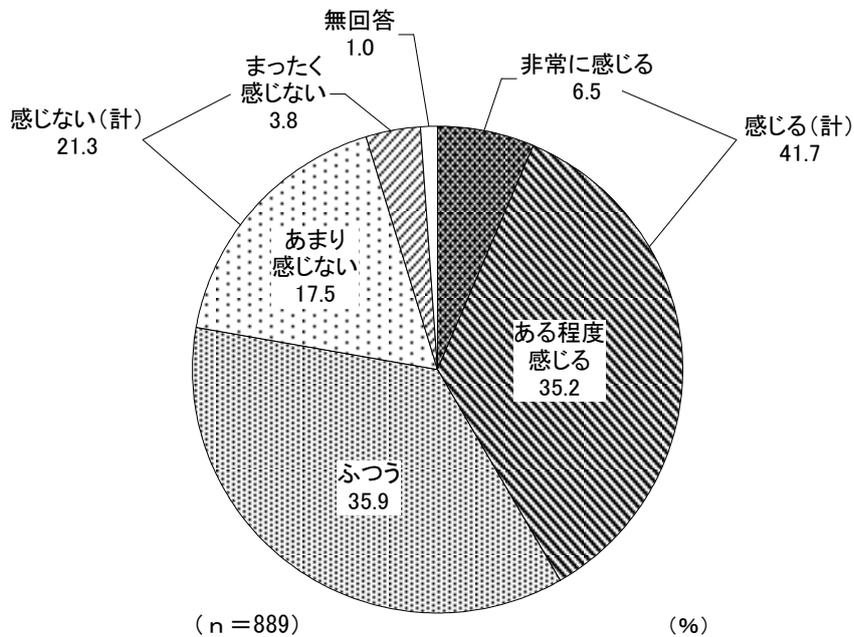


#### (4) 誇りや愛着

◇『感じる(計)』が4割を超える

問2 あなたは、入間市に何か誇りや、愛着のようなものを感じますか。次の中から1つ選んでください。

図1-4-1



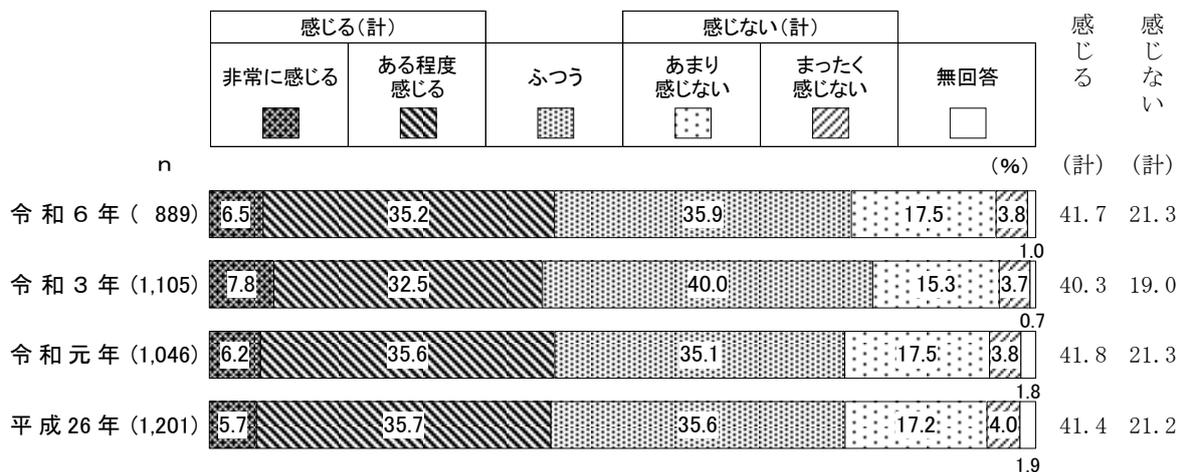
誇りや愛着について聞いたところ、「非常に感じる」(6.5%)と「ある程度感じる」(35.2%)を合わせた『感じる(計)』(41.7%)が4割を超えている。一方、「あまり感じない」(17.5%)と「まったく感じない」(3.8%)を合わせた『感じない(計)』(21.3%)は2割を超えている。

(図1-4-1)

過年度調査と比較すると、「ふつう」は令和3年調査と比べて4.1ポイント減少している。

(図1-4-2)

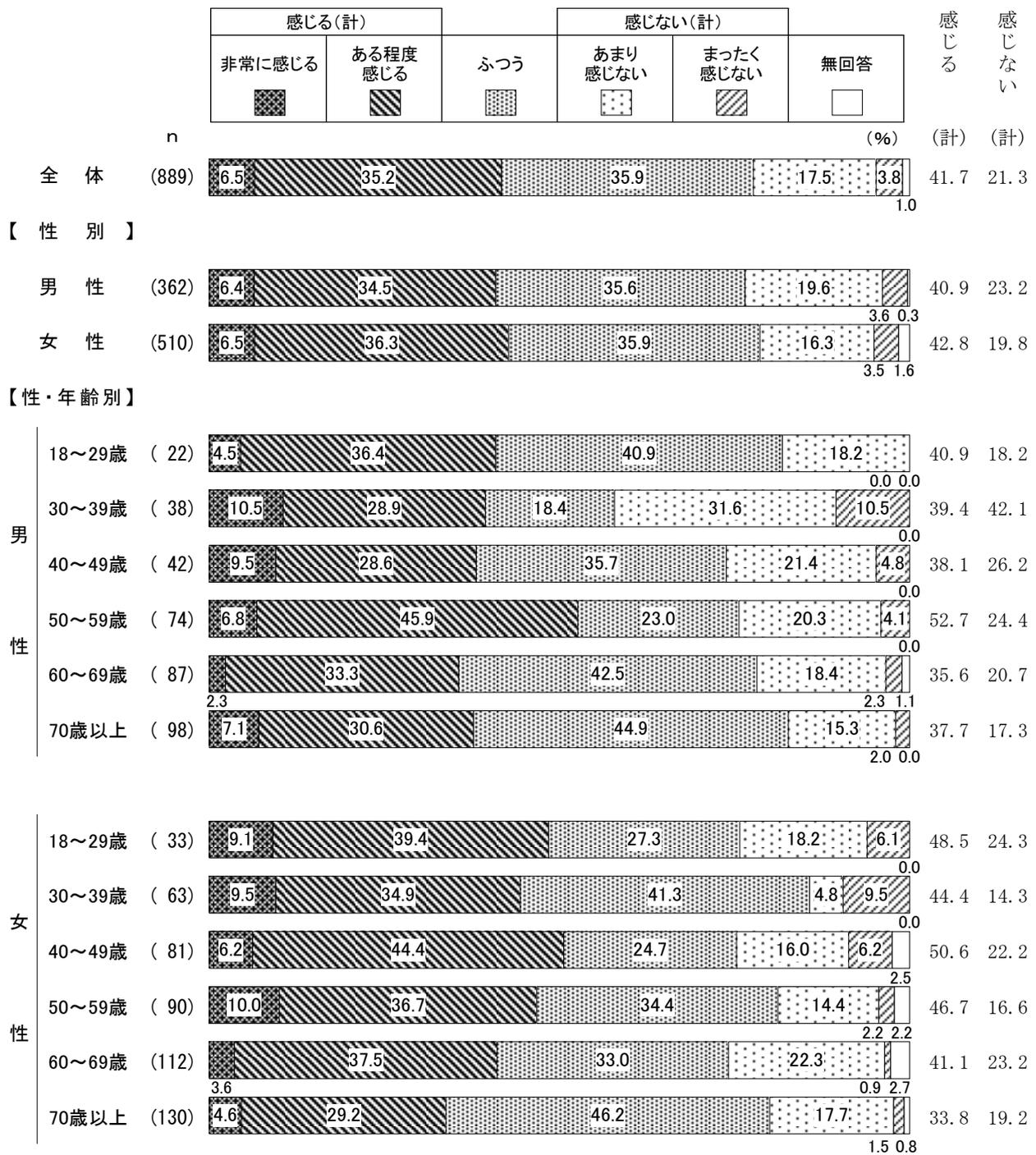
図1-4-2 誇りや愛着(経年比較)



性別にみると、『感じない(計)』は男性(23.2%)が女性(19.8%)より3.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『感じる(計)』は男性50～59歳(52.7%)で5割を超えて高くなっている。一方、『感じない(計)』は男性30～39歳(42.1%)で4割を超えて高くなっている。(図1-4-3)

図1-4-3 誇りや愛着(性・年齢別)

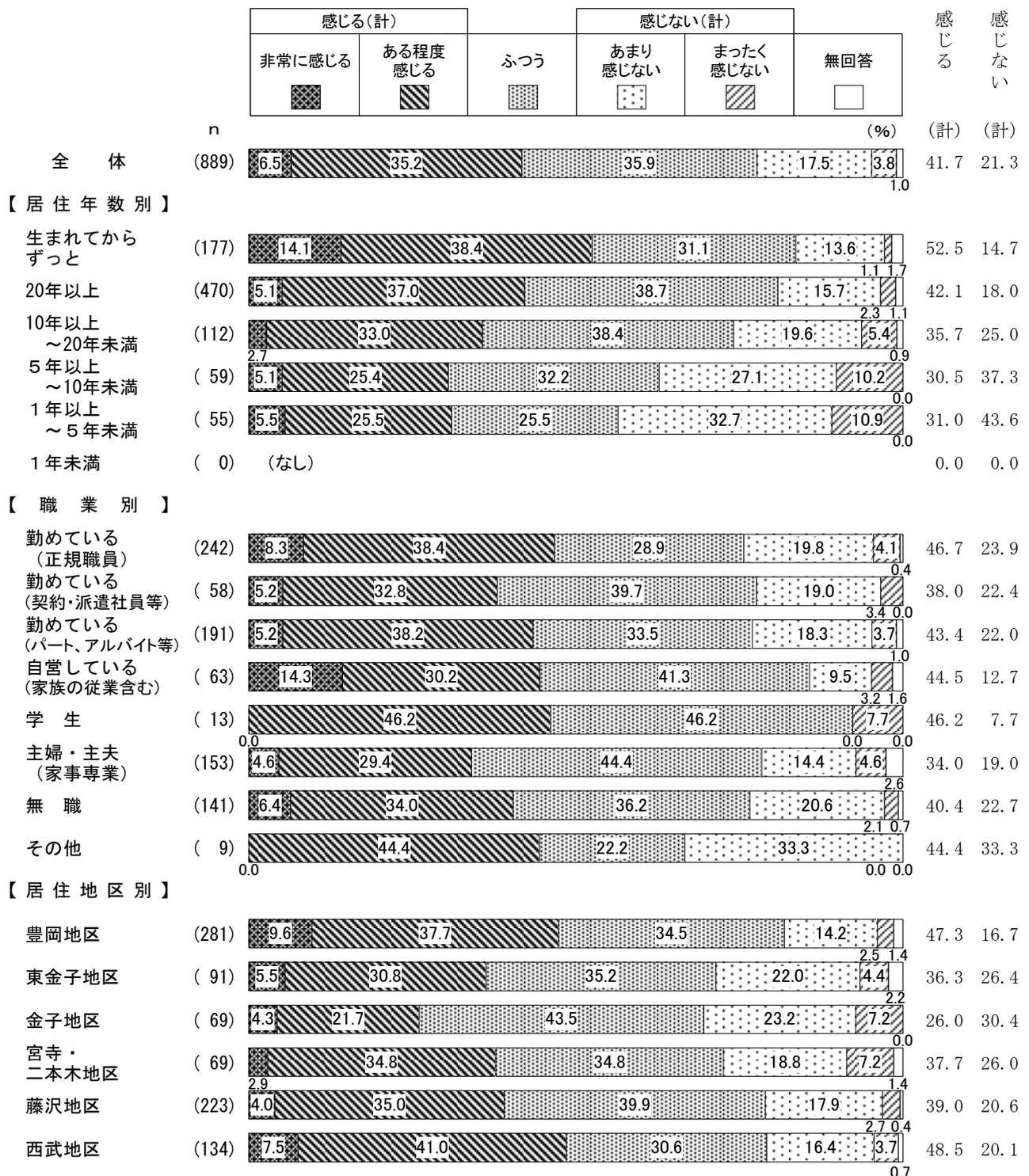


居住年数別にみると、『感じる（計）』は“生まれてからずっと”（52.5%）で5割を超えて高くなっている。一方、『感じない（計）』は“1年以上～5年未満”（43.6%）で4割を超えて高くなっている。

職業別にみると、『感じる（計）』は“勤めている（正規職員）”（46.7%）で5割近くと高くなっている。

居住地区別にみると、『感じる（計）』は西武地区（48.5%）と豊岡地区（47.3%）で5割近くと高くなっている。（図1-4-4）

図1-4-4 誇りや愛着（居住年数別、職業別、居住地区別）

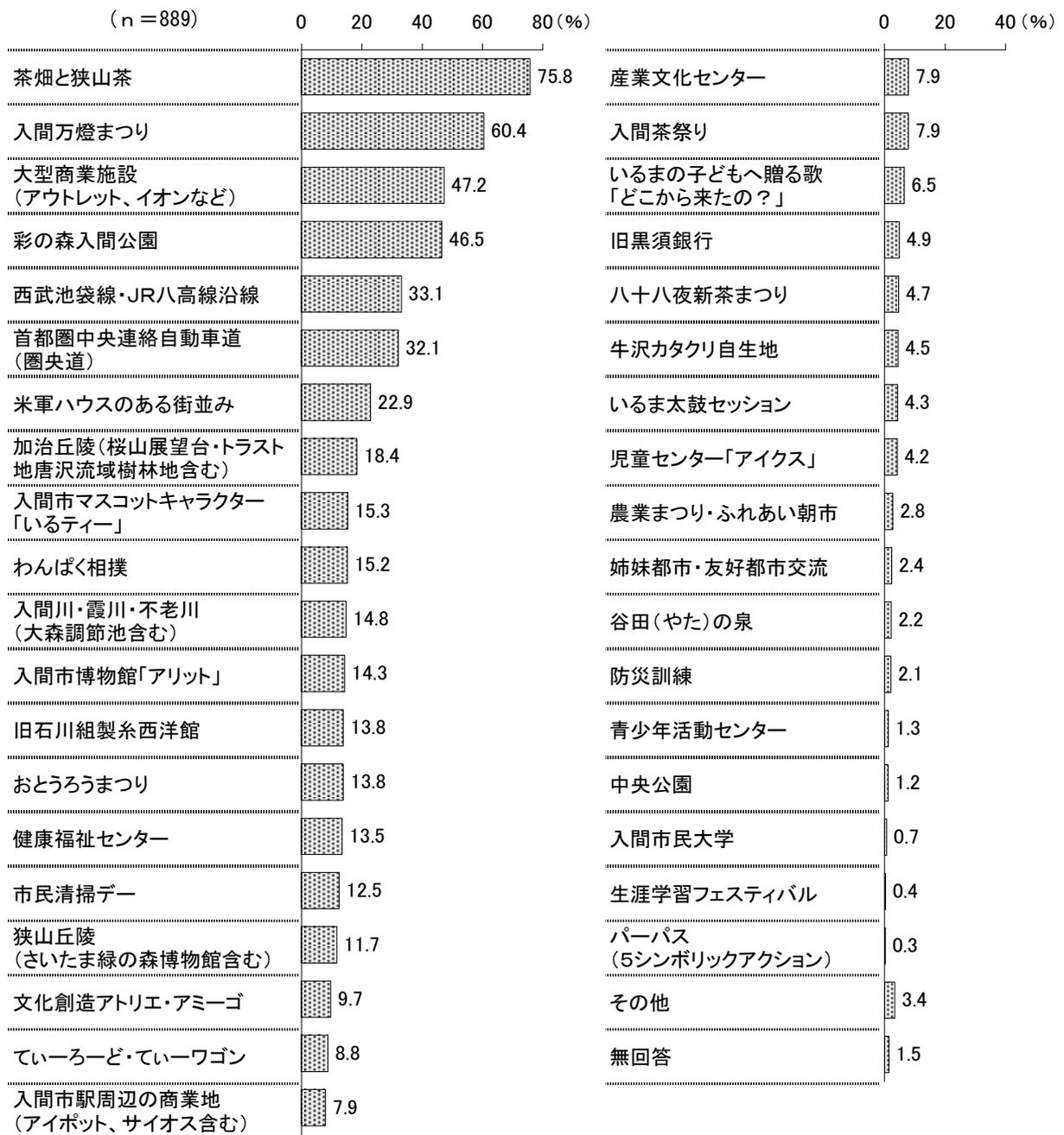


## (5) 入間市の魅力

◇「茶畑と狭山茶」が7割半ば

問3 市では、「暮らしてみたいまち」「住み続けたいまち」を目指して、地域資源を活かしたシティセールスに取り組んでいます。あなたが入間市の環境や施設、行事等の中で入間らしい魅力や個性を感じるものは何ですか。次の1～38の項目の中から7つまで選んでください。

図1-5-1

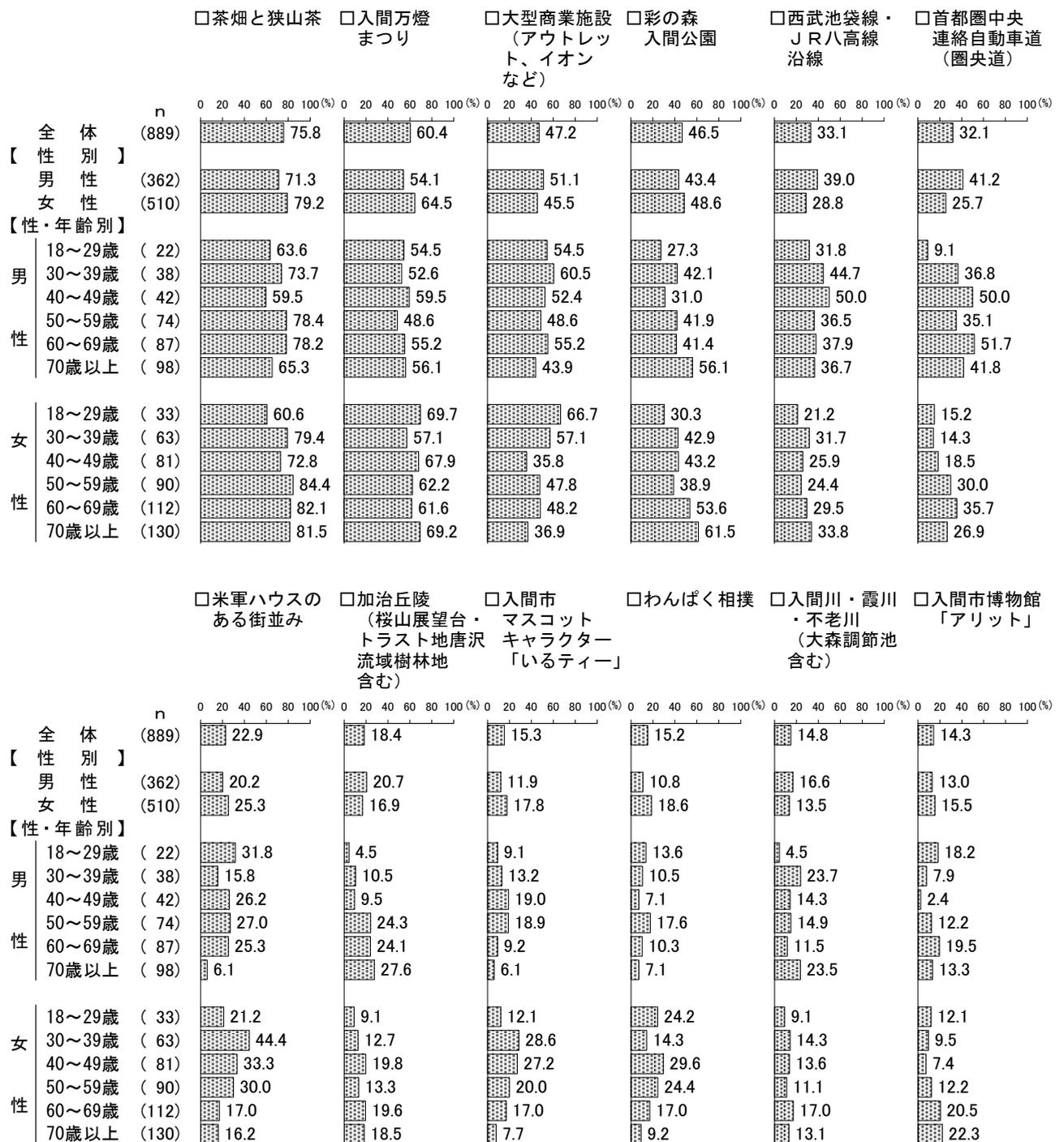


入間市の魅力について聞いたところ、「茶畑と狭山茶」(75.8%)が7割半ばで最も高く、次いで「入間万燈まつり」(60.4%)、「大型商業施設(アウトレット、イオンなど)」(47.2%)、「彩の森入間公園」(46.5%)などの順となっている。(図1-5-1)

性別にみると、「首都圏中央連絡自動車道（圏央道）」は男性（41.2%）が女性（25.7%）より15.5ポイント、「西武池袋線・JR八高線沿線」は男性（39.0%）が女性（28.8%）より10.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「入間万燈まつり」は女性（64.5%）が男性（54.1%）より10.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「茶畑と狭山茶」は女性50～59歳（84.4%）で8割半ばと高くなっている。「入間万燈まつり」は女性18～29歳（69.7%）と女性70歳以上（69.2%）でほぼ7割と高くなっている。「大型商業施設（アウトレット、イオンなど）」は女性18～29歳（66.7%）で7割近くと高くなっている。（図1-5-2）

図1-5-2 入間市の魅力（性・年齢別）－上位12項目



(6) 市が優先してPRに取り組むべきもの

◇「茶畑と狭山茶」が6割半ば

問3-1 問3の1~38の項目のうち、入間市の魅力を市内外に発信するために、市が優先してPRに取り組むべきものは何ですか。該当する番号を【記入欄】に3つ選んで記入してください。

図1-6-1

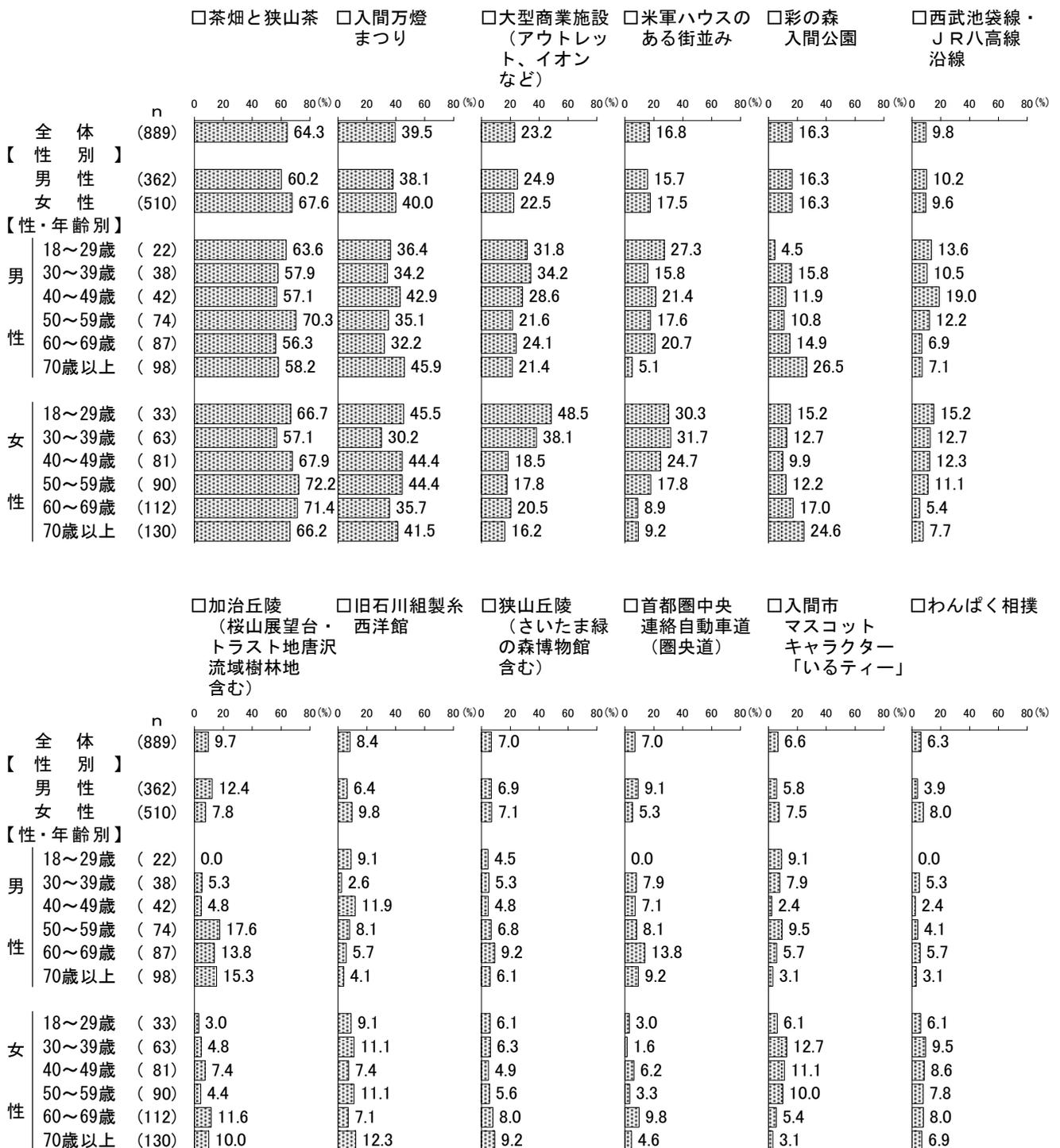


市が優先してPRに取り組むべきものについて聞いたところ、「茶畑と狭山茶」(64.3%)が6割半ばで最も高く、次いで「入間万燈まつり」(39.5%)、「大型商業施設(アウトレット、イオンなど)」(23.2%)、「米軍ハウスのある街並み」(16.8%)、「彩の森入間公園」(16.3%)などの順となっている。(図1-6-1)

性別にみると、「茶畑と狭山茶」は女性（67.6%）が男性（60.2%）より7.4ポイント高くなっている。一方、「加治丘陵（桜山展望台・トラスト地唐沢流域樹林地含む）」は男性（12.4%）が女性（7.8%）より4.6ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「茶畑と狭山茶」は女性50～59歳（72.2%）と女性60～69歳（71.4%）で7割を超えて高くなっている。「大型商業施設（アウトレット、イオンなど）」は女性18～29歳（48.5%）で5割近くと高くなっている。（図1-6-2）

図1-6-2 市が優先してPRに取り組むべきもの（性・年齢別）－上位12項目

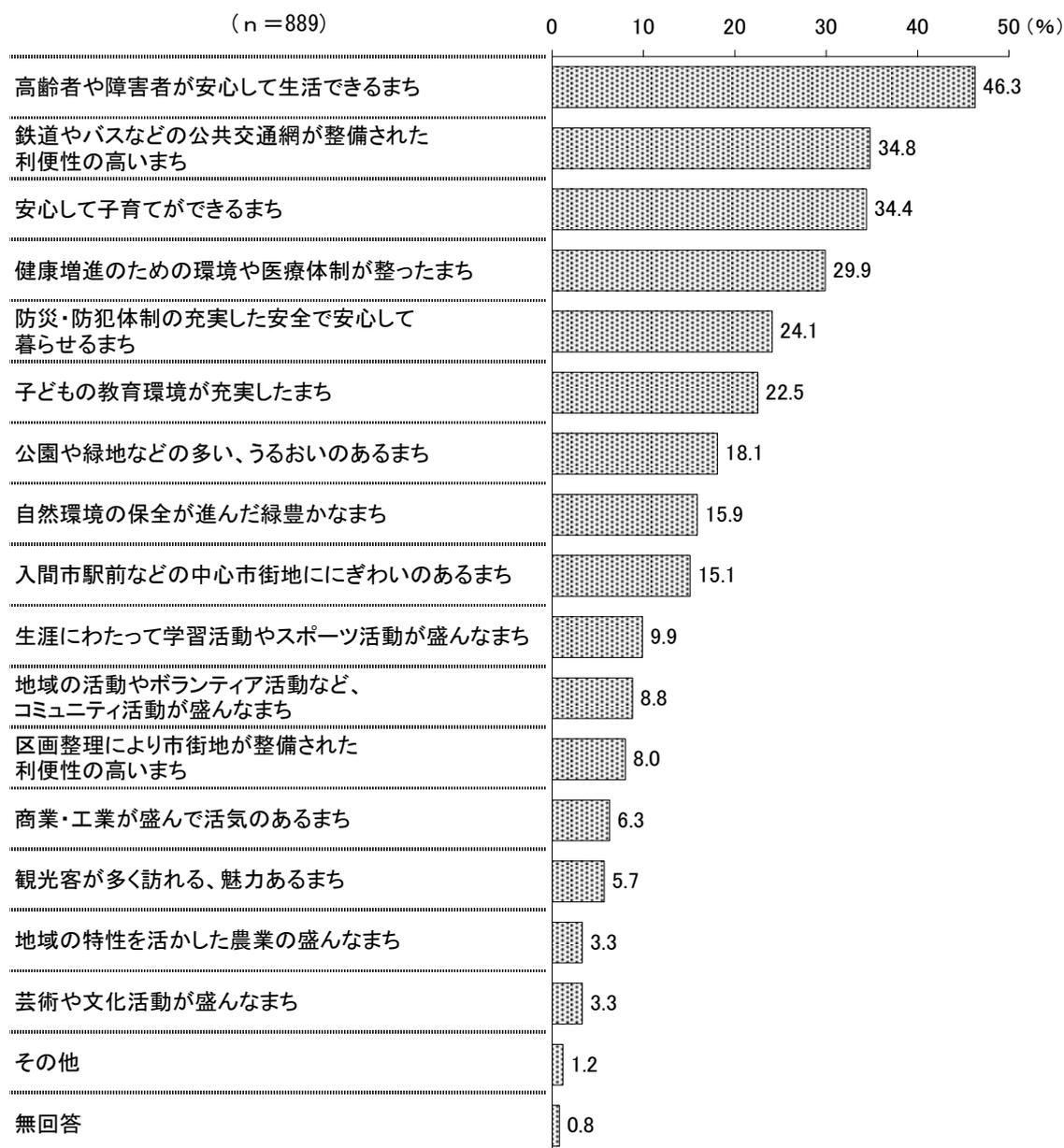


## (7) 将来の入間市のまちづくり

◇「高齢者や障害者が安心して生活できるまち」が4割半ば

問4 あなたは、将来の入間市はどのようなまちであってほしいと思いますか。あなたが希望するまちを次の項目の中から3つまで選んでください。

図1-7-1

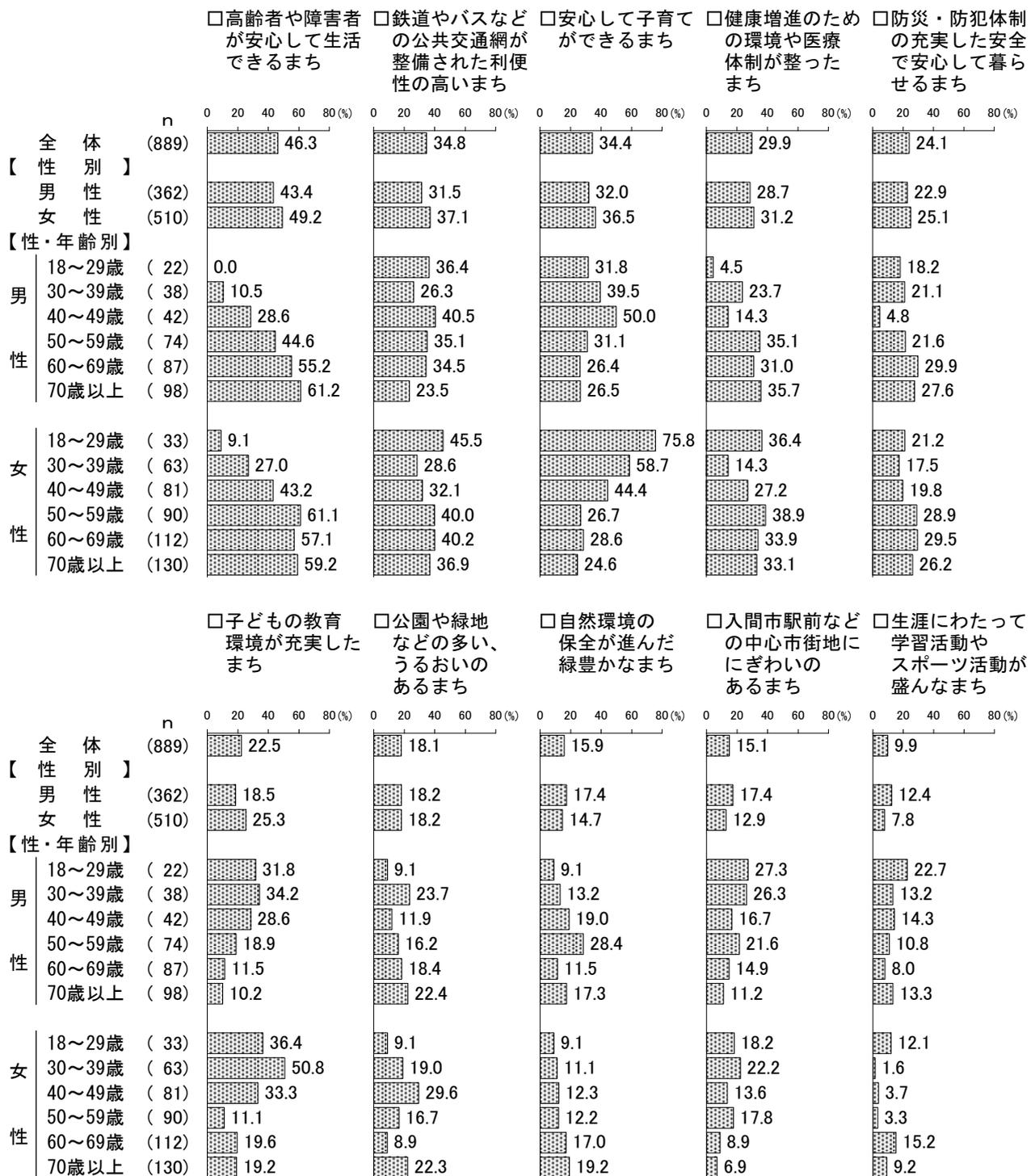


将来の入間市のまちづくりについて聞いたところ、「高齢者や障害者が安心して生活できるまち」(46.3%)が4割半ばで最も高く、次いで「鉄道やバスなどの公共交通網が整備された利便性の高いまち」(34.8%)、「安心して子育てができるまち」(34.4%)、「健康増進のための環境や医療体制が整ったまち」(29.9%)、「防災・防犯体制の充実した安全で安心して暮らせるまち」(24.1%)などの順となっている。(図1-7-1)

性別にみると、「子どもの教育環境が充実したまち」は女性（25.3%）が男性（18.5%）より6.8ポイント高くなっている。一方、「生涯にわたって学習活動やスポーツ活動が盛んなまち」は男性（12.4%）が女性（7.8%）より4.6ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「高齢者や障害者が安心して生活できるまち」は男性70歳以上（61.2%）と女性50～59歳（61.1%）で6割を超えて高くなっている。「安心して子育てができるまち」は女性18～29歳（75.8%）で7割半ばと高くなっている。「子どもの教育環境が充実したまち」は女性30～39歳（50.8%）でほぼ5割と高くなっている。（図1-7-2）

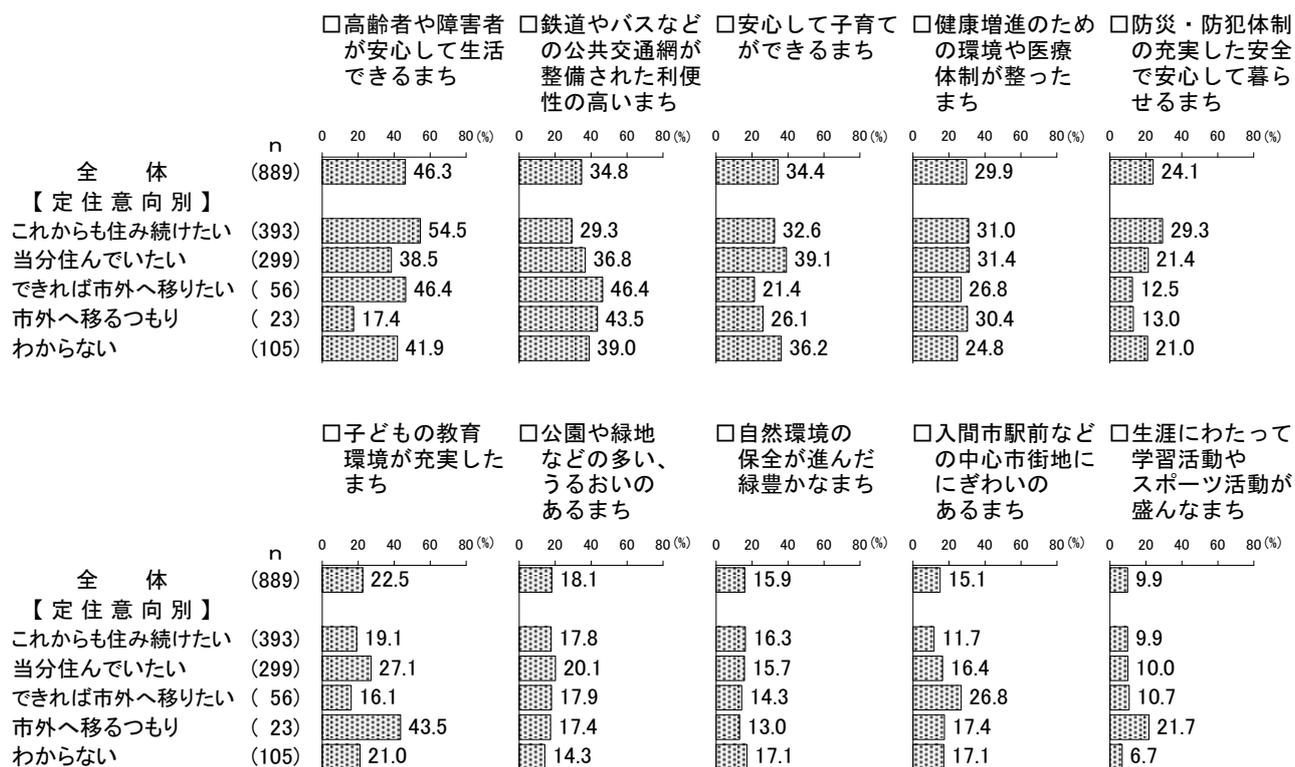
図1-7-2 将来の入間市のまちづくり（性・年齢別）－上位10項目



定住意向別にみると、「高齢者や障害者が安心して生活できるまち」は“これからも住み続けたい”（54.5%）で5割半ばと高くなっている。「鉄道やバスなどの公共交通網が整備された利便性の高いまち」は“できれば市外へ移りたい”（46.4%）で4割半ばと高くなっている。「安心して子育てができるまち」は“当分住んでいたい”（39.1%）でほぼ4割と高くなっている。「子どもの教育環境が充実したまち」は“市外へ移るつもり”（43.5%）で4割を超えて高くなっている。

(図1-7-3)

図1-7-3 将来の入間市のまちづくり（定住意向別）－上位10項目

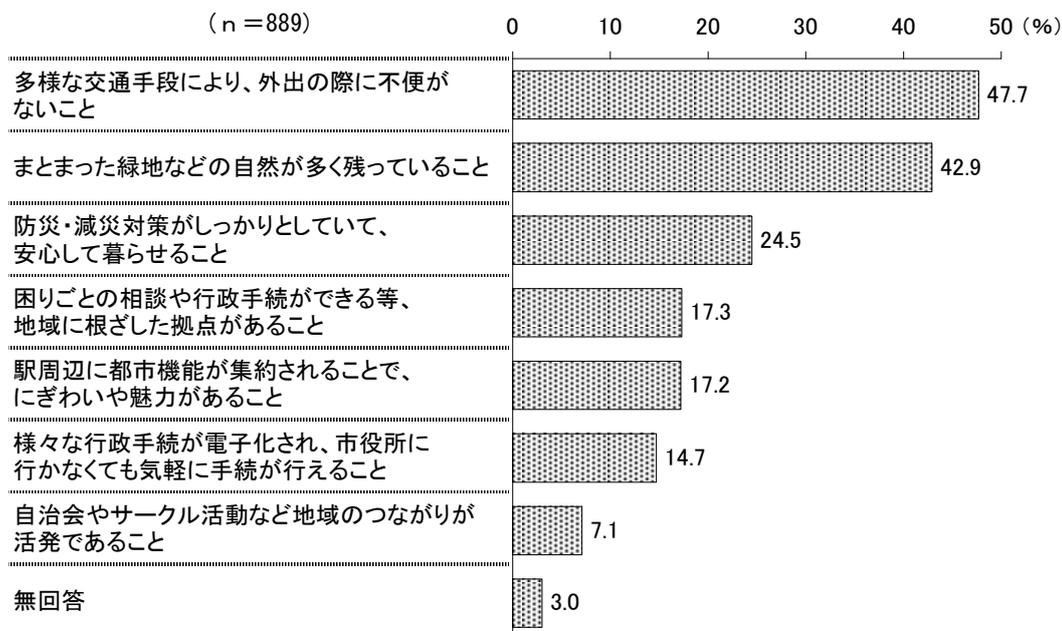


## (8) 住みやすいと感じる点

◇「多様な交通手段により、外出の際に不便がないこと」が5割近く

問5 あなたが「住みやすい」と感じる点はどのような点ですか。以下の選択肢のうち、2つまで選んでください。

図1-8-1

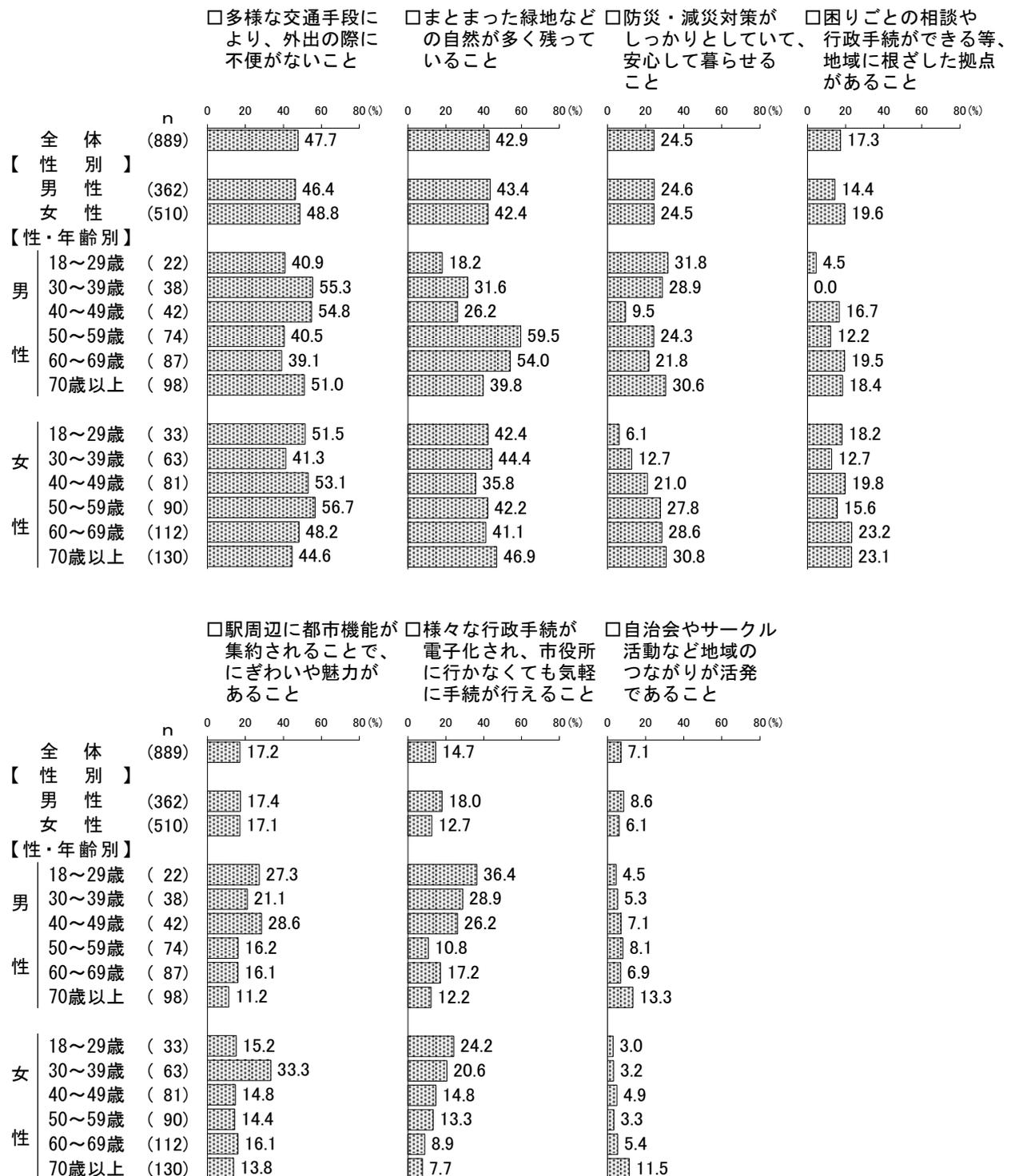


住みやすいと感じる点について聞いたところ、「多様な交通手段により、外出の際に不便がないこと」(47.7%)が5割近くで最も高く、次いで「まとまった緑地などの自然が多く残っていること」(42.9%)、「防災・減災対策がしっかりとっていて、安心して暮らせること」(24.5%)などの順となっている。(図1-8-1)

性別にみると、「様々な行政手続が電子化され、市役所に行かなくても気軽に手続が行えること」は男性（18.0%）が女性（12.7%）より5.3ポイント高くなっている。一方、「困りごとの相談や行政手続ができる等、地域に根ざした拠点があること」は女性（19.6%）が男性（14.4%）より5.2ポイント高くなっている。

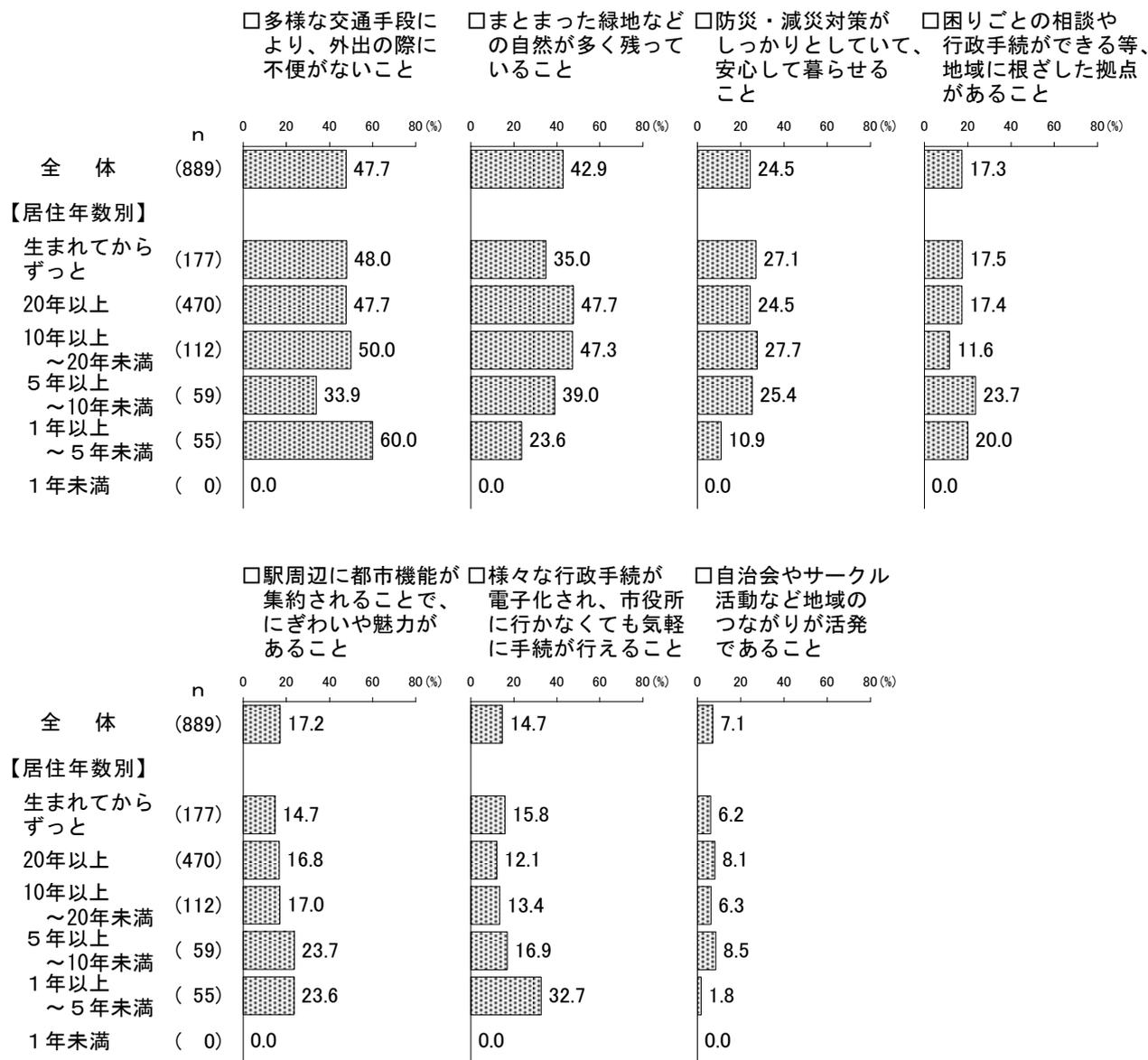
性・年齢別にみると、「多様な交通手段により、外出の際に不便がないこと」は女性50～59歳（56.7%）で6割近くと高くなっている。「まとまった緑地などの自然が多く残っていること」は男性50～59歳（59.5%）で6割と高くなっている。（図1-8-2）

図1-8-2 住みやすいと感じる点（性・年齢別）



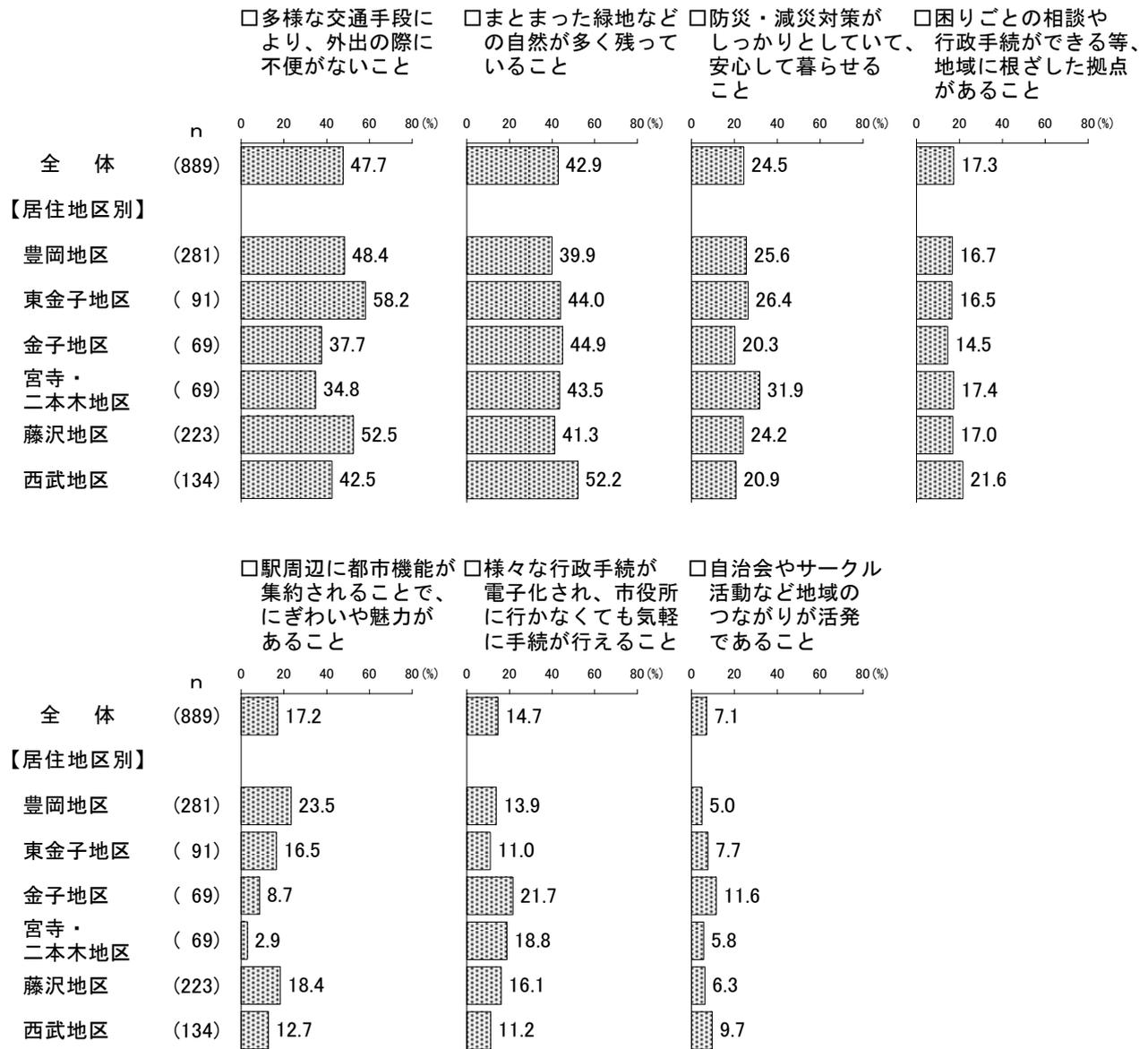
居住年数別にみると、「多様な交通手段により、外出の際に不便がないこと」は“1年以上～5年未満”（60.0%）で6割と高くなっている。「まとまった緑地などの自然が多く残っていること」は“20年以上”（47.7%）と“10年以上～20年未満”（47.3%）で5割近くと高くなっている。「様々な行政手続が電子化され、市役所に行かなくても気軽に手続が行えること」は“1年以上～5年未満”（32.7%）で3割を超えて高くなっている。（図1-8-3）

図1-8-3 住みやすいと感じる点（居住年数別）



居住地区別にみると、「多様な交通手段により、外出の際に不便がないこと」は東金子地区(58.2%)で6割近くと高くなっている。「まとまった緑地などの自然が多く残っていること」は西武地区(52.2%)で5割を超えて高くなっている。「防災・減災対策がしっかりとしていて、安心して暮らせること」は宮寺・二本木地区(31.9%)で3割を超えて高くなっている。(図1-8-4)

図1-8-4 住みやすいと感じる点(居住地区別)

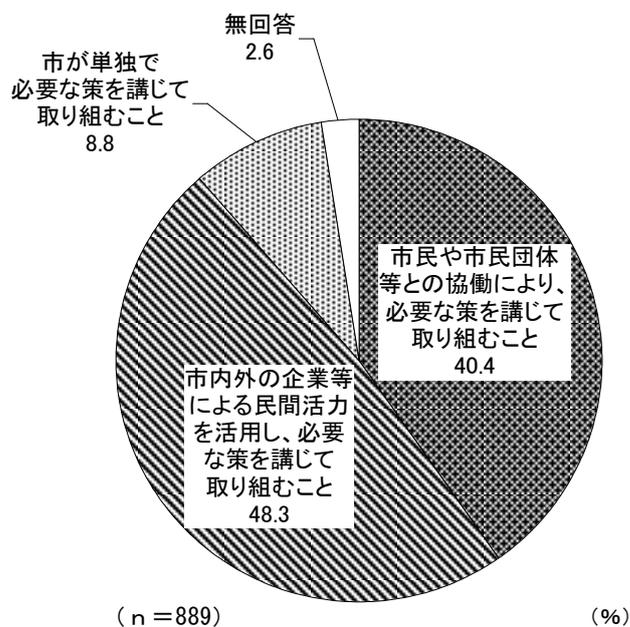


(9) 住みやすさを実現していくために必要な取組

◇「市内外の企業等による民間活力を活用し、必要な策を講じて取り組むこと」が5割近く

問6 あなたが感じる「住みやすさ」を実現していくために、市はどのように取り組んだらよいと思いますか。あなたが最も必要だと思う選択肢を1つ選んでください。

図1-9-1

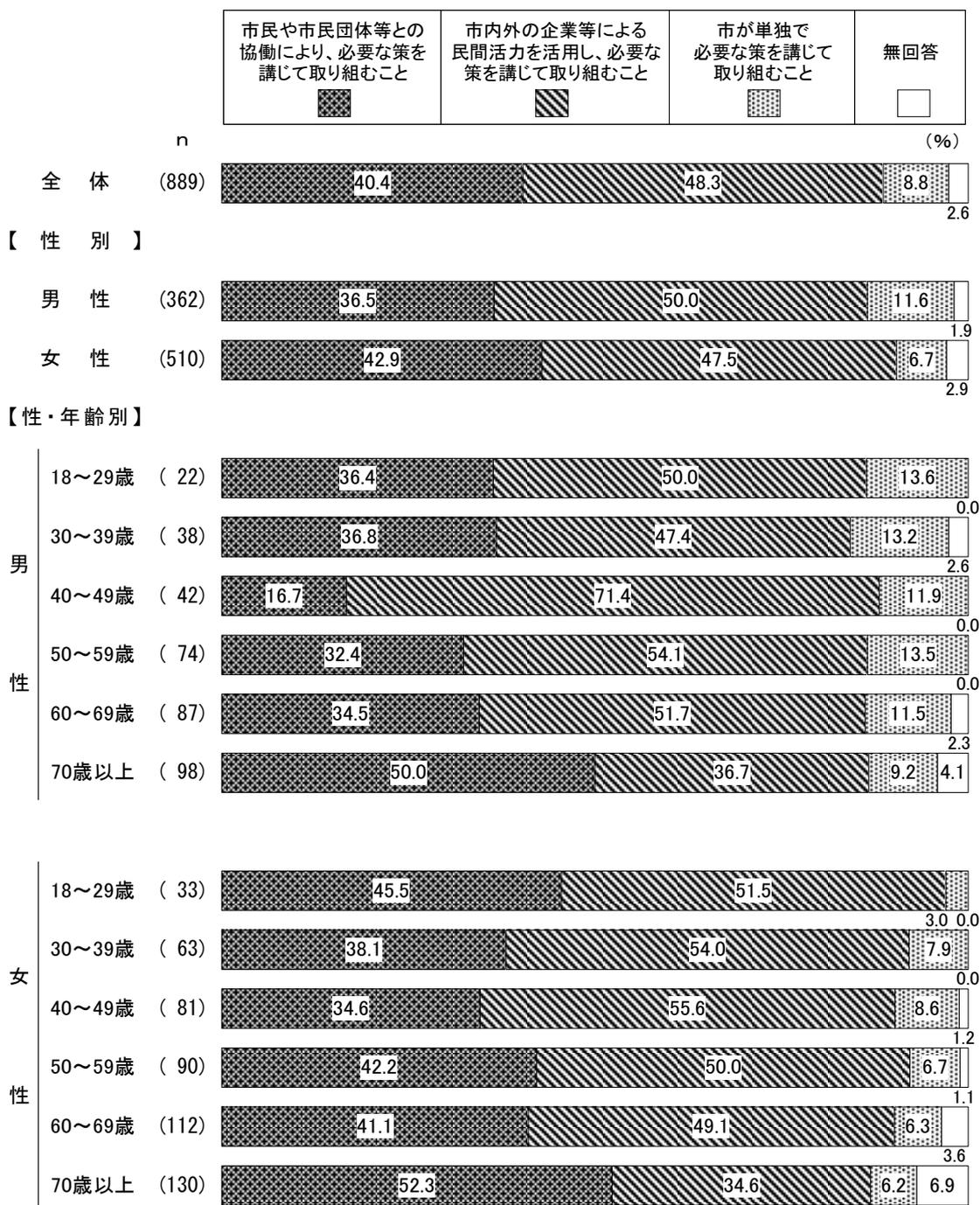


住みやすさを実現していくために必要な取組について聞いたところ、「市内外の企業等による民間活力を活用し、必要な策を講じて取り組むこと」(48.3%)が5割近くで最も高く、次いで「市民や市民団体等との協働により、必要な策を講じて取り組むこと」(40.4%)、「市が単独で必要な策を講じて取り組むこと」(8.8%)の順となっている。(図1-9-1)

性別にみると、「市民や市民団体等との協働により、必要な策を講じて取り組むこと」は女性（42.9%）が男性（36.5%）より6.4ポイント高くなっている。一方、「市が単独で必要な策を講じて取り組むこと」は男性（11.6%）が女性（6.7%）より4.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「市民や市民団体等との協働により、必要な策を講じて取り組むこと」は女性70歳以上（52.3%）と男性70歳以上（50.0%）で5割台と高くなっている。「市内外の企業等による民間活力を活用し、必要な策を講じて取り組むこと」は男性40～49歳（71.4%）で7割を超えて高くなっている。（図1-9-2）

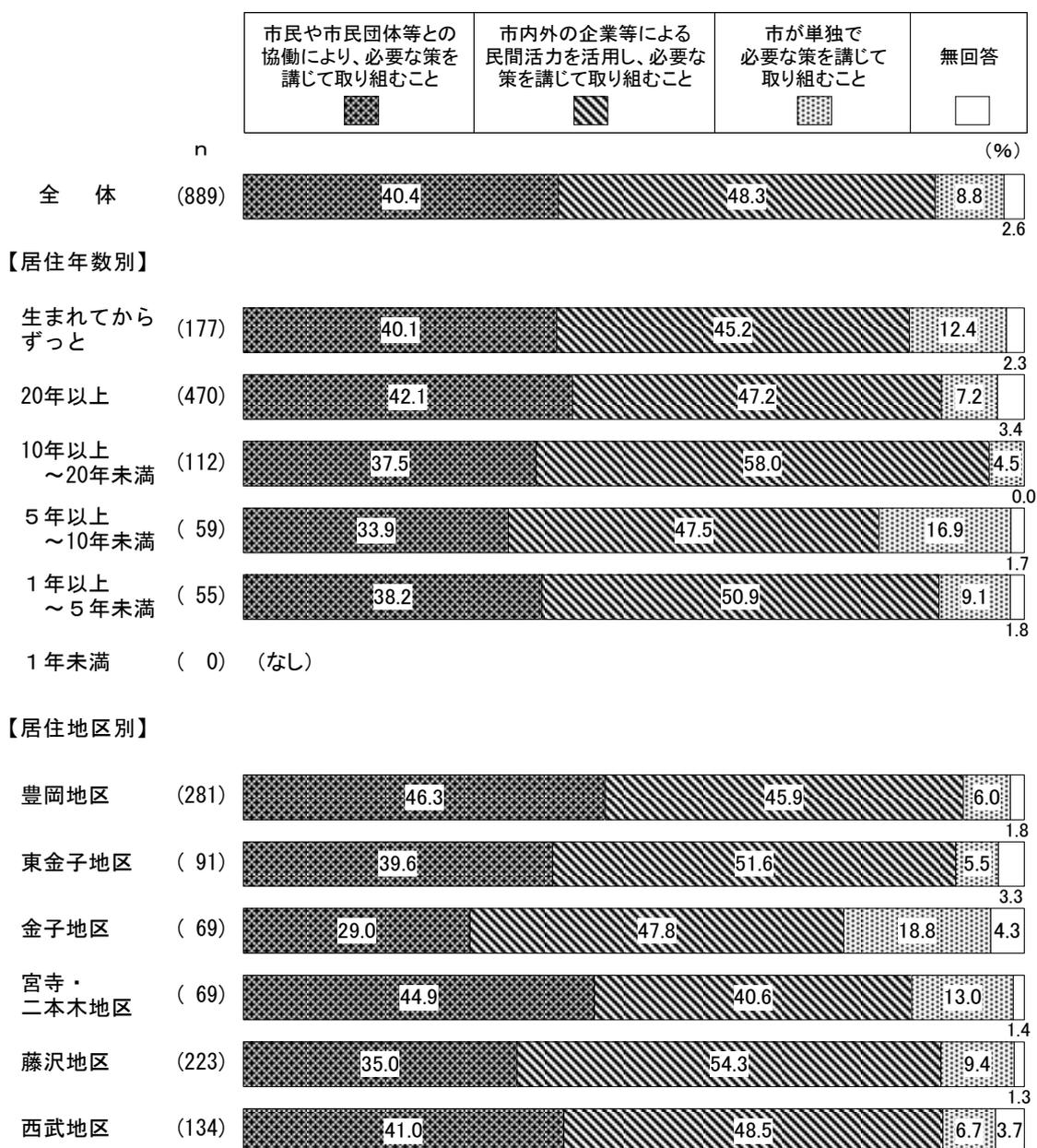
図1-9-2 住みやすさを実現していくために必要な取組（性・年齢別）



居住年数別にみると、「市民や市民団体等との協働により、必要な策を講じて取り組むこと」は“20年以上”（42.1%）で4割を超えて高くなっている。「市内外の企業等による民間活力を活用し、必要な策を講じて取り組むこと」は“10年以上～20年未満”（58.0%）で6割近くと高くなっている。

居住地区別にみると、「市民や市民団体等との協働により、必要な策を講じて取り組むこと」は豊岡地区（46.3%）と宮寺・二本木地区（44.9%）で4割半ばと高くなっている。「市内外の企業等による民間活力を活用し、必要な策を講じて取り組むこと」は藤沢地区（54.3%）で5割半ばと高くなっている。（図1-9-3）

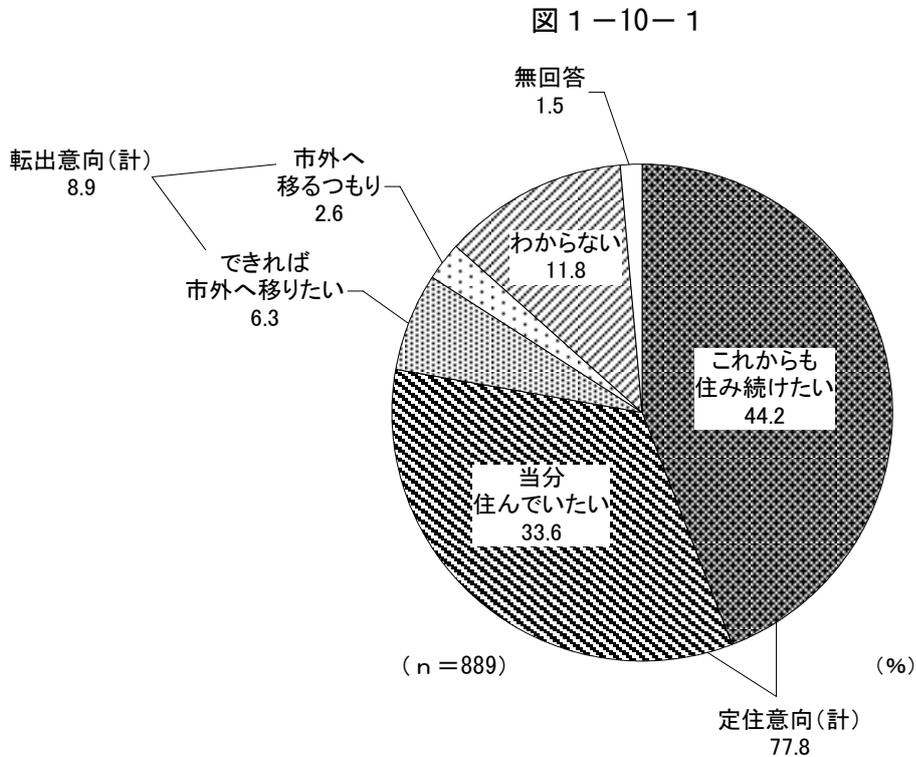
図1-9-3 住みやすさを実現していくために必要な取組（居住年数別、居住地区別）



(10) 定住意向

◇『定住意向（計）』が8割近く

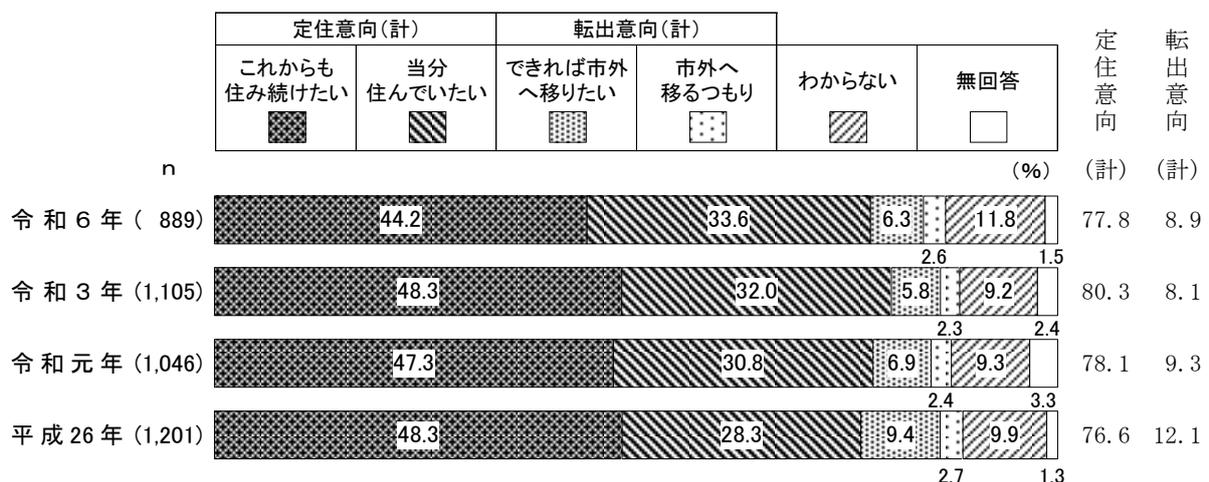
問7 あなたは、これからもずっと入間市に住んでいたいと思いますか。それとも市外に移りたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。



定住意向について聞いたところ、「これからも住み続けたい」(44.2%)と「当分住んでいたい」(33.6%)を合わせた『定住意向(計)』(77.8%)が8割近くと高くなっている。一方、「できれば市外へ移りたい」(6.3%)と「市外へ移るつもり」(2.6%)を合わせた『転出意向(計)』(8.9%)は1割未満となっている。(図1-10-1)

過年度調査と比較すると、「これからも住み続けたい」は令和3年調査と比べて4.1ポイント減少している。(図1-10-2)

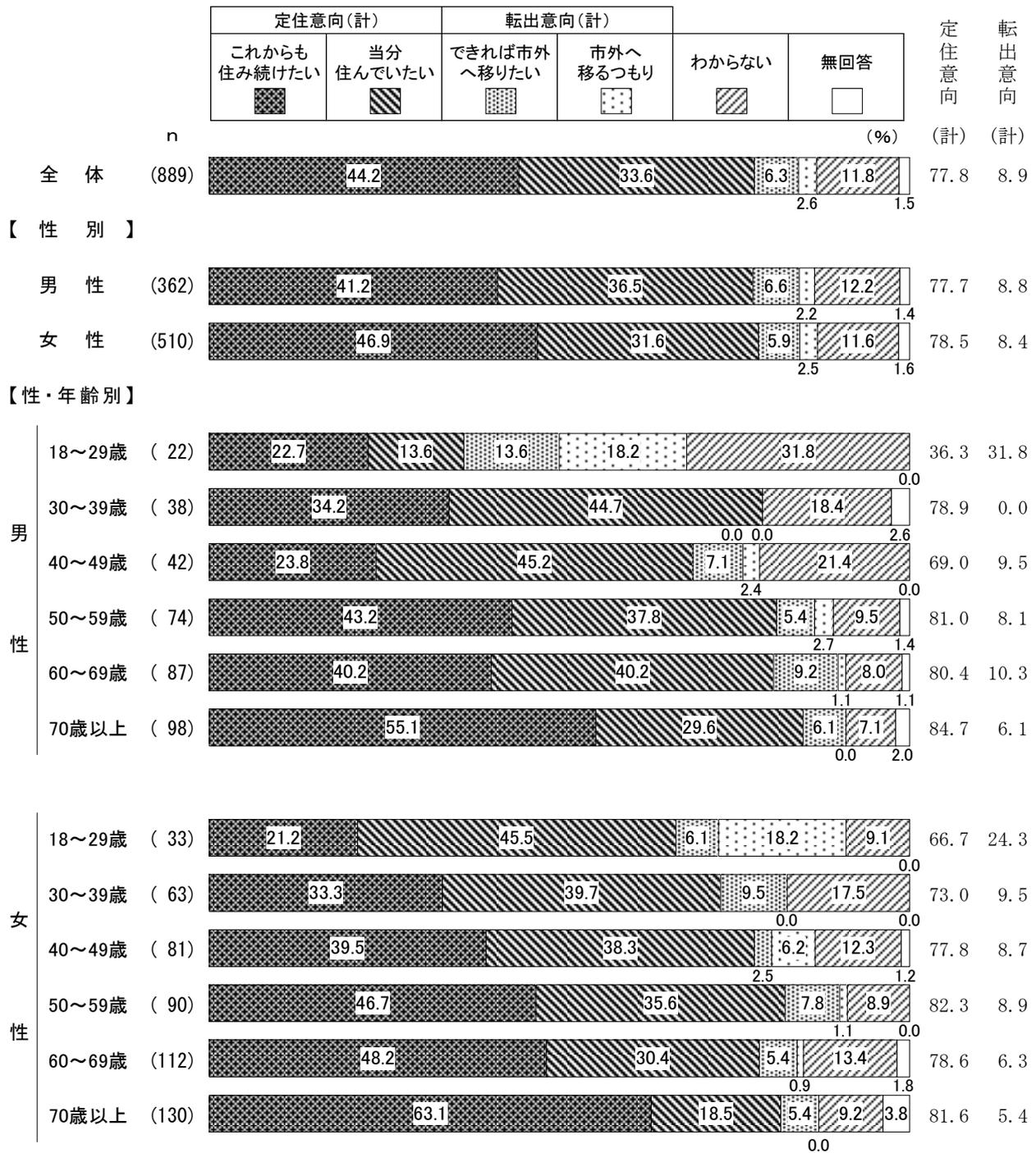
図1-10-2 定住意向（経年比較）



性別にみると、「これからも住み続けたい」は女性（46.9%）が男性（41.2%）より5.7ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『定住意向（計）』は男性70歳以上（84.7%）で8割半ばと高くなっている。一方、『転出意向（計）』は男性18～29歳（31.8%）で3割を超えて高くなっている。（図1-10-3）

図1-10-3 定住意向（性・年齢別）



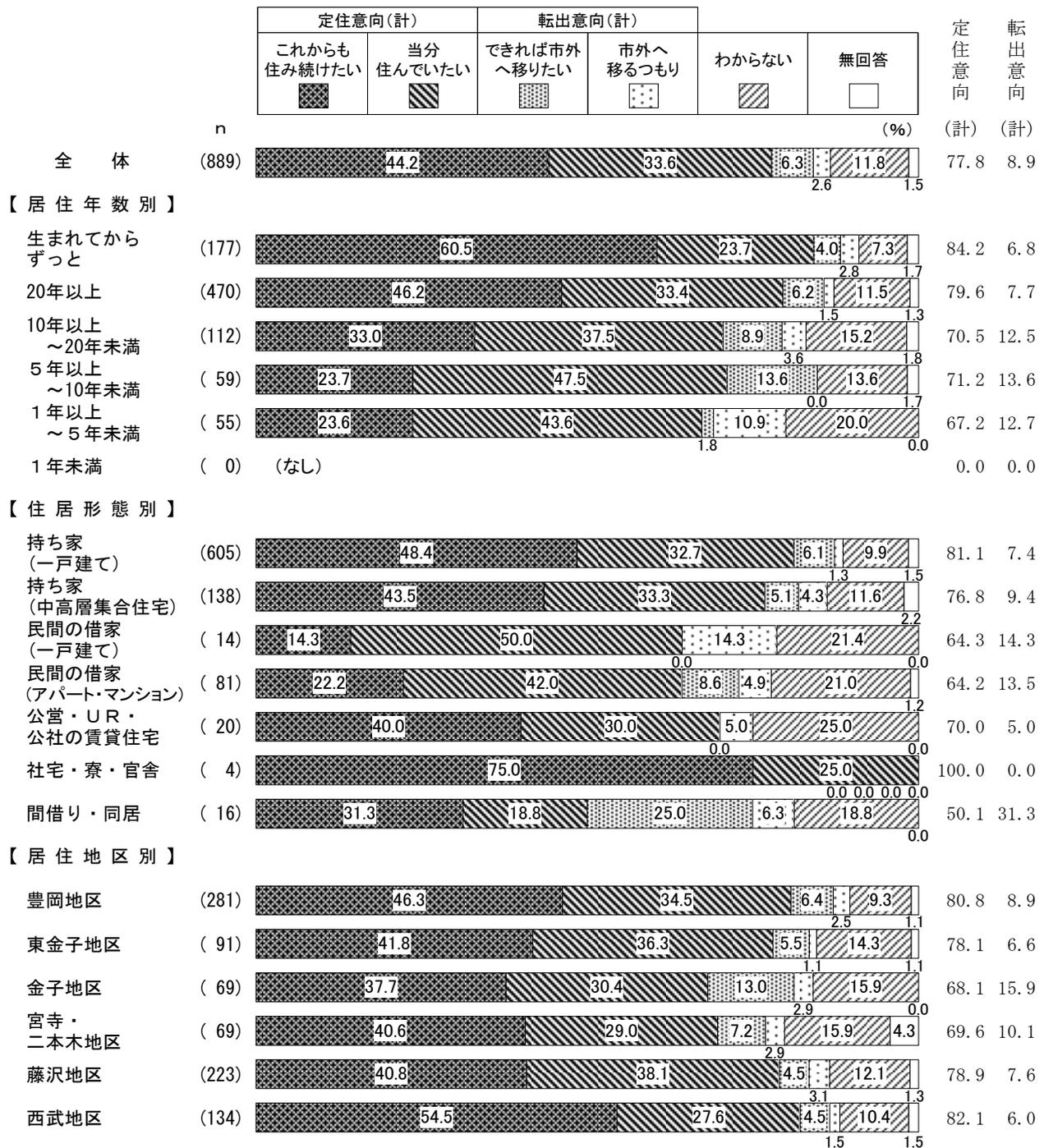
居住年数別にみると、『定住意向（計）』は“生まれてからずっと”（84.2%）で8割半ばと高くなっている。

住居形態別にみると、『定住意向（計）』は“持ち家（一戸建て）”（81.1%）で8割を超えて高くなっている。

居住地区別にみると、『定住意向（計）』は西武地区（82.1%）で8割を超えて高くなっている。

（図1-10-4）

図1-10-4 定住意向（居住年数別、住居形態別、居住地区別）



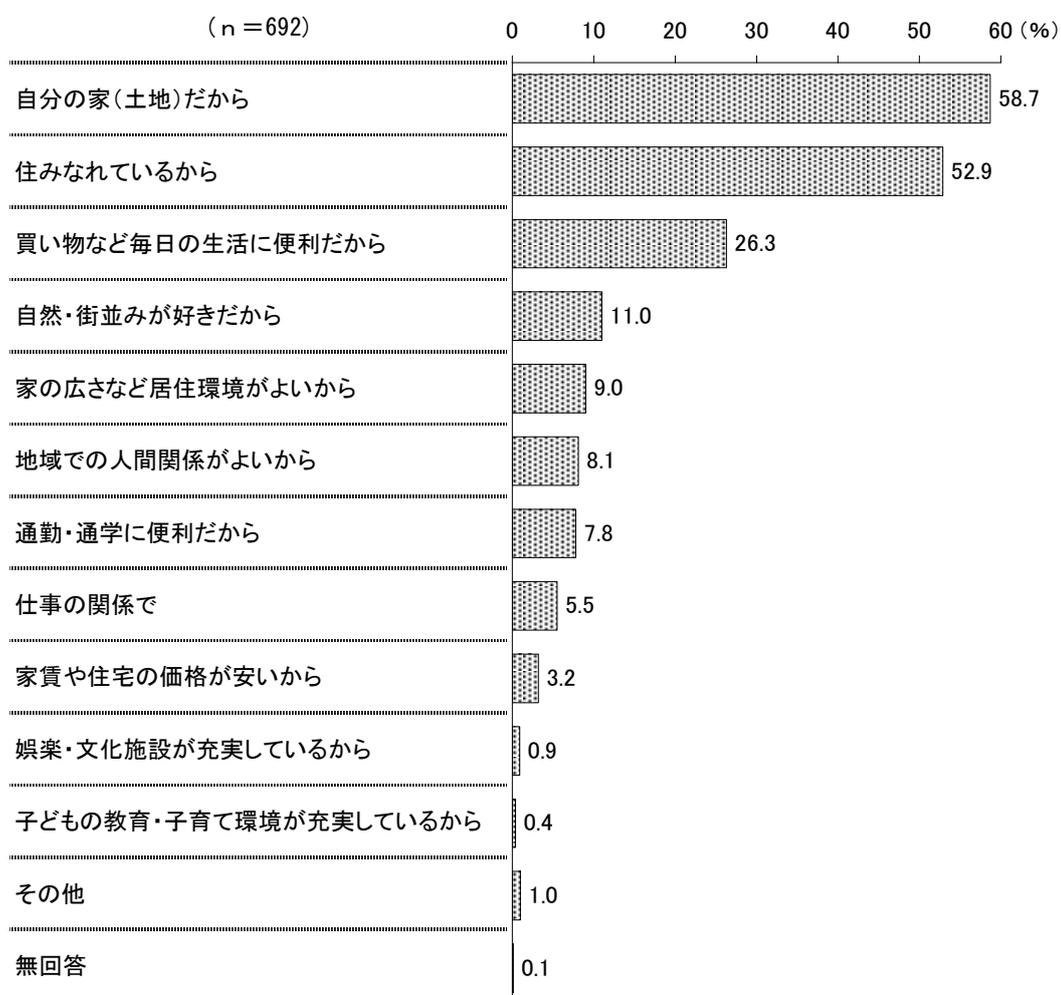
## (11) 住み続ける理由

◇「自分の家（土地）だから」が6割近く

(問7で、「これからも住み続けたい」「当分住んでいたい」と答えた方に)

問7-1 住み続けたいと思われる理由を2つまで選んでください。

図1-11-1

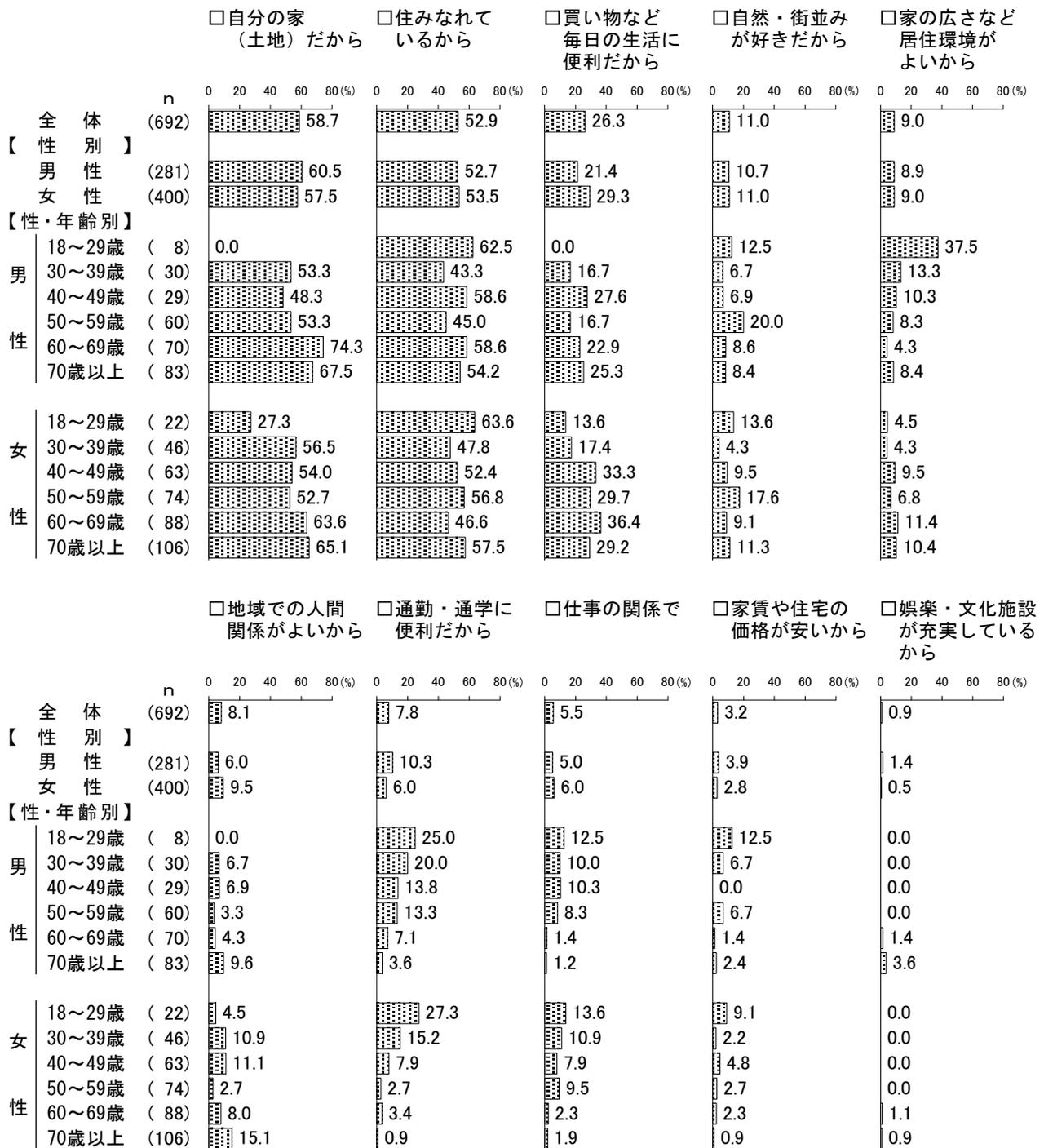


入間市に「これからも住み続けたい」「当分住んでいたい」と答えた人(692人)に、その理由について聞いたところ、「自分の家(土地)だから」(58.7%)が6割近くで最も高く、次いで「住みなれているから」(52.9%)、「買い物など毎日の生活に便利だから」(26.3%)、「自然・街並みが好きだから」(11.0%)などの順となっている。(図1-11-1)

性別にみると、「買い物など毎日の生活に便利だから」は女性（29.3%）が男性（21.4%）より7.9ポイント高くなっている。一方、「通勤・通学に便利だから」は男性（10.3%）が女性（6.0%）より4.3ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「自分の家（土地）だから」は男性60～69歳（74.3%）で7割半ばと高くなっている。「住みなれているから」は女性18～29歳（63.6%）と男性18～29歳（62.5%）で6割を超えて高くなっている。「買い物など毎日の生活に便利だから」は女性60～69歳（36.4%）で3割半ばと高くなっている。（図1-11-2）

図1-11-2 住み続ける理由（性・年齢別）－上位10項目

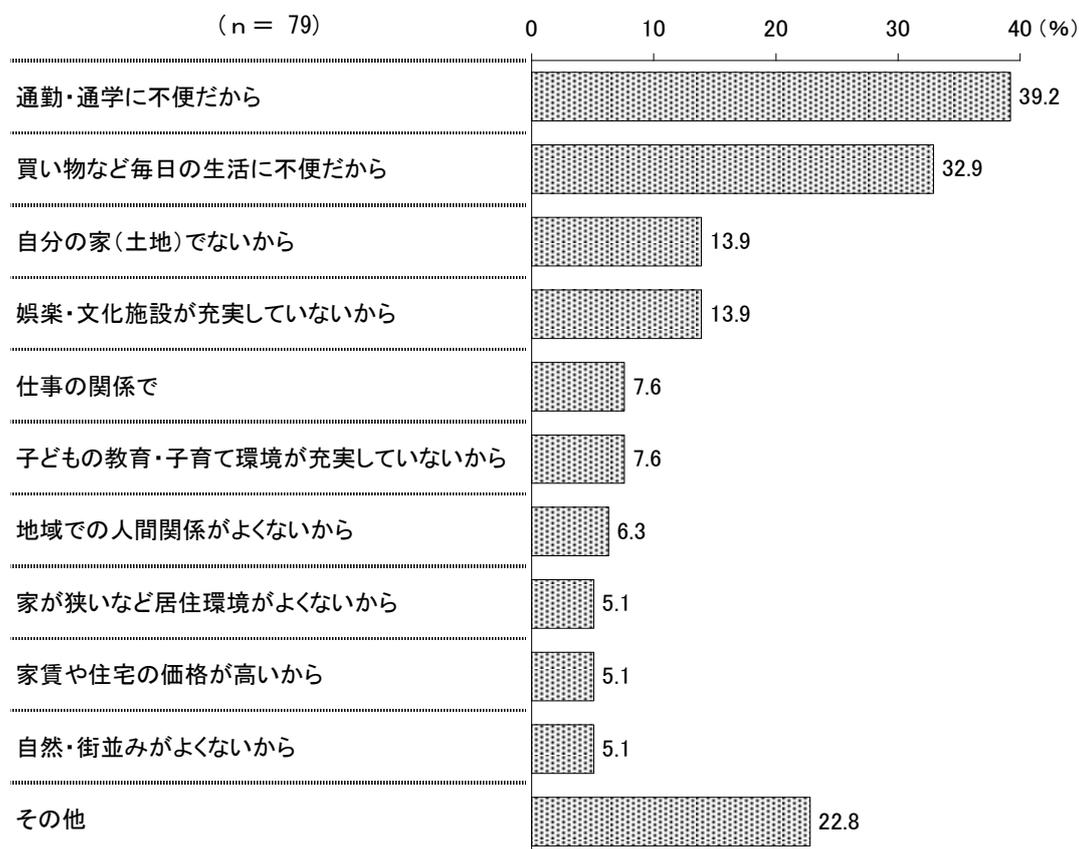


## (12) 市外へ移りたい理由

◇「通勤・通学に不便だから」がほぼ4割

(問7で、「できれば市外へ移りたい」「市外へ移るつもり」と答えた方に)  
問7-2 市外へ移りたいと思われる理由を2つまで選んでください。

図1-12-1

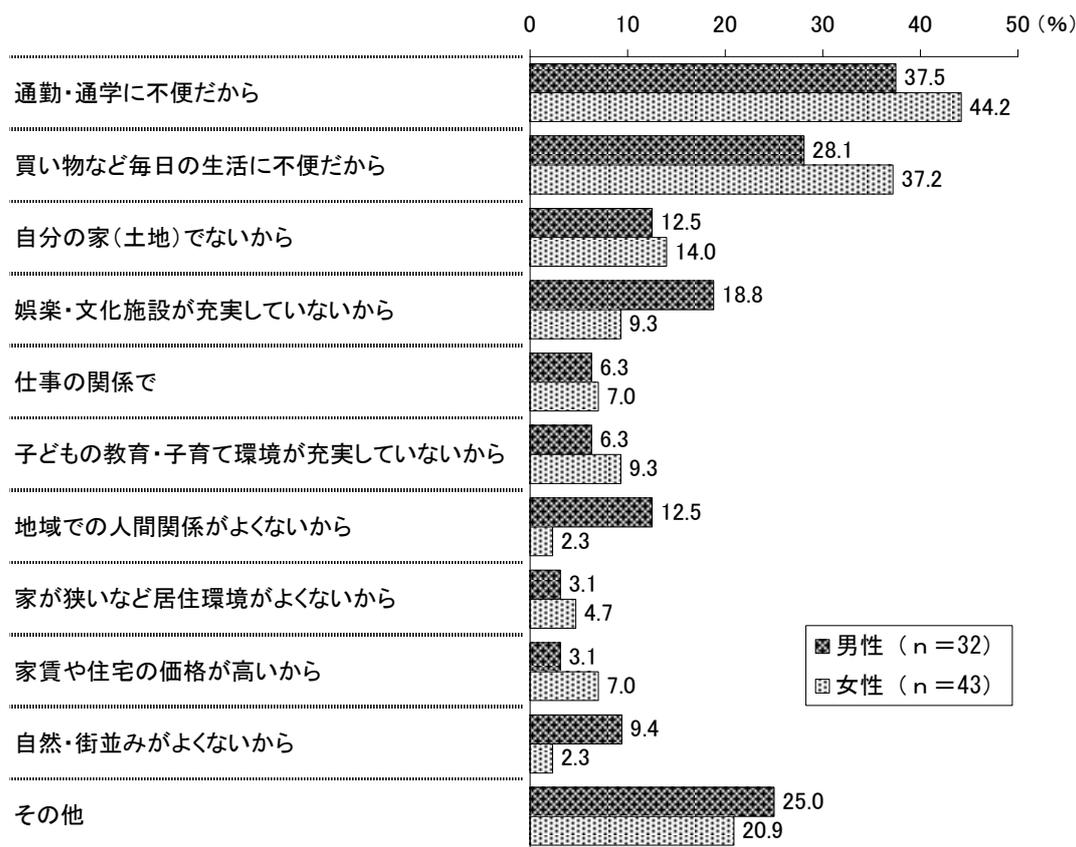


入間市から「できれば市外へ移りたい」「市外へ移るつもり」と答えた人(79人)に、その理由について聞いたところ、「通勤・通学に不便だから」(39.2%)がほぼ4割で最も高く、次いで「買い物など毎日の生活に不便だから」(32.9%)、「自分の家(土地)でないから」と「娯楽・文化施設が充実していないから」(ともに13.9%)などの順となっている。

また、「その他」と答えた人(22.8%・18人)の具体的な理由の記述をみると、「自動車が無いと生活に不便だから」(3.8%・3人)、「出身地に戻るつもりだから」(3.8%・3人)などが挙げられている。(図1-12-1)

性別にみると、「地域での人間関係がよくないから」は男性（12.5%）が女性（2.3%）より10.2ポイント、「娯楽・文化施設が充実していないから」は男性（18.8%）が女性（9.3%）より9.5ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「買い物など毎日の生活に不便だから」は女性（37.2%）が男性（28.1%）より9.1ポイント、「通勤・通学に不便だから」は女性（44.2%）が男性（37.5%）より6.7ポイント、それぞれ高くなっている。（図1-12-2）

図1-12-2 市外へ移りたい理由（性別）

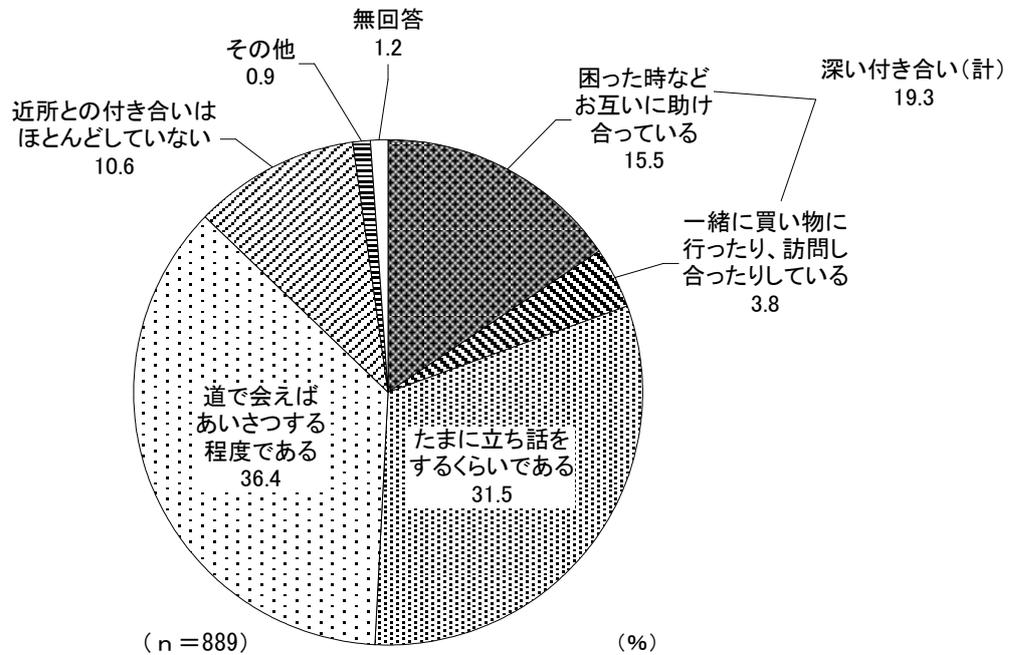


(13) 近所付き合い

◇『深い付き合い(計)』がほぼ2割

問8 あなたは、近所との付き合いをふだんどのようにしていますか。次の中から1つ選んでください。

図1-13-1

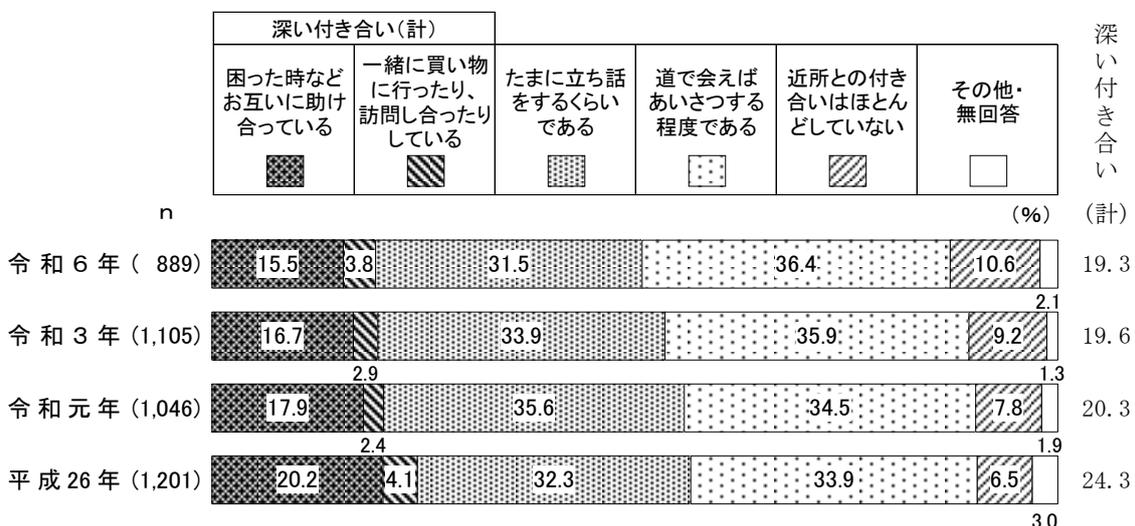


近所付き合いについて聞いたところ、「道で会えばあいさつする程度である」(36.4%)が3割半ば、「たまに立ち話をするくらいである」(31.5%)は3割を超えている。また、「困った時などお互いに助け合っている」(15.5%)と「一緒に買い物に行ったり、訪問し合ったりしている」(3.8%)を合わせた『深い付き合い(計)』(19.3%)はほぼ2割となっている。(図1-13-1)

過年度調査と比較すると、令和3年調査と比べて大きな傾向の違いはみられない。

(図1-13-2)

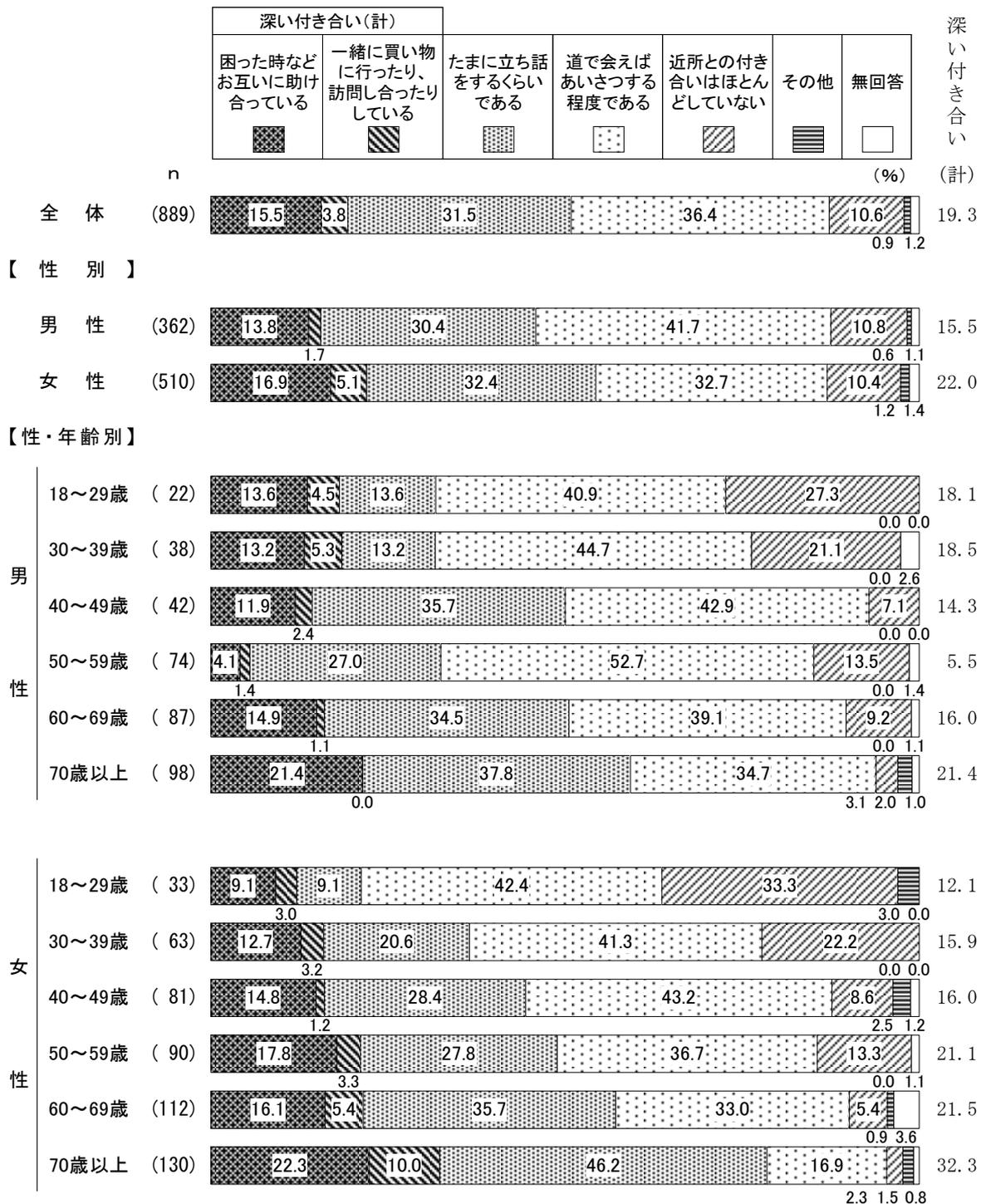
図1-13-2 近所付き合い(経年比較)



性別にみると、『深い付き合い（計）』は女性（22.0%）が男性（15.5%）より6.5ポイント高くなっている。一方、「道で会えばあいさつする程度である」は男性（41.7%）が女性（32.7%）より9.0ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『深い付き合い（計）』は女性70歳以上（32.3%）で3割を超えて高くなっている。「たまに立ち話をするくらいである」は女性70歳以上（46.2%）で4割半ばと高くなっている。「道で会えばあいさつする程度である」は男性50～59歳（52.7%）で5割を超えて高くなっている。（図1-13-3）

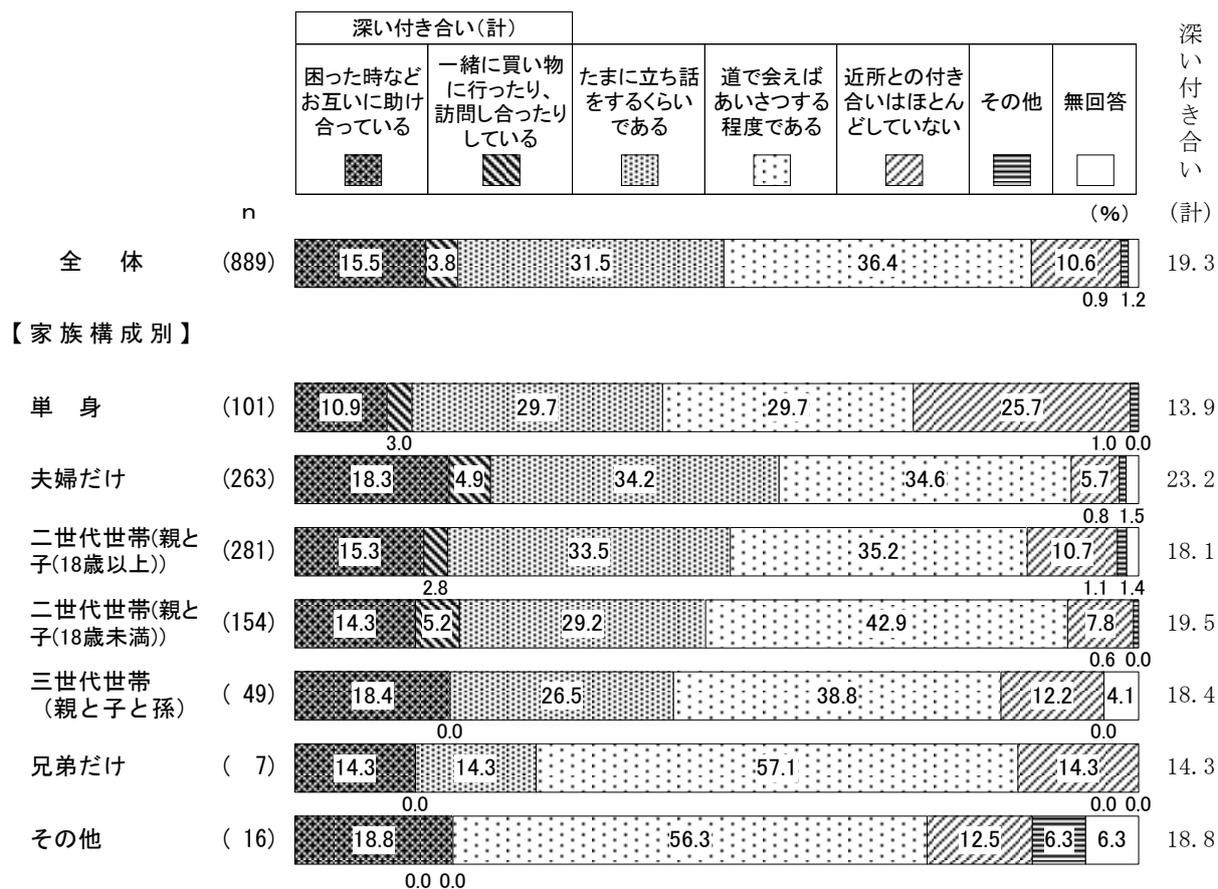
図1-13-3 近所付き合い（性・年齢別）



家族構成別にみると、『深い付き合い（計）』は“夫婦だけ”（23.2%）で2割を超えて高くなっている。「たまに立ち話をするくらいである」は“夫婦だけ”（34.2%）で3割半ばと高くなっている。

「道で会えばあいさつする程度である」は“二世世代世帯（親と子（18歳未満））”（42.9%）で4割を超えて高くなっている。「近所との付き合いはほとんどしていない」は“単身”（25.7%）で2割半ばと高くなっている。（図1-13-4）

図1-13-4 近所付き合い（家族構成別）

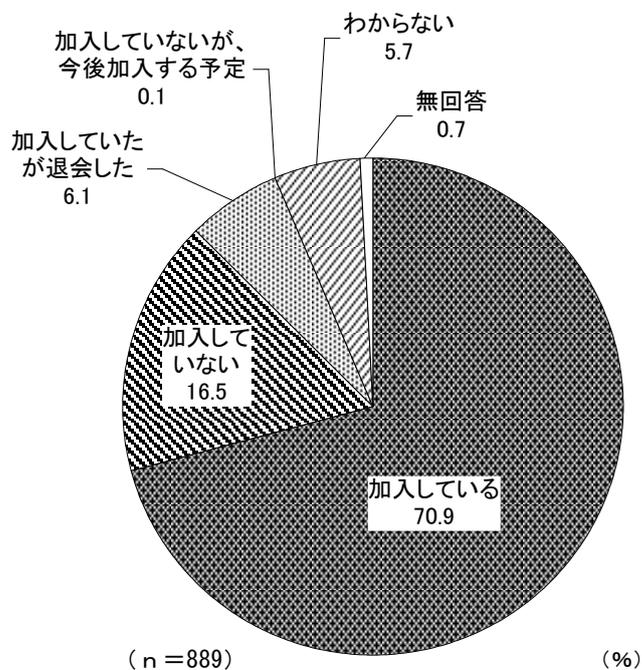


(14) 区・自治会への加入

◇「加入している」がほぼ7割

問9 あなたの家庭（世帯）では、区・自治会に加入していますか。次の中から1つ選んでください。

図1-14-1

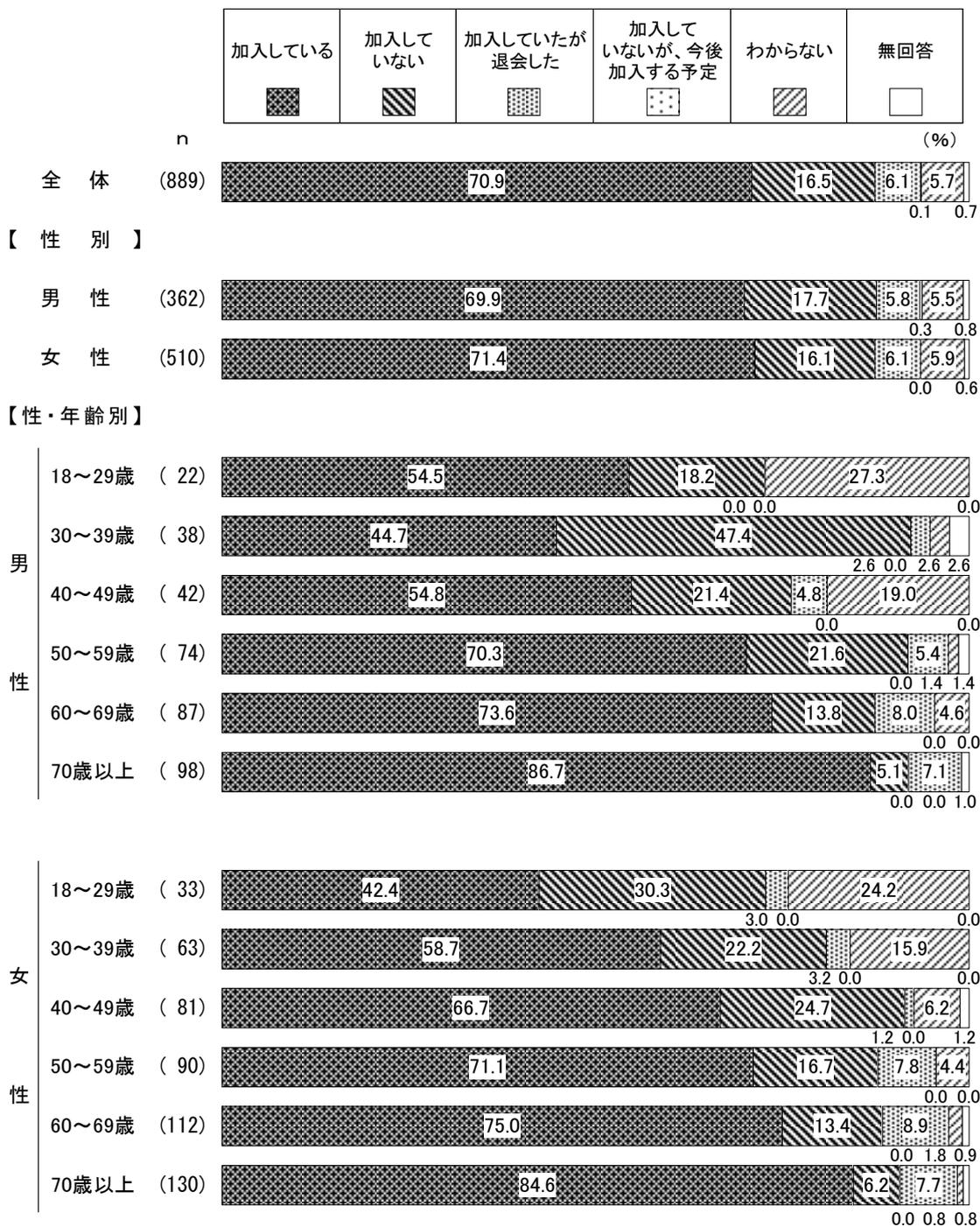


区・自治会への加入について聞いたところ、「加入している」(70.9%)がほぼ7割で高くなっている。「加入していない」(16.5%)は2割近く、「加入していたが退会した」(6.1%)と「加入していないが、今後加入する予定」(0.1%)はともに1割未満となっている。(図1-14-1)

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年齢別にみると、「加入している」は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合が高く、男性70歳以上（86.7%）と女性70歳以上（84.6%）で8割台と高くなっている。（図1-14-2）

図1-14-2 区・自治会への加入（性・年齢別）

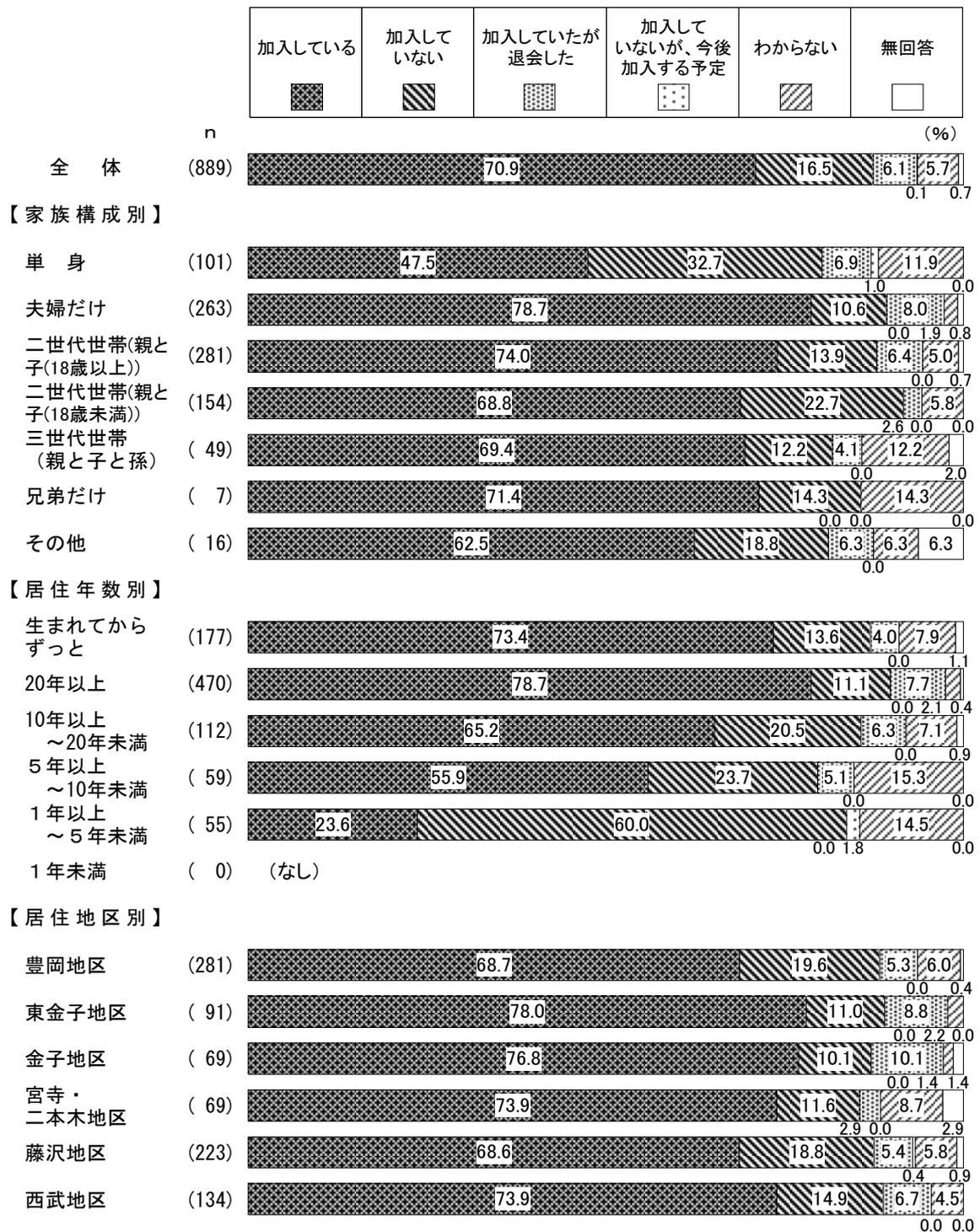


家族構成別にみると、「加入している」は“夫婦だけ”（78.7%）で8割近くと高くなっている。一方、「加入していない」は“単身”（32.7%）で3割を超えて高くなっている。

居住年数別にみると、「加入している」は“20年以上”（78.7%）で8割近くと高くなっている。一方、「加入していない」は“1年以上～5年未満”（60.0%）で6割と高くなっている。

居住地区別にみると、「加入している」は東金子地区（78.0%）と金子地区（76.8%）で8割近くと高くなっている。（図1-14-3）

図1-14-3 区・自治会への加入（家族構成別、居住年数別、居住地区別）



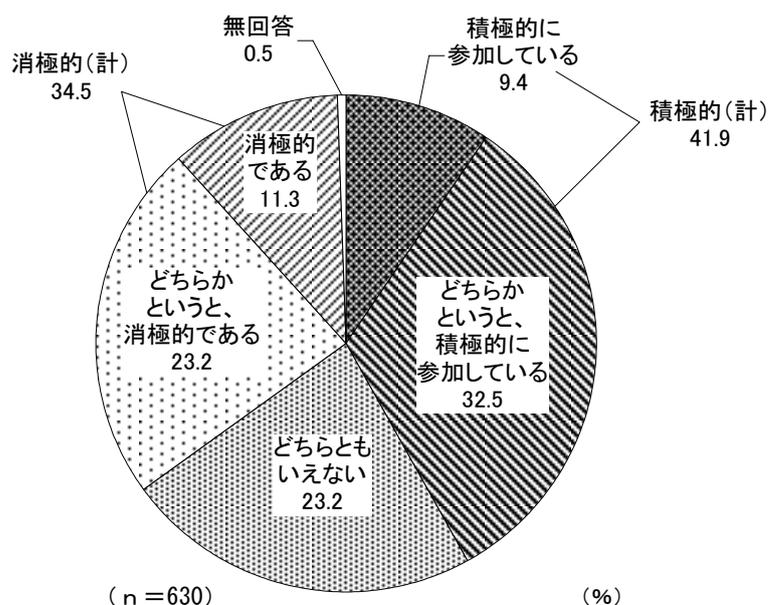
### (15) 地域活動への参加

◇『積極的（計）』が4割を超える

(問9で、「加入している」と答えた方に)

問9-1 区・自治会などの地域活動にどの程度参加をしていますか。次の中から1つ選んでください。

図1-15-1

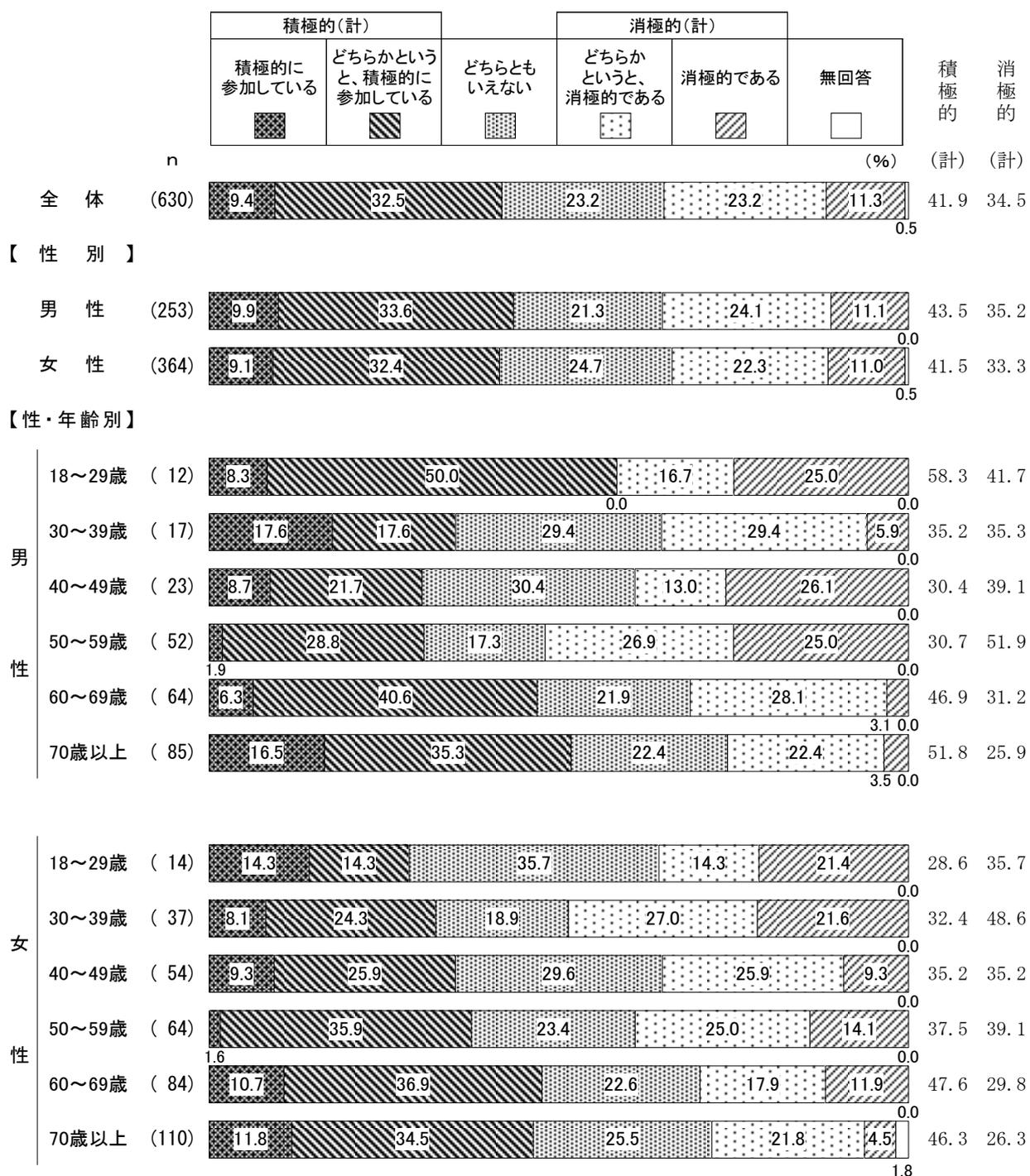


区・自治会に「加入している」と答えた人(630人)に、地域活動への参加について聞いたところ、「積極的に参加している」(9.4%)と「どちらかという、積極的に参加している」(32.5%)を合わせた『積極的(計)』(41.9%)は4割を超えている。一方、「どちらかという、消極的である」(23.2%)と「消極的である」(11.3%)を合わせた『消極的(計)』(34.5%)は3割半ばとなっている。(図1-15-1)

性別にみると、「どちらともいえない」は女性（24.7%）が男性（21.3%）より3.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『積極的（計）』は男性18～29歳（58.3%）で6割近くと高くなっている。一方、『消極的（計）』は男性50～59歳（51.9%）で5割を超えて高くなっている。（図1-15-2）

図1-15-2 地域活動への参加（性・年齢別）

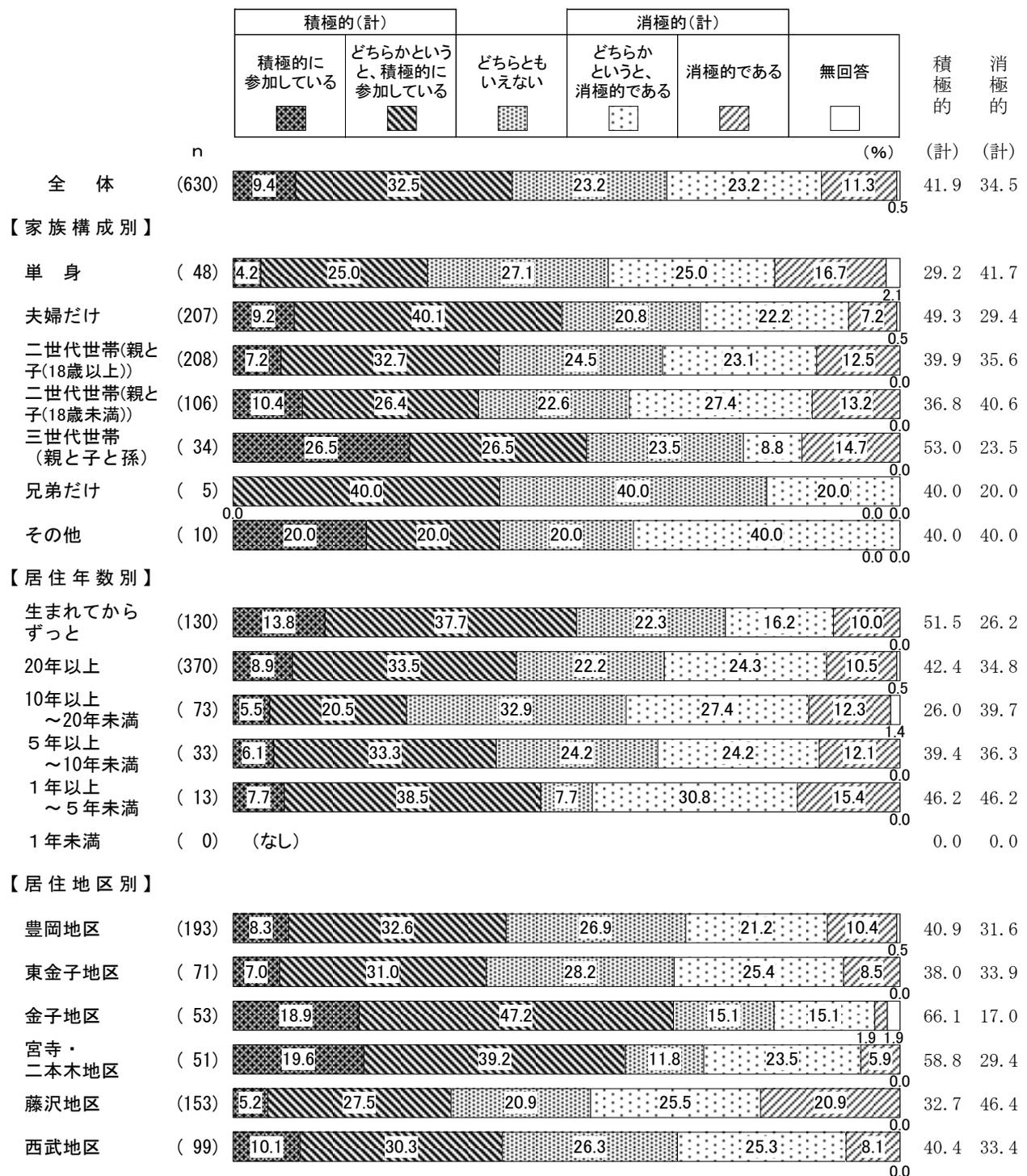


家族構成別にみると、『積極的（計）』は“三世代世帯（親と子と孫）”（53.0%）で5割を超えて高くなっている。一方、『消極的（計）』は“単身”（41.7%）で4割を超えて高くなっている。

居住年数別にみると、『積極的（計）』は“生まれてからずっと”（51.5%）で5割を超えて高くなっている。一方、『消極的（計）』は“10年以上～20年未満”（39.7%）で4割と高くなっている。

居住地区別にみると、『積極的（計）』は金子地区（66.1%）で6割半ばと高くなっている。一方、『消極的（計）』は藤沢地区（46.4%）で4割半ばと高くなっている。（図1-15-3）

図1-15-3 地域活動への参加（家族構成別、居住年数別、居住地区別）



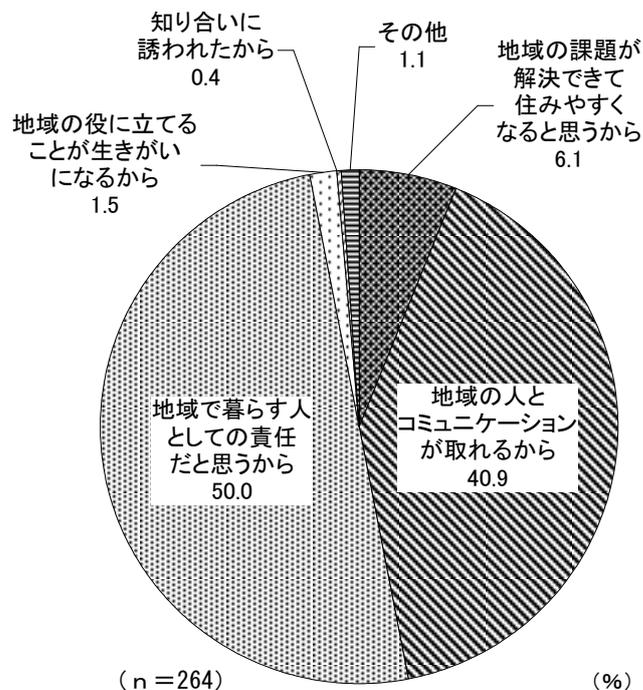
## (16) 地域活動に参加する主な理由

◇「地域で暮らす人としての責任だと思ふから」が5割

(問9-1で、「積極的に参加している」「どちらかという、積極的に参加している」と答えた方に)

問9-2 参加する主な理由を1つ選んでください。

図1-16-1

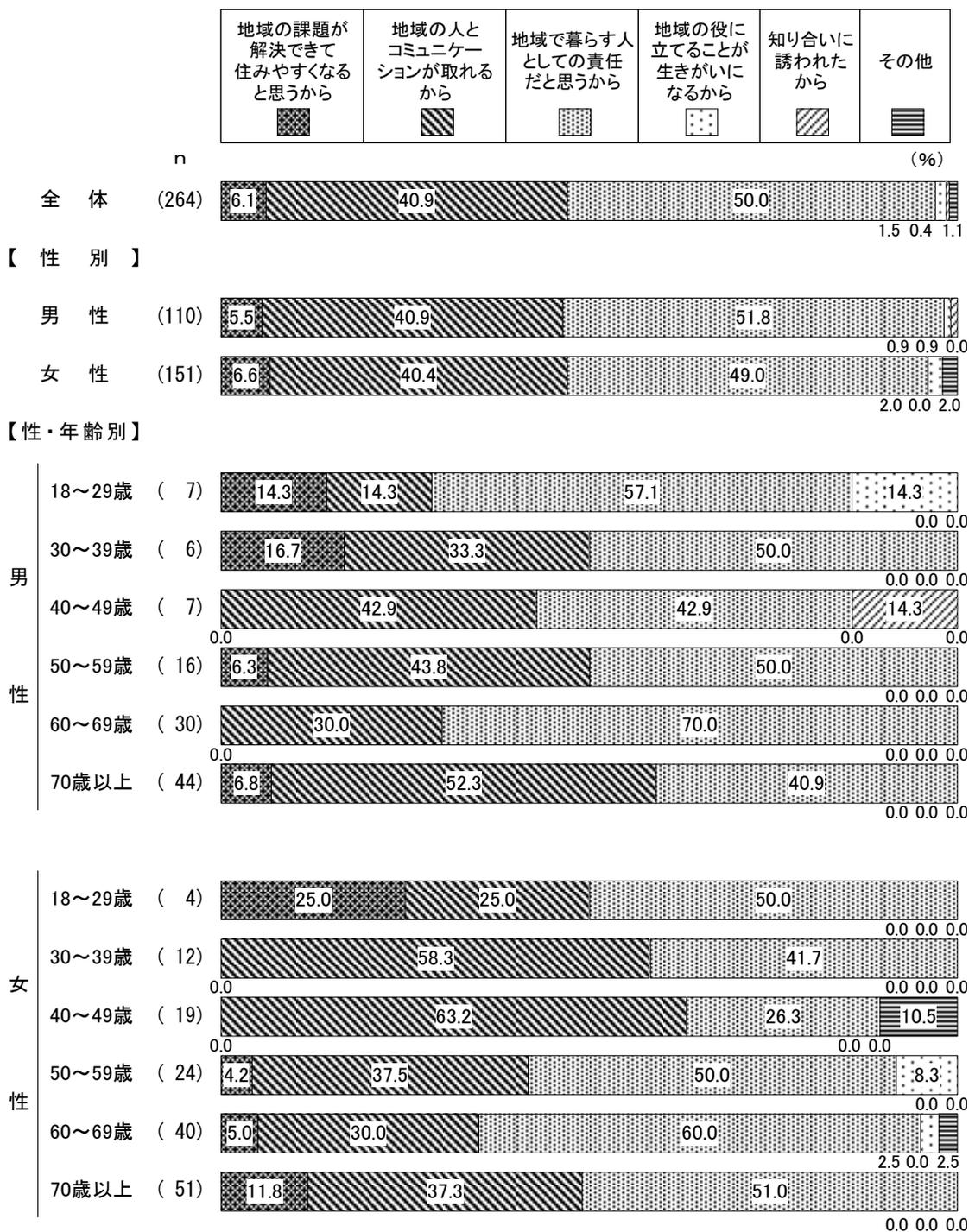


地域活動に「積極的に参加している」「どちらかという、積極的に参加している」と答えた人(264人)に、地域活動に参加する主な理由について聞いたところ、「地域で暮らす人としての責任だと思ふから」(50.0%)が5割で最も高く、次いで「地域の人とコミュニケーションが取れるから」(40.9%)、「地域の課題が解決できて住みやすくなると思ふから」(6.1%)などの順となっている。(図1-16-1)

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年齢別にみると、「地域の人とコミュニケーションが取れるから」は男性70歳以上（52.3%）で5割を超えて高くなっている。「地域で暮らす人としての責任だと思ふから」は男性60～69歳（70.0%）で7割と高くなっている。（図1-16-2）

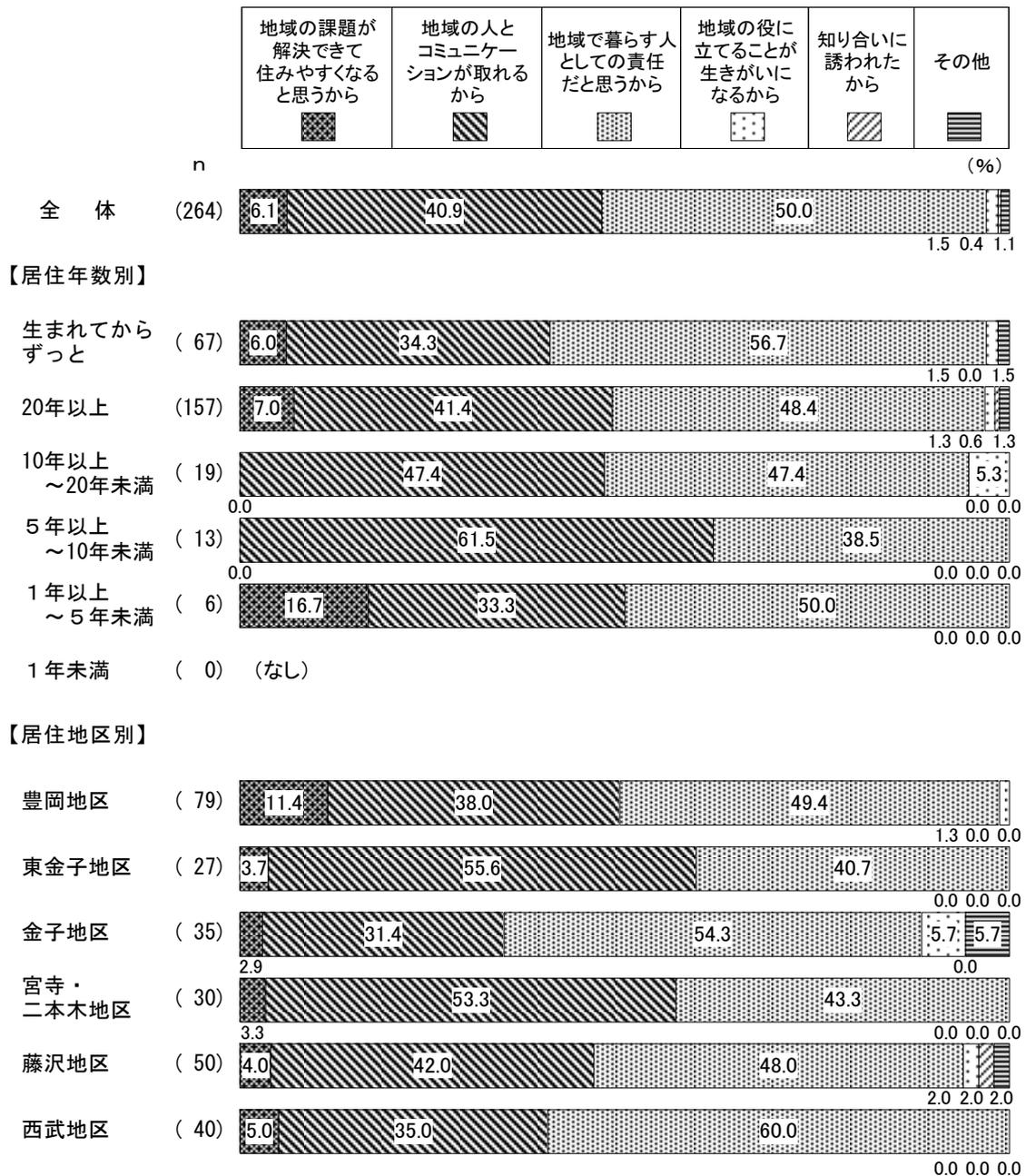
図1-16-2 地域活動に参加する主な理由（性・年齢別）



居住年数別にみると、「地域で暮らす人としての責任だと思ふから」は“生まれてからずっと”(56.7%)で6割近くと高くなっている。

居住地区別にみると、「地域の人とコミュニケーションが取れるから」は東金子地区(55.6%)で5割半ばと高くなっている。「地域で暮らす人としての責任だと思ふから」は西武地区(60.0%)で6割と高くなっている。(図1-16-3)

図1-16-3 地域活動に参加する主な理由(居住年数別、居住地区別)

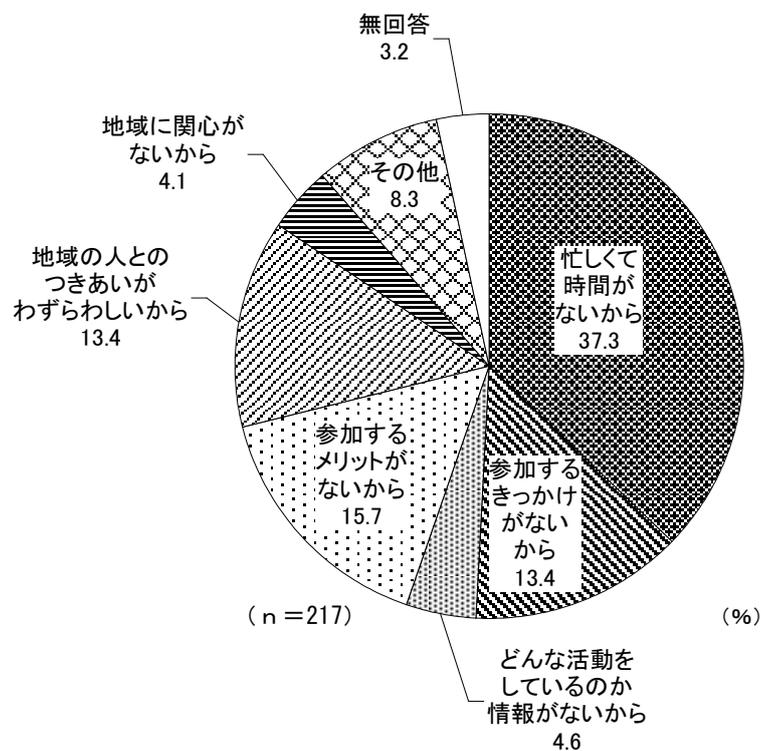


### (17) 地域活動に消極的な理由

◇「忙しくて時間がないから」が4割近く

(問9-1で、「どちらかというと、消極的である」「消極的である」と答えた方に)  
問9-3 地域活動の参加に対して消極的な理由を1つ選んでください。

図1-17-1

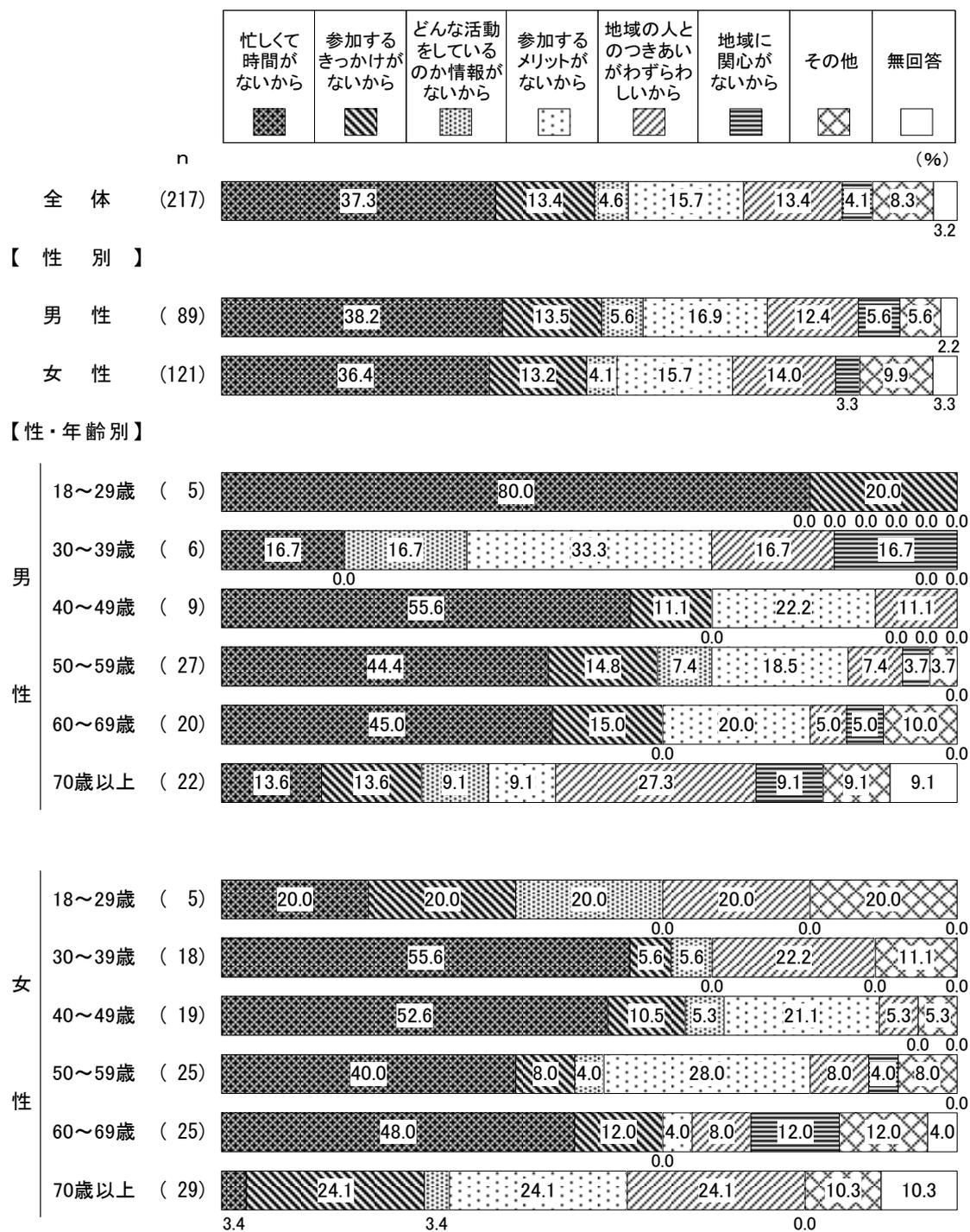


地域活動への参加に「どちらかというと、消極的である」「消極的である」と答えた人(217人)に、その理由について聞いたところ、「忙しくて時間がないから」(37.3%)が4割近くで最も高く、次いで「参加するメリットがないから」(15.7%)、「参加するきっかけがないから」と「地域の人とのつきあいがわずらわしいから」(ともに13.4%)などの順となっている。(図1-17-1)

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年齢別にみると、「忙しくて時間がないから」は女性60～69歳（48.0%）で5割近くと高くなっている。「参加するメリットがないから」は女性50～59歳（28.0%）で3割近くと高くなっている。「地域の人とのつきあいがわずらわしいから」は男性70歳以上（27.3%）で3割近くと高くなっている。（図1-17-2）

図1-17-2 地域活動に消極的な理由（性・年齢別）

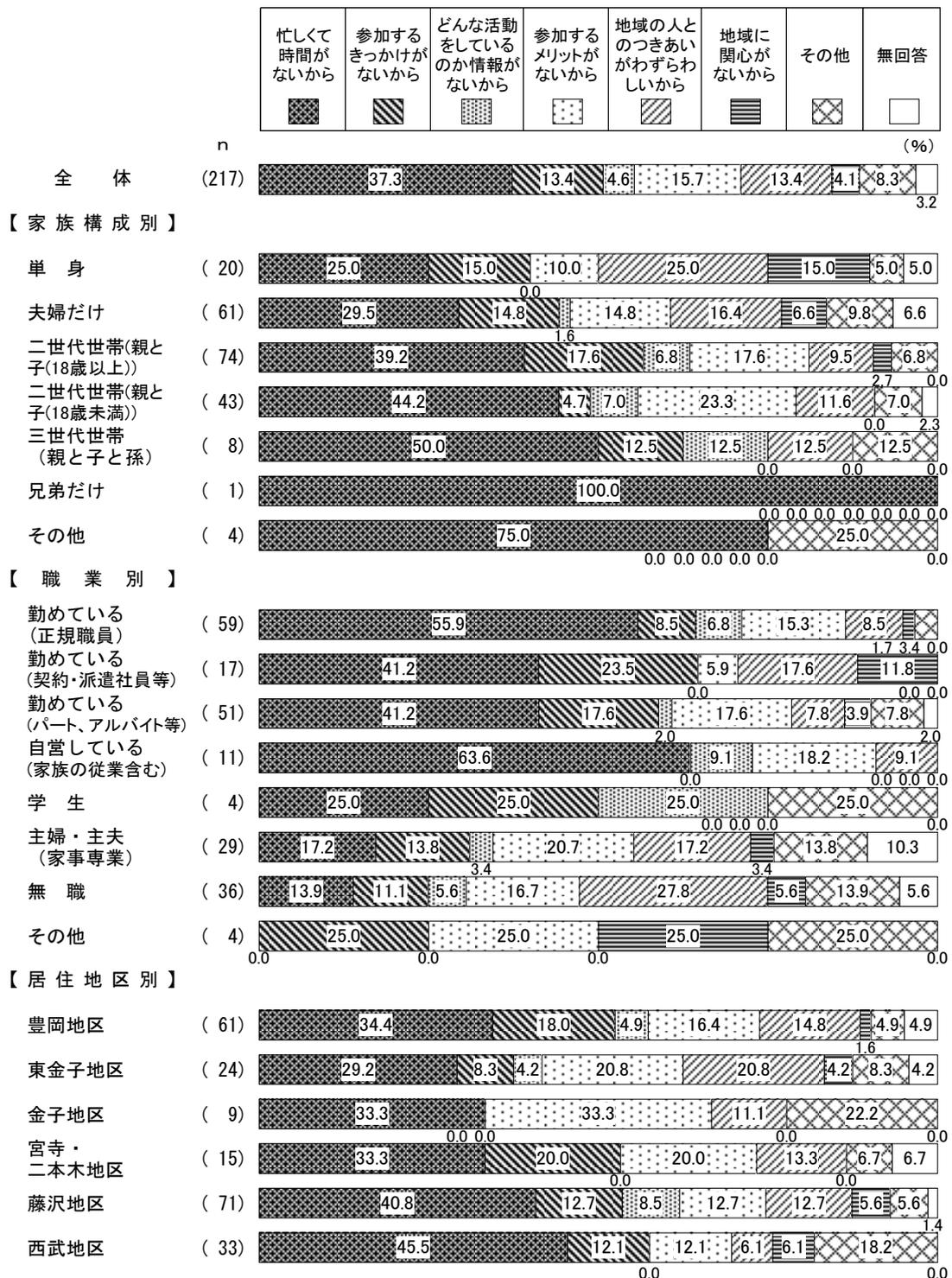


家族構成別にみると、「忙しくて時間がないから」は“二世帯世帯(親と子(18歳未満))”(44.2%)で4割半ばと高くなっている。

職業別にみると、「忙しくて時間がないから」は“勤めている(正規職員)”(55.9%)で5割半ばと高くなっている。「地域の人とのつきあいがわずらわしいから」は“無職”(27.8%)で3割近くと高くなっている。

居住地区別にみると、「忙しくて時間がないから」は西武地区(45.5%)で4割半ばと高くなっている。(図1-17-3)

図1-17-3 地域活動に消極的な理由(家族構成別、職業別、居住地区別)



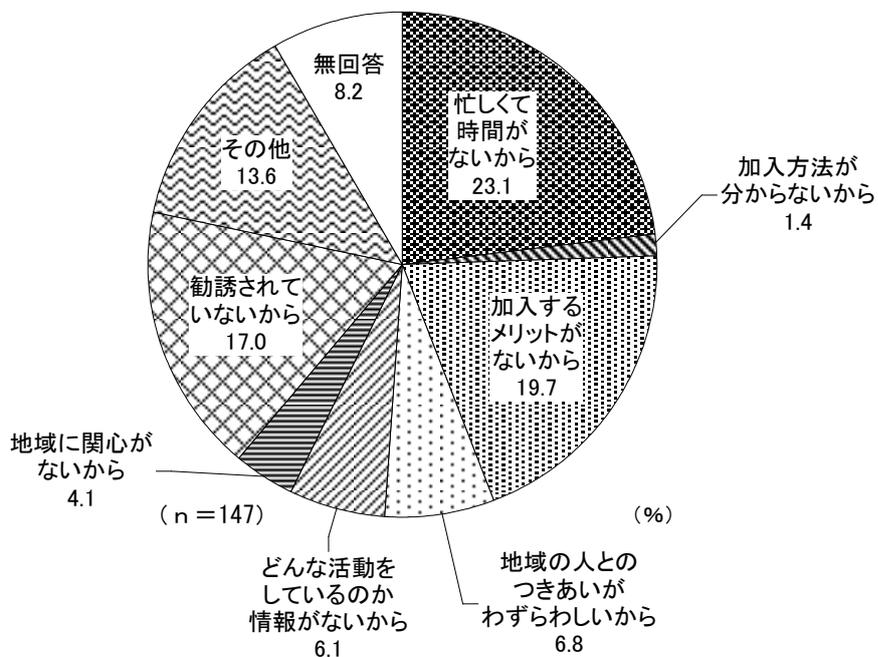
(18) 区・自治会に加入しない主な理由

◇「忙しくて時間がないから」が2割を超える

(問9で、「加入していない」と答えた方に)

問9-4 加入しない主な理由を1つ選んでください。

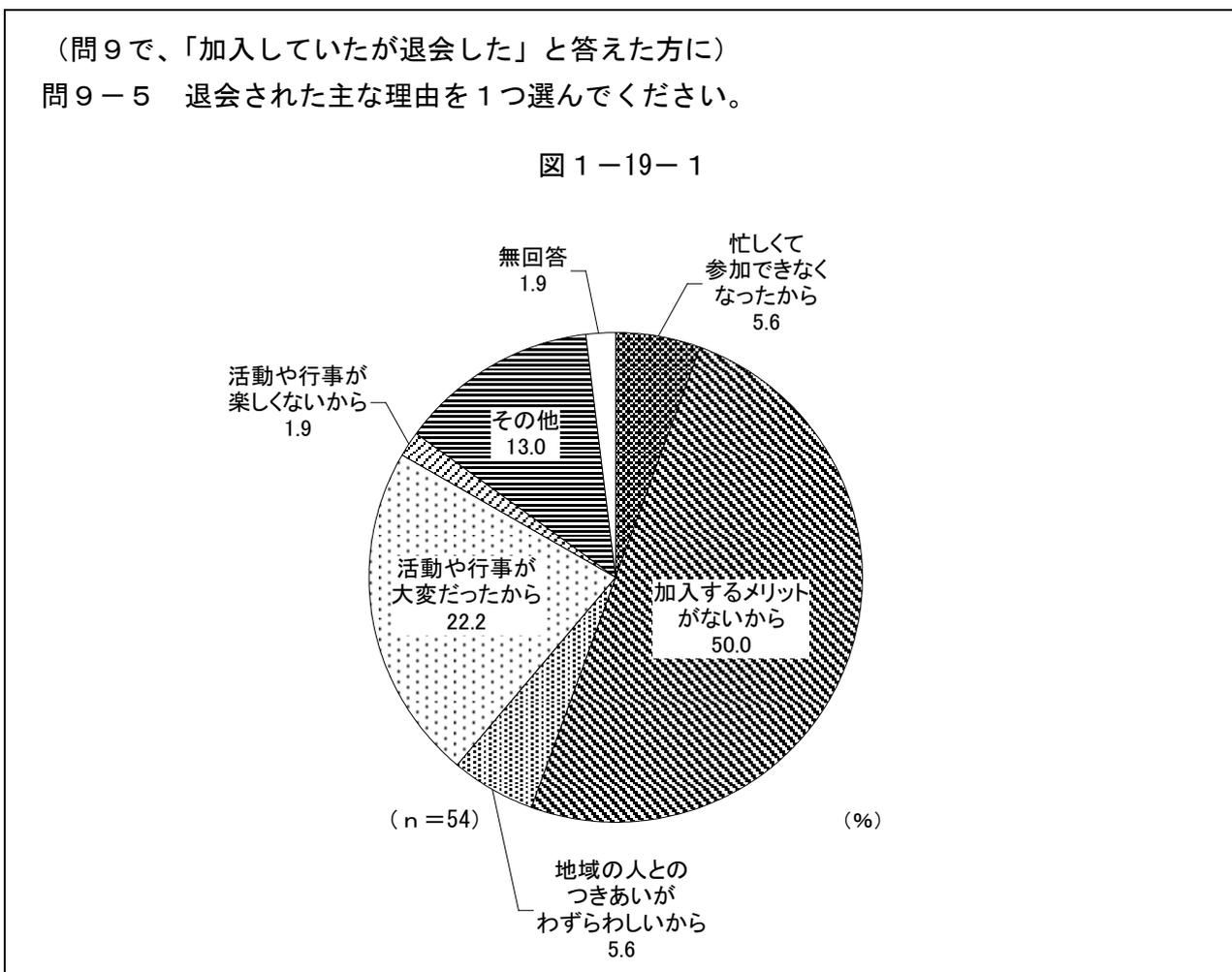
図1-18-1



区・自治会に「加入していない」と答えた人(147人)に、その主な理由について聞いたところ、「忙しくて時間がないから」(23.1%)が2割を超えて最も高く、次いで「加入するメリットがないから」(19.7%)、「勧誘されていないから」(17.0%)、「地域の人とのつきあいがわずらわしいから」(6.8%)などの順となっている。(図1-18-1)

(19) 区・自治会を退会した主な理由

◇「加入するメリットがないから」が5割



区・自治会に「加入していたが退会した」と答えた人(54人)に、その主な理由について聞いたところ、「加入するメリットがないから」(50.0%)が5割で最も高く、次いで「活動や行事が大変だったから」(22.2%)などの順となっている。(図1-19-1)

## 2. 生活環境について

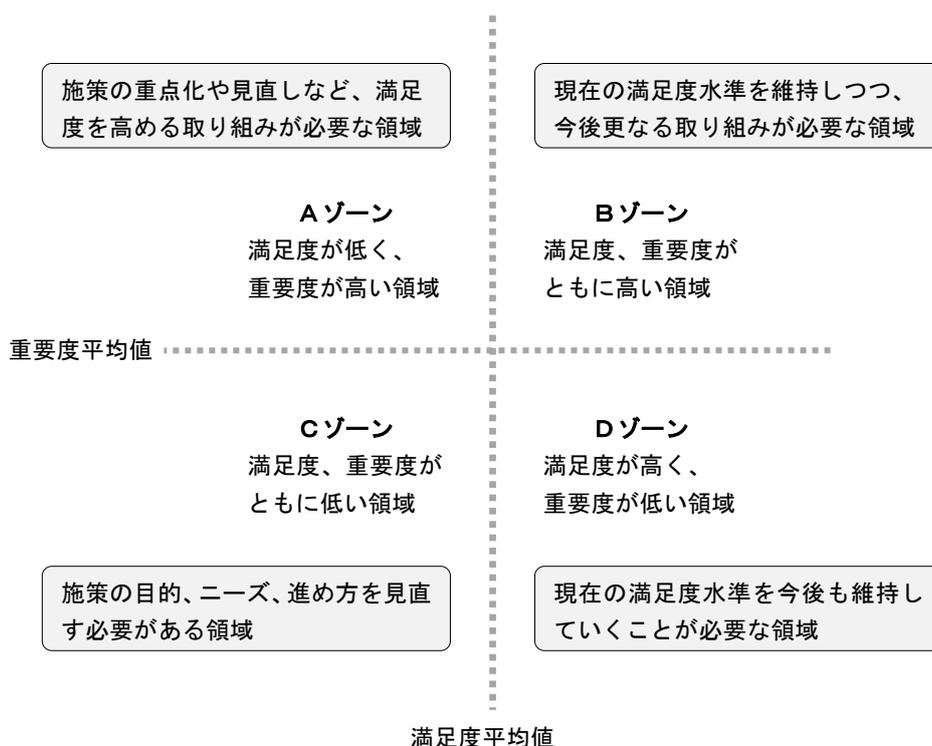
### (1) 生活環境の満足度と重要度

◇「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」の重要度、満足度がともに高い

問10 あなたは、次のような生活環境項目について、どの程度満足していますか。  
また、市はどの施策に取り組むことが重要だと思えますか。あなたのお気持ちに最も近いものを1つずつ選んでください。

#### 【満足度と重要度について】

入間市の生活環境項目を満足度と重要度の観点から、下図のように4つの領域に区分することができる。



#### 【満足度と重要度を把握する上での留意点】

- ・上記の「高い」や「低い」は満足度、重要度それぞれの平均を基準にしている。
- ・各施策は、加重平均値に基づき上記のA～Dのいずれかの領域に分類されるが、満足度、重要度の平均値（特に満足度、重要度の平均値のクロスする点）に近い施策については、隣接する領域との明確な差があるとは言えないため、単純に各領域に分類することは難しい。
- ・相関図は、満足度、重要度により施策を相対的に分類し、市民の意識を把握することや施策の方向性、進め方等を検討する際の参考として活用するものであり、分析結果が施策の順位付けに直結するものではない。また、たとえ重要度が低いとされた施策であっても、法律に基づいて実施するものや、将来を見据えて実施すべきもの、市の地域特性や課題への対応、緊急性を要するものなどもあり、個別に慎重な検討を行う必要がある。

## 【満足度と重要度の算出方法】

各施策の満足度と重要度については、以下の方法で回答結果を整理し算出した。

### ①満足度と重要度の集計結果

施策ごとに満足度と重要度の集計結果を示している。満足度と重要度は以下に示す加重平均値を算出する方法で点数化した。

#### 【満足度】

とても満足：2点、やや満足：1点、どちらともいえない：0点、やや不満：-1点、非常に不満：-2点とし、項目ごとの回答結果を（「とても満足」の件数×2点+「やや満足」の件数×1点+「どちらともいえない」の件数×0点+「やや不満」の件数×-1点+「非常に不満」の件数×-2点）÷（回答者件数 - 無回答件数）として算出。

#### 【重要度】

とても重要：2点、やや重要：1点、どちらともいえない：0点、あまり重要ではない：-1点、重要ではない：-2点とし、項目ごとの回答結果を（「とても重要」の件数×2点+「やや重要」の件数×1点+「どちらともいえない」の件数×0点+「あまり重要ではない」の件数×-1点+「重要ではない」の件数×-2点）÷（回答者件数 - 無回答件数）として算出。

### ②満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度それぞれの加重平均値をもとに、横軸に満足度、縦軸に重要度を設定し、42の施策を散布図上に示したものが相関図である。

## 生活環境の満足度と重要度（全体）

満足度と重要度がともに高い項目は、「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「防災対策や体制」などとなっている。満足度と重要度がともに低い項目は「外国人市民への支援」、「コミュニティ活動への支援」、「社会教育活動・文化サークル活動」、「文化施設や文化活動内容」、「博物館施設やサービス」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。

前回調査と比較すると、満足度の平均値は前回調査の0.268から0.305へ上昇している。

42項目の順位では、「ごみ収集・処理」、「消防・救急施設や体制」、「市職員の対応」、「図書館施設やサービス」などの順位が上がる一方、「下水道整備」、「鉄道利用の便と路線網」、「公園・緑地整備」、「日常生活の便利さ」などの順位が下がっている。（図2-1-1、表2-1-1）

図2-1-1 生活環境の満足度と重要度（全体）

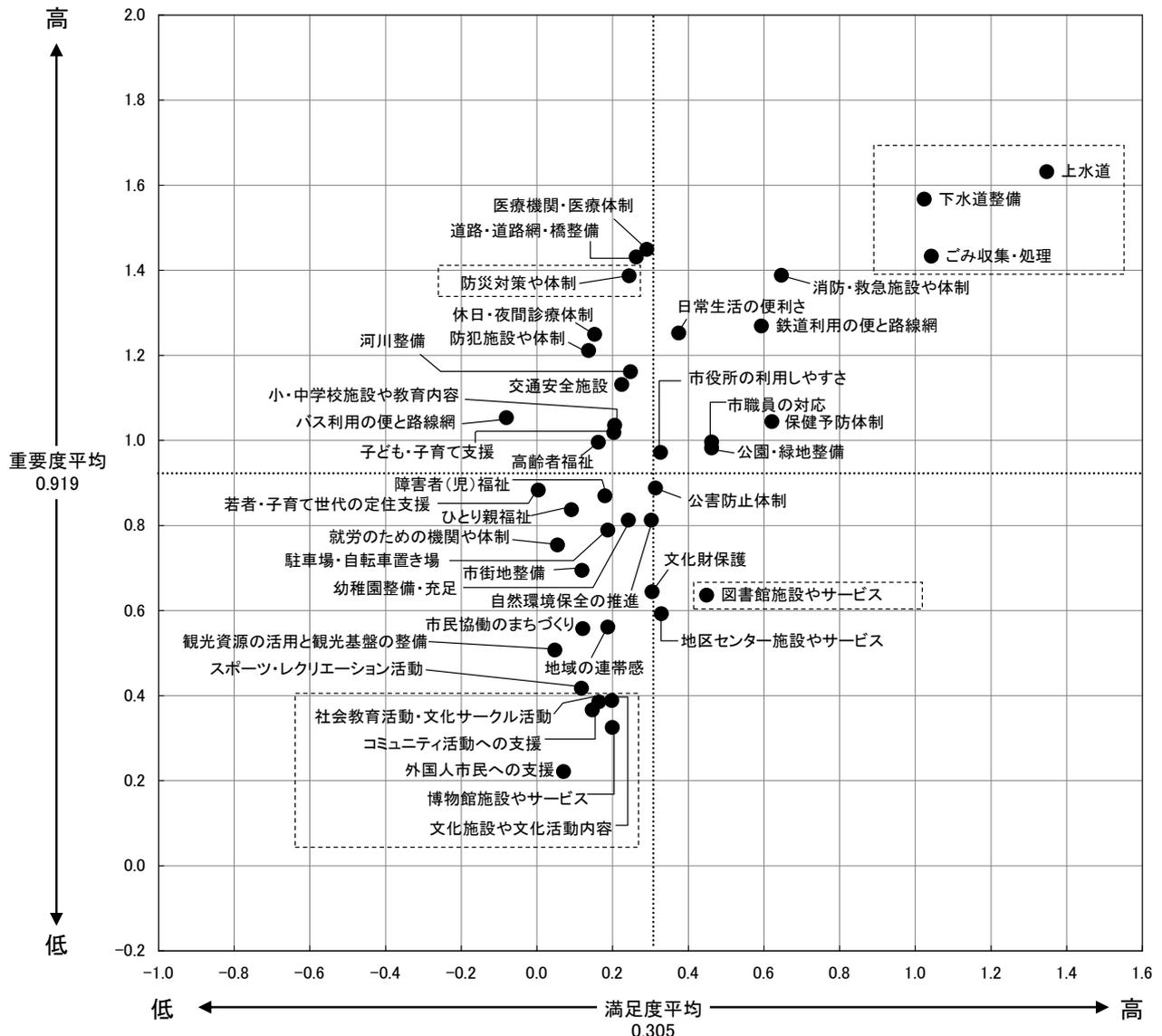


表2-1-1 生活環境項目の満足度と重要度（全体）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	前回 満足度	満足度 前回順位	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.348	1.303	1	1.631
2	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	1.043	0.939	3	1.433
3	公共下水道の整備	下水道整備	1.024	1.036	2	1.567
4	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.647	0.454	6	1.388
5	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.622	0.545	5	1.044
6	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.594	0.554	4	1.269
7	市職員の対応	市職員の対応	0.462	0.430	9	0.996
8	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.462	0.453	7	0.982
9	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.449	0.394	10	0.636
10	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.375	0.451	8	1.252
11	地区センターの施設やサービス	地区センター施設やサービス	0.329	0.297	12	0.592
12	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.327	0.333	11	0.971
13	騒音などの公害防止体制	公害防止体制	0.314	0.164	22	0.888
14	文化財などの保護	文化財保護	0.305	0.222	16	0.644
15	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.303	0.253	13	0.812
16	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.291	0.231	15	1.449
17	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.263	0.200	20	1.431
18	河川の整備	河川整備	0.248	0.141	29	1.161
19	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.244	0.148	28	1.387
20	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.242	0.215	18	0.812
21	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.225	0.116	32	1.131
22	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.206	0.164	23	1.035
23	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.204	0.134	30	1.018
24	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.200	0.218	17	0.325
25	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.198	0.204	19	0.388
26	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.188	0.246	14	0.789
27	地域の連帯感	地域の連帯感	0.188	0.155	25	0.561
28	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)福祉	0.180	0.175	21	0.869
29	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.164	0.154	26	0.385
30	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.163	0.152	27	0.995
31	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.153	0.093	35	1.249
32	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.147	0.129	31	0.366
33	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.137	0.099	34	1.211
34	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.122	0.101	33	0.557
35	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.120	0.083	36	0.694
36	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.118	0.156	24	0.417
37	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.092	0.062	38	0.837
38	外国人市民への支援	外国人市民への支援	0.071	0.068	37	0.221
39	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.055	0.013	41	0.754
40	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.048	0.040	39	0.507
41	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.004	0.027	40	0.883
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.080	-0.101	42	1.053
平均			0.305	0.268	-	0.919

※「地区センターの施設やサービス」は、前回調査では「公民館の施設や活動内容」としていた。

※「騒音などの公害防止体制」は、前回調査では「騒音・受動喫煙などの公害防止体制」としていた。

※「外国人市民への支援」は、前回調査では「国際交流・多文化共生の推進」としていた。

## 生活環境の満足度と重要度（豊岡地区）

豊岡地区の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「道路・道路網・橋整備」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「外国人市民への支援」、「コミュニティ活動への支援」、「社会教育活動・文化サークル活動」、「博物館施設やサービス」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-2、表2-1-2）

図2-1-2 生活環境の満足度と重要度（豊岡地区）

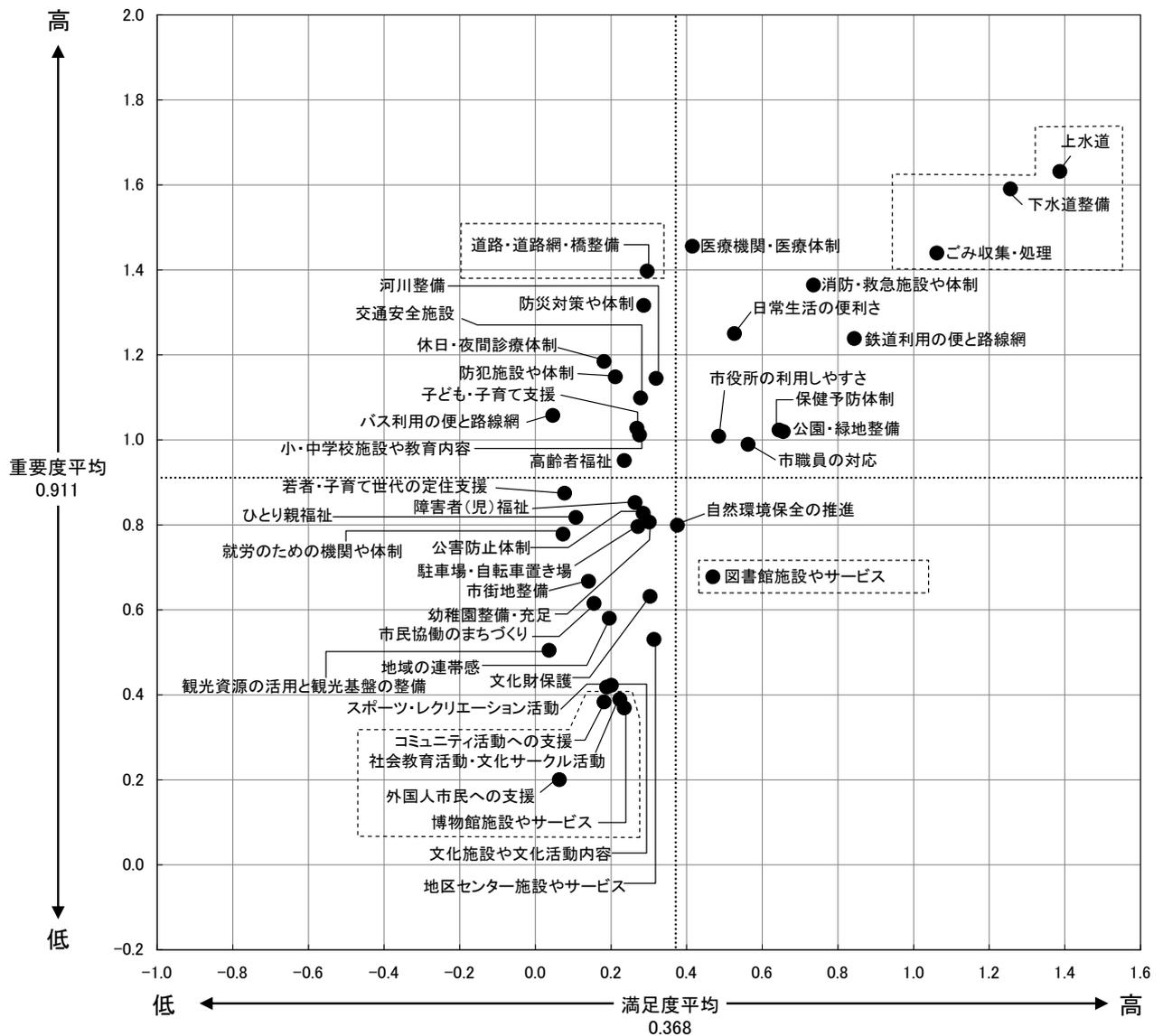


表 2-1-2 生活環境項目の満足度と重要度（豊岡地区）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.387	1.631
2	公共下水道の整備	下水道整備	1.257	1.590
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	1.062	1.439
4	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.844	1.238
5	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.736	1.364
6	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.656	1.019
7	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.645	1.023
8	市職員の対応	市職員の対応	0.563	0.989
9	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.527	1.250
10	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.485	1.008
11	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.470	0.677
12	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.416	1.455
13	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.376	0.799
14	河川の整備	河川整備	0.320	1.144
15	地区センターの施設やサービス	地区センター施設やサービス	0.314	0.530
16	文化財などの保護	文化財保護	0.304	0.631
17	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.302	0.806
18	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.296	1.397
19	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.287	1.316
20	騒音などの公害防止体制	公害防止体制	0.286	0.827
21	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.279	1.098
22	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.276	1.011
23	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.272	0.796
24	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.269	1.027
25	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.264	0.852
26	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.236	0.951
27	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.236	0.369
28	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.224	0.389
29	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.212	1.148
30	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.202	0.422
31	地域の連帯感	地域の連帯感	0.196	0.580
32	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.189	0.418
33	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.182	1.184
34	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.182	0.383
35	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.156	0.615
36	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.141	0.667
37	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.108	0.817
38	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.078	0.874
39	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.074	0.778
40	外国人市民への支援	外国人市民への支援	0.064	0.200
41	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	0.047	1.057
42	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.037	0.504
平均			0.368	0.911

## 生活環境の満足度と重要度（東金子地区）

東金子地区の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「道路・道路網・橋整備」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「社会教育活動・文化サークル活動」、「外国人市民への支援」、「博物館施設やサービス」、「コミュニティ活動への支援」など、満足度が高く重要度が低い項目は「公害防止体制」などとなっている。（図2-1-3、表2-1-3）

図2-1-3 生活環境の満足度と重要度（東金子地区）

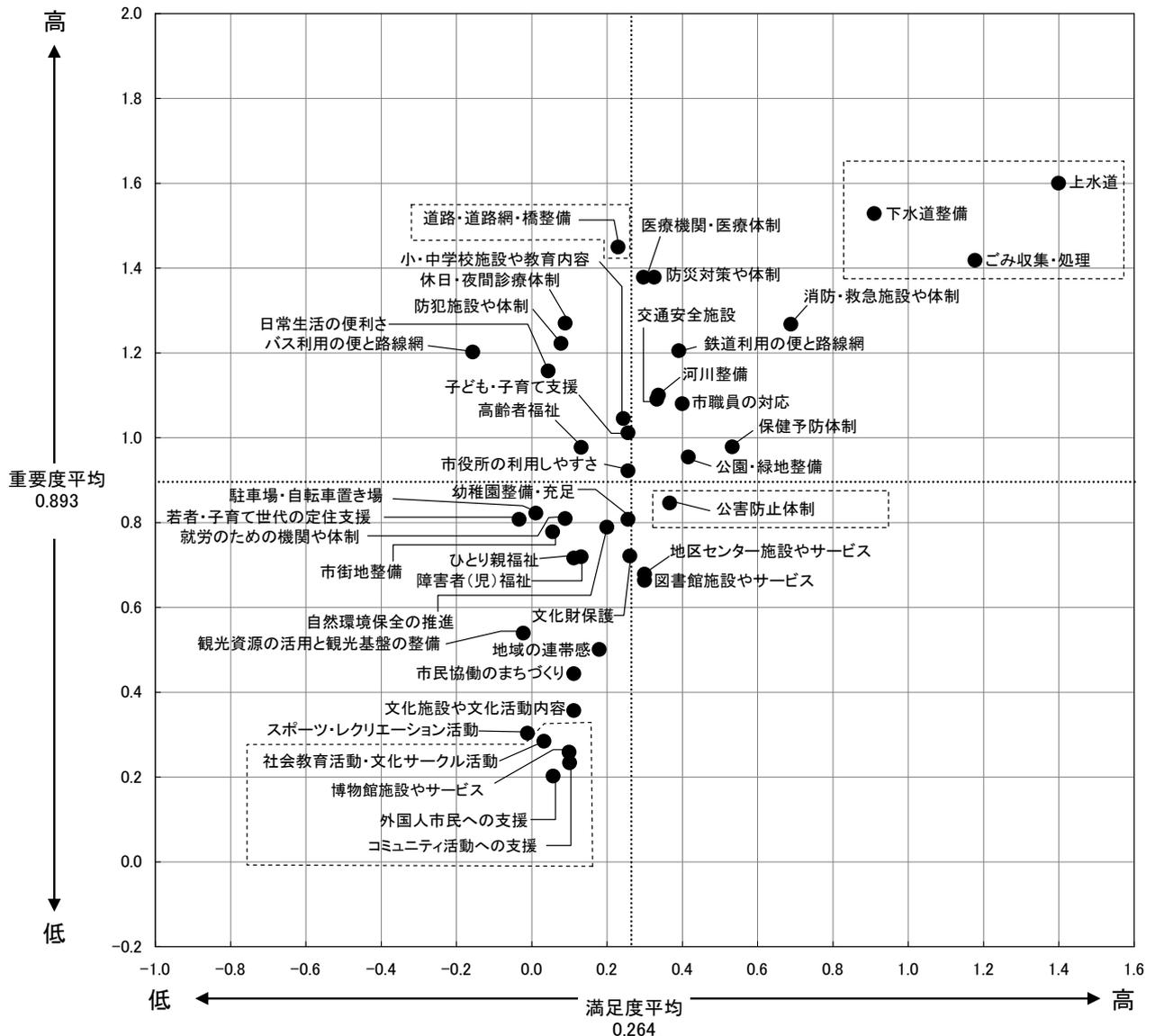


表2-1-3 生活環境項目の満足度と重要度（東金子地区）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.400	1.600
2	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	1.178	1.418
3	公共下水道の整備	下水道整備	0.910	1.528
4	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.689	1.267
5	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.533	0.978
6	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.416	0.954
7	市職員の対応	市職員の対応	0.400	1.080
8	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.391	1.205
9	騒音などの公害防止体制	公害防止体制	0.367	0.846
10	河川の整備	河川整備	0.337	1.100
11	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.333	1.090
12	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.326	1.378
13	地区センターの施設やサービス	地区センター施設やサービス	0.300	0.678
14	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.300	0.663
15	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.297	1.378
16	文化財などの保護	文化財保護	0.261	0.721
17	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.256	1.011
18	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.256	0.922
19	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.256	0.807
20	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.244	1.045
21	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.230	1.449
22	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.200	0.789
23	地域の連帯感	地域の連帯感	0.180	0.500
24	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.132	0.977
25	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.132	0.719
26	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.112	0.716
27	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.112	0.443
28	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.112	0.356
29	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.101	0.233
30	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.100	0.258
31	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.089	1.270
32	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.089	0.809
33	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.078	1.222
34	外国人市民への支援	外国人市民への支援	0.057	0.202
35	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.056	0.778
36	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.044	1.157
37	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.033	0.284
38	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.011	0.822
39	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	-0.011	0.303
40	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	-0.022	0.539
41	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	-0.033	0.807
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.156	1.202
平均			0.264	0.893

## 生活環境の満足度と重要度（金子地区）

金子地区の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「医療機関・医療体制」、「道路・道路網・橋整備」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「観光資源の活用と観光基盤の整備」、「外国人市民への支援」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。

（図2-1-4、表2-1-4）

図2-1-4 生活環境の満足度と重要度（金子地区）

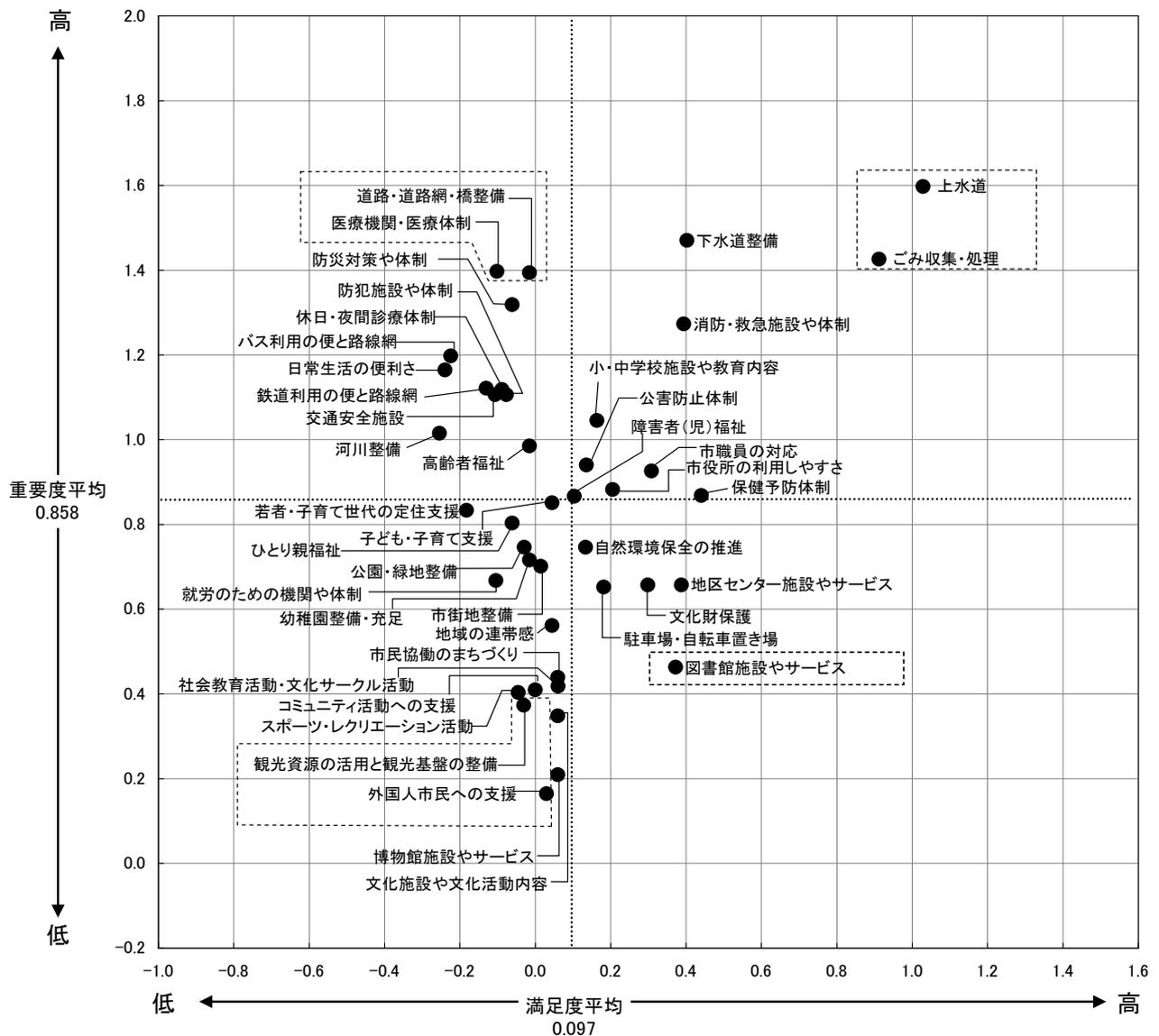


表 2-1-4 生活環境項目の満足度と重要度（金子地区）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.029	1.597
2	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.912	1.426
3	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.441	0.868
4	公共下水道の整備	下水道整備	0.403	1.470
5	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.394	1.273
6	地区センターの施設やサービス	地区センター施設やサービス	0.388	0.657
7	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.373	0.463
8	市職員の対応	市職員の対応	0.309	0.926
9	文化財などの保護	文化財保護	0.299	0.657
10	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.206	0.882
11	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.182	0.652
12	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.164	1.045
13	騒音などの公害防止体制	公害防止体制	0.136	0.940
14	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.134	0.746
15	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.104	0.866
16	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.061	0.418
17	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.060	0.439
18	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.060	0.348
19	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.060	0.209
20	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.045	0.851
21	地域の連帯感	地域の連帯感	0.045	0.561
22	外国人市民への支援	外国人市民への支援	0.030	0.164
23	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.015	0.701
24	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.000	0.409
25	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	-0.015	1.394
26	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	-0.015	0.985
27	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	-0.015	0.716
28	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	-0.029	0.746
29	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	-0.030	0.373
30	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	-0.045	0.403
31	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	-0.061	1.318
32	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	-0.061	0.803
33	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	-0.076	1.106
34	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	-0.088	1.118
35	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	-0.101	1.397
36	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	-0.104	0.667
37	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	-0.106	1.106
38	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	-0.130	1.121
39	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	-0.182	0.833
40	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.224	1.197
41	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	-0.239	1.164
42	河川の整備	河川整備	-0.254	1.015
平均			0.097	0.858

## 生活環境の満足度と重要度（宮寺・二本木地区）

宮寺・二本木地区の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」など、満足度が低く重要度が高い項目は「道路・道路網・橋整備」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「外国人市民への支援」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」、「文化施設や文化活動内容」などとなっている。（図2-1-5、表2-1-5）

図2-1-5 生活環境の満足度と重要度（宮寺・二本木地区）

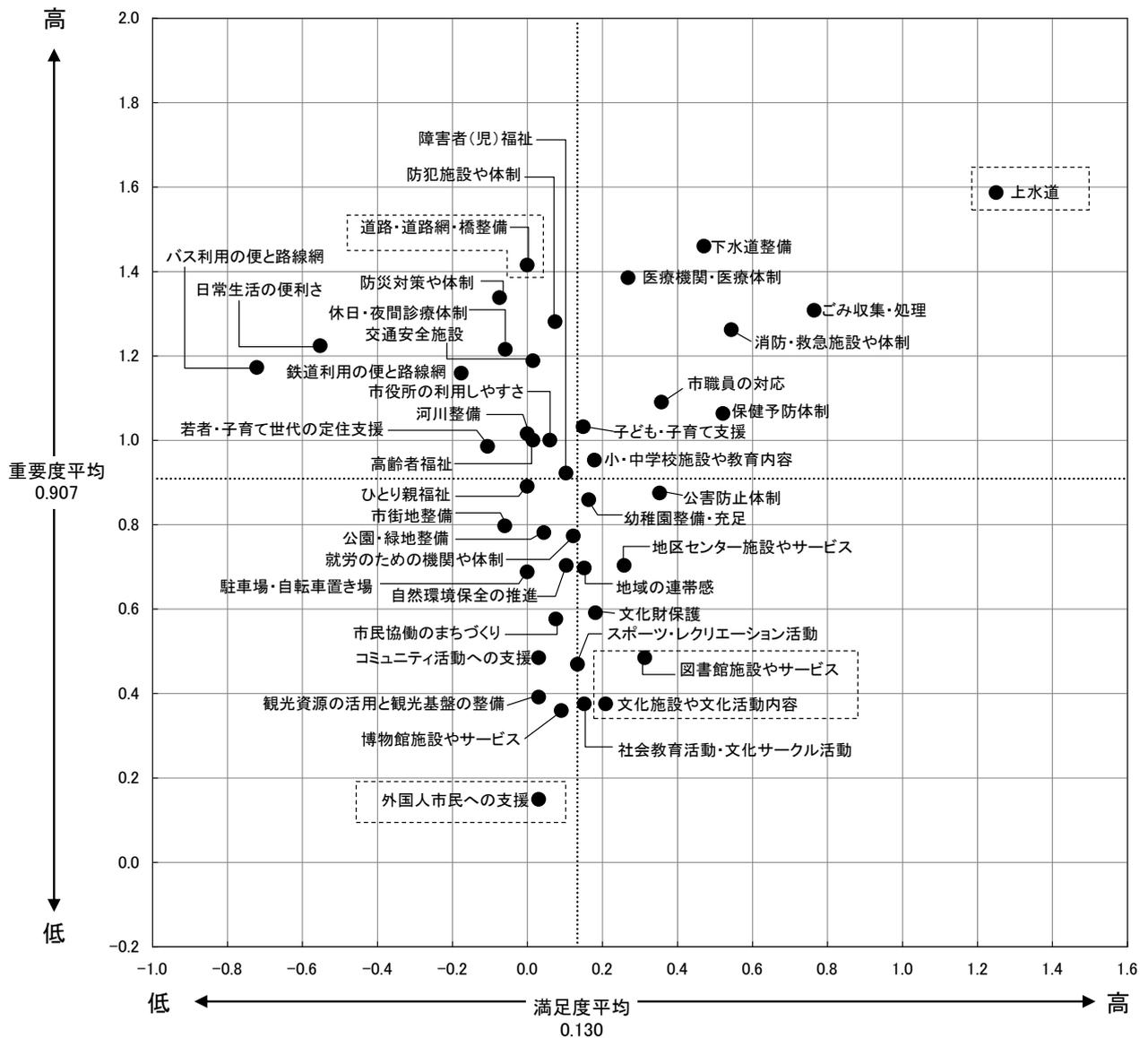


表 2 - 1 - 5 生活環境項目の満足度と重要度（宮寺・二本木地区）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.250	1.587
2	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.765	1.308
3	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.544	1.262
4	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.522	1.063
5	公共下水道の整備	下水道整備	0.471	1.460
6	市職員の対応	市職員の対応	0.358	1.090
7	騒音などの公害防止体制	公害防止体制	0.353	0.875
8	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.313	0.484
9	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.269	1.385
10	地区センターの施設やサービス	地区センター施設やサービス	0.258	0.703
11	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.209	0.375
12	文化財などの保護	文化財保護	0.182	0.591
13	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.179	0.953
14	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.164	0.859
15	地域の連帯感	地域の連帯感	0.152	0.697
16	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.152	0.375
17	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.149	1.032
18	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.134	0.469
19	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.123	0.773
20	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.104	0.703
21	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.103	0.922
22	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.091	0.359
23	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.076	0.576
24	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.074	1.281
25	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.060	1.000
26	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.044	0.781
27	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.030	0.484
28	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.030	0.391
29	外国人市民への支援	外国人市民への支援	0.030	0.149
30	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.015	1.188
31	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.015	1.000
32	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.000	1.415
33	河川の整備	河川整備	0.000	1.015
34	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.000	0.891
35	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.000	0.688
36	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	-0.059	1.215
37	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	-0.060	0.797
38	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	-0.074	1.338
39	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	-0.106	0.985
40	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	-0.176	1.159
41	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	-0.552	1.224
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.721	1.172
平均			0.130	0.907

## 生活環境の満足度と重要度（藤沢地区）

藤沢地区の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「休日・夜間診療体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「外国人市民への支援」、「コミュニティ活動への支援」、「文化施設や文化活動内容」、「博物館施設やサービス」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-6、表2-1-6）

図2-1-6 生活環境の満足度と重要度（藤沢地区）

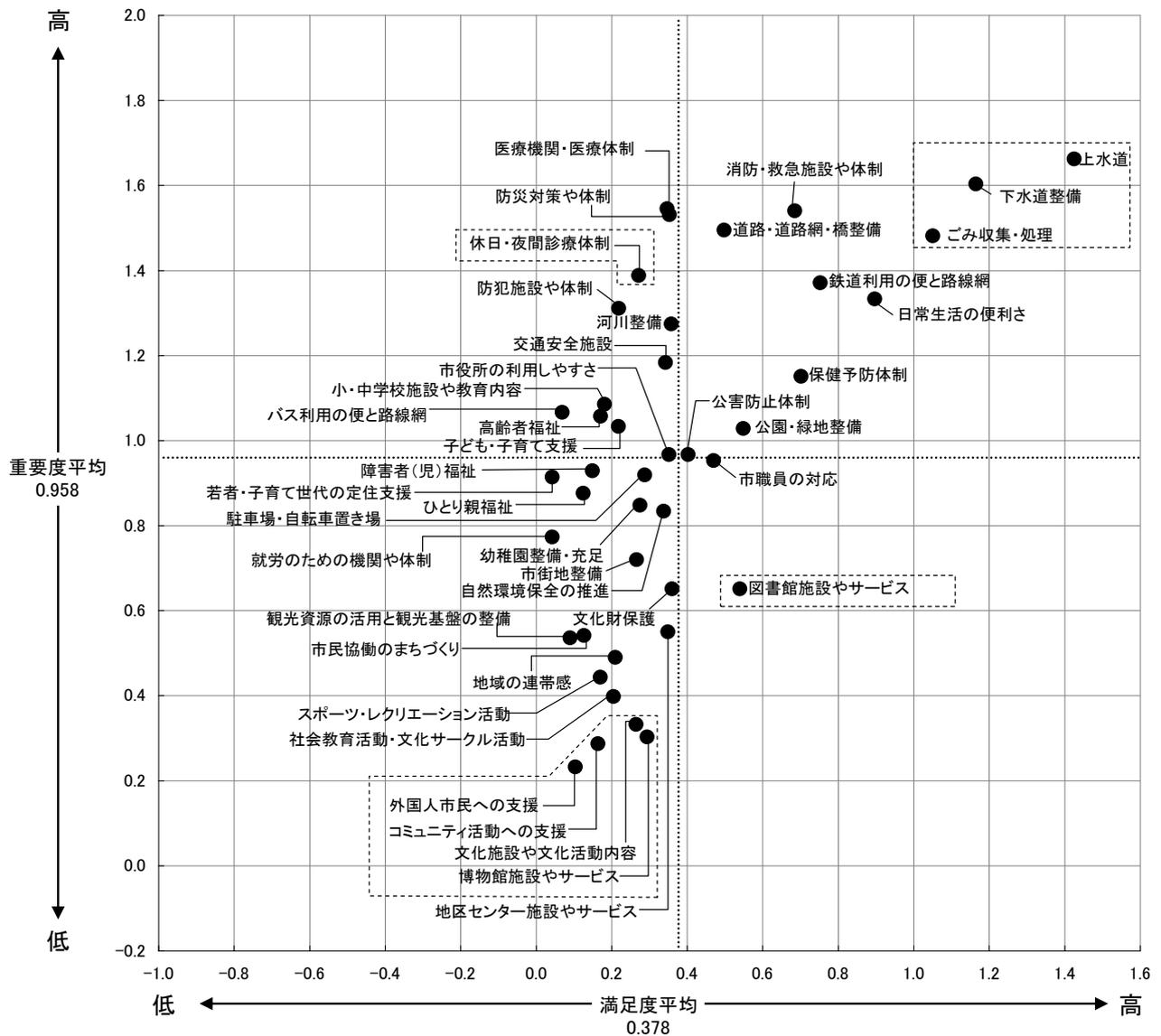


表 2-1-6 生活環境項目の満足度と重要度（藤沢地区）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.425	1.662
2	公共下水道の整備	下水道整備	1.165	1.603
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	1.051	1.481
4	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.897	1.333
5	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.753	1.371
6	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.702	1.151
7	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.685	1.540
8	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.549	1.028
9	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.540	0.651
10	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.498	1.495
11	市職員の対応	市職員の対応	0.470	0.953
12	騒音などの公害防止体制	公害防止体制	0.403	0.967
13	文化財などの保護	文化財保護	0.360	0.651
14	河川の整備	河川整備	0.358	1.274
15	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.353	1.531
16	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.352	0.967
17	地区センターの施設やサービス	地区センター施設やサービス	0.349	0.550
18	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.347	1.545
19	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.343	1.183
20	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.338	0.834
21	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.294	0.303
22	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.288	0.919
23	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.275	0.848
24	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.272	1.388
25	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.266	0.720
26	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.265	0.332
27	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.219	1.311
28	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.218	1.033
29	地域の連帯感	地域の連帯感	0.210	0.490
30	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.205	0.398
31	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.181	1.085
32	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.171	1.057
33	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.170	0.443
34	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.164	0.287
35	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.149	0.929
36	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.127	0.541
37	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.125	0.876
38	外国人市民への支援	外国人市民への支援	0.104	0.232
39	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.090	0.536
40	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	0.069	1.066
41	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.043	0.914
42	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.043	0.773
	平均		0.378	0.958

## 生活環境の満足度と重要度（西武地区）

西武地区の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「道路・道路網・橋整備」、「医療機関・医療体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「外国人市民への支援」、「社会教育活動・文化サークル活動」、「博物館施設やサービス」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-7、表2-1-7）

図2-1-7 生活環境の満足度と重要度（西武地区）

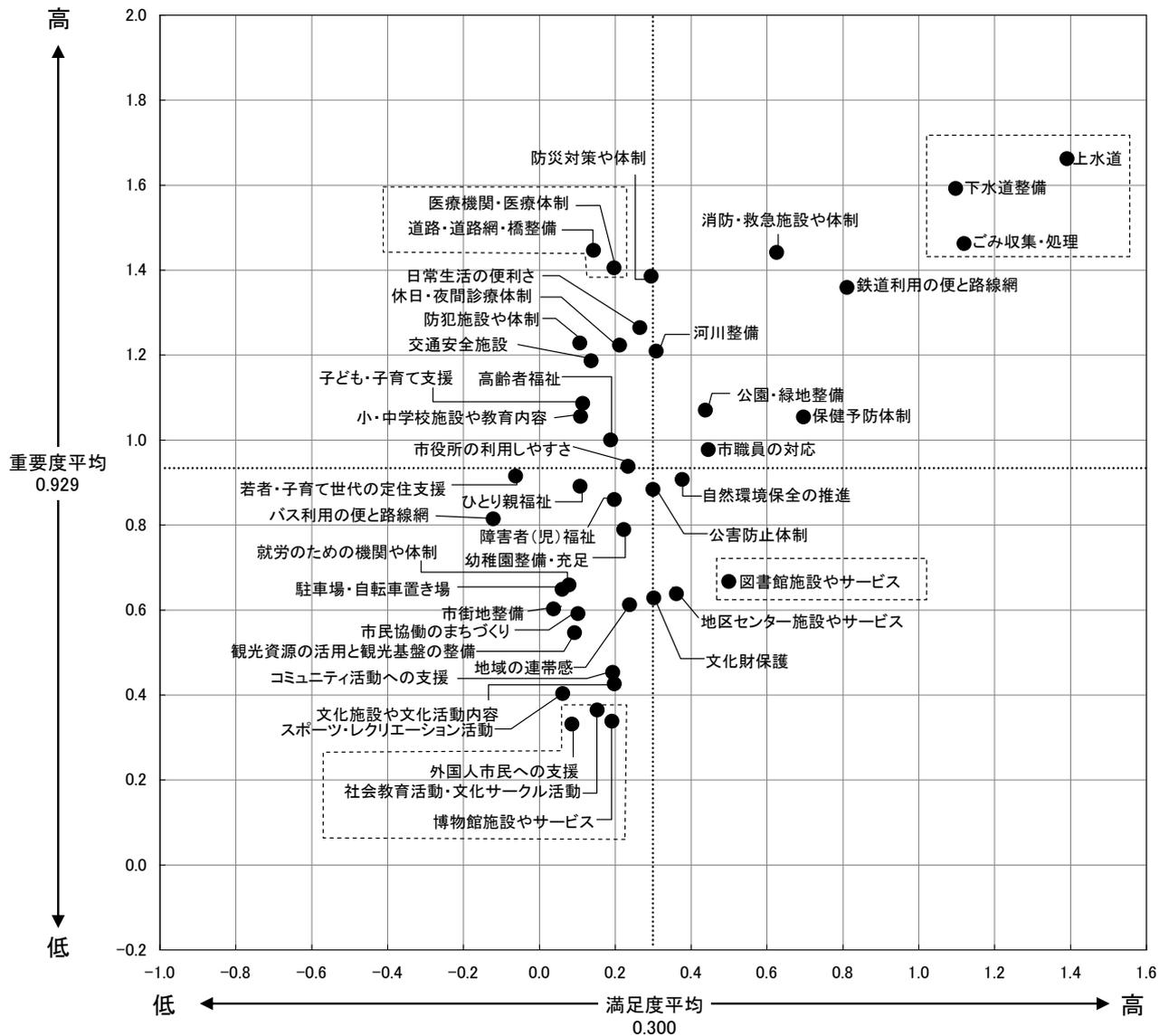


表 2-1-7 生活環境項目の満足度と重要度（西武地区）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.391	1.662
2	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	1.120	1.462
3	公共下水道の整備	下水道整備	1.098	1.592
4	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.811	1.359
5	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.697	1.054
6	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.626	1.441
7	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.500	0.667
8	市職員の対応	市職員の対応	0.446	0.977
9	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.438	1.070
10	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.377	0.907
11	地区センターの施設やサービス	地区センター施設やサービス	0.362	0.638
12	河川の整備	河川整備	0.308	1.209
13	文化財などの保護	文化財保護	0.302	0.628
14	騒音などの公害防止体制	公害防止体制	0.300	0.884
15	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.295	1.385
16	買い物・金融機関など日常生活の利便さ	日常生活の利便さ	0.265	1.264
17	地域の連帯感	地域の連帯感	0.238	0.612
18	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.234	0.938
19	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.223	0.789
20	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.212	1.223
21	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.198	0.860
22	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.198	0.426
23	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.197	1.405
24	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.194	0.453
25	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.192	0.338
26	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.188	1.000
27	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.153	0.364
28	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.143	1.446
29	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.137	1.186
30	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.115	1.086
31	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.109	1.055
32	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.108	0.891
33	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.107	1.228
34	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.102	0.591
35	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.093	0.546
36	外国人市民への支援	外国人市民への支援	0.086	0.331
37	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.079	0.659
38	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.062	0.403
39	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.061	0.648
40	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.038	0.602
41	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	-0.062	0.915
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.121	0.814
	平均		0.300	0.929

## 生活環境の満足度と重要度（18～29歳）

18～29歳の満足度、重要度がともに高い項目は「下水道整備」、「上水道」、「消防・救急施設や体制」など、満足度が低く重要度が高い項目は「防犯施設や体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「コミュニティ活動への支援」、「外国人市民への支援」、「社会教育活動・文化サークル活動」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-8、表2-1-8）

図2-1-8 生活環境の満足度と重要度（18～29歳）

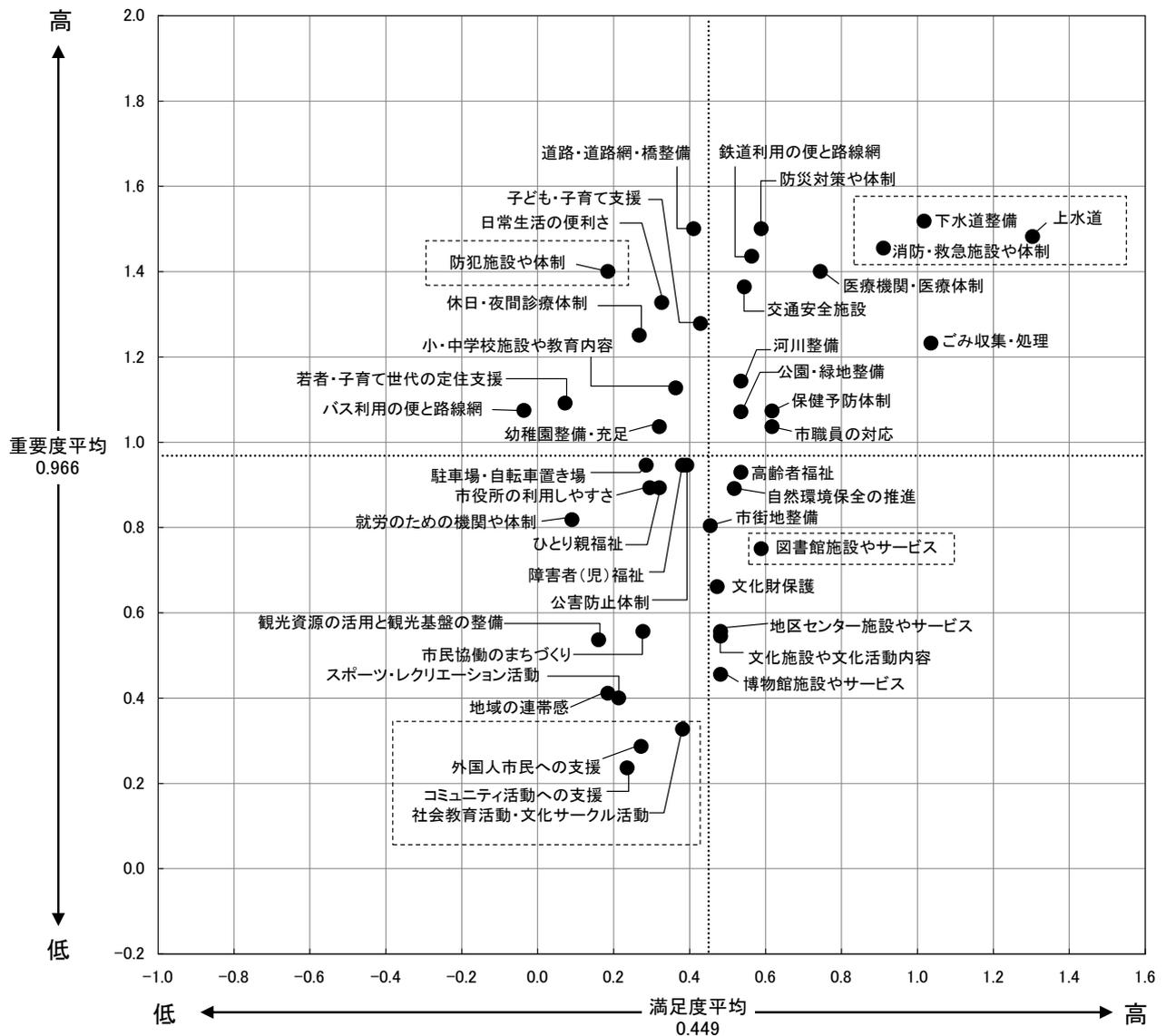


表 2-1-8 生活環境項目の満足度と重要度（18～29歳）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.304	1.482
2	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	1.036	1.232
3	公共下水道の整備	下水道整備	1.018	1.518
4	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.911	1.455
5	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.745	1.400
6	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.618	1.073
7	市職員の対応	市職員の対応	0.618	1.036
8	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.589	1.500
9	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.589	0.750
10	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.564	1.436
11	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.545	1.364
12	河川の整備	河川整備	0.536	1.143
13	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.536	1.071
14	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.536	0.929
15	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.518	0.891
16	地区センターの施設やサービス	地区センター施設やサービス	0.482	0.556
17	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.482	0.545
18	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.482	0.455
19	文化財などの保護	文化財保護	0.473	0.661
20	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.455	0.804
21	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.429	1.278
22	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.411	1.500
23	騒音などの公害防止体制	公害防止体制	0.393	0.946
24	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.382	0.946
25	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.382	0.327
26	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.364	1.127
27	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.327	1.327
28	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.321	1.036
29	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.321	0.893
30	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.296	0.893
31	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.286	0.946
32	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.278	0.556
33	外国人市民への支援	外国人市民への支援	0.273	0.286
34	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.268	1.250
35	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.236	0.236
36	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.214	0.400
37	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.185	1.400
38	地域の連帯感	地域の連帯感	0.185	0.411
39	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.161	0.536
40	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.091	0.818
41	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.073	1.091
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.036	1.074
平均			0.449	0.966

## 生活環境の満足度と重要度（30～39歳）

30～39歳の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」など、満足度が低く重要度が高い項目は「道路・道路網・橋整備」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「外国人市民への支援」、「コミュニティ活動への支援」、「社会教育活動・文化サークル活動」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。

（図2-1-9、表2-1-9）

図2-1-9 生活環境の満足度と重要度（30～39歳）

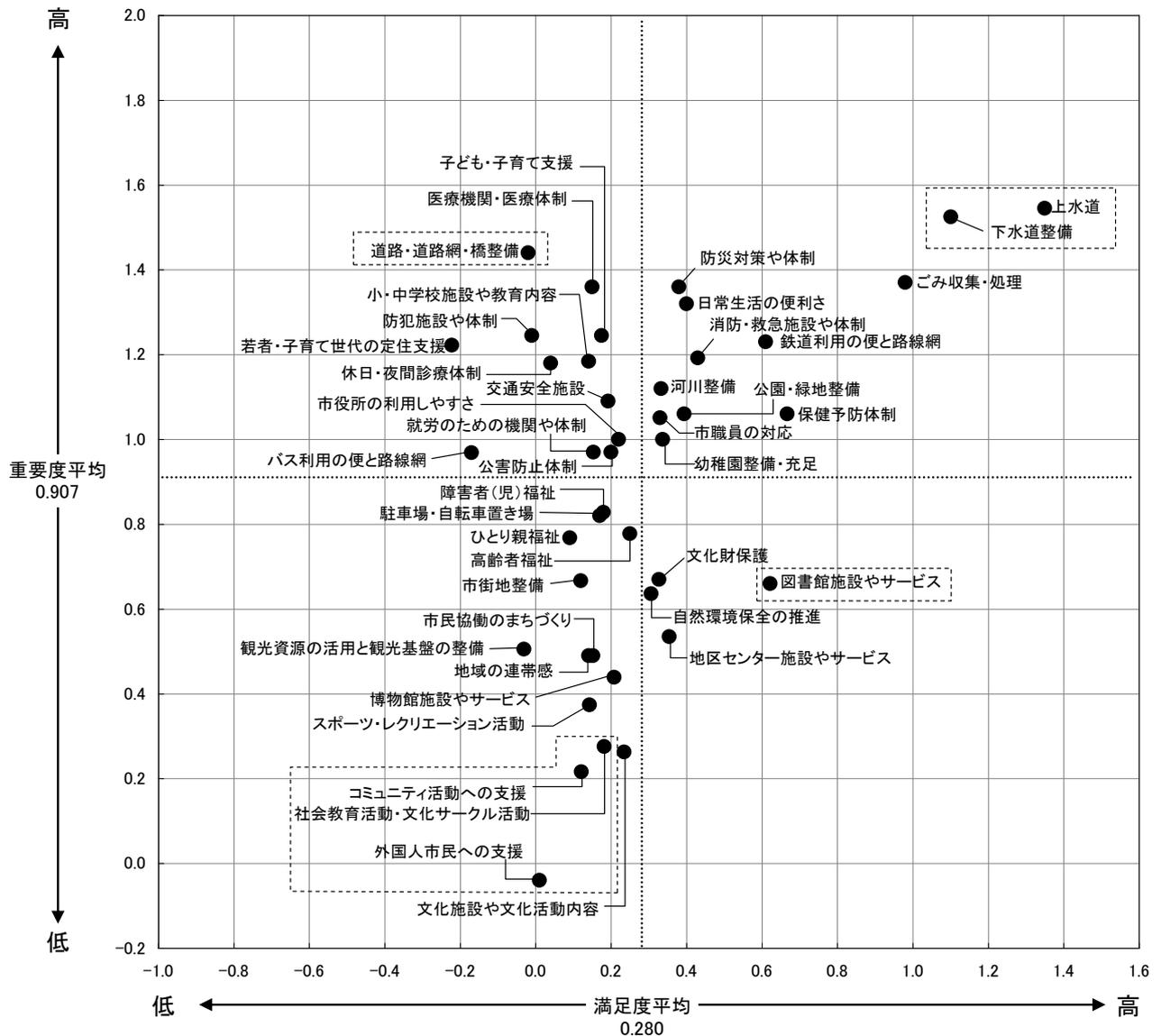


表 2-1-9 生活環境項目の満足度と重要度 (30~39歳)

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.350	1.545
2	公共下水道の整備	下水道整備	1.101	1.525
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.980	1.370
4	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.667	1.060
5	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.622	0.660
6	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.610	1.230
7	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.430	1.192
8	買い物・金融機関など日常生活の利便さ	日常生活の利便さ	0.400	1.320
9	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.394	1.060
10	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.380	1.360
11	地区センターの施設やサービス	地区センター施設やサービス	0.354	0.535
12	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.337	1.000
13	河川の整備	河川整備	0.333	1.120
14	市職員の対応	市職員の対応	0.330	1.051
15	文化財などの保護	文化財保護	0.327	0.670
16	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.306	0.636
17	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.250	0.778
18	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.235	0.263
19	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.220	1.000
20	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.208	0.439
21	騒音などの公害防止体制	公害防止体制	0.200	0.970
22	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.192	1.090
23	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.182	0.276
24	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.180	0.828
25	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.175	1.245
26	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.170	0.820
27	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.153	0.970
28	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.152	0.490
29	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.150	1.360
30	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.143	0.374
31	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.141	1.184
32	地域の連帯感	地域の連帯感	0.141	0.490
33	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.121	0.216
34	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.120	0.667
35	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.091	0.768
36	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.040	1.180
37	外国人市民への支援	外国人市民への支援	0.010	-0.040
38	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	-0.010	1.245
39	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	-0.020	1.440
40	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	-0.031	0.505
41	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.170	0.969
42	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	-0.222	1.222
平均			0.280	0.907

## 生活環境の満足度と重要度（40～49歳）

40～49歳の満足度、重要度がともに高い項目は「下水道整備」、「上水道」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「医療機関・医療体制」、「防災対策や体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「外国人市民への支援」、「コミュニティ活動への支援」、「社会教育活動・文化サークル活動」、「博物館施設やサービス」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-10、表2-1-10）

図2-1-10 生活環境の満足度と重要度（40～49歳）

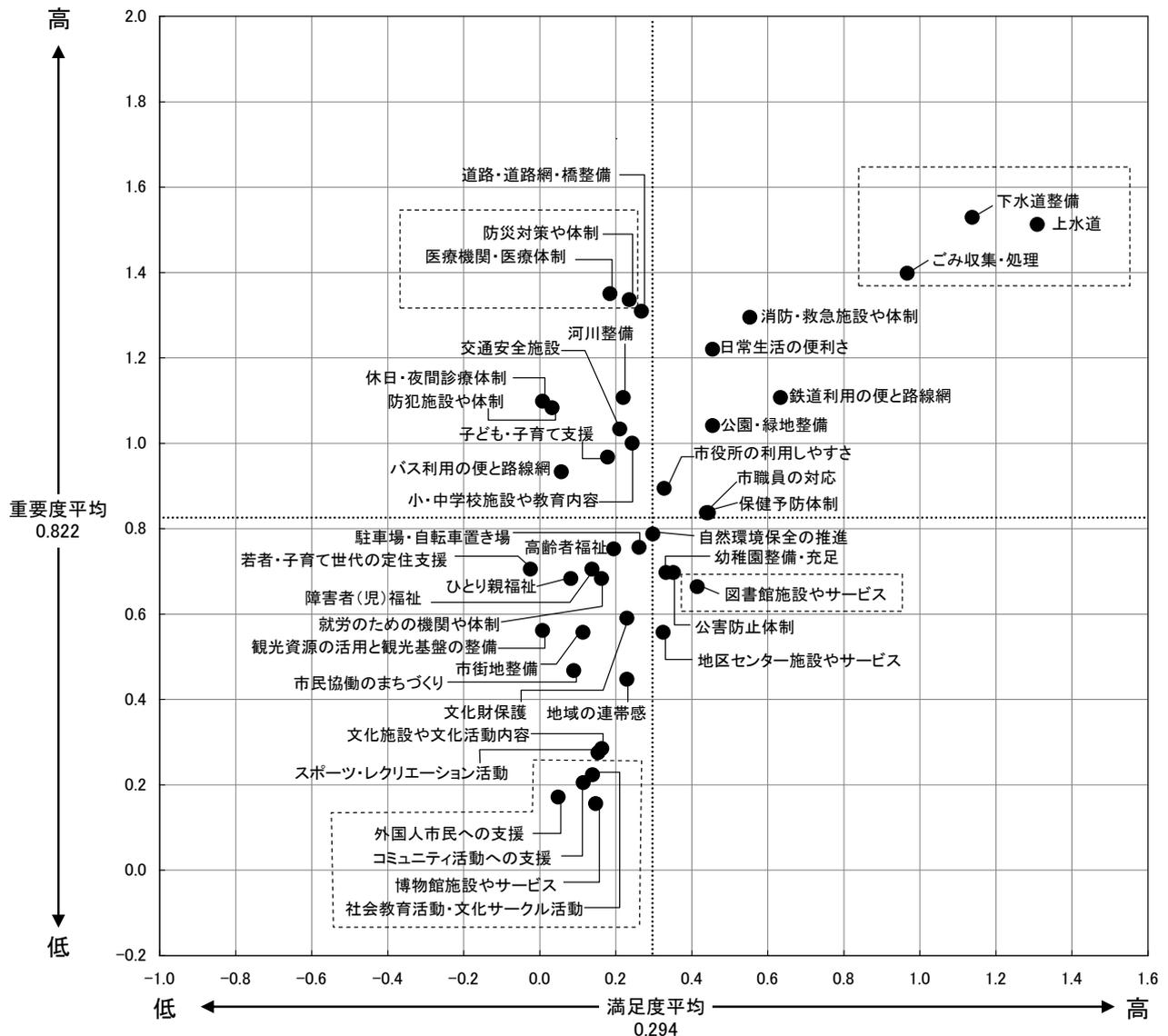


表 2-1-10 生活環境項目の満足度と重要度 (40~49歳)

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.309	1.512
2	公共下水道の整備	下水道整備	1.138	1.529
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.967	1.398
4	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.634	1.107
5	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.553	1.295
6	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.455	1.220
7	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.455	1.041
8	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.444	0.837
9	市職員の対応	市職員の対応	0.439	0.837
10	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.415	0.664
11	騒音などの公害防止体制	公害防止体制	0.352	0.697
12	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.333	0.697
13	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.328	0.894
14	地区センターの施設やサービス	地区センター施設やサービス	0.325	0.557
15	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.298	0.787
16	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.268	1.309
17	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.262	0.756
18	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.244	1.000
19	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.236	1.336
20	文化財などの保護	文化財保護	0.230	0.590
21	地域の連帯感	地域の連帯感	0.230	0.447
22	河川の整備	河川整備	0.220	1.107
23	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.211	1.033
24	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.195	0.752
25	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.185	1.350
26	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.179	0.967
27	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.164	0.285
28	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.163	0.683
29	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.154	0.275
30	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.148	0.156
31	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.139	0.223
32	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.138	0.705
33	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.115	0.205
34	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.114	0.557
35	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.090	0.467
36	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.082	0.683
37	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	0.057	0.933
38	外国人市民への支援	外国人市民への支援	0.049	0.171
39	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.033	1.083
40	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.008	1.098
41	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.008	0.561
42	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	-0.024	0.705
平均			0.294	0.822

## 生活環境の満足度と重要度（50～59歳）

50～59歳の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「医療機関・医療体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「外国人市民への支援」、「社会教育活動・文化サークル活動」、「文化施設や文化活動内容」、「博物館施設やサービス」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-11、表2-1-11）

図2-1-11 生活環境の満足度と重要度（50～59歳）

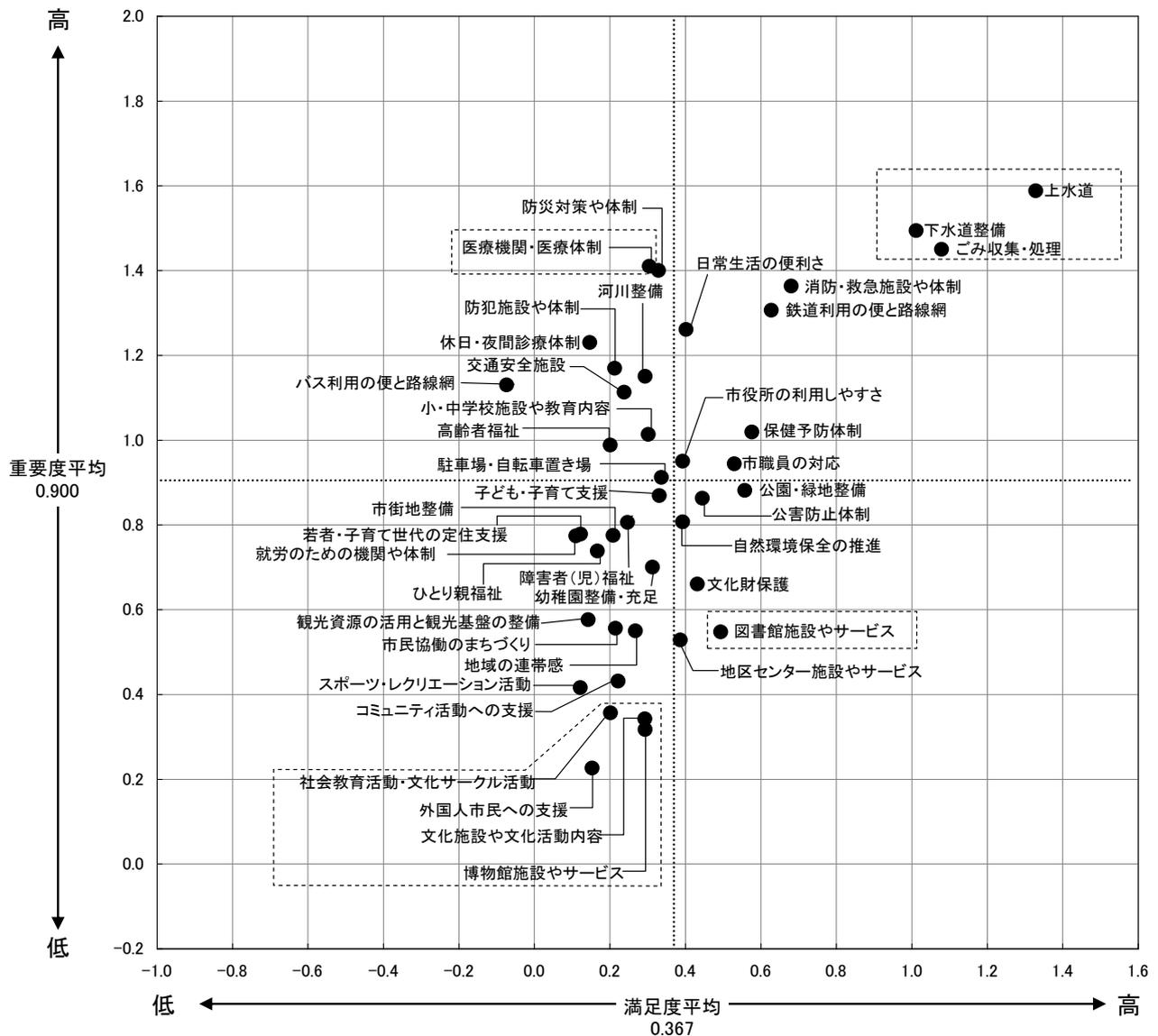


表 2-1-11 生活環境項目の満足度と重要度 (50~59歳)

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.329	1.588
2	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	1.079	1.450
3	公共下水道の整備	下水道整備	1.012	1.494
4	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.681	1.363
5	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.628	1.306
6	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.577	1.019
7	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.558	0.881
8	市職員の対応	市職員の対応	0.530	0.944
9	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.494	0.547
10	騒音などの公害防止体制	公害防止体制	0.445	0.863
11	文化財などの保護	文化財保護	0.432	0.660
12	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.402	1.261
13	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.393	0.950
14	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.393	0.807
15	地区センターの施設やサービス	地区センター施設やサービス	0.387	0.528
16	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.377	1.410
17	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.337	0.912
18	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.331	0.869
19	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.329	1.400
20	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.313	0.700
21	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.305	1.410
22	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.302	1.013
23	河川の整備	河川整備	0.294	1.150
24	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.294	0.317
25	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.293	0.342
26	地域の連帯感	地域の連帯感	0.268	0.550
27	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.247	0.806
28	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.238	1.113
29	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.222	0.431
30	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.215	0.556
31	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.213	1.169
32	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.209	0.775
33	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.202	0.356
34	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.201	0.988
35	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.167	0.738
36	外国人市民への支援	外国人市民への支援	0.153	0.226
37	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.147	1.230
38	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.143	0.576
39	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.123	0.778
40	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.122	0.416
41	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.110	0.774
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.073	1.130
平均			0.367	0.900

## 生活環境の満足度と重要度（60～69歳）

60～69歳の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「道路・道路網・橋整備」、「防災対策や体制」、「休日・夜間診療体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「外国人市民への支援」、「コミュニティ活動への支援」、「博物館施設やサービス」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-12、表2-1-12）

図2-1-12 生活環境の満足度と重要度（60～69歳）

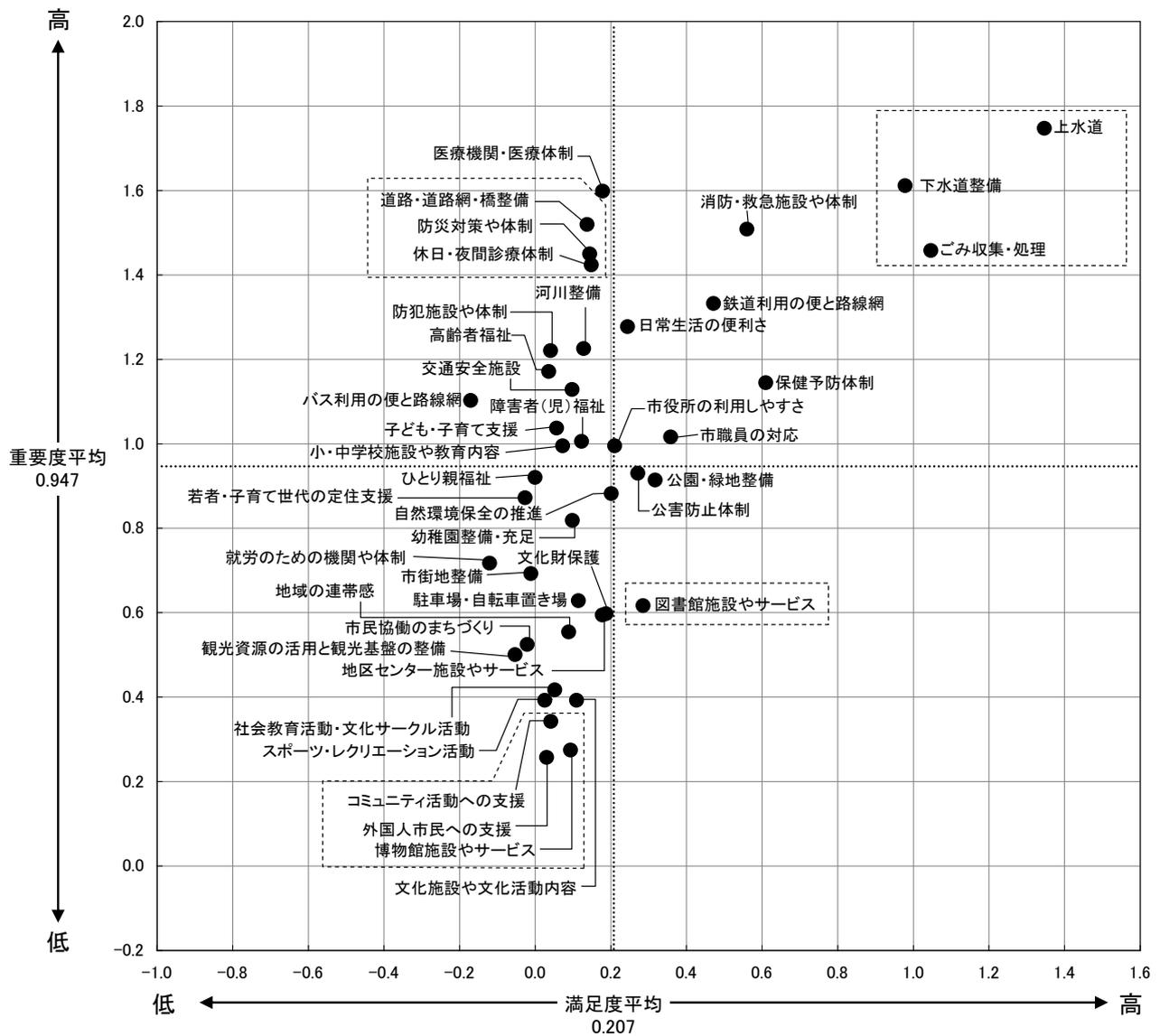


表 2-1-12 生活環境項目の満足度と重要度 (60~69歳)

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.347	1.747
2	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	1.047	1.457
3	公共下水道の整備	下水道整備	0.979	1.611
4	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.610	1.144
5	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.560	1.508
6	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.472	1.332
7	市職員の対応	市職員の対応	0.359	1.016
8	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.318	0.914
9	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.286	0.616
10	騒音などの公害防止体制	公害防止体制	0.272	0.930
11	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.245	1.277
12	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.211	0.995
13	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.202	0.882
14	文化財などの保護	文化財保護	0.188	0.597
15	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.179	1.598
16	地区センターの施設やサービス	地区センター施設やサービス	0.178	0.594
17	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.149	1.423
18	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.145	1.449
19	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.138	1.519
20	河川の整備	河川整備	0.129	1.225
21	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.123	1.005
22	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.115	0.628
23	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.110	0.392
24	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.099	0.818
25	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.098	1.128
26	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.094	0.274
27	地域の連帯感	地域の連帯感	0.089	0.554
28	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.073	0.995
29	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.057	1.037
30	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.052	0.417
31	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.042	0.342
32	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.041	1.220
33	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.036	1.171
34	外国人市民への支援	外国人市民への支援	0.031	0.257
35	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.026	0.392
36	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.000	0.920
37	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	-0.011	0.692
38	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	-0.021	0.524
39	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	-0.026	0.872
40	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	-0.053	0.500
41	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	-0.120	0.717
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.170	1.102
平均			0.207	0.947

## 生活環境の満足度と重要度（70歳以上）

70歳以上の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「防災対策や体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「外国人市民への支援」、「博物館施設やサービス」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-13、表2-1-13）

図2-1-13 生活環境の満足度と重要度（70歳以上）

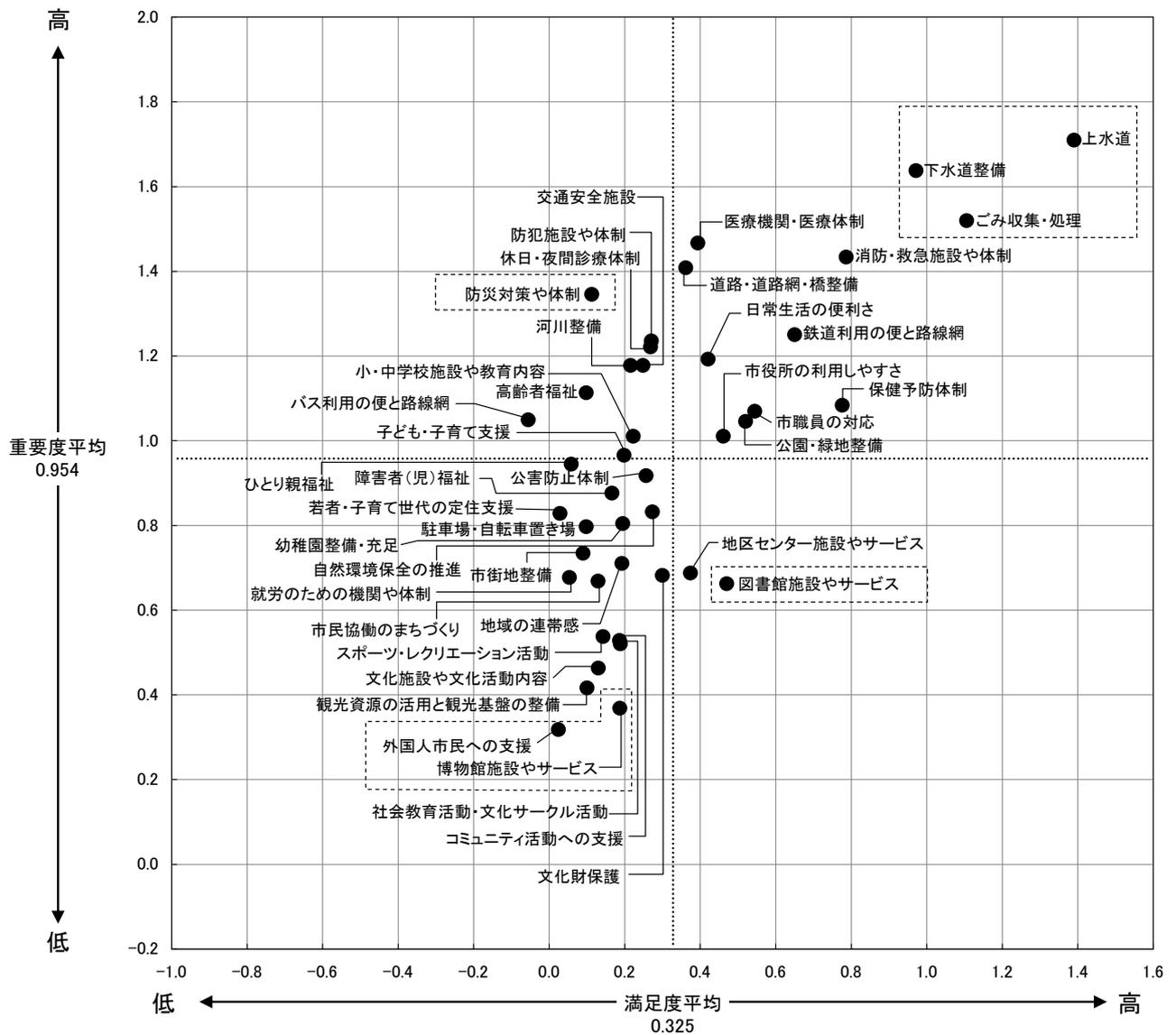


表2-1-13 生活環境項目の満足度と重要度（70歳以上）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.391	1.709
2	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	1.106	1.519
3	公共下水道の整備	下水道整備	0.972	1.637
4	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.787	1.433
5	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.777	1.083
6	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.651	1.250
7	市職員の対応	市職員の対応	0.545	1.069
8	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.521	1.045
9	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.471	0.662
10	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.462	1.010
11	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.421	1.192
12	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.394	1.466
13	地区センターの施設やサービス	地区センター施設やサービス	0.375	0.687
14	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.362	1.408
15	文化財などの保護	文化財保護	0.300	0.682
16	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.274	0.832
17	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.271	1.235
18	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.269	1.221
19	騒音などの公害防止体制	公害防止体制	0.257	0.917
20	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.249	1.177
21	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.223	1.010
22	河川の整備	河川整備	0.216	1.177
23	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.199	0.965
24	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.195	0.804
25	地域の連帯感	地域の連帯感	0.193	0.710
26	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.189	0.520
27	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.188	0.368
28	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.187	0.528
29	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.167	0.876
30	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.143	0.537
31	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.131	0.463
32	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.130	0.668
33	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.113	1.345
34	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.101	0.416
35	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.099	1.113
36	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.099	0.797
37	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.090	0.734
38	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.059	0.944
39	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.054	0.677
40	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.029	0.828
41	外国人市民への支援	外国人市民への支援	0.025	0.318
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.055	1.049
平均			0.325	0.954

## 生活環境の満足度と重要度（男性）

男性の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」など、満足度が低く重要度が高い項目は「道路・道路網・橋整備」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「外国人市民への支援」、「博物館施設やサービス」、「文化施設や文化活動内容」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-14、表2-1-14）

図2-1-14 生活環境の満足度と重要度（男性）

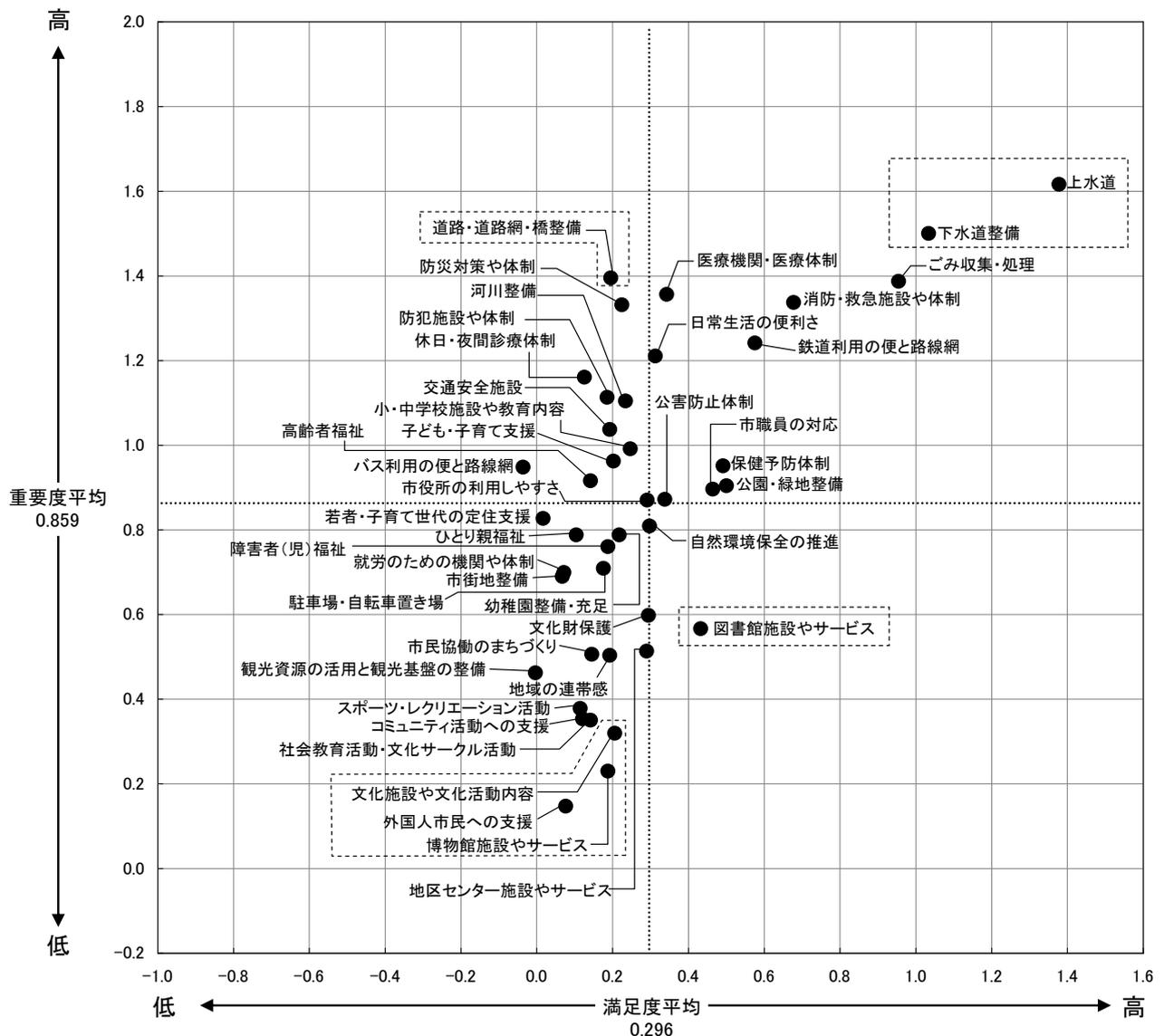


表 2-1-14 生活環境項目の満足度と重要度（男性）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.378	1.616
2	公共下水道の整備	下水道整備	1.034	1.500
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.955	1.387
4	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.678	1.337
5	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.576	1.241
6	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.501	0.904
7	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.492	0.951
8	市職員の対応	市職員の対応	0.465	0.896
9	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.433	0.566
10	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.343	1.356
11	騒音などの公害防止体制	公害防止体制	0.338	0.872
12	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.313	1.210
13	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.298	0.809
14	文化財などの保護	文化財保護	0.295	0.598
15	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.292	0.870
16	地区センターの施設やサービス	地区センター施設やサービス	0.290	0.513
17	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.247	0.991
18	河川の整備	河川整備	0.235	1.104
19	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.225	1.331
20	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.218	0.788
21	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.206	0.319
22	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.203	0.962
23	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.196	1.395
24	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.193	1.037
25	地域の連帯感	地域の連帯感	0.193	0.503
26	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.188	0.760
27	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.188	0.230
28	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.186	1.113
29	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.176	0.709
30	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.146	0.506
31	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.142	0.916
32	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.142	0.350
33	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.126	1.160
34	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.121	0.353
35	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.115	0.378
36	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.105	0.788
37	外国人市民への支援	外国人市民への支援	0.077	0.147
38	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.072	0.699
39	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.068	0.690
40	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.017	0.827
41	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	-0.003	0.462
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.036	0.948
平均			0.296	0.859

## 生活環境の満足度と重要度（女性）

女性の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「医療機関・医療体制」、「防災対策や体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「外国人市民への支援」、「コミュニティ活動への支援」、「社会教育活動・文化サークル活動」、「博物館施設やサービス」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-15、表2-1-15）

図2-1-15 生活環境の満足度と重要度（女性）

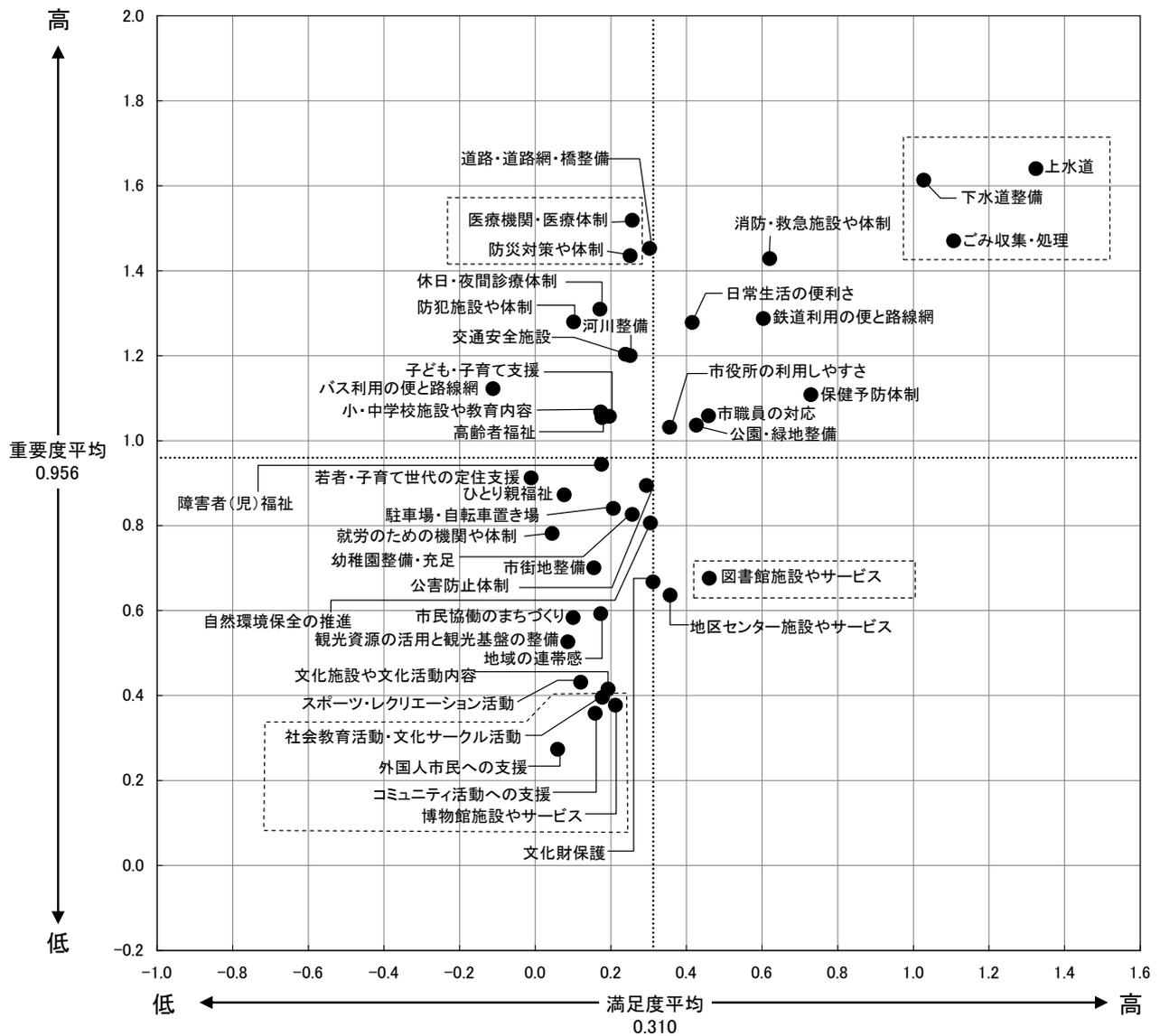


表 2 - 1 - 15 生活環境項目の満足度と重要度（女性）

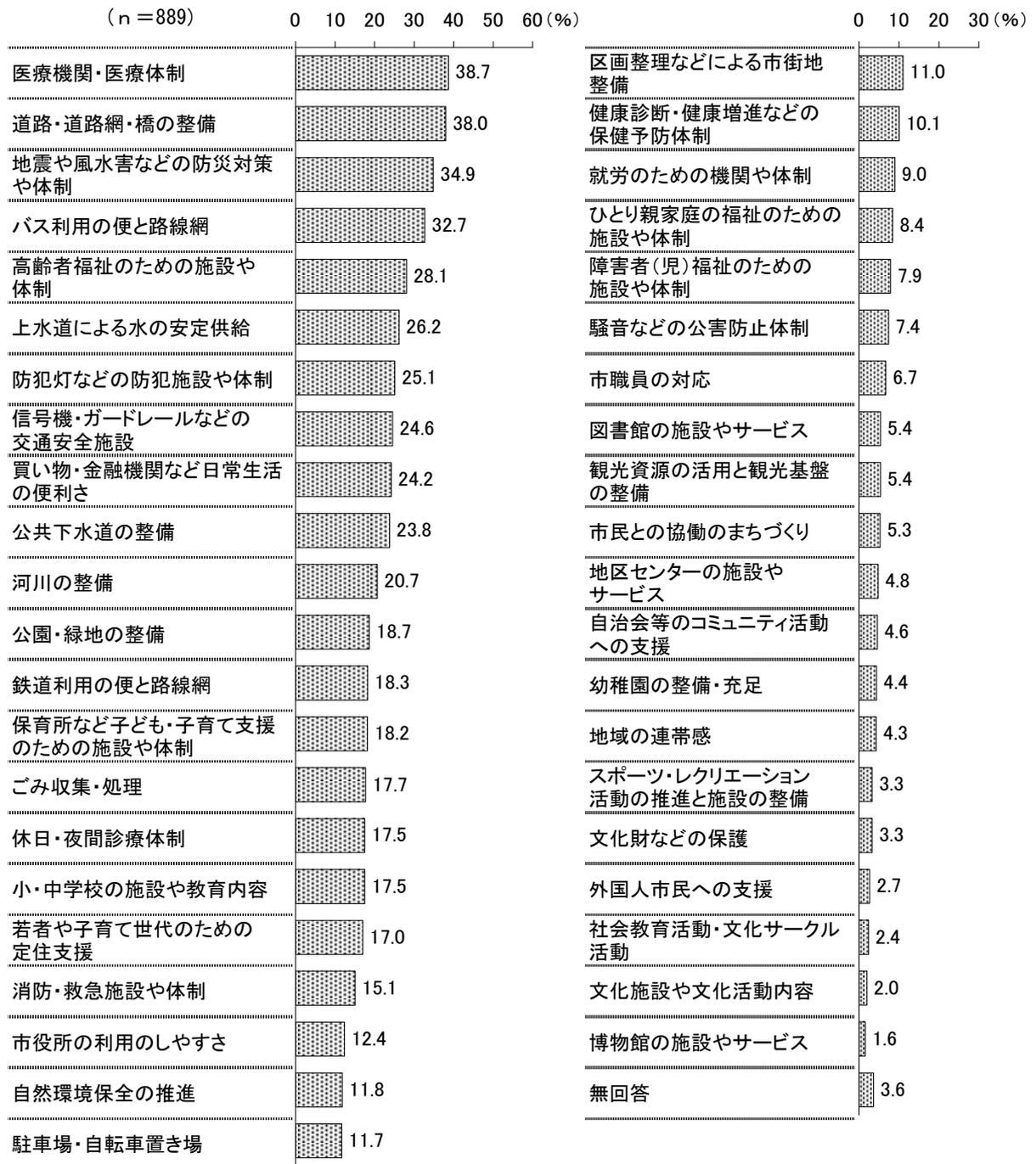
満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.325	1.640
2	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	1.107	1.470
3	公共下水道の整備	下水道整備	1.028	1.613
4	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.730	1.108
5	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.621	1.428
6	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.604	1.287
7	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.461	0.676
8	市職員の対応	市職員の対応	0.459	1.058
9	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.427	1.036
10	買い物・金融機関など日常生活の利便さ	日常生活の利便さ	0.416	1.278
11	地区センターの施設やサービス	地区センター施設やサービス	0.357	0.636
12	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.356	1.031
13	文化財などの保護	文化財保護	0.312	0.667
14	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.305	0.806
15	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.303	1.452
16	騒音などの公害防止体制	公害防止体制	0.295	0.894
17	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.257	1.518
18	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.257	0.826
19	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.252	1.435
20	河川の整備	河川整備	0.252	1.200
21	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.239	1.203
22	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.213	0.377
23	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.207	0.840
24	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.197	1.057
25	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.193	0.415
26	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.178	0.395
27	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.177	1.054
28	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.176	0.944
29	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.174	1.067
30	地域の連帯感	地域の連帯感	0.174	0.592
31	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.172	1.309
32	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.159	0.358
33	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.156	0.700
34	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.121	0.431
35	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.102	1.279
36	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.101	0.583
37	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.087	0.526
38	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.077	0.872
39	外国人市民への支援	外国人市民への支援	0.060	0.273
40	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.045	0.781
41	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	-0.010	0.912
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.111	1.122
平均			0.310	0.956

(2) 優先的に取り組むべき施策

◇「医療機関・医療体制」と「道路・道路網・橋の整備」がともに4割近く

問10-1 問10の(1)～(42)の項目のうち、あなたが市の施策として優先的に取り組むべきであると思うものを7つまで選んで、該当する番号を【記入欄】に記入してください。

図2-2-1

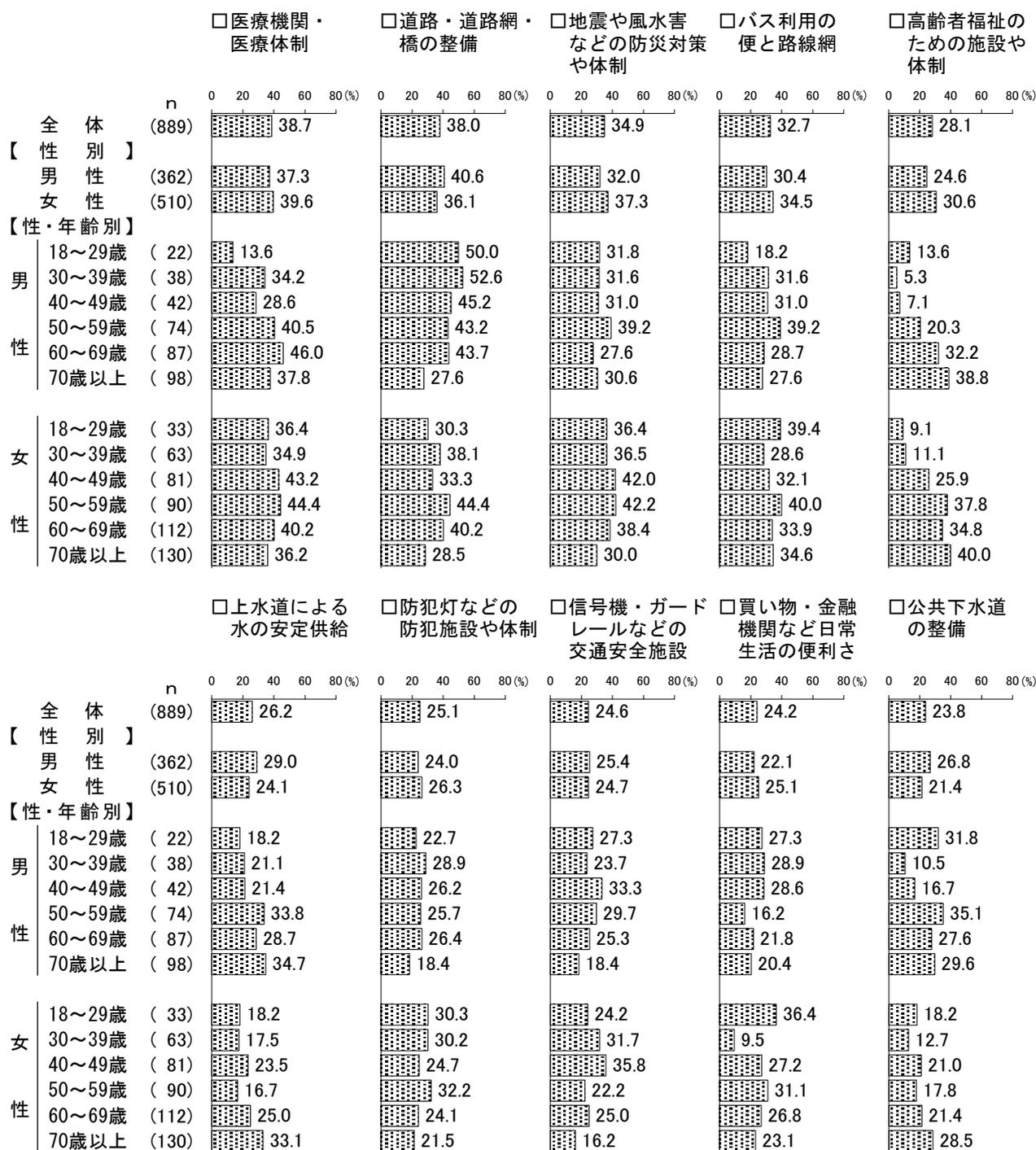


優先的に取り組むべき施策について聞いたところ、「医療機関・医療体制」(38.7%)と「道路・道路網・橋の整備」(38.0%)がともに4割近くで高く、次いで「地震や風水害などの防災対策や体制」(34.9%)、「バス利用の便と路線網」(32.7%)、「高齢者福祉のための施設や体制」(28.1%)などの順となっている。(図2-2-1)

性別にみると、「高齢者福祉のための施設や体制」は女性（30.6%）が男性（24.6%）より6.0ポイント高くなっている。一方、「公共下水道の整備」は男性（26.8%）が女性（21.4%）より5.4ポイント高くなっている。

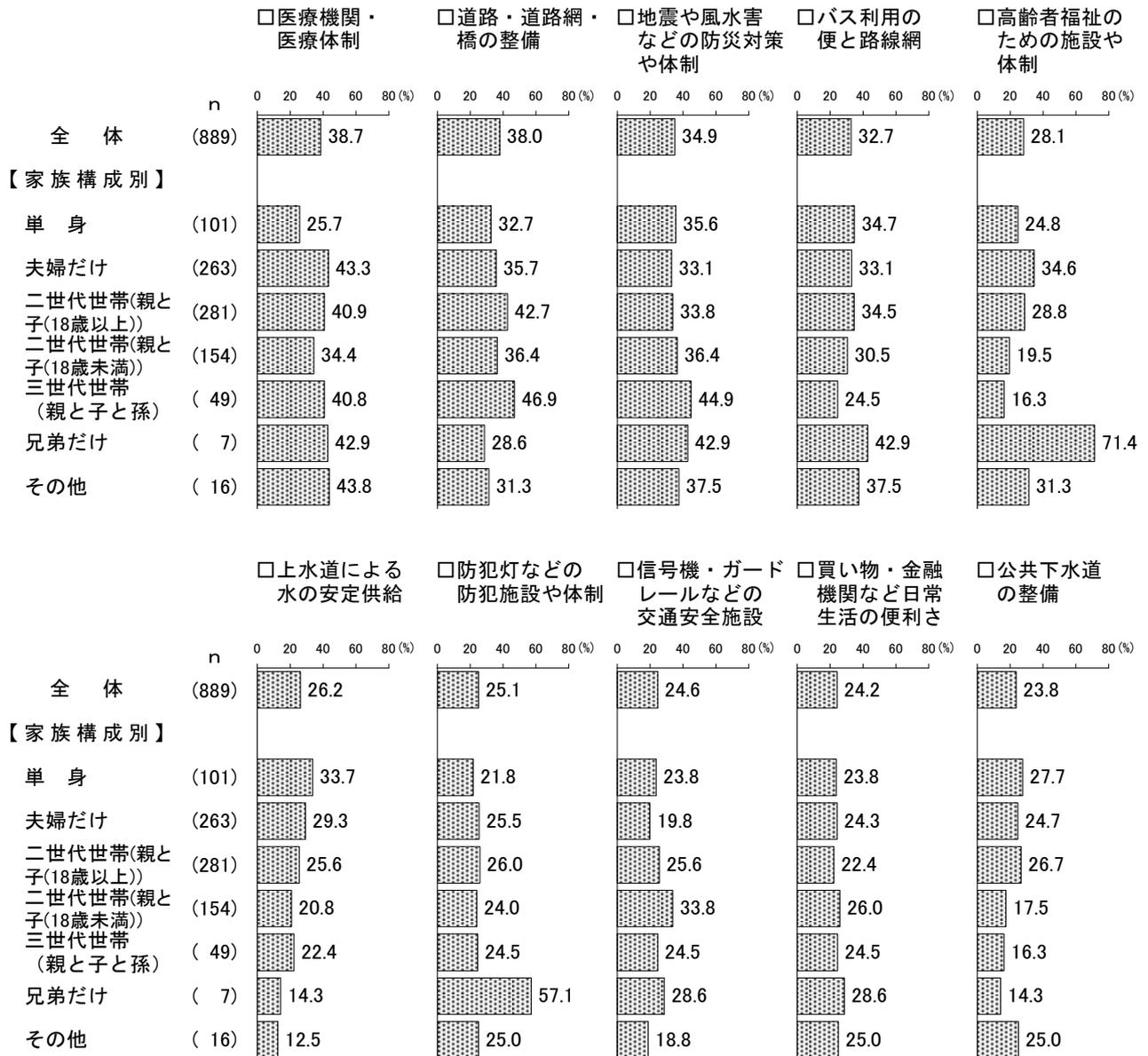
性・年齢別にみると、「医療機関・医療体制」は男性60～69歳（46.0%）と女性50～59歳（44.4%）で4割半ばと高くなっている。「道路・道路網・橋の整備」は男性30～39歳（52.6%）で5割を超えて高くなっている。「地震や風水害などの防災対策や体制」は女性40～49歳（42.0%）と女性50～59歳（42.2%）で4割を超えて高くなっている。（図2-2-2）

図2-2-2 優先的に取り組むべき施策（性・年齢別）－上位10項目



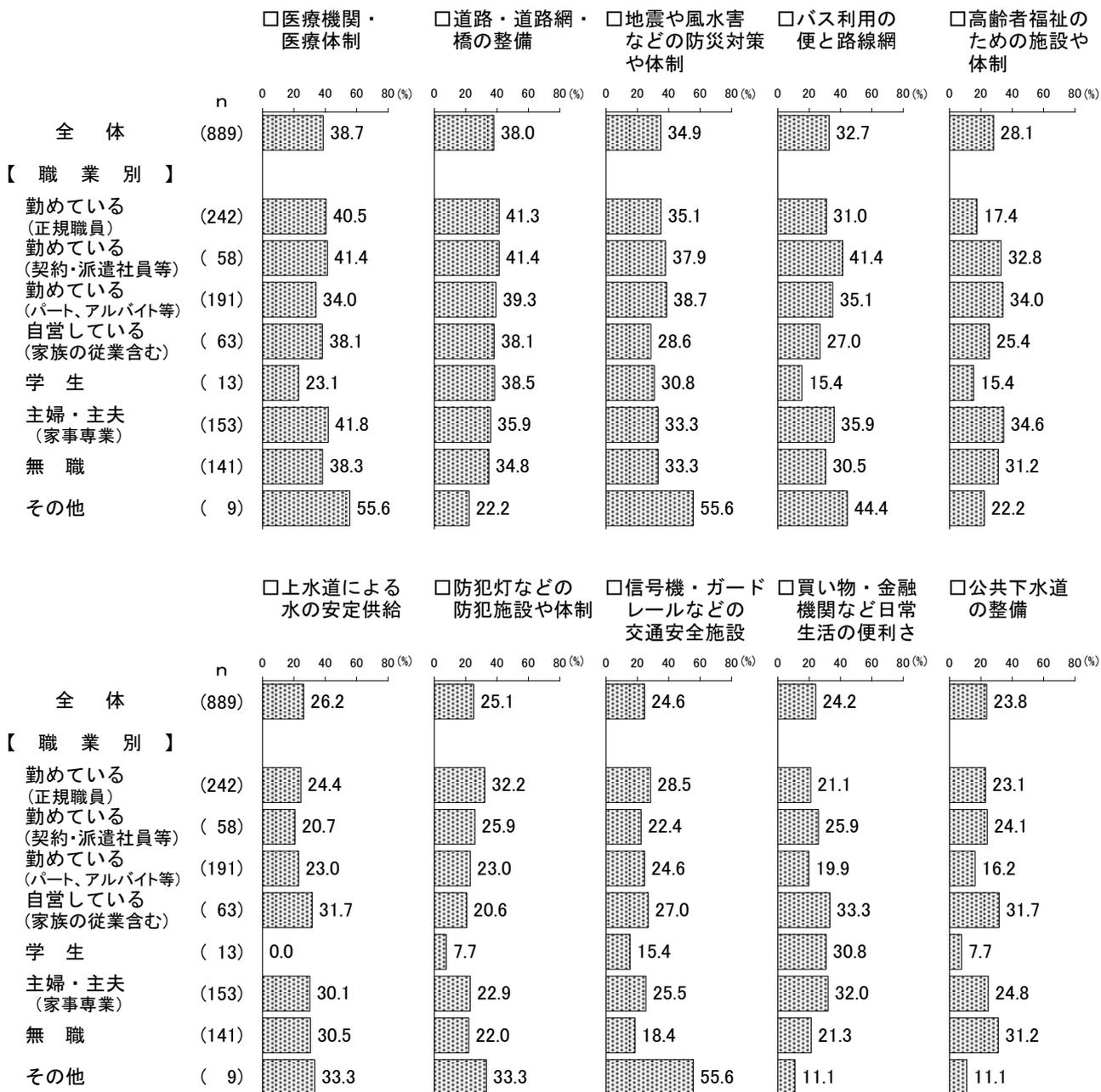
家族構成別にみると、「医療機関・医療体制」は“夫婦だけ”（43.3%）で4割を超えて高くなっている。「道路・道路網・橋の整備」は“三世代世帯（親と子と孫）”（46.9%）で5割近くと高くなっている。「地震や風水害などの防災対策や体制」は“三世代世帯（親と子と孫）”（44.9%）で4割半ばと高くなっている。（図2-2-3）

図2-2-3 優先的に取り組むべき施策（家族構成別）－上位10項目



職業別にみると、「医療機関・医療体制」は“主婦・主夫（家事専業）”（41.8%）と“勤めている（契約・派遣社員等）”（41.4%）で4割を超えて高くなっている。「道路・道路網・橋の整備」は“勤めている（契約・派遣社員等）”（41.4%）と“勤めている（正規職員）”（41.3%）で4割を超えて高くなっている。「バス利用の便と路線網」は“勤めている（契約・派遣社員等）”（41.4%）で4割を超えて高くなっている。（図2-2-4）

図2-2-4 優先的に取り組むべき施策（職業別）－上位10項目



居住地区別の順位をみると、「医療機関・医療体制」は東金子地区と金子地区で第1位となっている。「道路・道路網・橋の整備」は豊岡地区と西武地区で第1位となっている。「地震や風水害などの防災対策や体制」は藤沢地区で第1位となっている。「バス利用の便と路線網」は宮寺・二本木地区で第1位となっている。(表2-2-1)

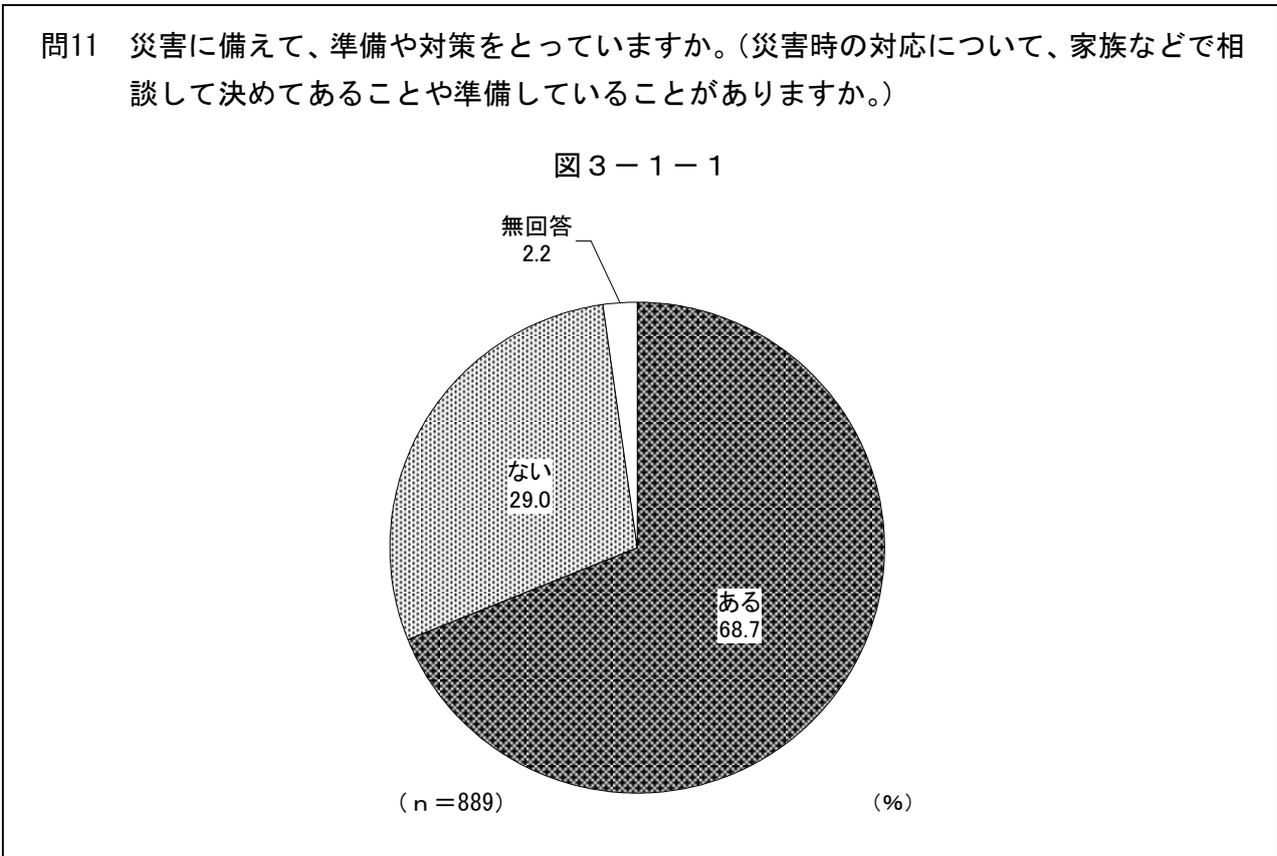
表2-2-1 優先的に取り組むべき施策(居住地区別・第1位~第10位)

	全 体 (n=889)	豊岡地区 (n=281)	東金子地区 (n=91)	金子地区 (n=69)	宮寺・二本木地区 (n=69)	藤沢地区 (n=223)	西武地区 (n=134)
第1位	医療機関・ 医療体制 38.7	道路・道路網・ 橋の整備 39.1	医療機関・ 医療体制 48.4	医療機関・ 医療体制 39.1	バス利用の便 と路線網 55.1	地震や風水害 などの防災 対策や体制 41.3	道路・道路網・ 橋の整備 42.5
第2位	道路・道路網・ 橋の整備 38.0	医療機関・ 医療体制 38.4	バス利用の便 と路線網 39.6	バス利用の便 と路線網/ 信号機・ガード レールなどの 交通安全施設 37.7	買い物・金融 機関など日常 生活の便利さ 47.8	医療機関・ 医療体制 37.2	地震や風水害 などの防災 対策や体制 38.1
第3位	地震や風水害 などの防災 対策や体制 34.9	地震や風水害 などの防災 対策や体制 32.4	道路・道路網・ 橋の整備 38.5	道路・道路網・ 橋の整備 37.7	道路・道路網・ 橋の整備 39.1	道路・道路網・ 橋の整備 35.0	医療機関・ 医療体制 37.3
第4位	バス利用の便 と路線網 32.7	バス利用の便 と路線網 29.5	高齢者福祉の ための施設や 体制 34.1	道路・道路網・ 橋の整備 36.2	地震や風水害 などの防災 対策や体制 34.8	防犯灯などの 防犯施設や 体制 30.5	高齢者福祉の ための施設や 体制 32.1
第5位	高齢者福祉の ための施設や 体制 28.1	高齢者福祉の ための施設や 体制 28.1	上水道による 水の安定供給 33.0	鉄道利用の便 と路線網/ 高齢者福祉の ための施設や 体制/ 買い物・金融 機関など日常 生活の便利さ 31.9	医療機関・ 医療体制 31.9	上水道による 水の安定供給 29.6	バス利用の便 と路線網 31.3
第6位	上水道による 水の安定供給 26.2	上水道による 水の安定供給 27.0	公共下水道の 整備/ 地震や風水害 などの防災 対策や体制 31.9	地震や風水害 などの防災 対策や体制 27.5	公共下水道の 整備 27.5	公共下水道の 整備 26.5	防犯灯などの 防犯施設や 体制/ 保育所など 子ども・子育て 支援のための 施設や体制 24.6
第7位	防犯灯などの 防犯施設や 体制 25.1	信号機・ガード レールなどの 交通安全施設 23.8	防犯灯などの 防犯施設や 体制 31.9	地震や風水害 などの防災 対策や体制 27.5	高齢者福祉の ための施設や 体制 26.1	バス利用の便 と路線網/ 信号機・ガード レールなどの 交通安全施設 26.0	信号機・ガード レールなどの 交通安全施設 / 河川の整備 23.9
第8位	信号機・ガード レールなどの 交通安全施設 24.6	買い物・金融 機関など日常 生活の便利さ 22.8	防犯灯などの 防犯施設や 体制 27.5	地震や風水害 などの防災 対策や体制 27.5	鉄道利用の便 と路線網/ 若者や子育て 世代のための 定住支援 24.6	高齢者福祉の ための施設や 体制 23.3	信号機・ガード レールなどの 交通安全施設 / 河川の整備 23.9
第9位	買い物・金融 機関など日常 生活の便利さ 24.2	公共下水道の 整備/ 防犯灯などの 防犯施設や 体制 21.7	買い物・金融 機関など日常 生活の便利さ 26.4	ごみ収集・ 処理 24.6	防犯灯などの 防犯施設や 体制/ 保育所など 子ども・子育て 支援のための 施設や体制 21.7	河川の整備 / 小・中学校の 施設や教育 内容 21.5	上水道による 水の安定供給 / 買い物・金融 機関など日常 生活の便利さ 22.4
第10位	公共下水道の 整備 23.8	公共下水道の 整備/ 防犯灯などの 防犯施設や 体制 21.7	鉄道利用の便 と路線網 22.0	公共下水道の 整備/ 河川の整備 23.2	防犯灯などの 防犯施設や 体制/ 保育所など 子ども・子育て 支援のための 施設や体制 21.7	河川の整備 / 小・中学校の 施設や教育 内容 21.5	上水道による 水の安定供給 / 買い物・金融 機関など日常 生活の便利さ 22.4

### 3. 防災について

#### (1) 防災への準備や対策

◇「ある」が7割近く

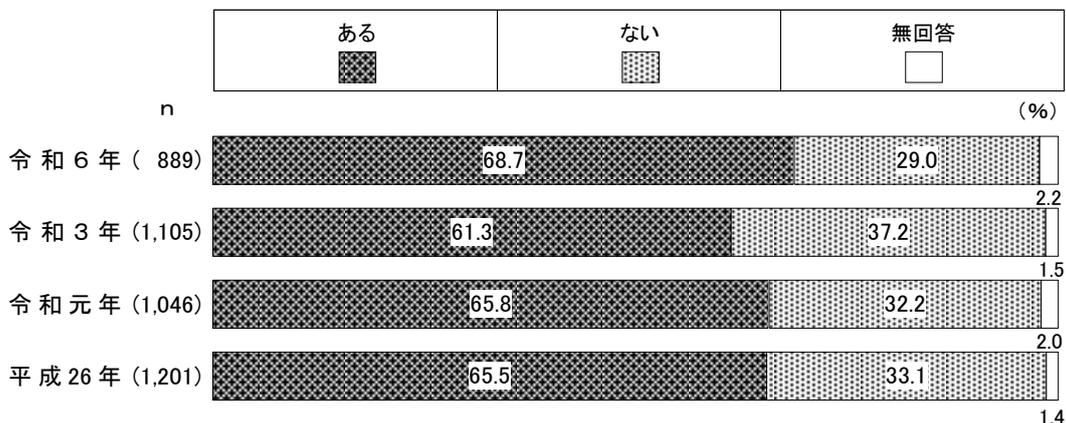


防災への準備や対策について聞いたところ、「ある」(68.7%)が7割近くで高くなっている。一方、「ない」(29.0%)はほぼ3割となっている。(図3-1-1)

過年度調査と比較すると、「ある」は令和3年調査と比べて7.4ポイント増加している。

(図3-1-2)

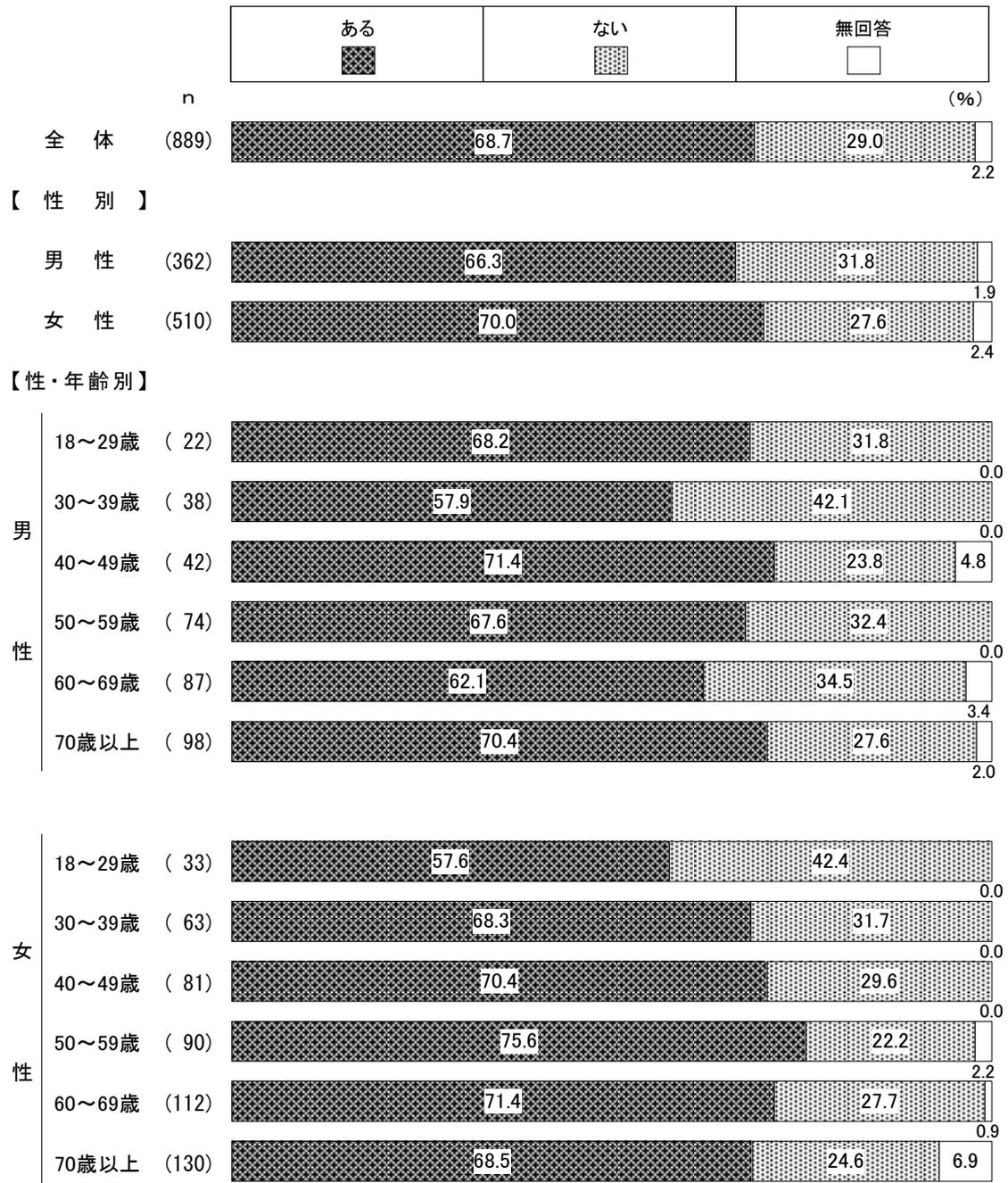
図3-1-2 防災への準備や対策 (経年比較)



性別にみると、「ある」は女性（70.0%）が男性（66.3%）より3.7ポイント高くなっている。  
 性・年齢別にみると、「ある」は女性50～59歳（75.6%）で7割半ばと高くなっている。一方、「ない」は女性18～29歳（42.4%）と男性30～39歳（42.1%）で4割を超えて高くなっている。

(図3-1-3)

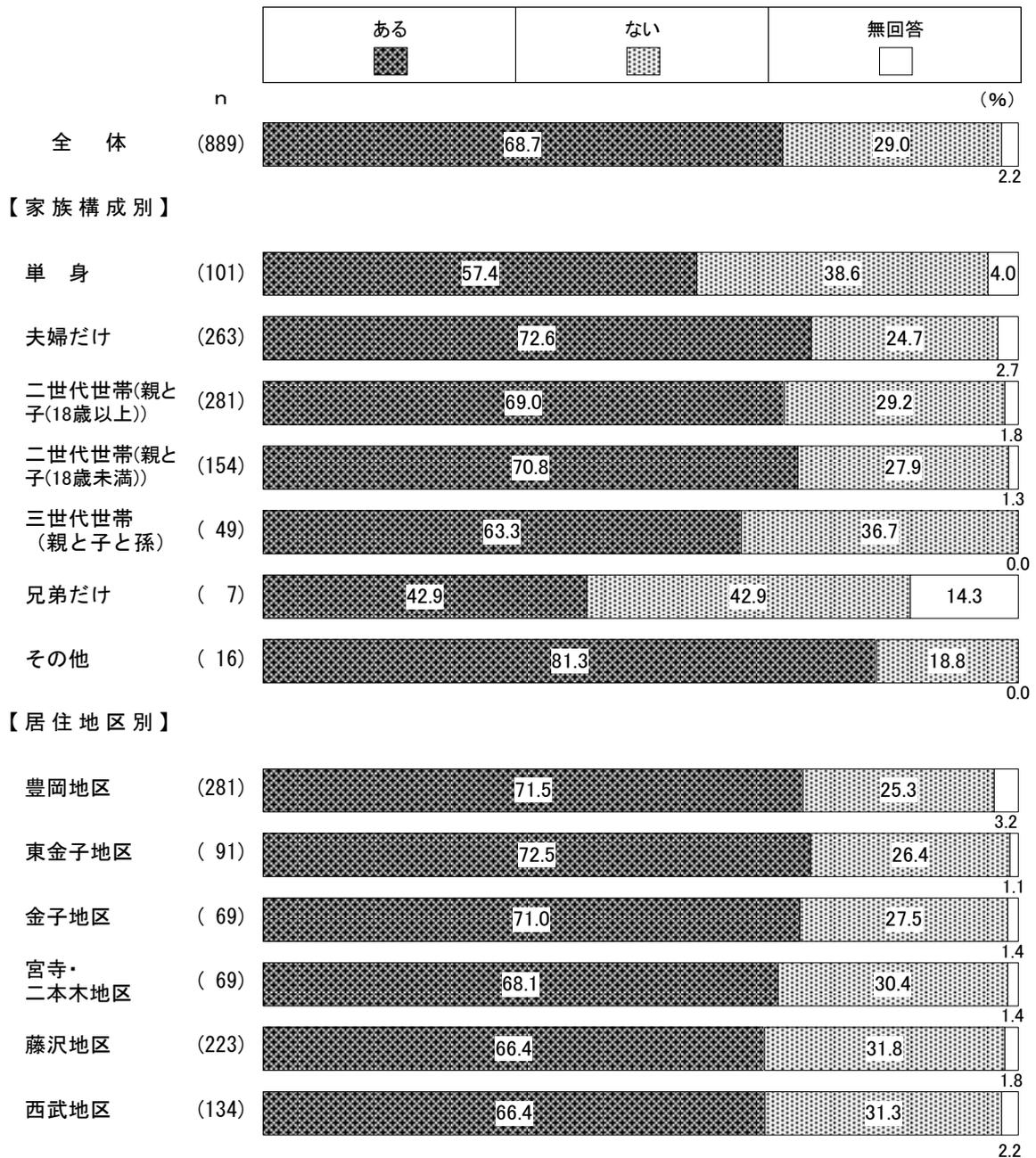
図3-1-3 防災への準備や対策（性・年齢別）



家族構成別にみると、「ある」は“夫婦だけ”（72.6%）で7割を超えて高くなっている。一方、「ない」は“単身”（38.6%）と“三世代世帯（親と子と孫）”（36.7%）で4割近くと高くなっている。

居住地区別にみると、「ある」は東金子地区（72.5%）、豊岡地区（71.5%）、金子地区（71.0%）で7割を超えて高くなっている。（図3-1-4）

図3-1-4 防災への準備や対策（家族構成別、居住地区別）



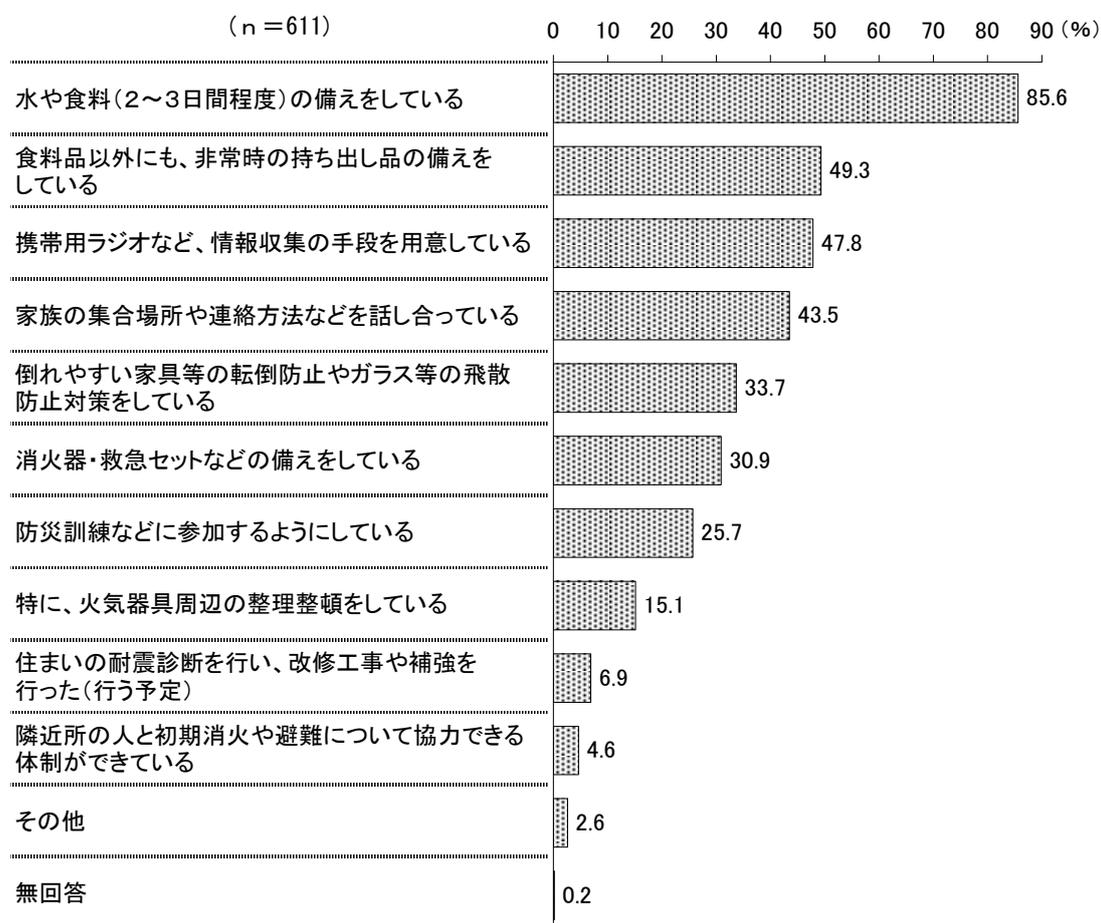
## (2) 防災に対する具体的な内容

◇「水や食料（2～3日間程度）の備えをしている」が8割半ば

(問11で、「ある」と答えた方に)

問11-1 それは具体的にどのようなことですか。次の中からいくつでも選んでください。

図3-2-1

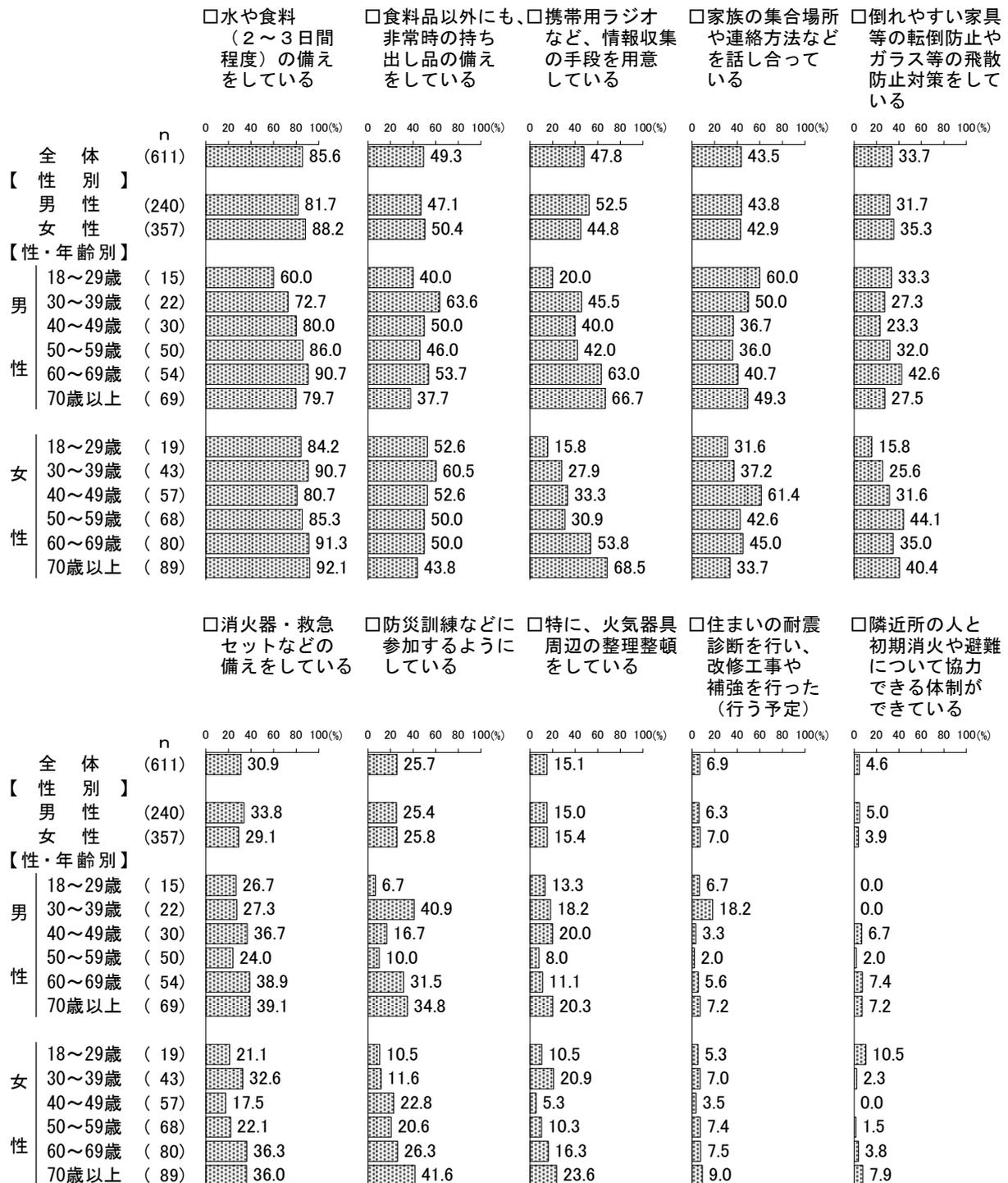


防災への準備や対策が「ある」と答えた人(611人)に、その具体的な内容について聞いたところ、「水や食料(2～3日間程度)の備えをしている」(85.6%)が8割半ばで最も高く、次いで「食料品以外にも、非常時の持ち出し品の備えをしている」(49.3%)、「携帯用ラジオなど、情報収集の手段を用意している」(47.8%)、「家族の集合場所や連絡方法などを話し合っている」(43.5%)などの順となっている。(図3-2-1)

性別にみると、「携帯用ラジオなど、情報収集の手段を用意している」は男性（52.5%）が女性（44.8%）より7.7ポイント高くなっている。一方、「水や食料（2～3日間程度）の備えをしている」は女性（88.2%）が男性（81.7%）より6.5ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「水や食料（2～3日間程度）の備えをしている」は女性60～69歳（91.3%）と女性70歳以上（92.1%）で9割を超えて高くなっている。「食料品以外にも、非常時の持ち出し品の備えをしている」は男性30～39歳（63.6%）で6割を超えて高くなっている。「携帯用ラジオなど、情報収集の手段を用意している」は女性70歳以上（68.5%）と男性70歳以上（66.7%）で7割近くと高くなっている。（図3-2-2）

図3-2-2 防災に対する具体的な内容（性・年齢別）



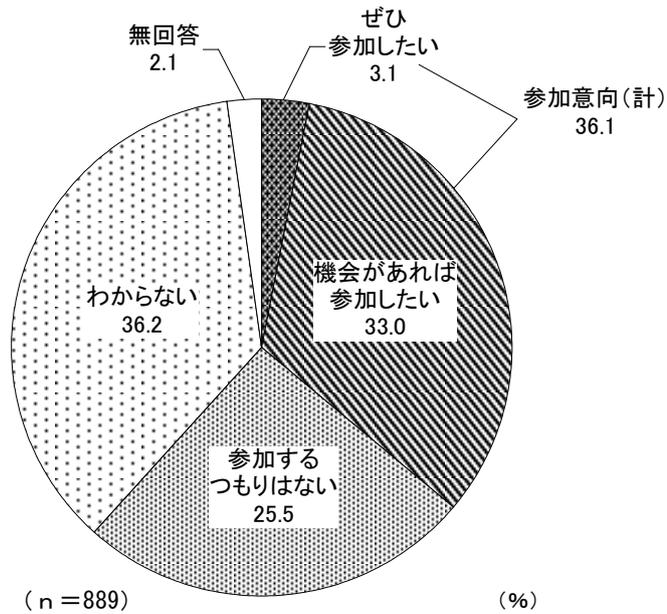
#### 4. ボランティア活動について

##### (1) 今後のボランティア活動の参加意向

◇『参加意向（計）』が3割半ば

問12 今後、ボランティア活動に参加してみたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

図4-1-1

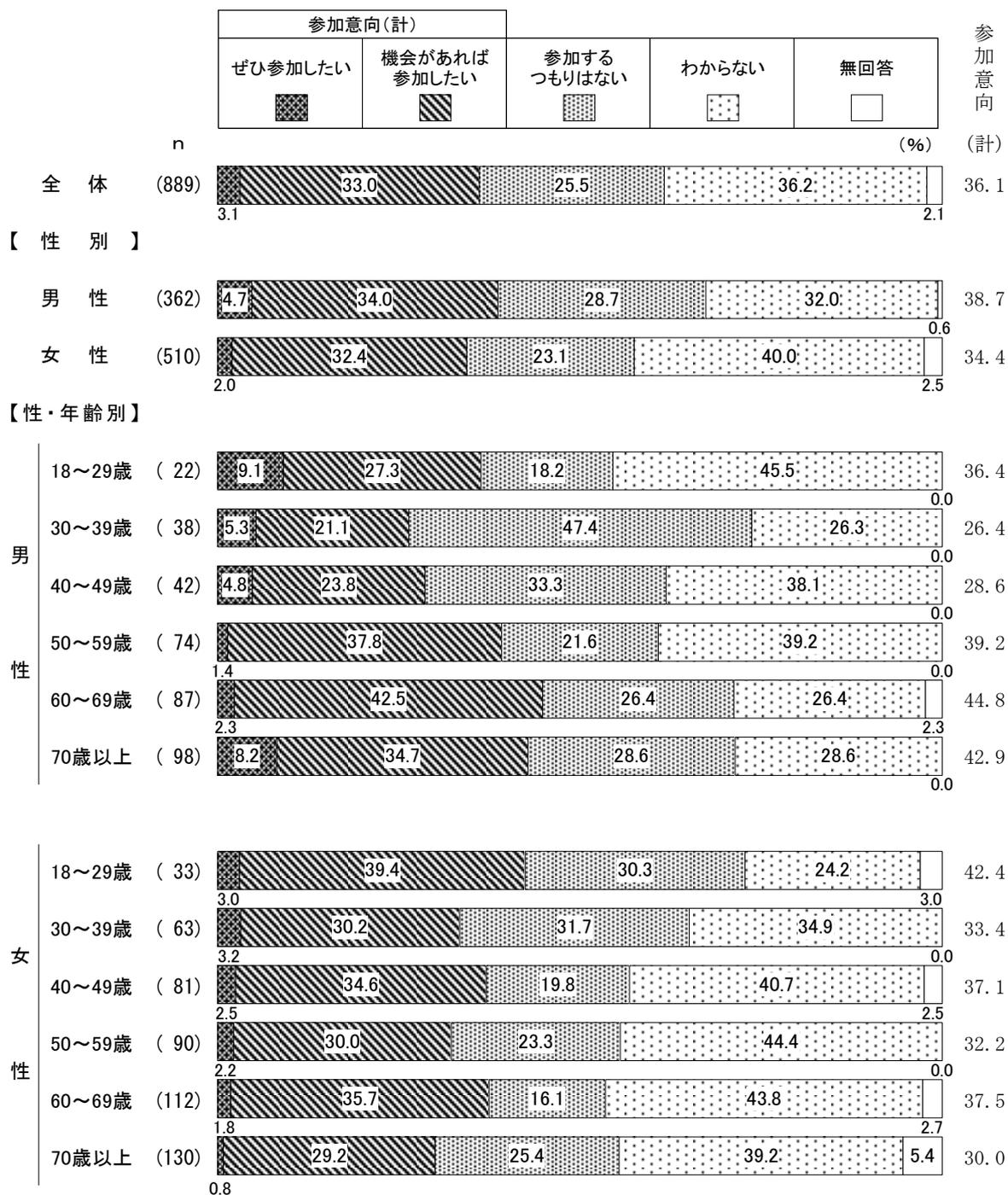


今後のボランティア活動の参加意向について聞いたところ、「ぜひ参加したい」(3.1%)と「機会があれば参加したい」(33.0%)を合わせた『参加意向(計)』(36.1%)は3割半ばとなっている。一方、「参加するつもりはない」(25.5%)は2割半ばとなっている。(図4-1-1)

性別にみると、「参加するつもりはない」は男性（28.7%）が女性（23.1%）より5.6ポイント、『参加意向（計）』は男性（38.7%）が女性（34.4%）より4.3ポイント、それぞれ高くなっている。性・年齢別にみると、『参加意向（計）』は男性60～69歳（44.8%）で4割半ばと高くなっている。一方、「参加するつもりはない」は男性30～39歳（47.4%）で5割近くと高くなっている。

(図4-1-2)

図4-1-2 今後のボランティア活動の参加意向（性・年齢別）



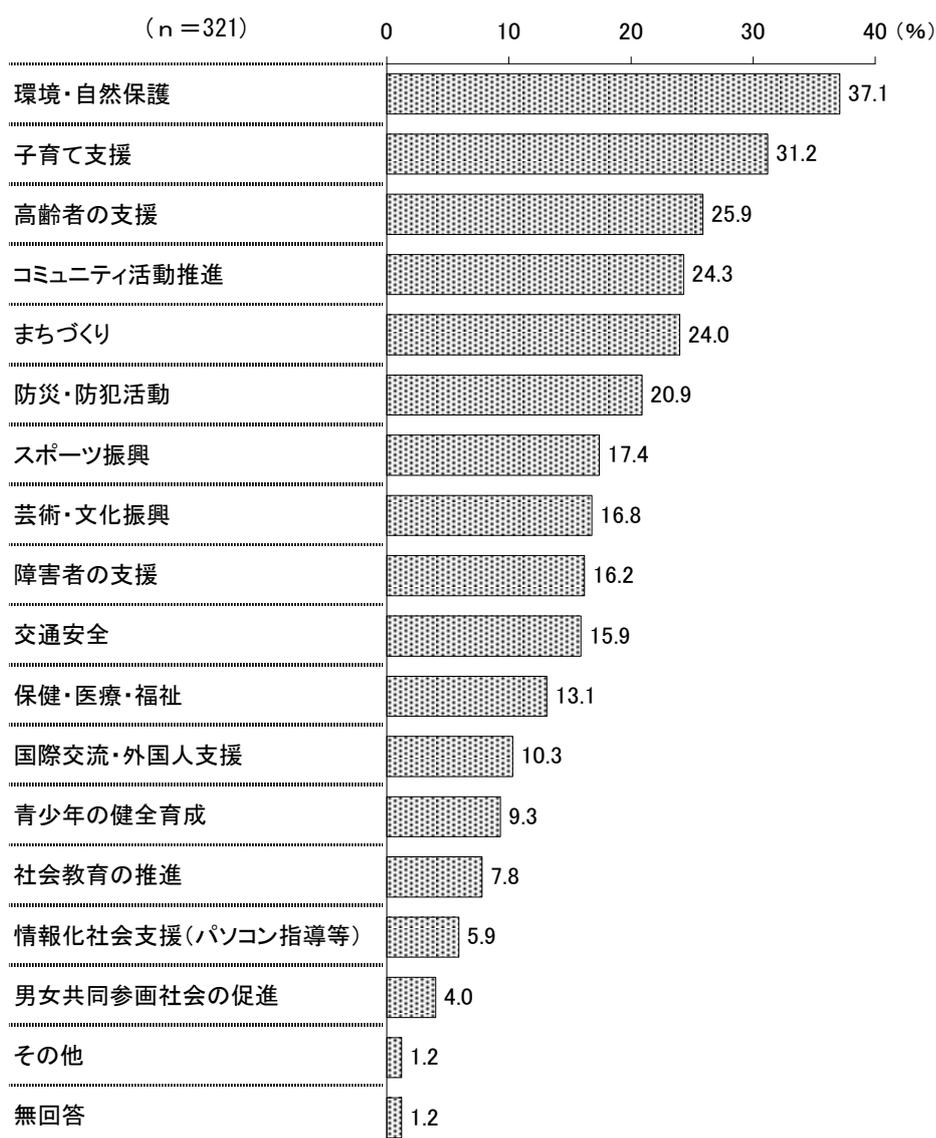
## (2) 参加したいボランティア活動の内容

◇「環境・自然保護」が4割近く

(問12で、「ぜひ参加したい」「機会があれば参加したい」と答えた方に)

問12-1 あなたは、どんなボランティア活動に参加したいですか。次の中からいくつでも選んでください。

図4-2-1

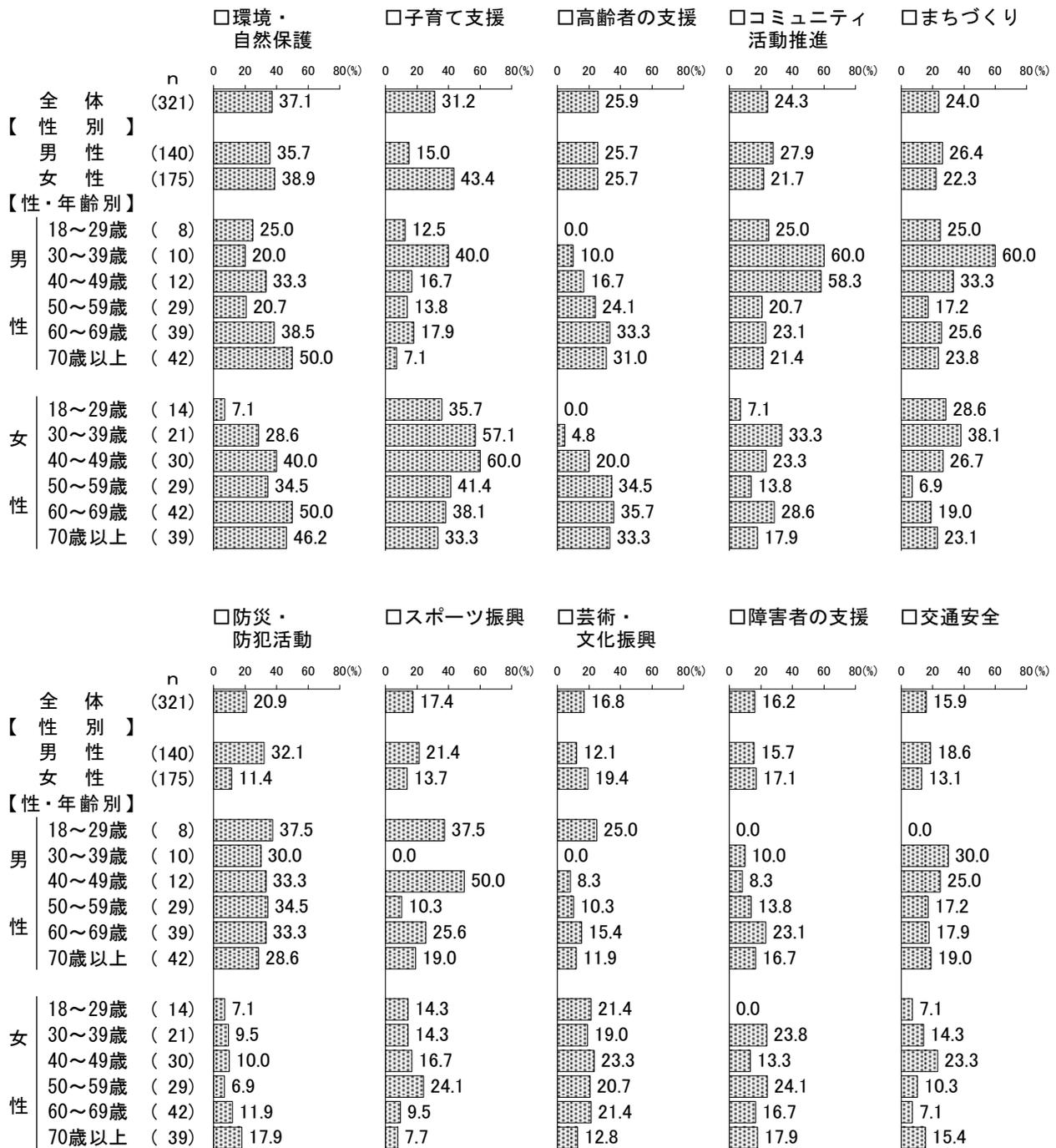


今後、ボランティア活動に「ぜひ参加したい」「機会があれば参加したい」と答えた人(321人)に、参加したいボランティア活動の内容について聞いたところ、「環境・自然保護」(37.1%)が4割近くで最も高く、次いで「子育て支援」(31.2%)、「高齢者の支援」(25.9%)、「コミュニティ活動推進」(24.3%)、「まちづくり」(24.0%)などの順となっている。(図4-2-1)

性別にみると、「子育て支援」は女性（43.4%）が男性（15.0%）より28.4ポイント高くなっている。一方、「防災・防犯活動」は男性（32.1%）が女性（11.4%）より20.7ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「環境・自然保護」は男性70歳以上と女性60～69歳（ともに50.0%）で5割と高くなっている。「子育て支援」は女性40～49歳（60.0%）で6割、女性30～39歳（57.1%）で6割近くと高くなっている。「高齢者の支援」は女性50～59歳（34.5%）と女性60～69歳（35.7%）で3割半ばと高くなっている。（図4-2-2）

図4-2-2 参加したいボランティア活動の内容（性・年齢別）－上位10項目



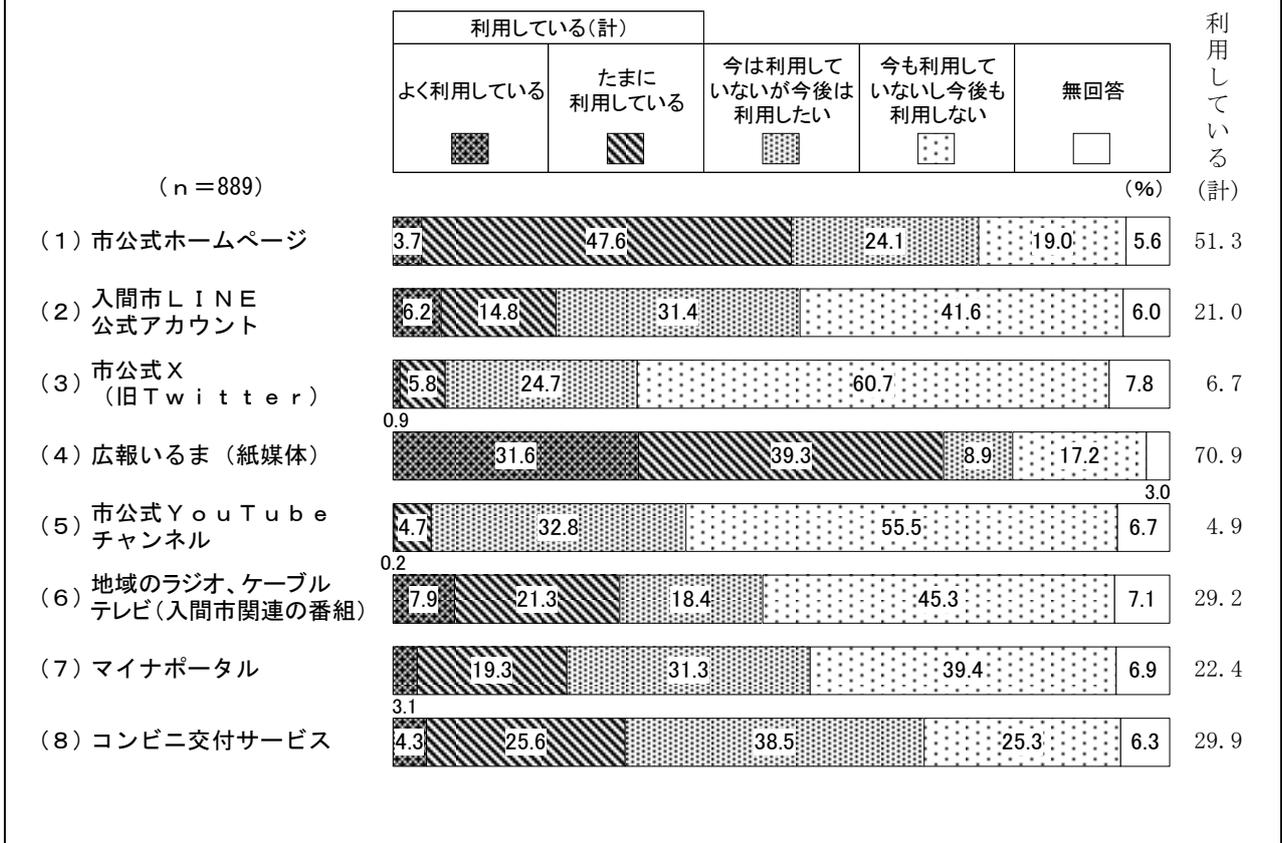
## 5. 情報化について

### (1) メディアの利用状況

◇『利用している(計)』は「広報いるま(紙媒体)」がほぼ7割

問13 あなたは、次にあげるメディアなどを利用していますか。それぞれの項目について1つずつ選んでください。

図5-1-1



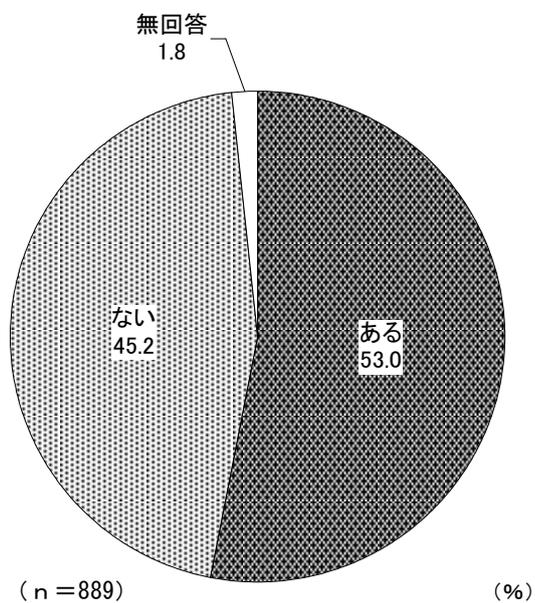
メディアの利用状況について聞いたところ、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた『利用している(計)』は「広報いるま(紙媒体)」(70.9%)がほぼ7割で最も高く、次いで「市公式ホームページ」(51.3%)、「コンビニ交付サービス」(29.9%)、「地域のラジオ、ケーブルテレビ(入間市関連の番組)」(29.2%)などの順となっている。(図5-1-1)

## (2) 市公式ホームページの閲覧状況

◇「ある」が5割を超える

問14 あなたは今年、入間市公式ホームページをご覧になったことがありますか。

図5-2-1

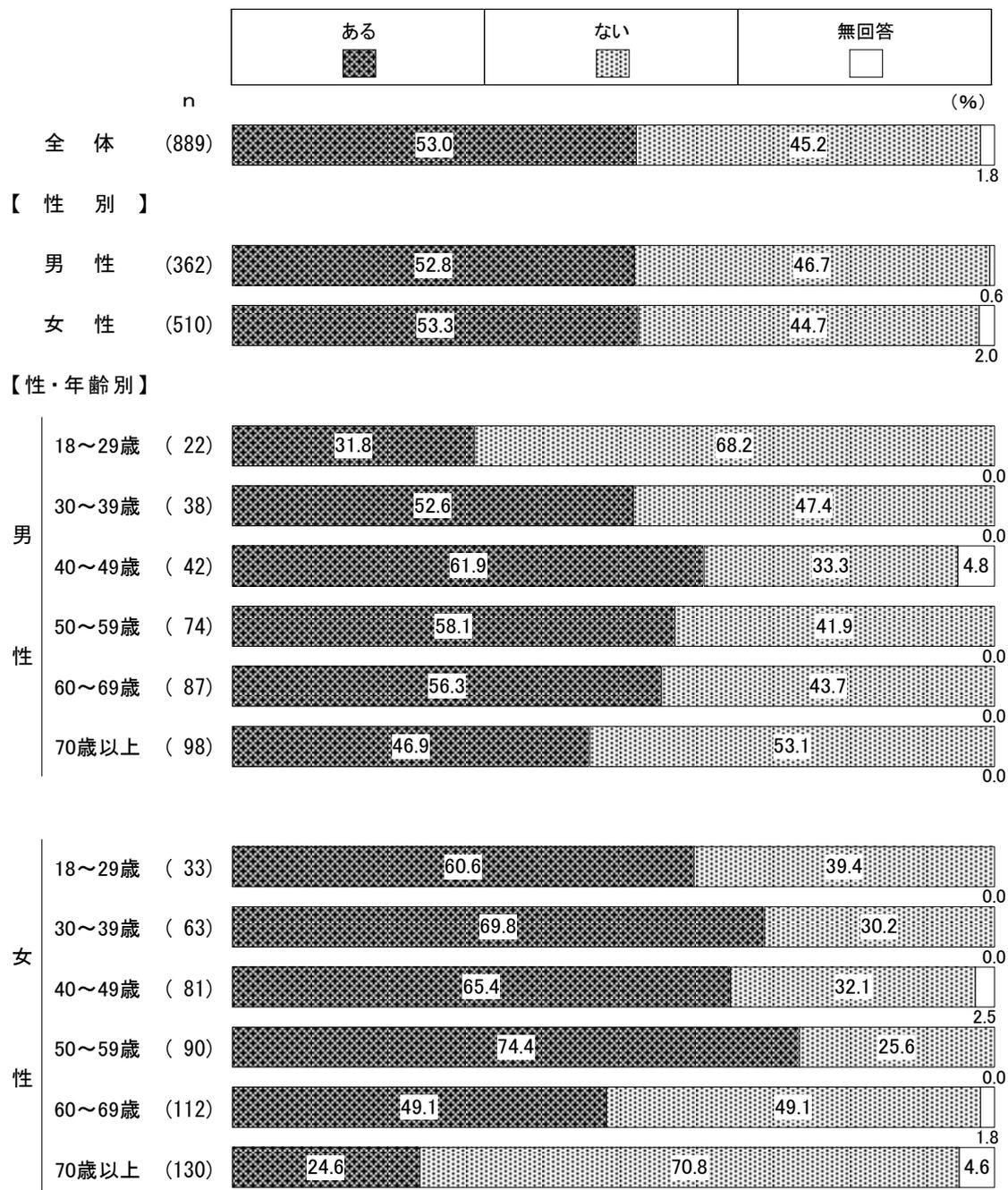


市公式ホームページの閲覧状況について聞いたところ、「ある」(53.0%)が5割を超えている。一方、「ない」(45.2%)は4割半ばとなっている。(図5-2-1)

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年齢別にみると、「ある」は女性50～59歳（74.4%）で7割半ばと高くなっている。一方、「ない」は女性70歳以上（70.8%）でほぼ7割と高くなっている。（図5-2-2）

図5-2-2 市公式ホームページの閲覧状況（性・年齢別）



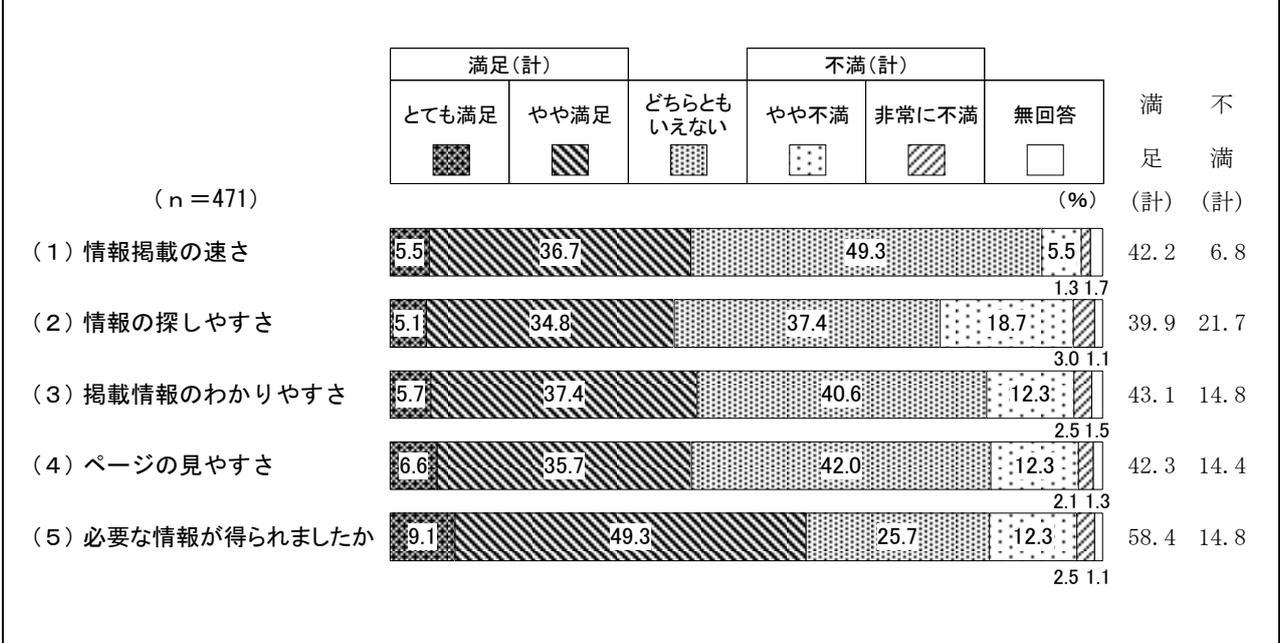
### (3) 市公式ホームページの満足度

◇『満足(計)』は「必要な情報が得られましたか」が6割近く

(問14で、「ある」と答えた方に)

問14-1 ホームページの満足度をうかがいます。それぞれの項目について1つずつ選んでください。

図5-3-1

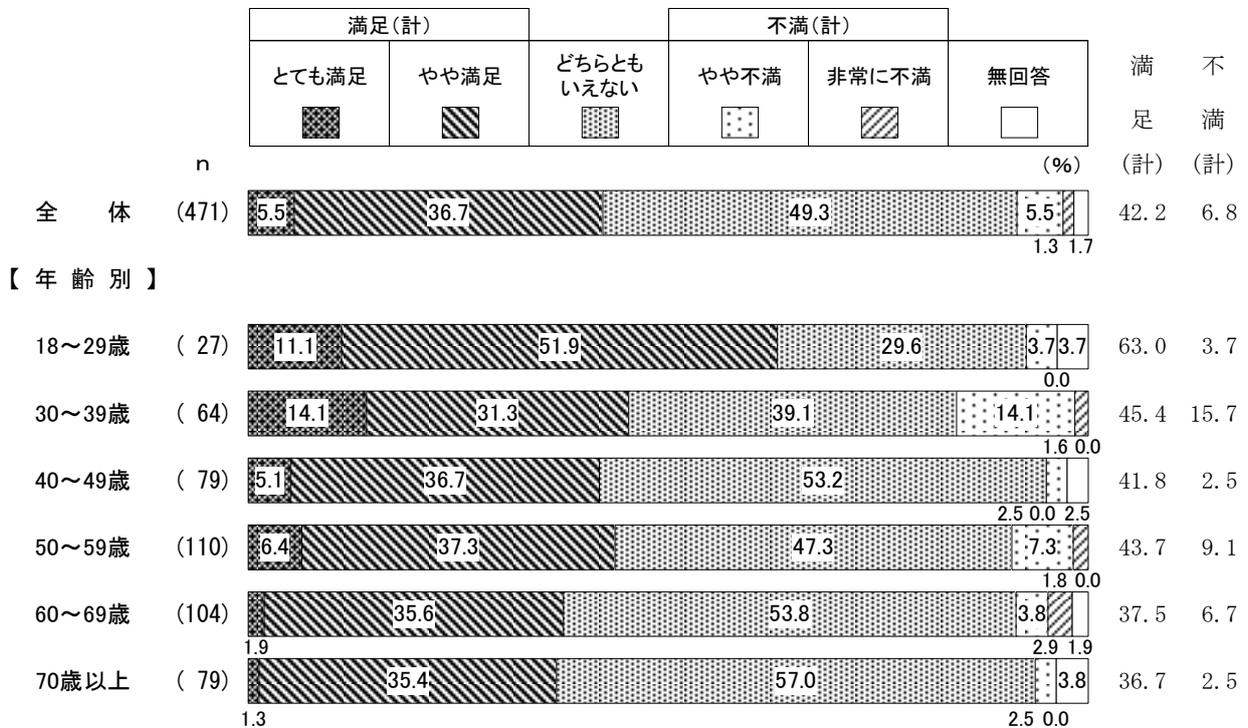


市公式ホームページを閲覧したことが「ある」と答えた人(471人)に、市公式ホームページの満足度について聞いたところ、「とても満足」と「やや満足」を合わせた『満足(計)』は「必要な情報が得られましたか」(58.4%)が6割近くで最も高く、次いで「掲載情報のわかりやすさ」(43.1%)、「ページの見やすさ」(42.3%)などの順となっている。一方、「やや不満」と「非常に不満」を合わせた『不満(計)』は「情報の探しやすさ」(21.7%)が2割を超えて最も高く、次いで「掲載情報のわかりやすさ」と「必要な情報が得られましたか」(ともに14.8%)などの順となっている。

(図5-3-1)

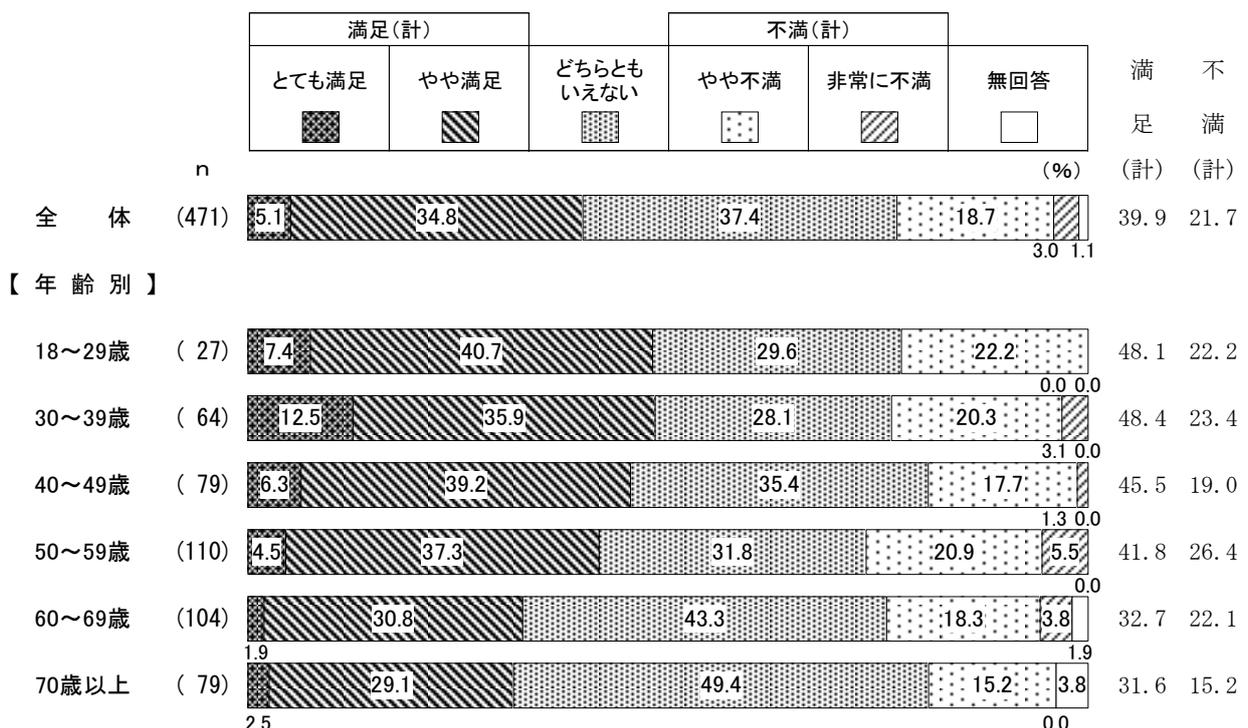
「情報掲載の速さ」について年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（63.0%）で6割を超えて高くなっている。（図5-3-2）

図5-3-2 市公式ホームページの満足度（1）情報掲載の速さ（年齢別）



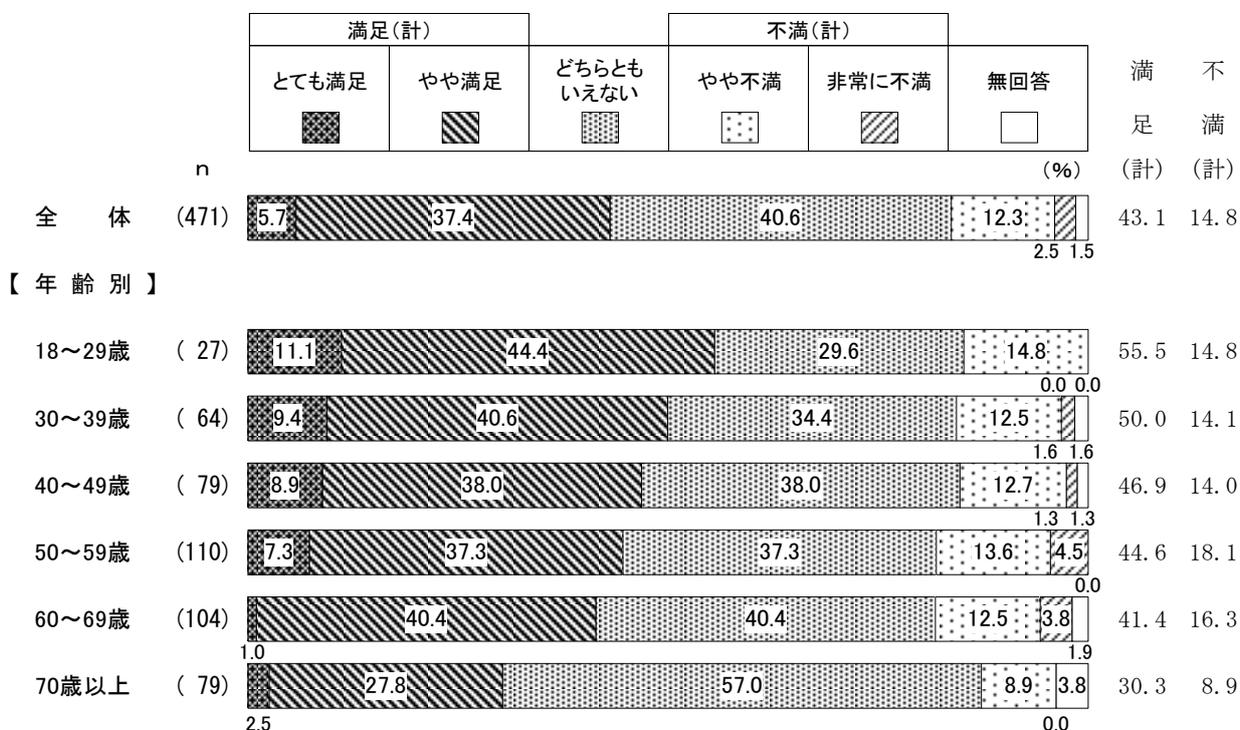
「情報の探しやすさ」について年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（48.1%）と30～39歳（48.4%）で5割近くと高くなっている。（図5-3-3）

図5-3-3 市公式ホームページの満足度（2）情報の探しやすさ（年齢別）



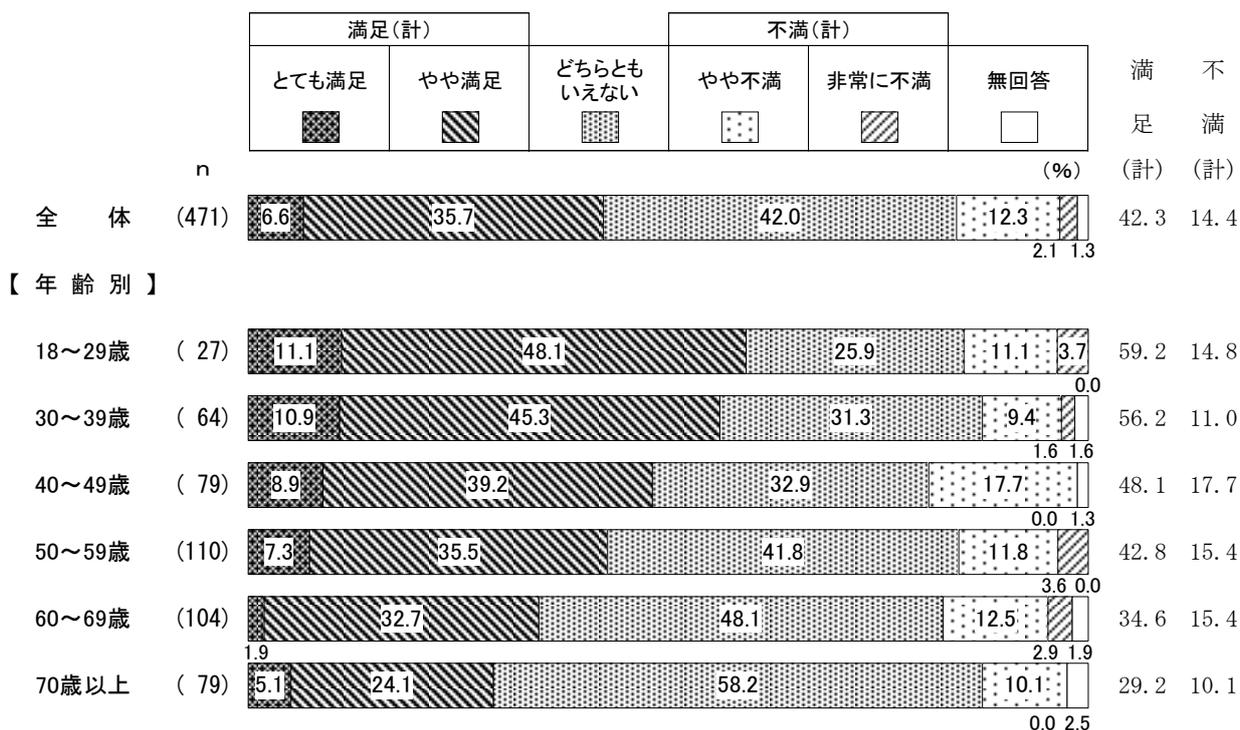
「掲載情報のわかりやすさ」について年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（55.5%）で5割半ばと高くなっている。（図5-3-4）

図5-3-4 市公式ホームページの満足度 （3）掲載情報のわかりやすさ（年齢別）



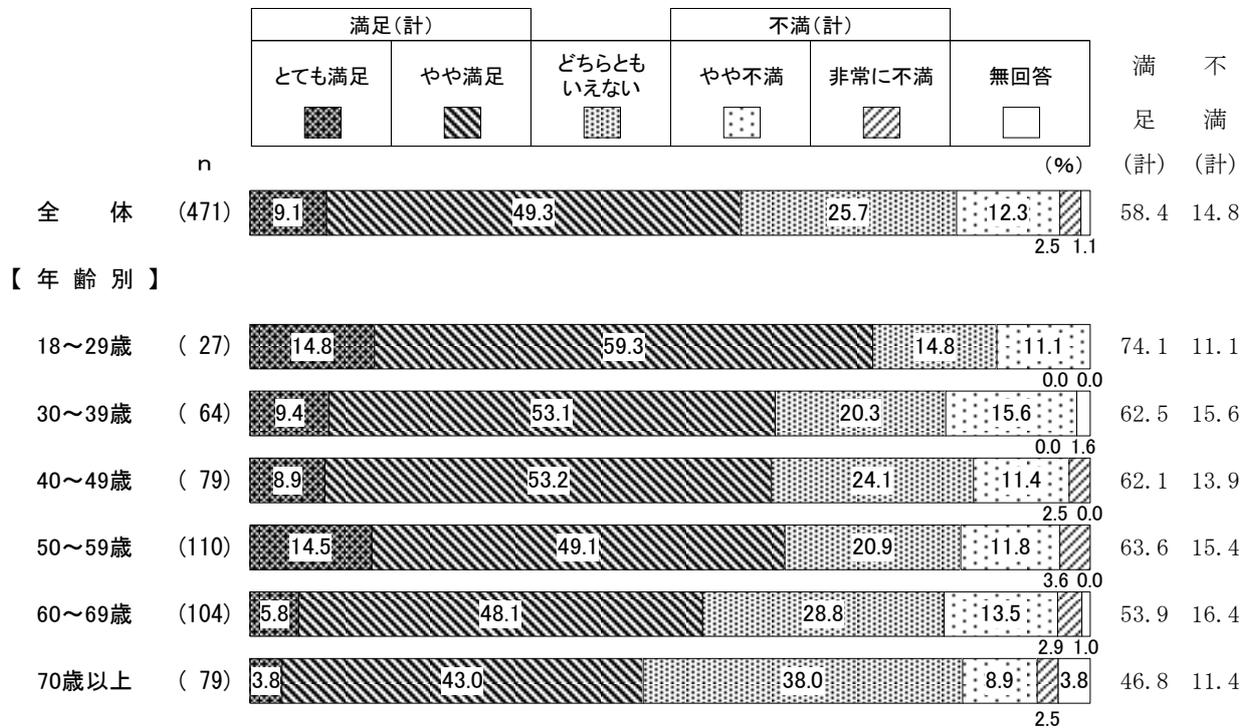
「ページの見やすさ」について年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（59.2%）でほぼ6割と高くなっている。（図5-3-5）

図5-3-5 市公式ホームページの満足度 （4）ページの見やすさ（年齢別）



「必要な情報が得られましたか」について年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（74.1%）で7割半ばと高くなっている。（図5-3-6）

図5-3-6 市公式ホームページの満足度（5）必要な情報が得られましたか（年齢別）

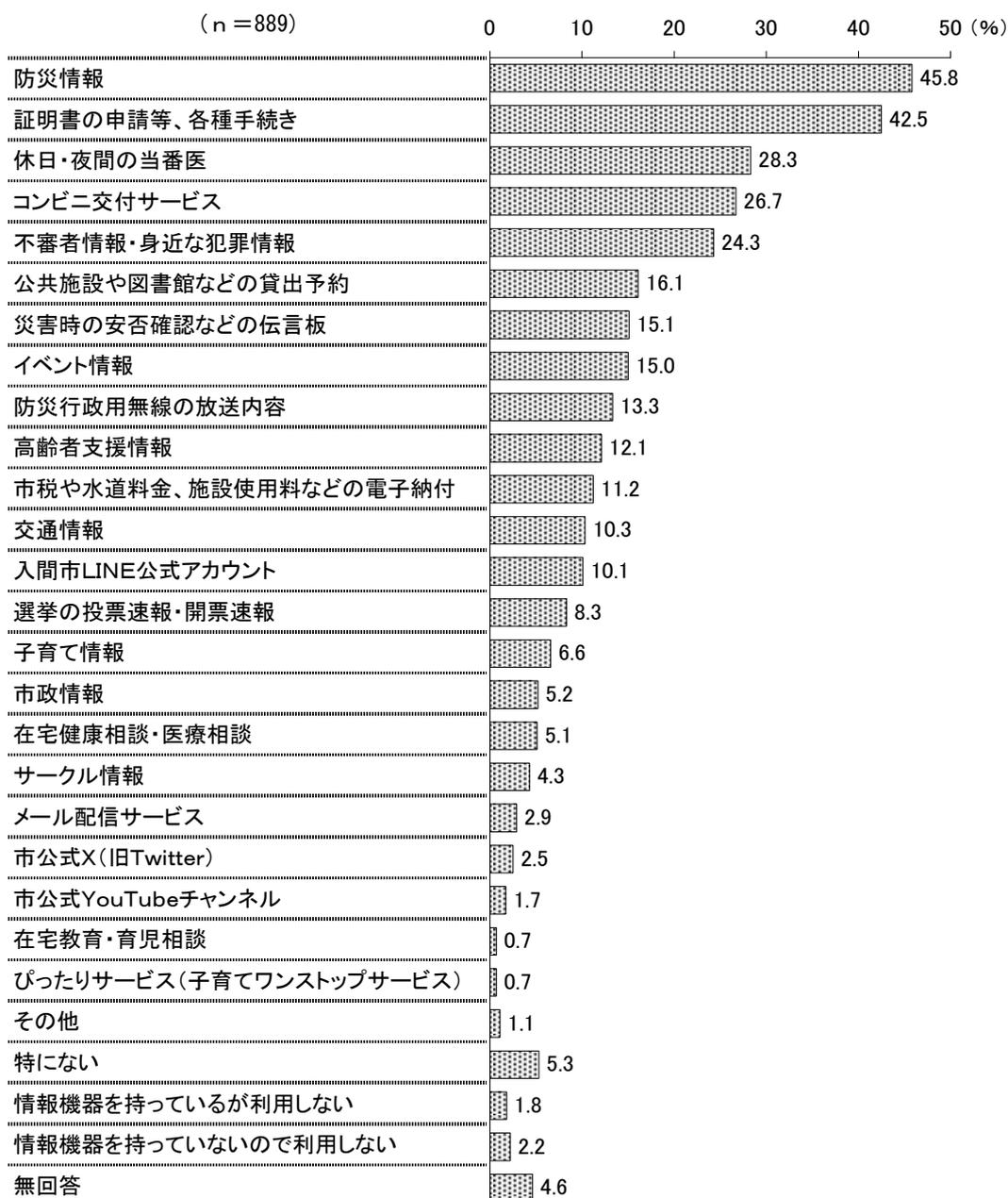


#### (4) 市のインターネットサービスで利用している（利用したい）情報

◇「防災情報」が4割半ば

問15 市がインターネットで行うサービスのうち、どのようなものを利用していますか（利用したいと思いますか）。次の項目から5つまで選んでください。

図5-4-1



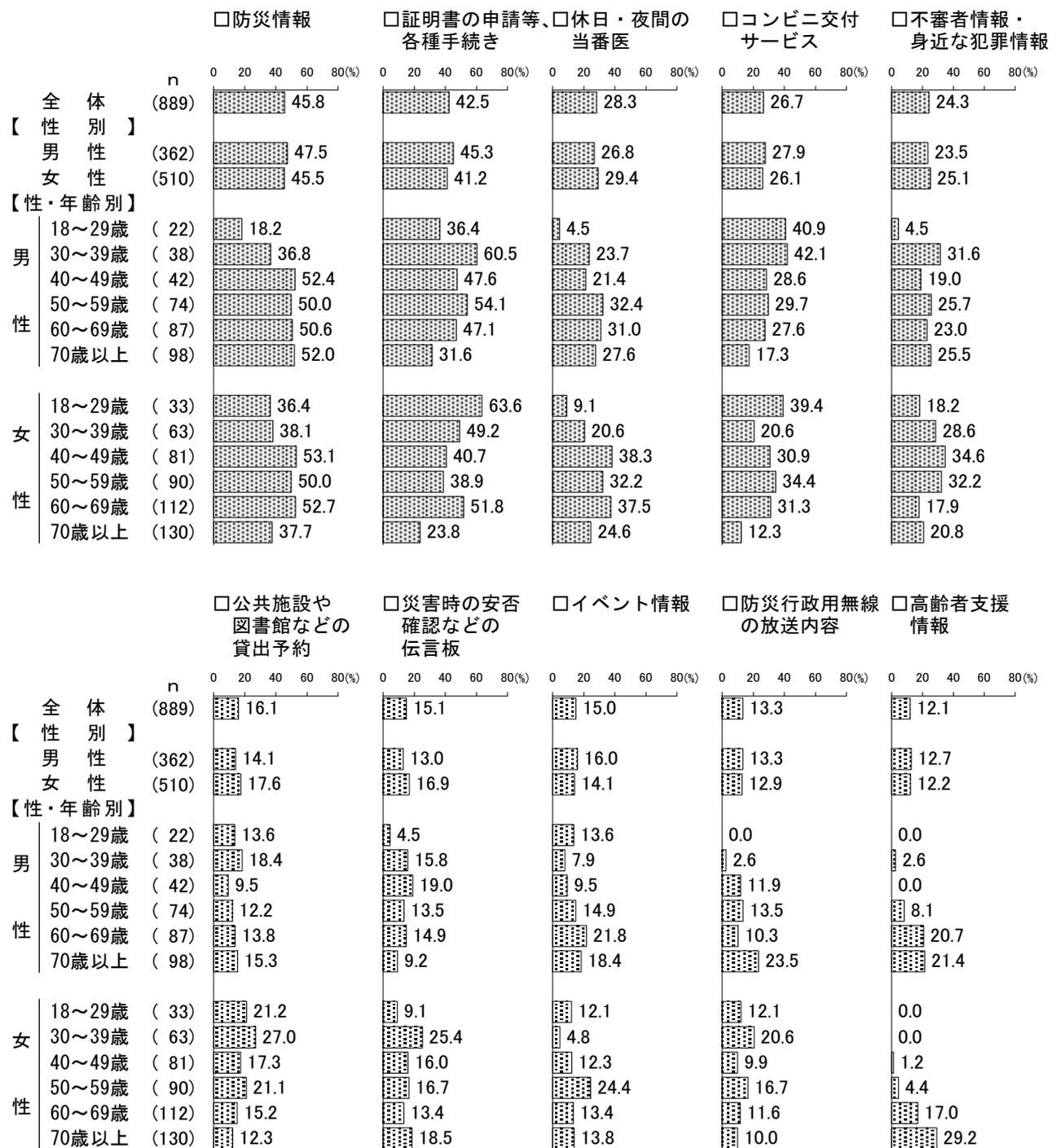
市のインターネットサービスで利用している（利用したい）情報について聞いたところ、「防災情報」（45.8%）が4割半ばで最も高く、次いで「証明書の申請等、各種手続き」（42.5%）、「休日・夜間の当番医」（28.3%）、「コンビニ交付サービス」（26.7%）などの順となっている。

(図5-4-1)

性別にみると、「証明書の申請等、各種手続き」は男性（45.3%）が女性（41.2%）より4.1ポイント高くなっている。一方、「災害時の安否確認などの伝言板」は女性（16.9%）が男性（13.0%）より3.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「証明書の申請等、各種手続き」は女性18～29歳（63.6%）で6割を超えて高くなっている。「休日・夜間の当番医」は女性40～49歳（38.3%）と女性60～69歳（37.5%）で4割近くと高くなっている。「コンビニ交付サービス」は男性18～29歳（40.9%）と男性30～39歳（42.1%）で4割台と高くなっている。（図5-4-2）

図5-4-2 市のインターネットサービスで利用している(利用したい)情報(性・年齢別)ー上位10項目



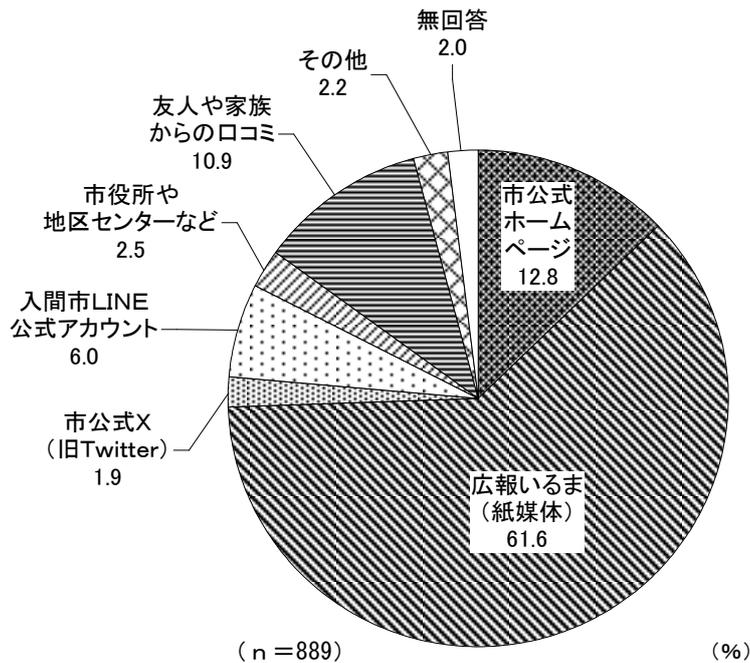
## 6. 市政情報について

### (1) 入間市の情報入手先

◇「広報いるま（紙媒体）」が6割を超える

問16 あなたは、市政の動きや市の仕事・行事などについて、主に何から情報を得ていますか。次の中から1つ選んでください。

図6-1-1

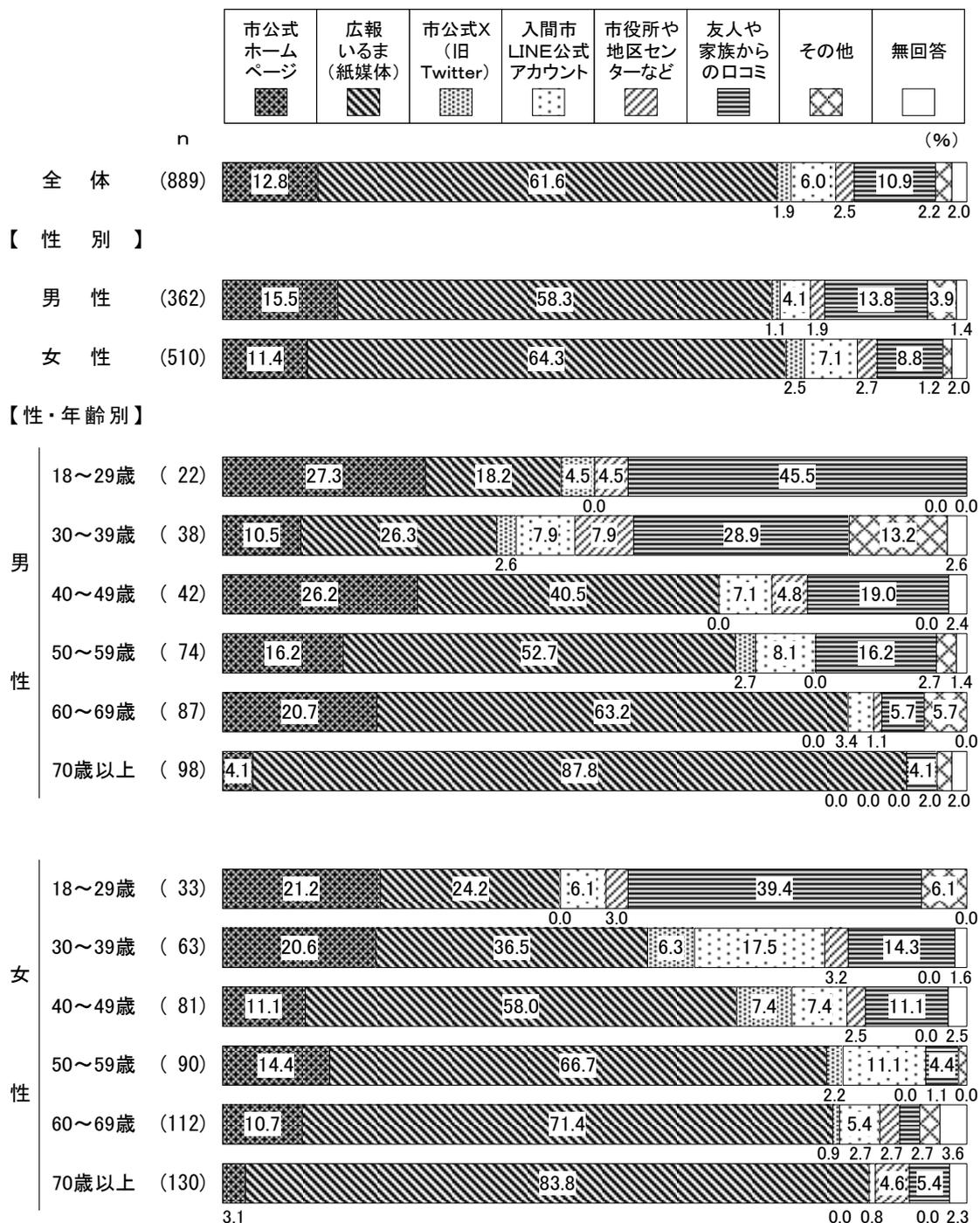


入間市の情報入手先について聞いたところ、「広報いるま（紙媒体）」(61.6%)が6割を超えて最も高く、次いで「市公式ホームページ」(12.8%)、「友人や家族からの口コミ」(10.9%)、「入間市LINE公式アカウント」(6.0%)などの順となっている。(図6-1-1)

性別にみると、「広報いるま（紙媒体）」は女性（64.3%）が男性（58.3%）より6.0ポイント高くなっている。一方、「友人や家族からの口コミ」は男性（13.8%）が女性（8.8%）より5.0ポイント、「市公式ホームページ」は男性（15.5%）が女性（11.4%）より4.1ポイント、それぞれ高くなっている。

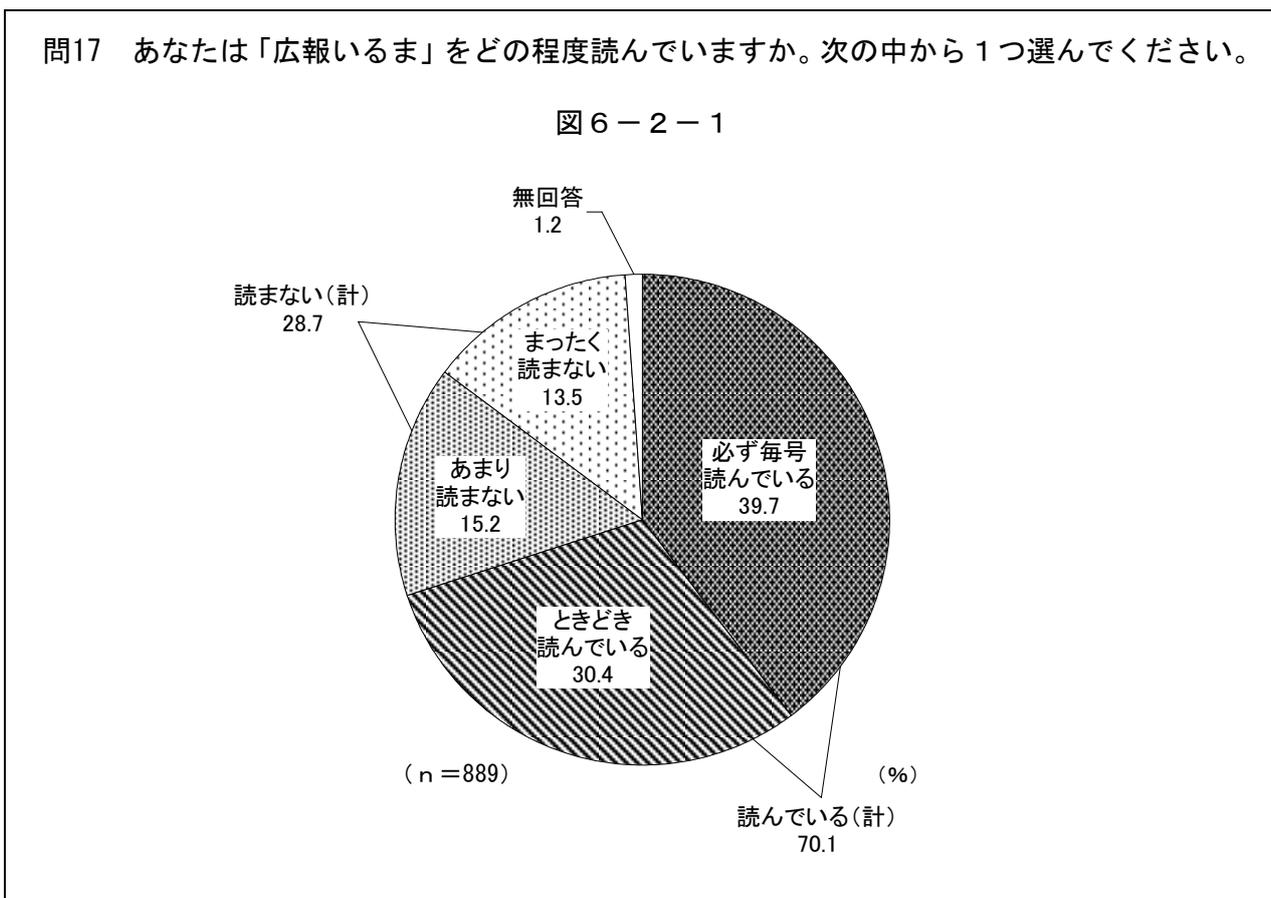
性・年齢別にみると、「市公式ホームページ」は男性18～29歳（27.3%）で3割近くと高くなっている。「広報いるま（紙媒体）」は男性70歳以上（87.8%）と女性70歳以上（83.8%）で8割台と高くなっている。「友人や家族からの口コミ」は男性18～29歳（45.5%）で4割半ば、女性18～29歳（39.4%）でほぼ4割と高くなっている。（図6-1-2）

図6-1-2 入間市の情報入手先（性・年齢別）



## (2) 「広報いるま」について

◇『読んでいる(計)』が7割



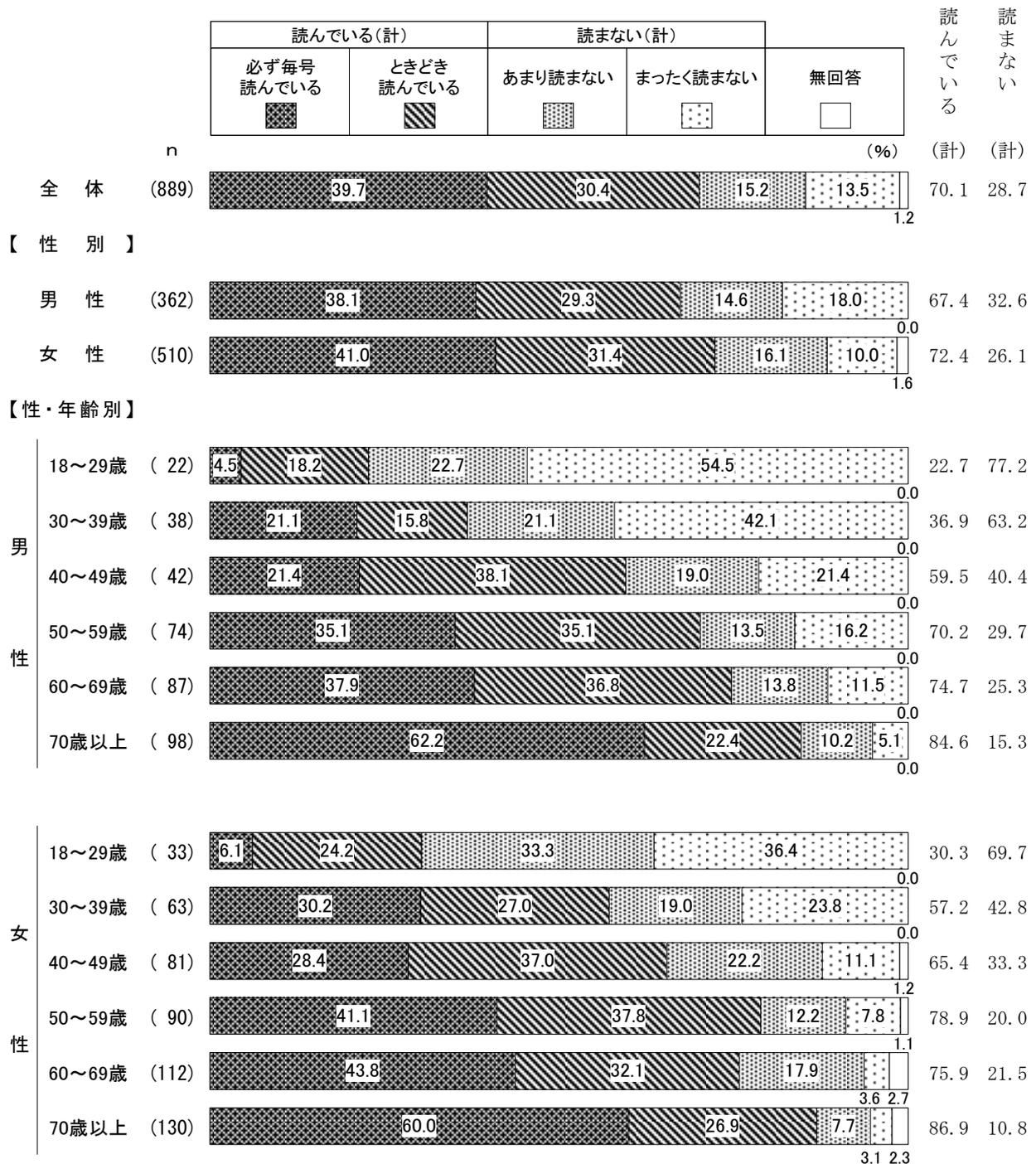
「広報いるま」について聞いたところ、「必ず毎号読んでいる」(39.7%)と「ときどき読んでいる」(30.4%)を合わせた『読んでいる(計)』(70.1%)が7割と高くなっている。一方、「あまり読まない」(15.2%)と「まったく読まない」(13.5%)を合わせた『読まない(計)』(28.7%)は3割近くとなっている。(図6-2-1)

性別にみると、『読んでいる（計）』は女性（72.4%）が男性（67.4%）より5.0ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『読んでいる（計）』は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合が高く、女性70歳以上（86.9%）と男性70歳以上（84.6%）で8割台と高くなっている。一方、『読まない（計）』は男性18～29歳（77.2%）で8割近く、女性18～29歳（69.7%）で7割と高くなっている。

（図6-2-2）

図6-2-2 「広報いるま」について（性・年齢別）



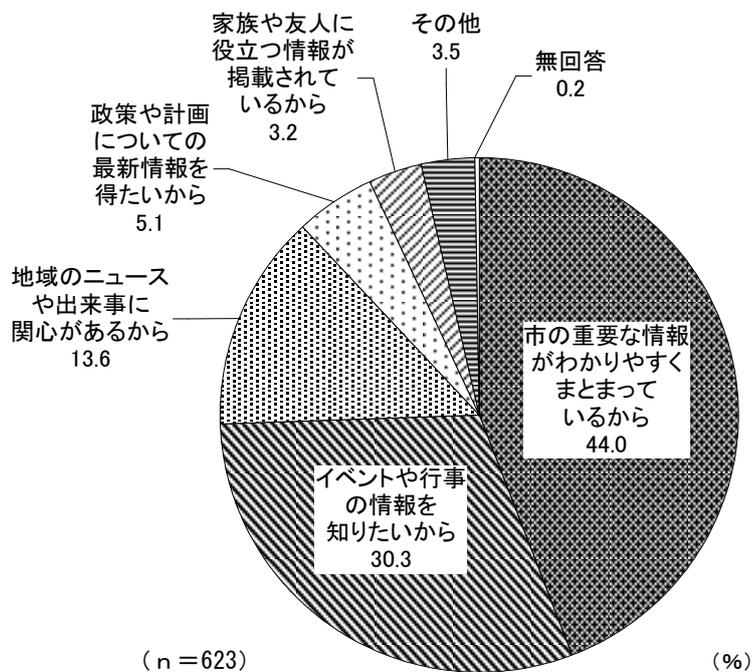
### (3) 「広報いるま」を読んでいる理由

◇「市の重要な情報がわかりやすくまとまっているから」が4割半ば

(問17で、「必ず毎号読んでいる」「ときどき読んでいる」と答えた方に)

問17-1 読んでいる理由を次の中から1つ選んでください。

図6-3-1



「広報いるま」を「必ず毎号読んでいる」「ときどき読んでいる」と答えた人(623人)に、読んでいる理由について聞いたところ、「市の重要な情報がわかりやすくまとまっているから」(44.0%)が4割半ばで最も高く、次いで「イベントや行事の情報を知りたいから」(30.3%)、「地域のニュースや出来事に関心があるから」(13.6%)、「政策や計画についての最新情報を得たいから」(5.1%)などの順となっている。(図6-3-1)

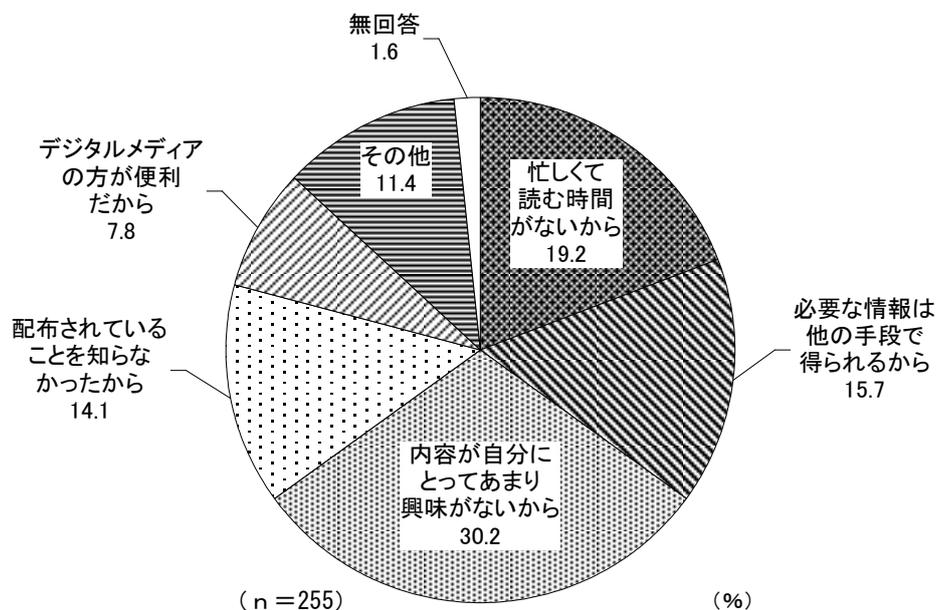
#### (4) 「広報いるま」を読んでいない理由

◇ 「内容が自分にとってあまり興味がないから」が3割

(問17で、「あまり読まない」「まったく読まない」と答えた方に)

問17-2 読んでいない理由を次の中から1つ選んでください。

図6-4-1



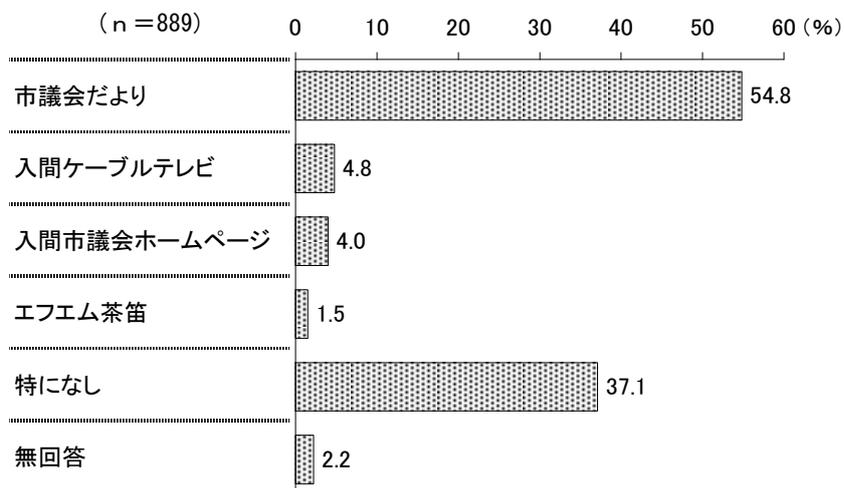
「広報いるま」を「あまり読まない」「まったく読まない」と答えた人 (255人) に、読んでいない理由について聞いたところ、「内容が自分にとってあまり興味がないから」(30.2%) が3割で最も高く、次いで「忙しくて読む時間がないから」(19.2%)、「必要な情報は他の手段で得られるから」(15.7%)などの順となっている。(図6-4-1)

## (5) 市議会の情報入手先

◇「市議会だより」が5割半ば

問18 あなたは、どのような媒体で市議会の情報を得ていますか。次の中から該当するものを全て選んでください。

図6-5-1



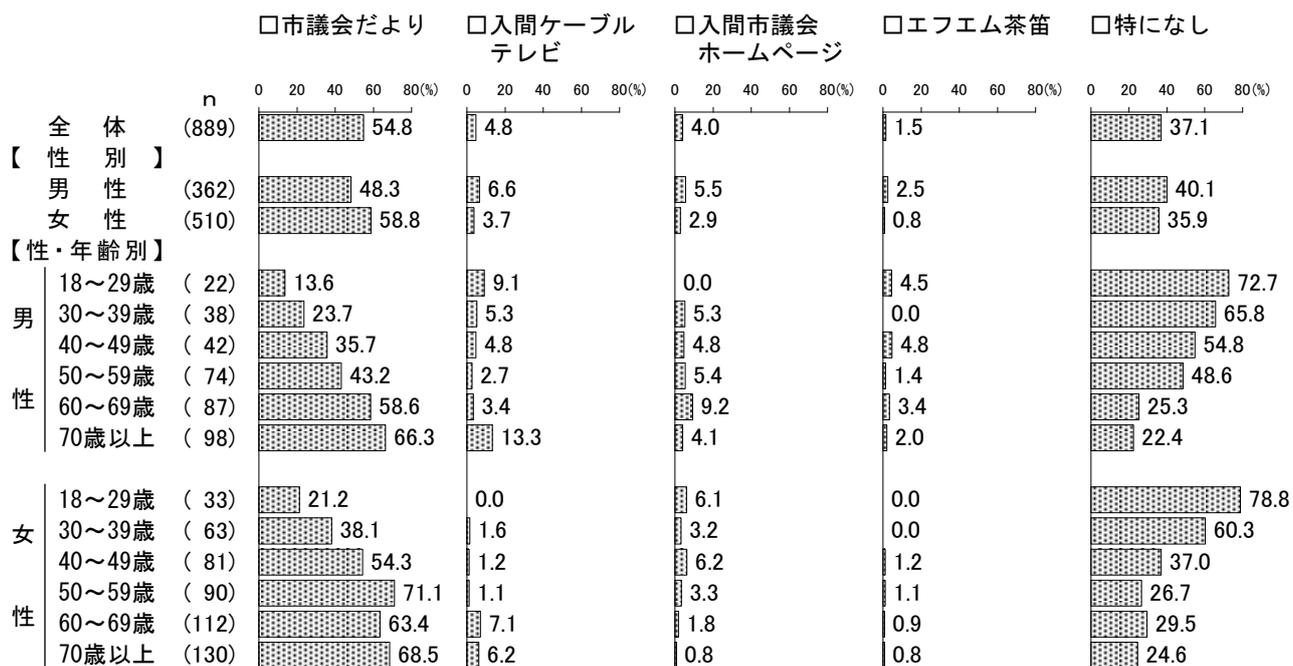
市議会の情報入手先について聞いたところ、「市議会だより」(54.8%)が5割半ばで最も高く、次いで「入間ケーブルテレビ」(4.8%)などの順となっている。一方、「特になし」(37.1%)は4割近くとなっている。(図6-5-1)

性別にみると、「市議会だより」は女性（58.8%）が男性（48.3%）より10.5ポイント高くなっている。一方、「特になし」は男性（40.1%）が女性（35.9%）より4.2ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「市議会だより」は女性50～59歳（71.1%）で7割を超えて高くなっている。「特になし」は女性18～29歳（78.8%）と男性18～29歳（72.7%）で7割台と高くなっている。

（図6-5-2）

図6-5-2 市議会の情報入手先（性・年齢別）



## 7. 施設利用について

### (1) 施設の利用状況

◇『利用している(計)』は「彩の森入間公園」がほぼ6割

問19 市内にはさまざまな公共施設がありますが、あなたは次の施設を利用していますか。また、利用していない場合、その理由は何ですか。それぞれの項目について1つずつ選んでください。

(ア) 利用の程度で「あまり利用していない」「まったく利用していない」と回答された方は、(イ) 利用していない理由をお答えください。

施設の利用状況について聞いたところ、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた『利用している(計)』は「彩の森入間公園」(60.5%)がほぼ6割で最も高く、次いで「総合クリーンセンター・リサイクルプラザ」(56.9%)、「地区センター、公民館」(37.3%)、「図書館(分館含む)」(34.1%)などの順となっている。

一方、「あまり利用していない」と「まったく利用していない」を合わせた『利用していない(計)』は「老人福祉センターやまゆり荘」(94.8%)が9割半ばで最も高く、次いで「男女共同参画推進センター(イルミン内)」(94.1%)、「武道館」(93.5%)、「青少年活動センター」(92.6%)などの順となっている。(図7-1-1)

施設を「あまり利用していない」「まったく利用していない」と答えた人に、その理由について聞いたところ、すべての項目で「利用する必要がない」が最も高くなっている。

「場所を知らない」は「さいたま緑の森博物館(狭山丘陵)」(23.9%)が2割を超えている。

「施設まで遠い」は「彩の森入間公園」(25.3%)が2割半ばとなっている。(図7-1-2)

図 7-1-1 施設の利用状況 (ア) 利用の程度

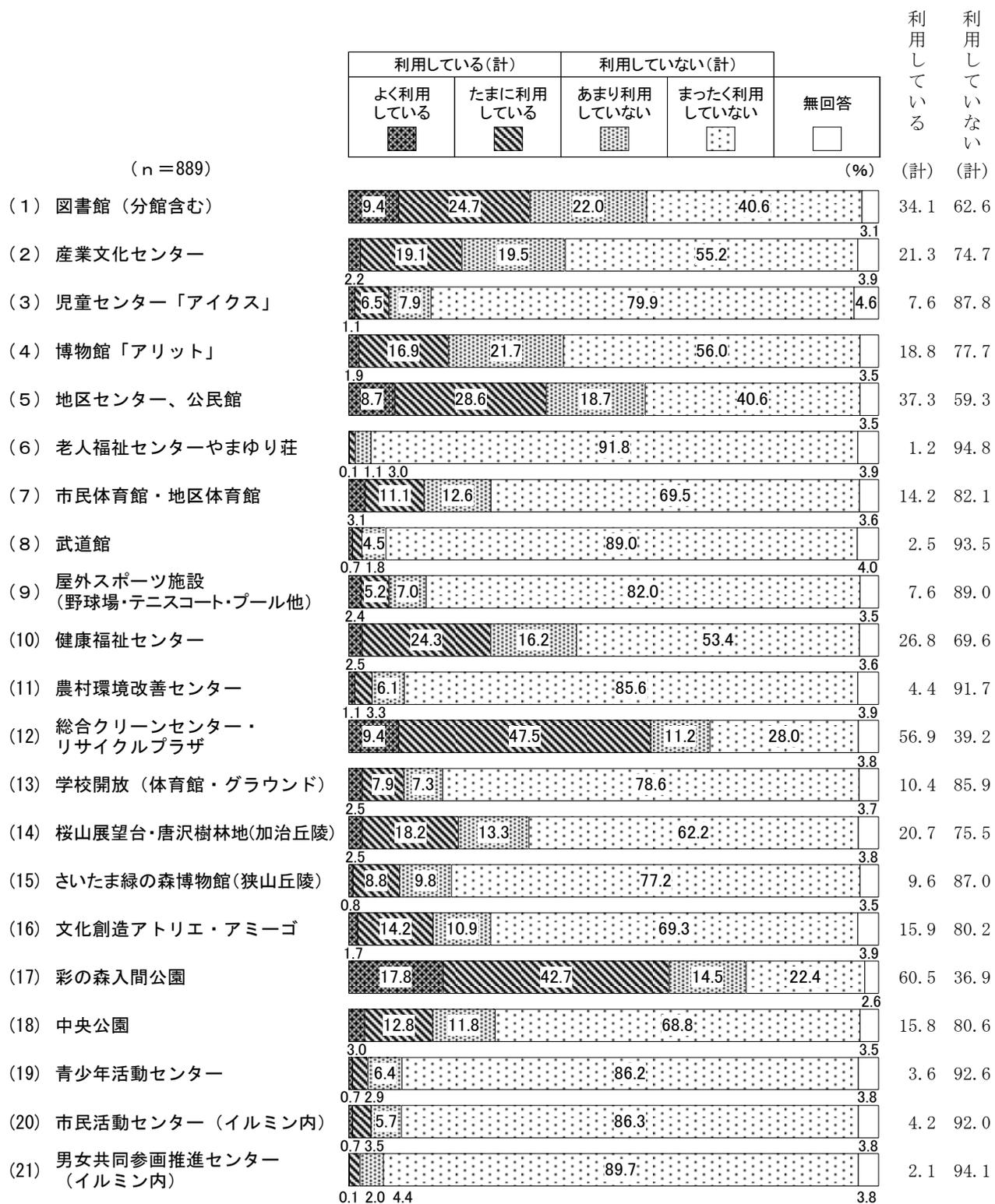
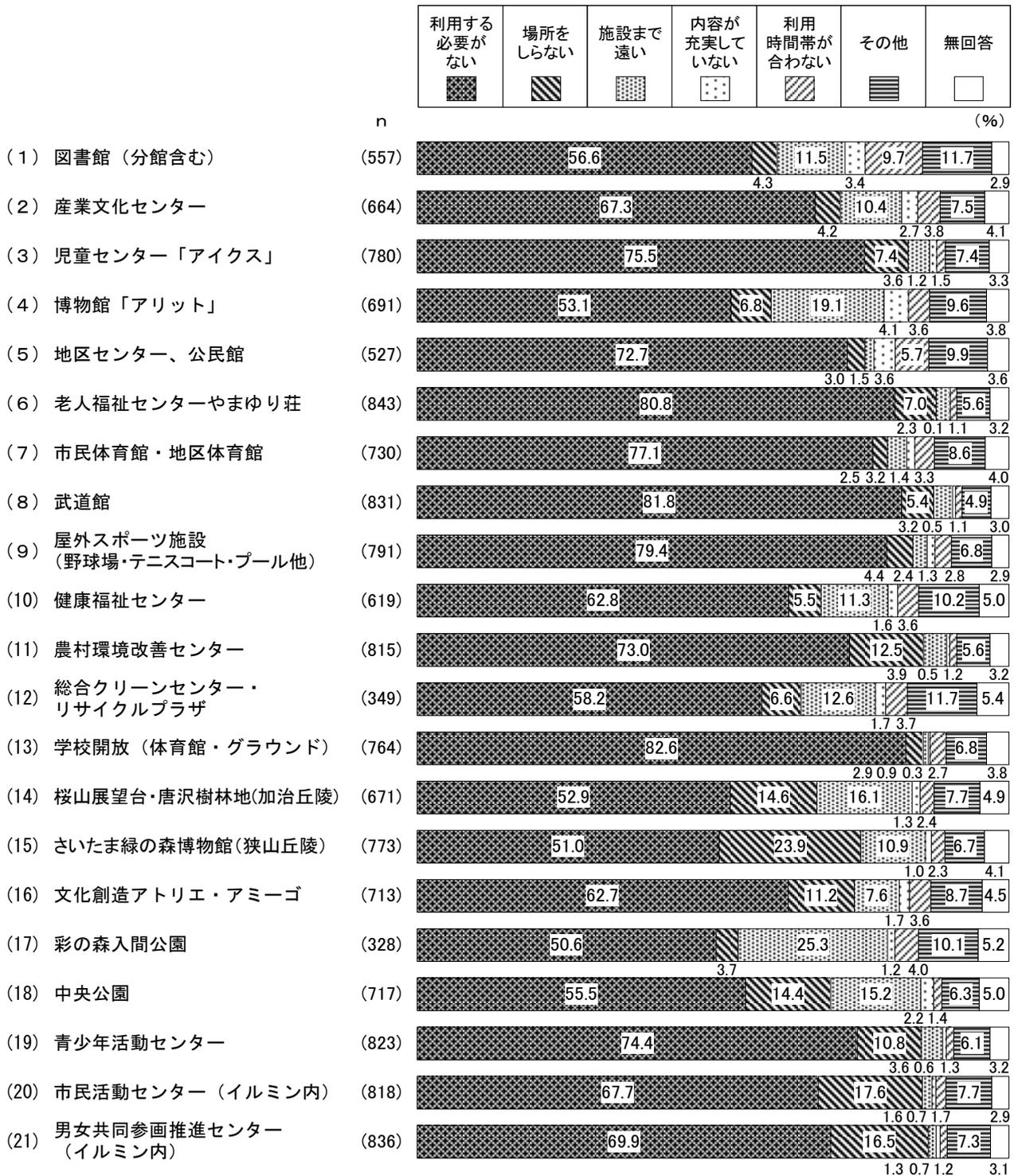


図7-1-2 施設の利用状況 (イ) 利用していない理由



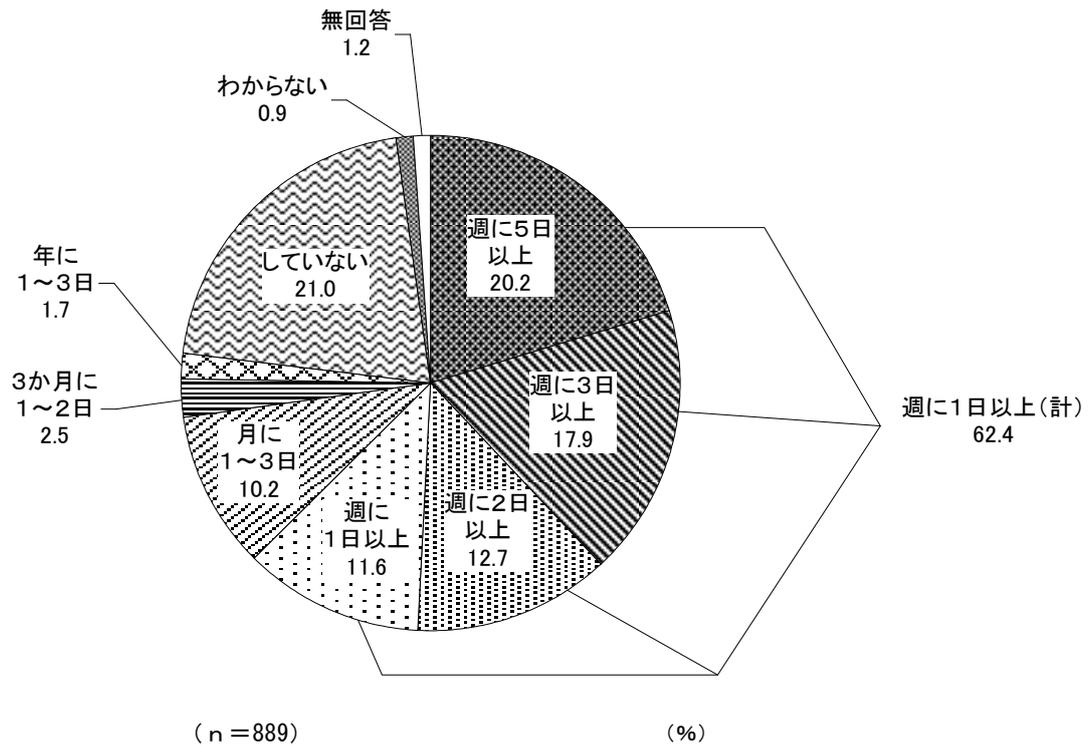
## 8. 健康・スポーツ、芸術文化活動について

### (1) スポーツの状況

◇『週に1日以上(計)』が6割を超える

問20 あなたは、この1年間にスポーツをどの程度行いましたか。次の中から1つ選んでください。

図8-1-1



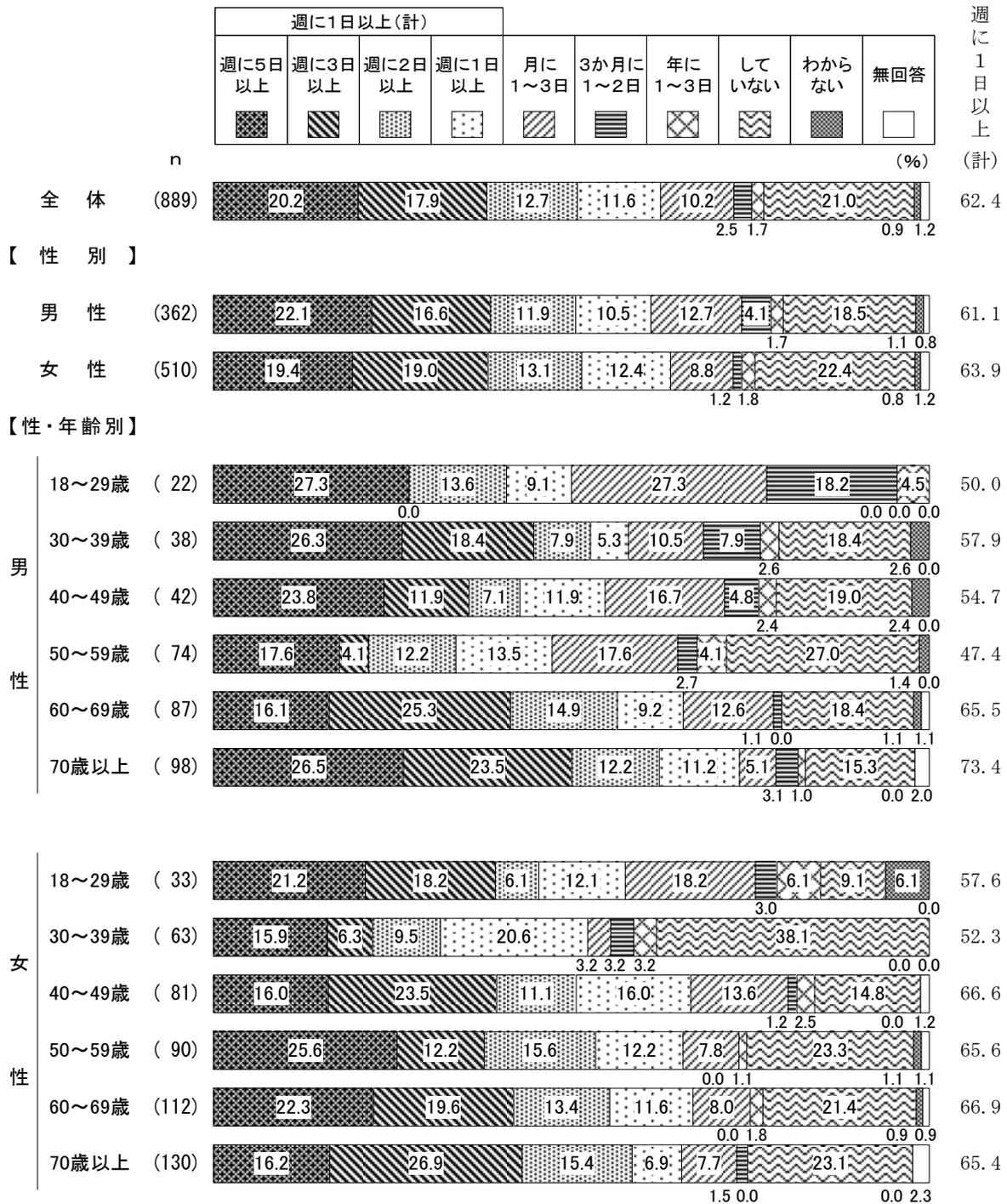
スポーツの状況について聞いたところ、「週に5日以上」(20.2%)、「週に3日以上」(17.9%)、「週に2日以上」(12.7%)、「週に1日以上」(11.6%)を合わせた『週に1日以上(計)』(62.4%)が6割を超えている。「月に1~3日」(10.2%)は1割、「3か月に1~2日」(2.5%)と「年に1~3日」(1.7%)はともに1割未満となっている。また、「していない」(21.0%)は2割を超えている。(図8-1-1)

性別にみると、「月に1～3日」は男性（12.7%）が女性（8.8%）より3.9ポイント高くなっている。一方、「していない」は女性（22.4%）が男性（18.5%）より3.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『週に1日以上（計）』は男性70歳以上（73.4%）で7割を超えて高くなっている。一方、「していない」は女性30～39歳（38.1%）で4割近くと高くなっている。

(図8-1-2)

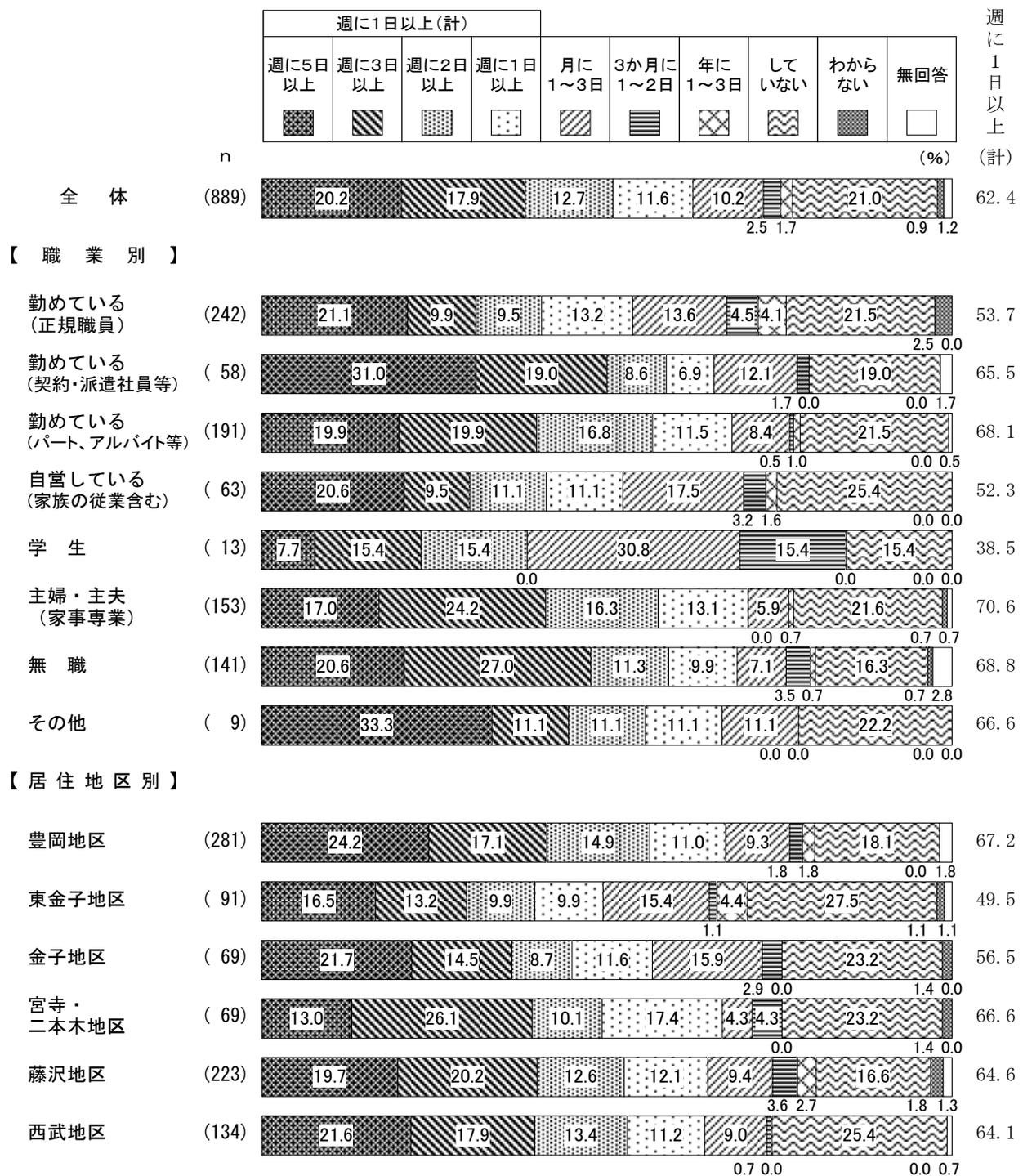
図8-1-2 スポーツの状況（性・年齢別）



職業別にみると、『週に1日以上（計）』は“主婦・主夫（家事専業）”（70.6%）でほぼ7割と高くなっている。一方、「していない」は“自営している（家族の従業含む）”（25.4%）で2割半ばと高くなっている。

居住地区別にみると、『週に1日以上（計）』は豊岡地区（67.2%）と宮寺・二本木地区（66.6%）で7割近くと高くなっている。一方、「していない」は東金子地区（27.5%）で3割近くと高くなっている。（図8-1-3）

図8-1-3 スポーツの状況（職業別、居住地区別）



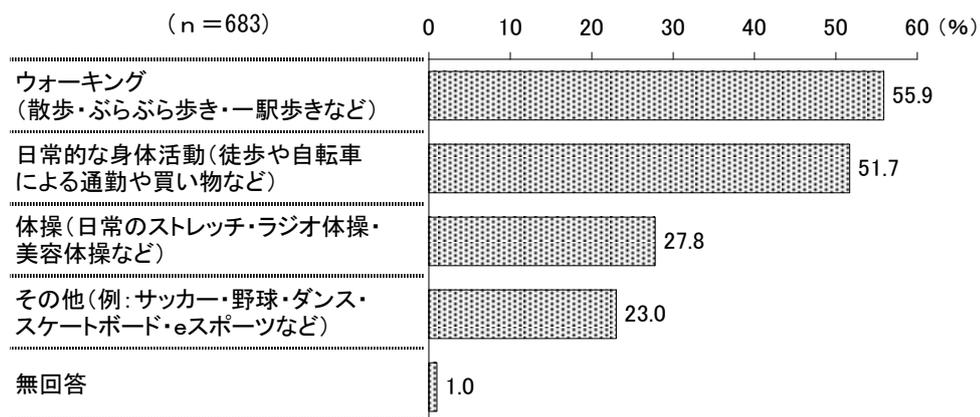
## (2) スポーツの内容

◇「ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなど）」が5割半ば

(問20で、「週に5日以上」「週に3日以上」「週に2日以上」「週に1日以上」「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」と答えた方に)

問20-1 それはどんなスポーツですか。次の中から該当するものを全て選んでください。

図8-2-1



スポーツを「週に5日以上」「週に3日以上」「週に2日以上」「週に1日以上」「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」行ったと答えた人(683人)に、運動やスポーツの内容について聞いたところ、「ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなど)」(55.9%)が5割半ばで最も高く、次いで「日常的な身体活動(徒歩や自転車による通勤や買い物など)」(51.7%)、「体操(日常のストレッチ・ラジオ体操・美容体操など)」(27.8%)などの順となっている。

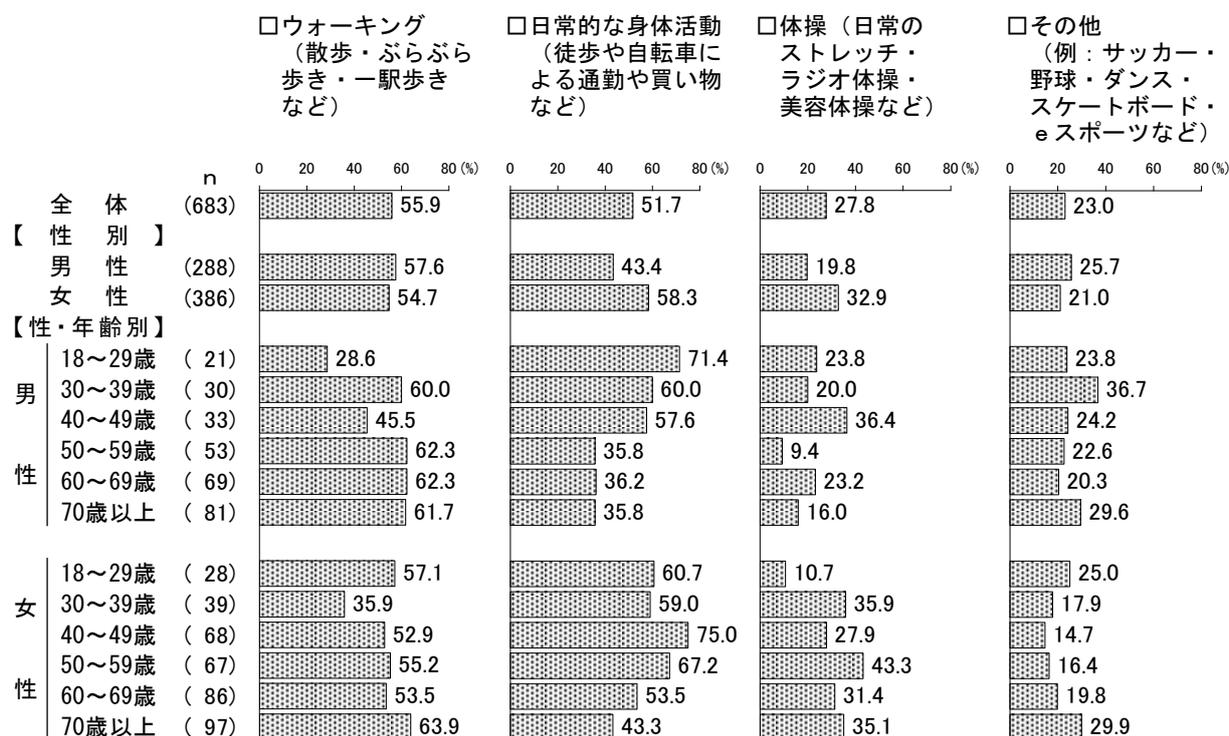
(図8-2-1)

性別にみると、「日常的な身体活動（徒歩や自転車による通勤や買い物など）」は女性（58.3%）が男性（43.4%）より14.9ポイント、「体操（日常のストレッチ・ラジオ体操・美容体操など）」は女性（32.9%）が男性（19.8%）より13.1ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年齢別にみると、「日常的な身体活動（徒歩や自転車による通勤や買い物など）」は女性40～49歳（75.0%）と男性18～29歳（71.4%）で7割台と高くなっている。「体操（日常のストレッチ・ラジオ体操・美容体操など）」は女性50～59歳（43.3%）で4割を超えて高くなっている。

(図8-2-2)

図8-2-2 スポーツの内容（性・年齢別）



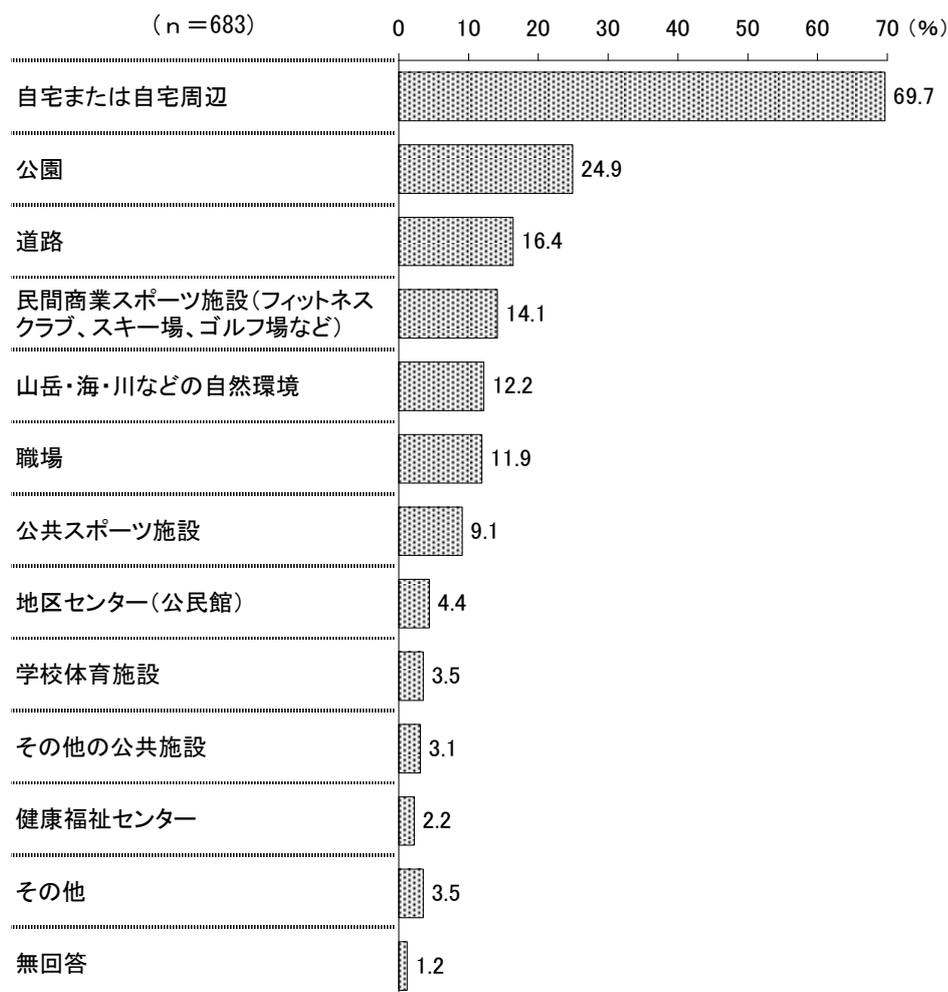
### (3) スポーツを行う場所

◇「自宅または自宅周辺」が7割

(問20で、「週に5日以上」「週に3日以上」「週に2日以上」「週に1日以上」「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」と答えた方に)

問20-2 どんな場所でスポーツを行いましたか。次の中から該当するものを全て選んでください。

図8-3-1



スポーツを「週に5日以上」「週に3日以上」「週に2日以上」「週に1日以上」「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」行ったと答えた人(683人)に、運動やスポーツを行う場所について聞いたところ、「自宅または自宅周辺」(69.7%)が7割で最も高く、次いで「公園」(24.9%)、「道路」(16.4%)、「民間商業スポーツ施設(フィットネスクラブ、スキー場、ゴルフ場など)」(14.1%)などの順となっている。(図8-3-1)

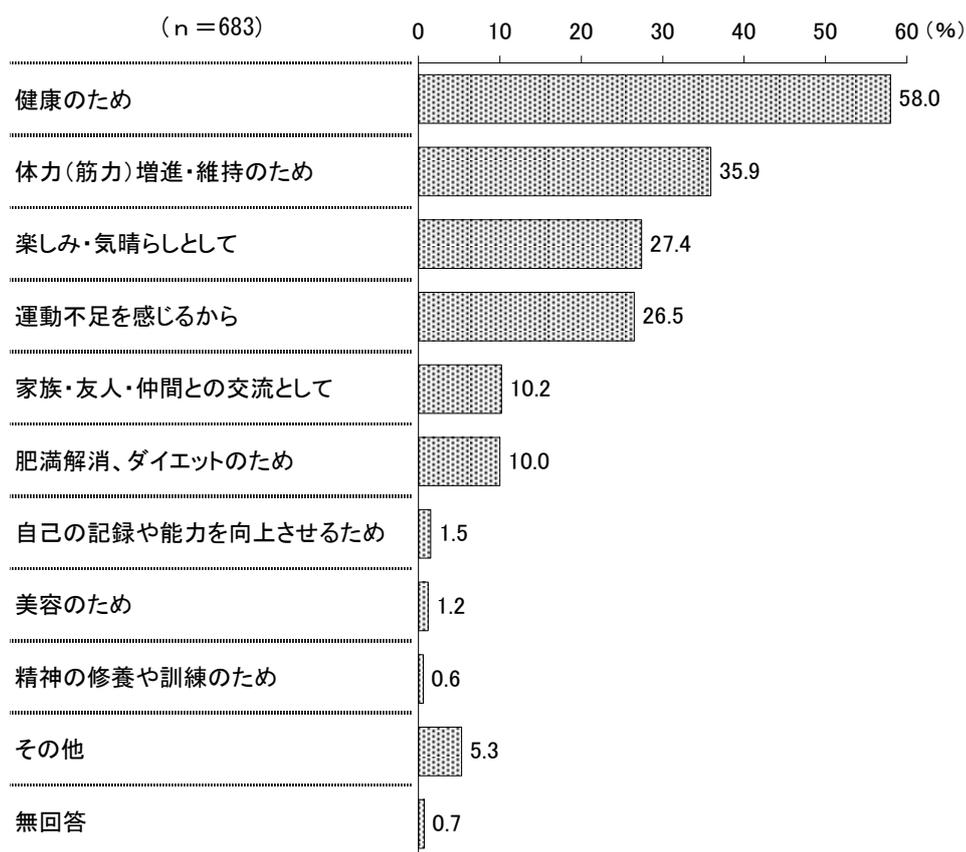
#### (4) スポーツを行った目的

◇「健康のため」が6割近く

(問20で、「週に5日以上」「週に3日以上」「週に2日以上」「週に1日以上」「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」と答えた方に)

問20-3 スポーツを行った目的は何ですか。主なものを2つまで選んでください。

図8-4-1



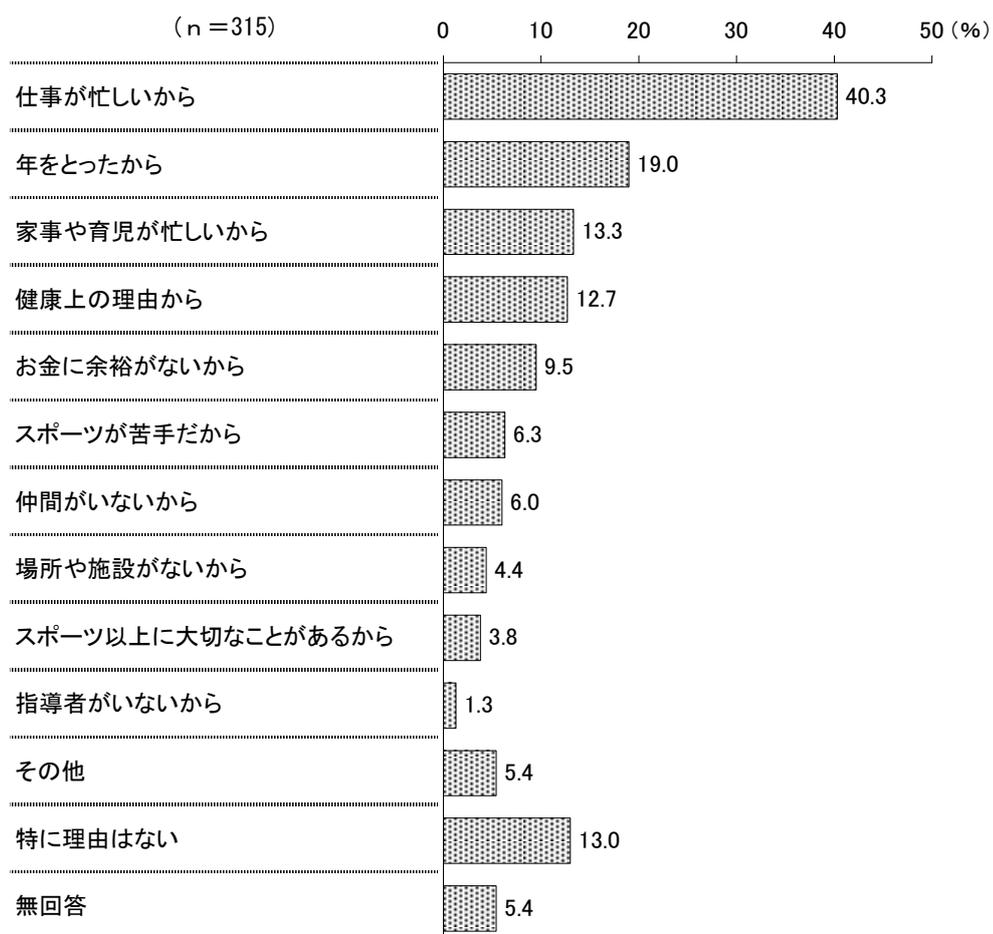
スポーツを「週に5日以上」「週に3日以上」「週に2日以上」「週に1日以上」「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」行ったと答えた人(683人)に、運動やスポーツを行った目的について聞いたところ、「健康のため」(58.0%)が6割近くで最も高く、次いで「体力(筋力)増進・維持のため」(35.9%)、「楽しみ・気晴らしとして」(27.4%)、「運動不足を感じるから」(26.5%)などの順となっている。(図8-4-1)

(5) スポーツを行わなかった(少なかった)理由

◇「仕事が忙しいから」が4割

(問20で、「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」「していない」と答えた方に)  
問20-4 スポーツを行わなかった(少なかった)理由は何ですか。主なものを2つまで選んでください。

図8-5-1

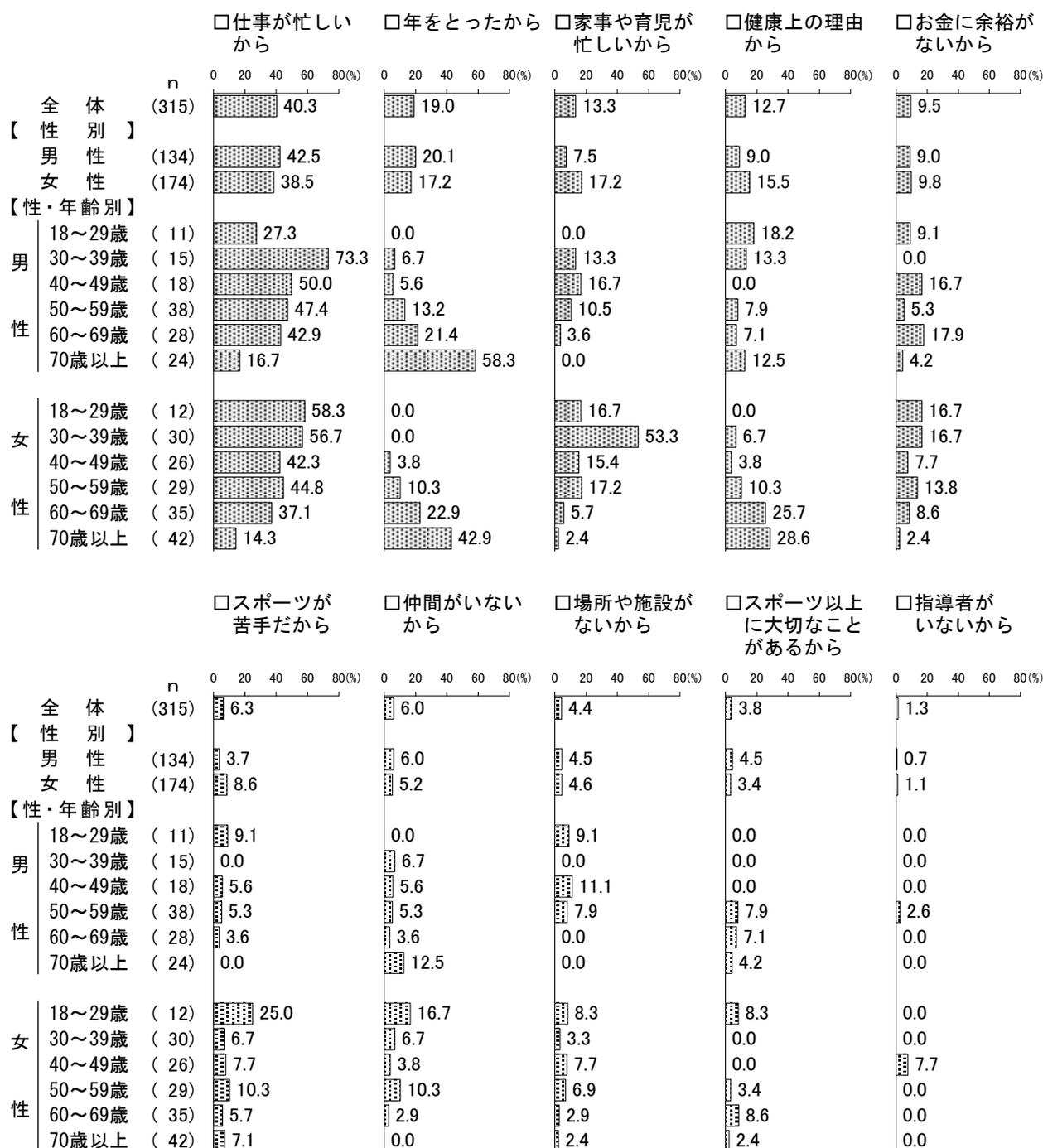


スポーツを「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」行った、または「していない」と答えた人(315人)に、その理由について聞いたところ、「仕事が忙しいから」(40.3%)が4割で最も高く、次いで「年をとったから」(19.0%)、「家事や育児が忙しいから」(13.3%)などの順となっている。(図8-5-1)

性別にみると、「家事や育児が忙しいから」は女性（17.2%）が男性（7.5%）より9.7ポイント、「健康上の理由から」は女性（15.5%）が男性（9.0%）より6.5ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「仕事が忙しいから」は男性（42.5%）が女性（38.5%）より4.0ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「仕事が忙しいから」は女性30～39歳（56.7%）で6割近くと高くなっている。「年をとったから」は男性70歳以上（58.3%）で6割近く、女性70歳以上（42.9%）で4割を超えて高くなっている。「家事や育児が忙しいから」は女性30～39歳（53.3%）で5割を超えて高くなっている。（図8-5-2）

図8-5-2 スポーツを行わなかった（少なかった）理由（性・年齢別）

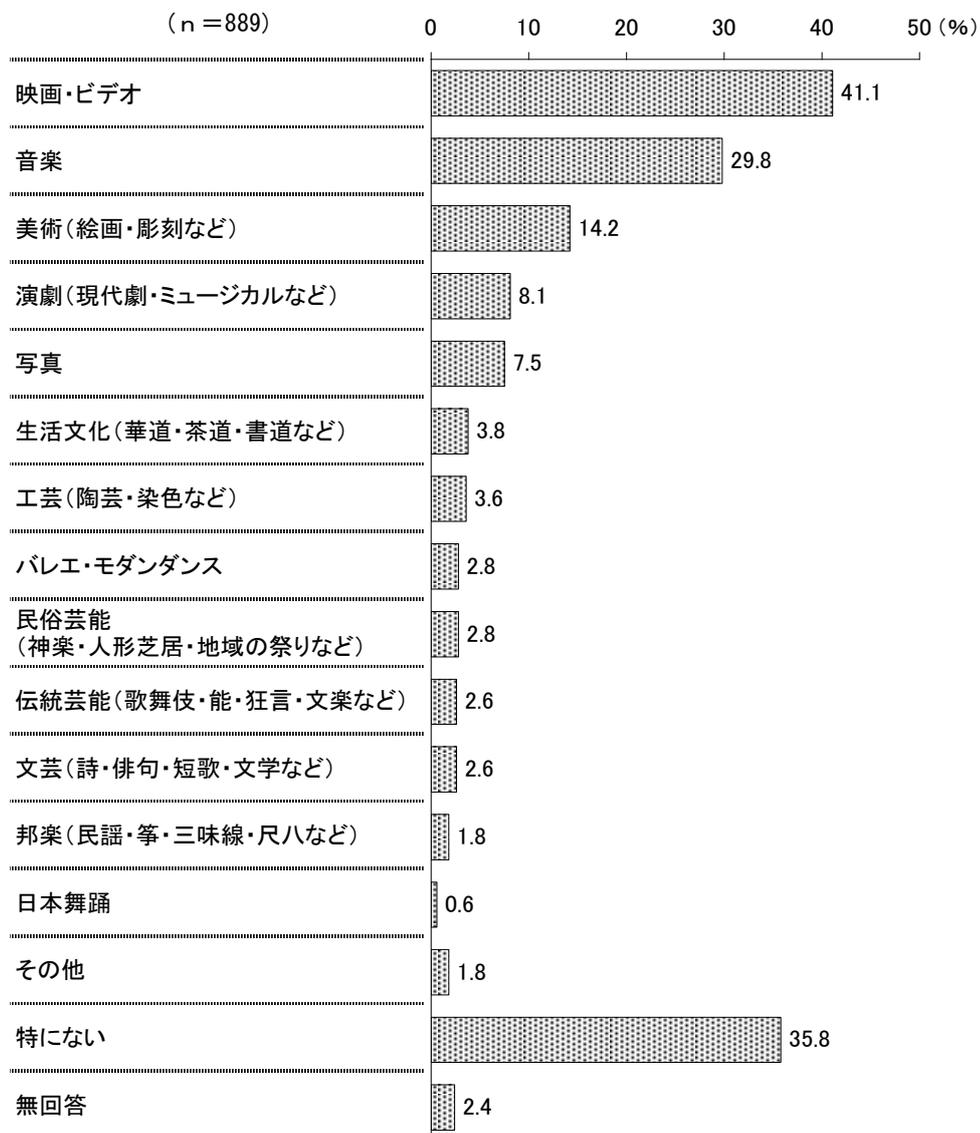


## (6) 芸術文化鑑賞について

◇「映画・ビデオ」が4割を超える

問21 あなたは、この1年間に、芸術文化を鑑賞したことがありますか。該当するものを全て選んでください。

図8-6-1



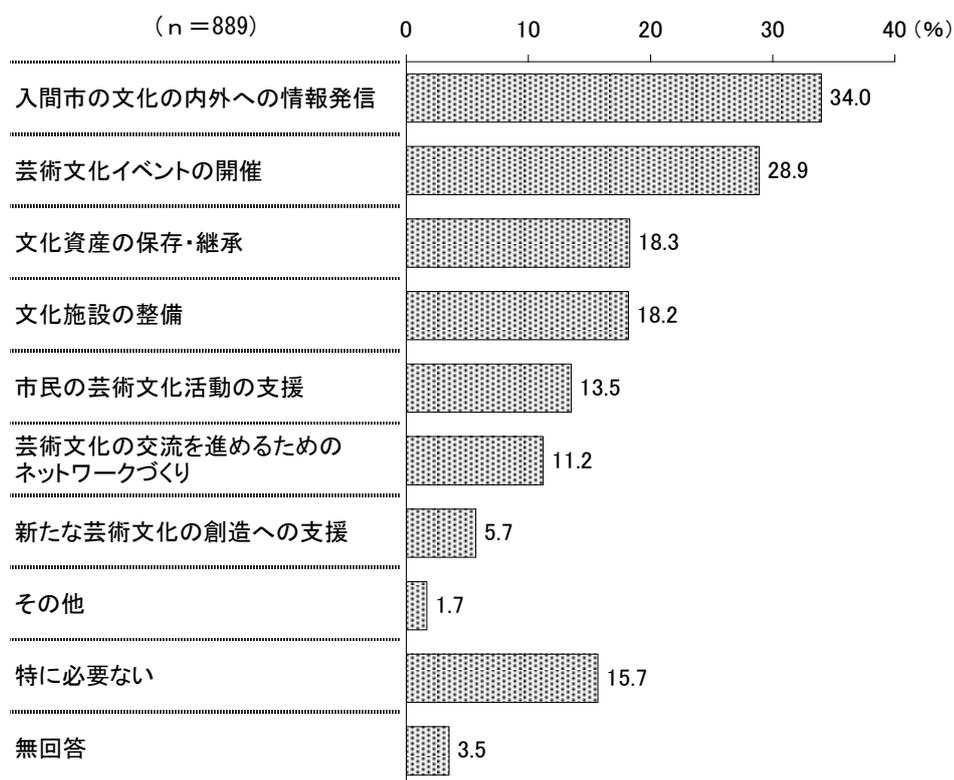
芸術文化鑑賞について聞いたところ、「映画・ビデオ」(41.1%)が4割を超えて最も高く、次いで「音楽」(29.8%)、「美術(絵画・彫刻など)」(14.2%)などの順となっている。一方、「特にない」(35.8%)は3割半ばとなっている。(図8-6-1)

## (7) 芸術文化の振興のための市の取組について

◇「入間市の文化の内外への情報発信」が3割半ば

問22 入間市の芸術文化の振興のために、市はどのようなことをすればよいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

図8-7-1



芸術文化の振興のための市の取組について聞いたところ、「入間市の文化の内外への情報発信」(34.0%)が3割半ばで最も高く、次いで「芸術文化イベントの開催」(28.9%)、「文化資産の保存・継承」(18.3%)、「文化施設の整備」(18.2%)などの順となっている。一方、「特に必要ない」(15.7%)は1割半ばとなっている。(図8-7-1)

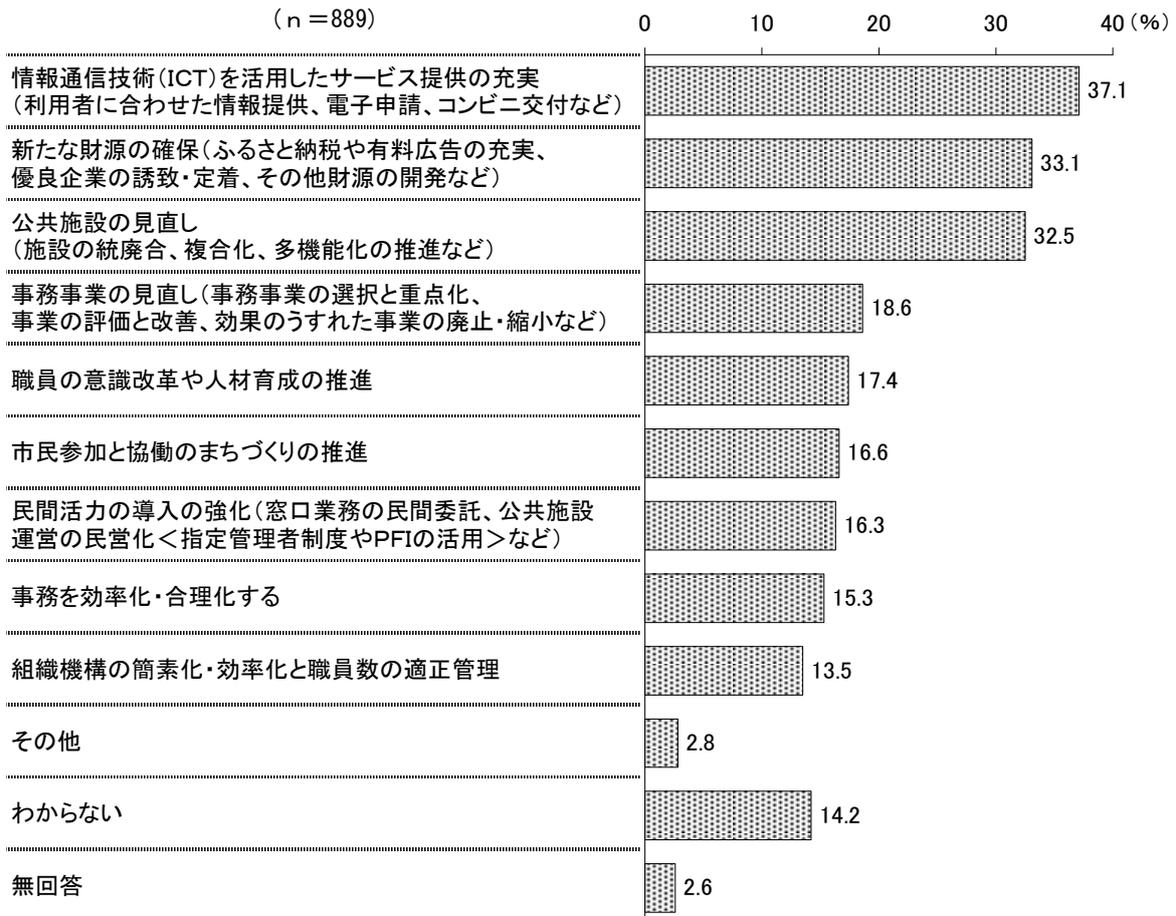
## 9. 市で行っている行政改革の取組について

### (1) 重点的に取り組むべき行財政改革

◇「情報通信技術（ICT）を活用したサービス提供の充実」が4割近く

問23 行政改革を進めるにあたって、市が重点的に取り組むべきと思うものは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

図9-1-1

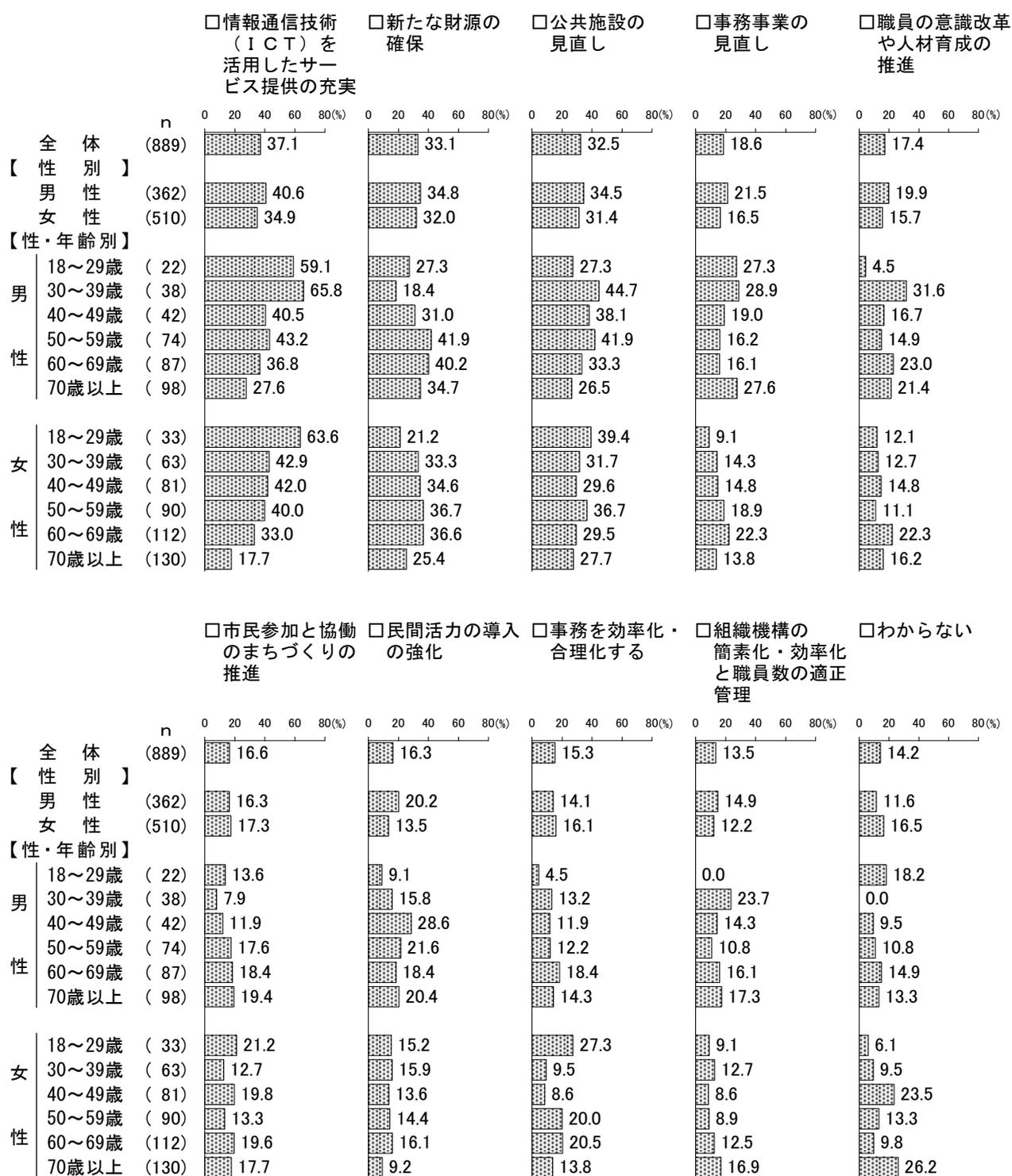


重点的に取り組むべき行財政改革について聞いたところ、「情報通信技術（ICT）を活用したサービス提供の充実（利用者に合わせた情報提供、電子申請、コンビニ交付など）」（37.1%）が4割近くで最も高く、次いで「新たな財源の確保（ふるさと納税や有料広告の充実、優良企業の誘致・定着、その他財源の開発など）」（33.1%）、「公共施設の見直し（施設の統廃合、複合化、多機能化の推進など）」（32.5%）、「事務事業の見直し（事務事業の選択と重点化、事業の評価と改善、効果のうすれた事業の廃止・縮小など）」（18.6%）などの順となっている。（図9-1-1）

性別にみると、「民間活力の導入の強化」は男性（20.2%）が女性（13.5%）より6.7ポイント、「情報通信技術（ICT）を活用したサービス提供の充実」は男性（40.6%）が女性（34.9%）より5.7ポイント、「事務事業の見直し」は男性（21.5%）が女性（16.5%）より5.0ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年齢別にみると、「情報通信技術（ICT）を活用したサービス提供の充実」は男性30～39歳（65.8%）と女性18～29歳（63.6%）で6割台と高くなっている。「公共施設の見直し」は男性30～39歳（44.7%）で4割半ばと高くなっている。（図9-1-2）

図9-1-2 重点的に取り組むべき行財政改革（性・年齢別）

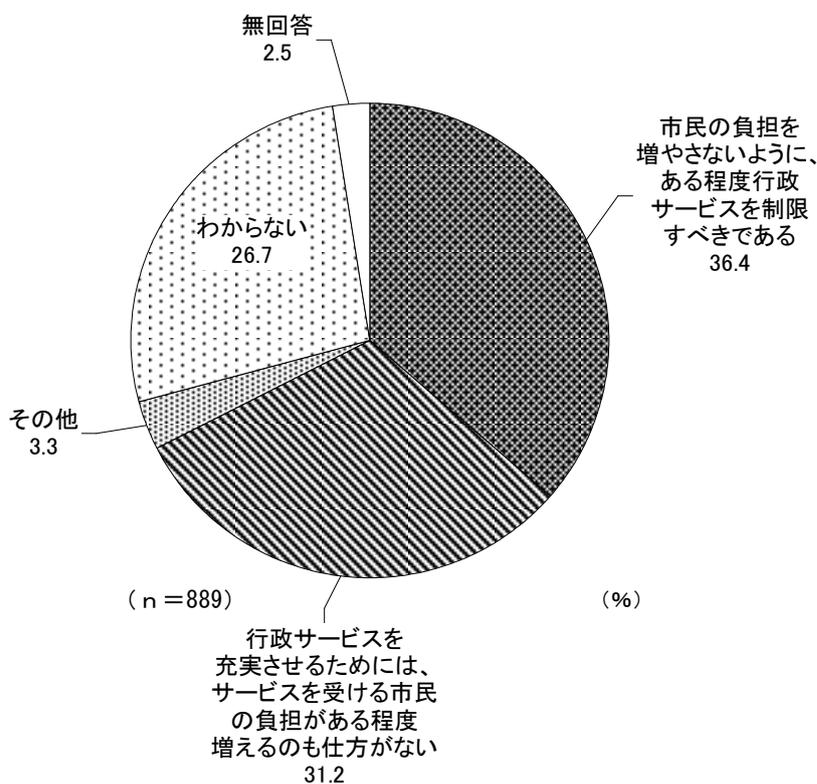


## (2) 行政サービスの利用者負担について

◇「市民の負担を増やさずに、ある程度行政サービスを制限すべきである」が3割半ば

問24 行政サービスの利用者負担について、あなたの意見に最も近いものを1つ選んでください。

図9-2-1

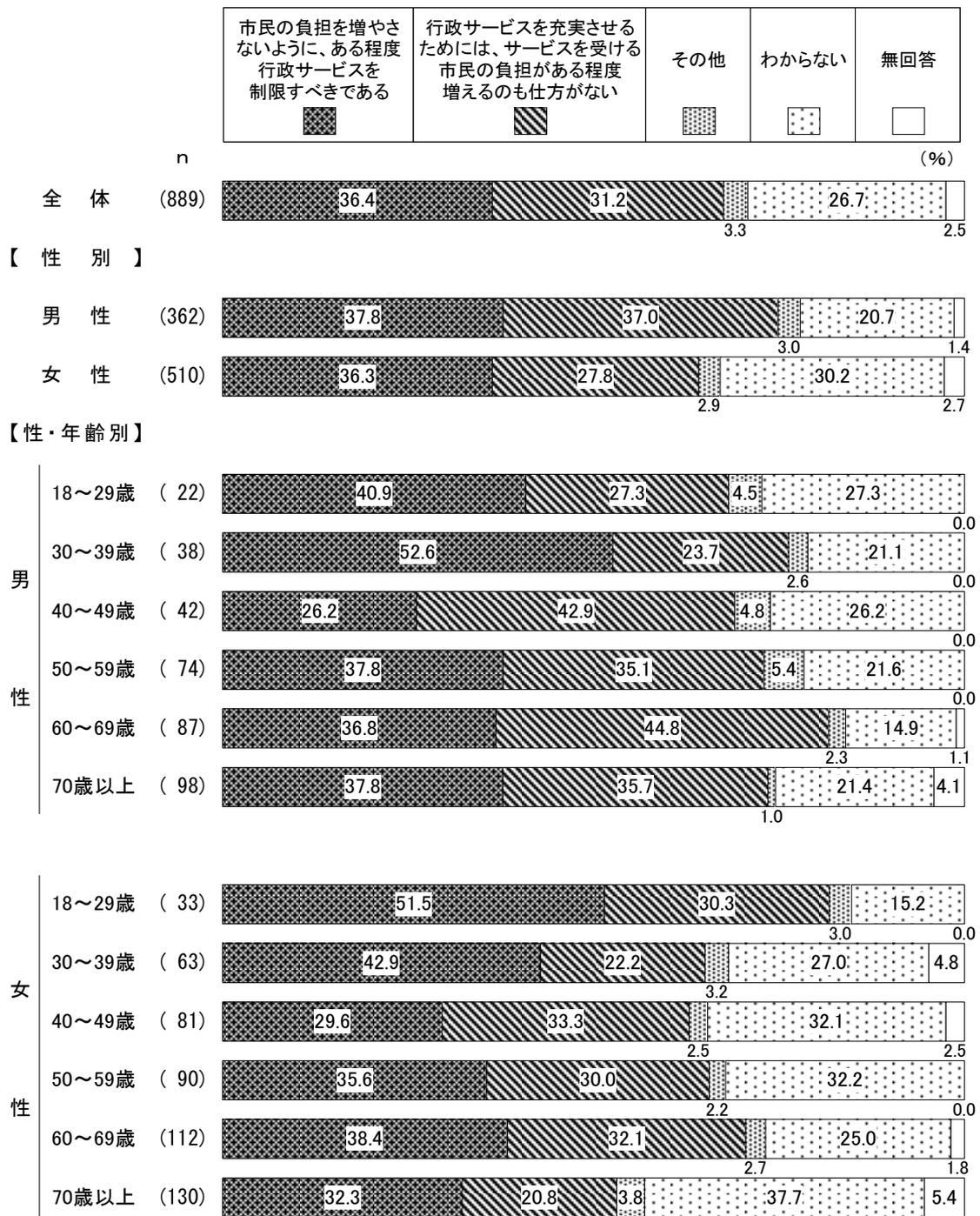


行政サービスの利用者負担について聞いたところ、「市民の負担を増やさずに、ある程度行政サービスを制限すべきである」(36.4%)が3割半ばとなっている。一方、「行政サービスを充実させるためには、サービスを受ける市民の負担がある程度増えるのも仕方がない」(31.2%)は3割を超えている。(図9-2-1)

性別にみると、「行政サービスを充実させるためには、サービスを受ける市民の負担がある程度増えるのも仕方がない」は男性（37.0%）が女性（27.8%）より9.2ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「市民の負担を増やさずに、ある程度行政サービスを制限すべきである」は男性30～39歳（52.6%）と女性18～29歳（51.5%）で5割を超えて高くなっている。一方、「行政サービスを充実させるためには、サービスを受ける市民の負担がある程度増えるのも仕方がない」は男性60～69歳（44.8%）で4割半ばと高くなっている。（図9-2-2）

図9-2-2 行政サービスの利用者負担について（性・年齢別）

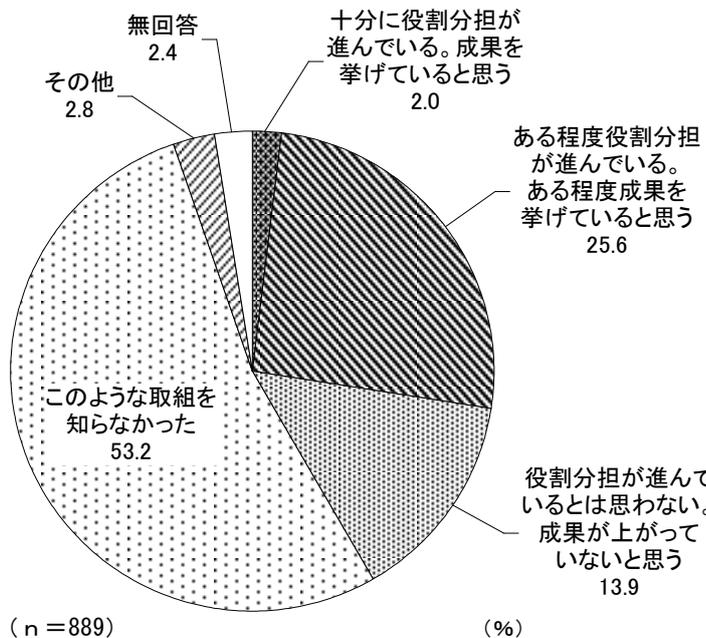


### (3) 公共的なサービスの民間委託について

◇「ある程度役割分担が進んでいる。ある程度成果を挙げていると思う」が2割半ば

問25 公共的なサービスを、市と市民と民間事業者が役割分担して提供することで、サービスをよくしながら経費の節約などを進める取組について、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

図9-3-1

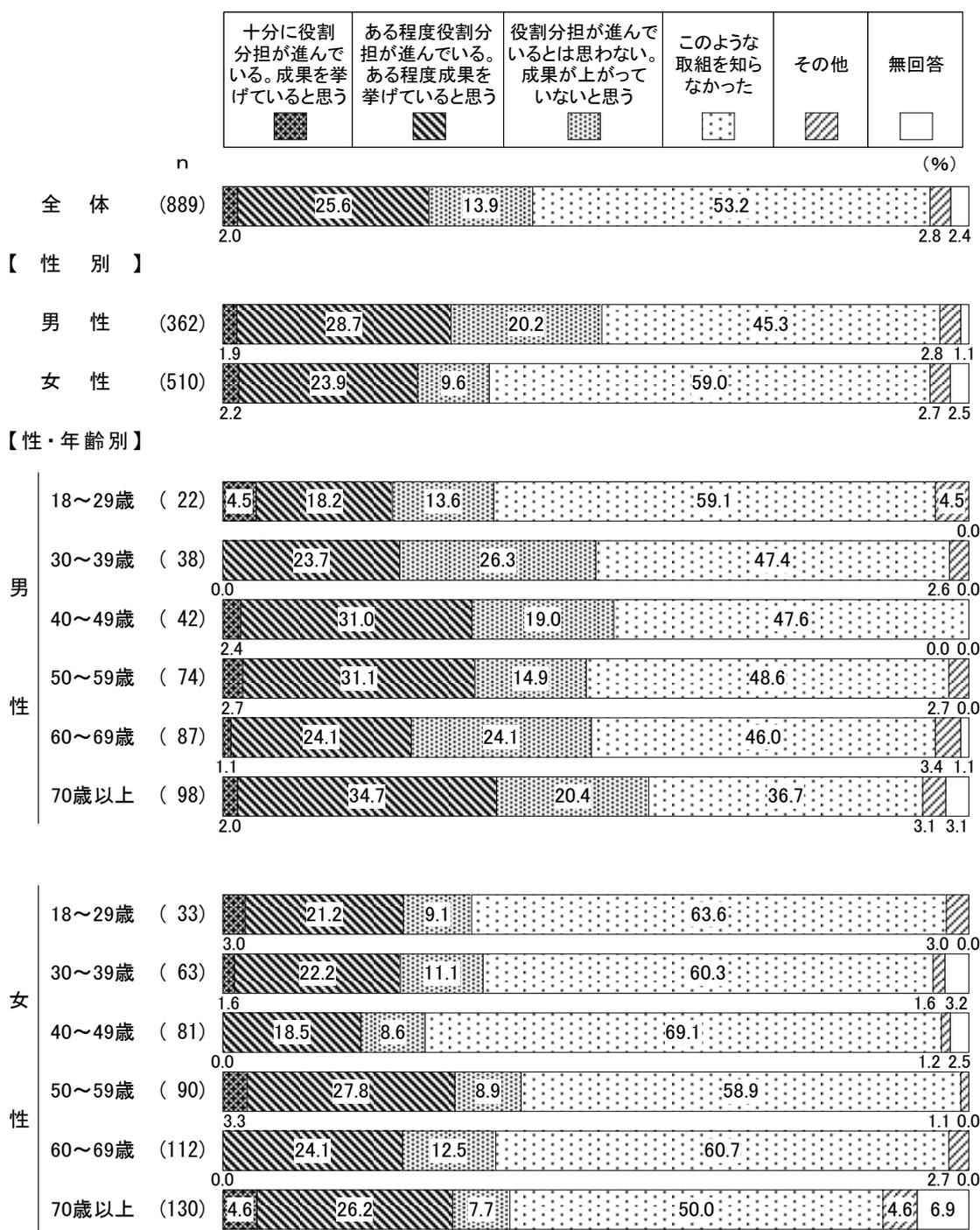


公共的なサービスの民間委託について聞いたところ、「ある程度役割分担が進んでいる。ある程度成果を挙げていると思う」(25.6%)が2割半ば、「役割分担が進んでいるとは思わない。成果が上がっていないと思う」(13.9%)は1割を超えている。また、「このような取組を知らなかった」(53.2%)は5割を超えている。(図9-3-1)

性別にみると、「役割分担が進んでいるとは思わない。成果が上がっていないと思う」は男性（20.2%）が女性（9.6%）より10.6ポイント、「ある程度役割分担が進んでいる。ある程度成果を挙げていると思う」は男性（28.7%）が女性（23.9%）より4.8ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「このような取組を知らなかった」は女性（59.0%）が男性（45.3%）より13.7ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「ある程度役割分担が進んでいる。ある程度成果を挙げていると思う」は男性70歳以上（34.7%）で3割半ばと高くなっている。「このような取組を知らなかった」は女性40～49歳（69.1%）でほぼ7割と高くなっている。（図9-3-2）

図9-3-2 公共的なサービスの民間委託について（性・年齢別）

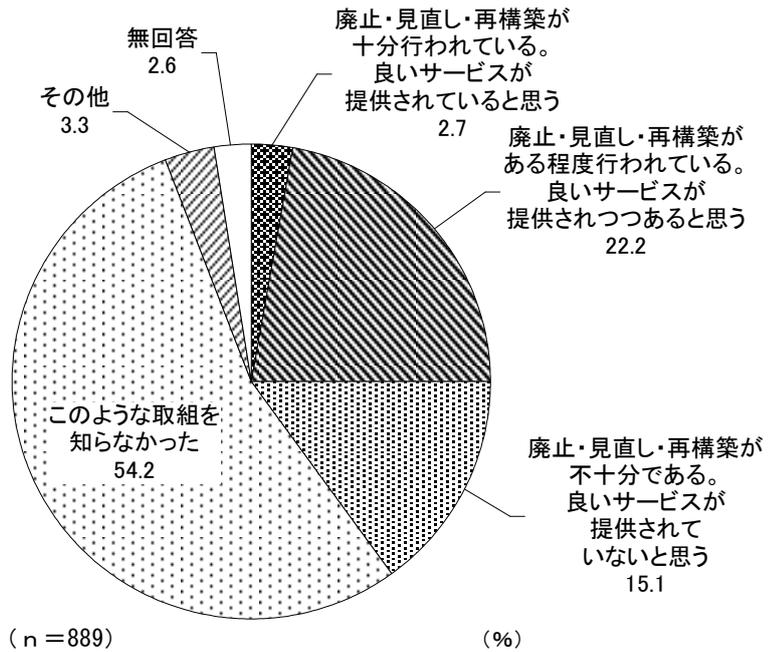


(4) 目的を達成した事業・効果が低くなった事業の廃止・見直し・再構築について

◇「廃止・見直し・再構築がある程度行われている。良いサービスが提供されつつあると思う」が2割を超える

問26 目的を達成した事業や効果が低くなった事業はどんどん廃止・見直しなどをして、市民ニーズに合わせて効率よく質の高いサービスを提供していくという取組について、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

図9-4-1

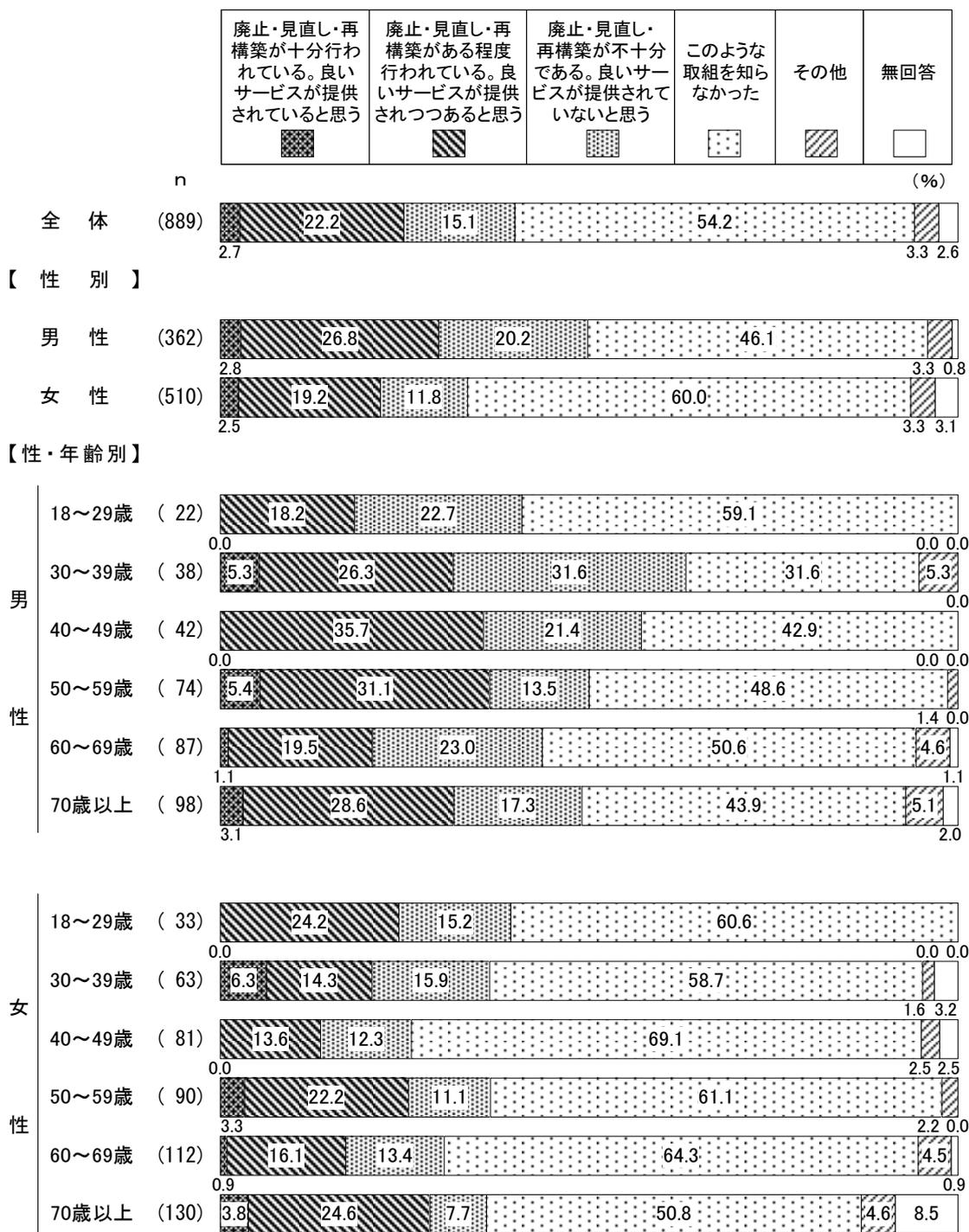


目的を達成した事業・効果が低くなった事業の廃止・見直し・再構築について聞いたところ、「廃止・見直し・再構築がある程度行われている。良いサービスが提供されつつあると思う」(22.2%)が2割を超え、「廃止・見直し・再構築が不十分である。良いサービスが提供されていないと思う」(15.1%)は1割半ばとなっている。また、「このような取組を知らなかった」(54.2%)は5割半ばとなっている。(図9-4-1)

性別にみると、「廃止・見直し・再構築が不十分である。良いサービスが提供されていないと思う」は男性（20.2%）が女性（11.8%）より8.4ポイント、「廃止・見直し・再構築がある程度行われている。良いサービスが提供されている」とは男性（26.8%）が女性（19.2%）より7.6ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「このような取組を知らなかった」は女性（60.0%）が男性（46.1%）より13.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「廃止・見直し・再構築がある程度行われている。良いサービスが提供されている」とは男性40～49歳（35.7%）で3割半ばと高くなっている。「廃止・見直し・再構築が不十分である。良いサービスが提供されていないと思う」は男性30～39歳（31.6%）で3割を超えて高くなっている。「このような取組を知らなかった」は女性40～49歳（69.1%）でほぼ7割と高くなっている。（図9-4-2）

図9-4-2 目的を達成した事業・効果が低くなった事業の廃止・見直し・再構築について(性・年齢別)

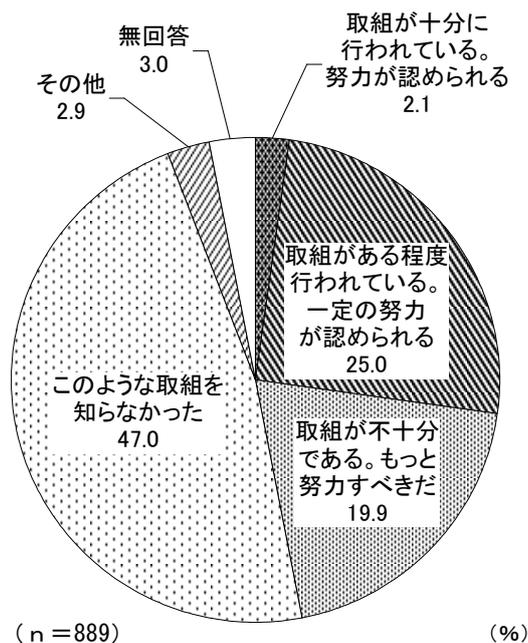


### (5) 歳入の増加・歳出の削減の取組について

◇「取組がある程度行われている。一定の努力が認められる」が2割半ば

問27 有料広告やふるさと納税といった新しい収入の確保、施設・サービスの利用料の見直しなどにより歳入を増やし、事務事業の実施体制や手順の見直し、コスト削減、統廃合などにより歳出を減らす市の取組について、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

図9-5-1



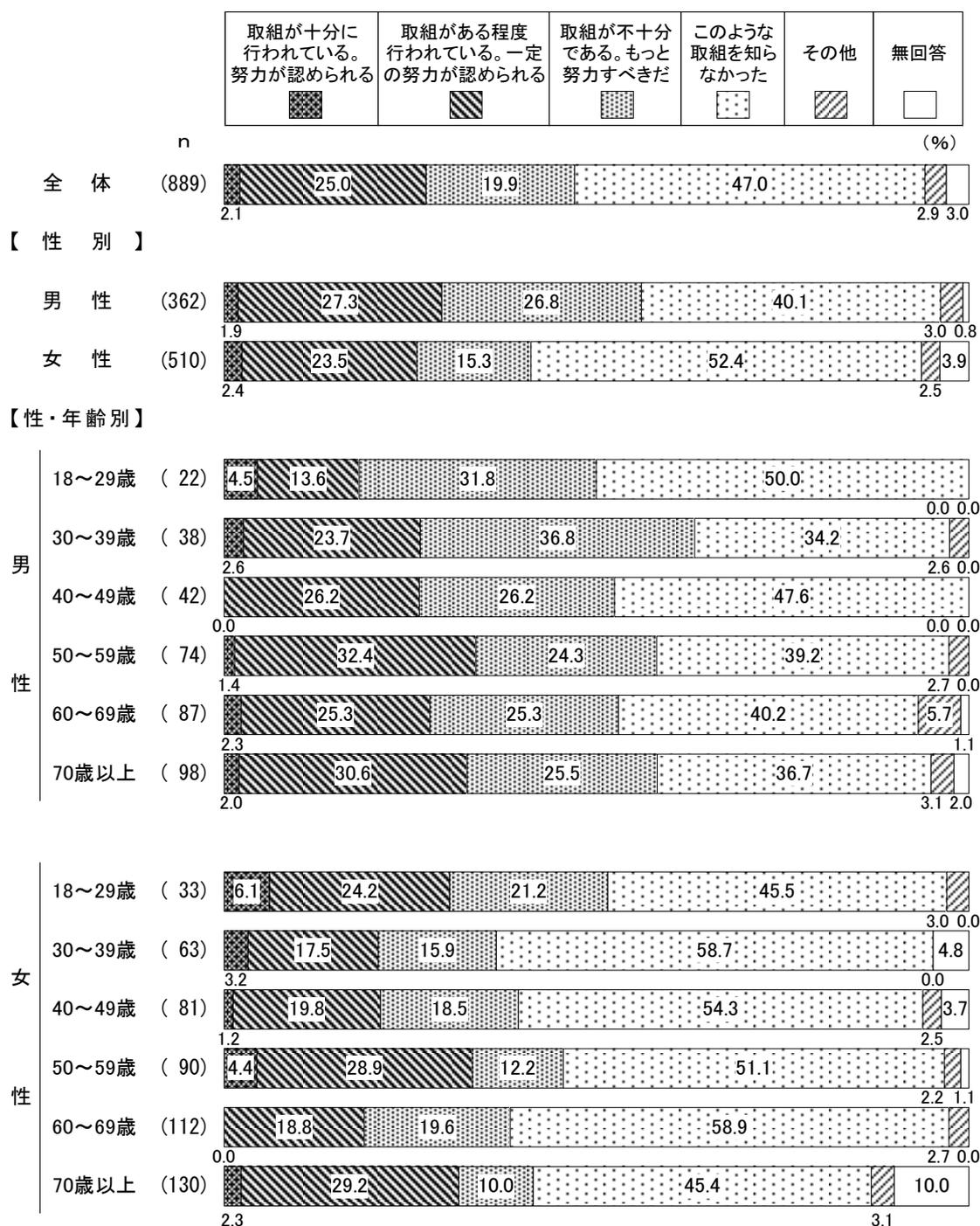
歳入の増加・歳出の削減の取組について聞いたところ、「取組がある程度行われている。一定の努力が認められる」(25.0%)が2割半ば、「取組が不十分である。もっと努力すべきだ」(19.9%)は2割となっている。また、「このような取組を知らなかった」(47.0%)は5割近くとなっている。

(図9-5-1)

性別にみると、「このような取組を知らなかった」は女性（52.4%）が男性（40.1%）より12.3ポイント高くなっている。一方、「取組が不十分である。もっと努力すべきだ」は男性（26.8%）が女性（15.3%）より11.5ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「取組がある程度行われている。一定の努力が認められる」は男性50～59歳（32.4%）で3割を超えて高くなっている。「取組が不十分である。もっと努力すべきだ」は男性30～39歳（36.8%）で4割近くと高くなっている。「このような取組を知らなかった」は女性30～39歳（58.7%）と女性60～69歳（58.9%）で6割近くと高くなっている。（図9-5-2）

図9-5-2 歳入の増加・歳出の削減の取組について（性・年齢別）

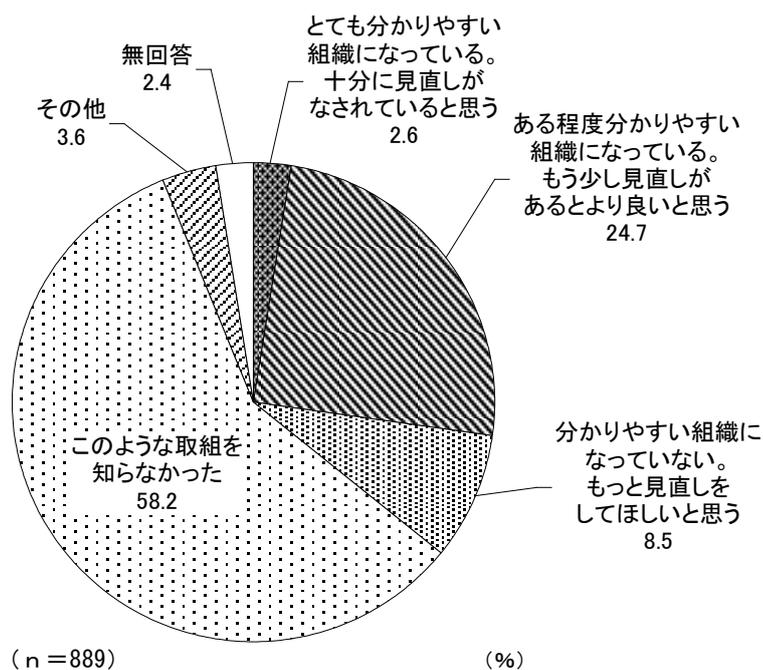


## (6) 市役所の組織の見直しについて

◇「ある程度分かりやすい組織になっている。もう少し見直しがあるとより良いと思う」が2割半ば

問28 市役所の組織は、時代や市民ニーズの変化に対応するため、定期的に部署の配置や担当人数を変えています。最近では、平成29年度に組織を大きく見直しましたが、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

図9-6-1

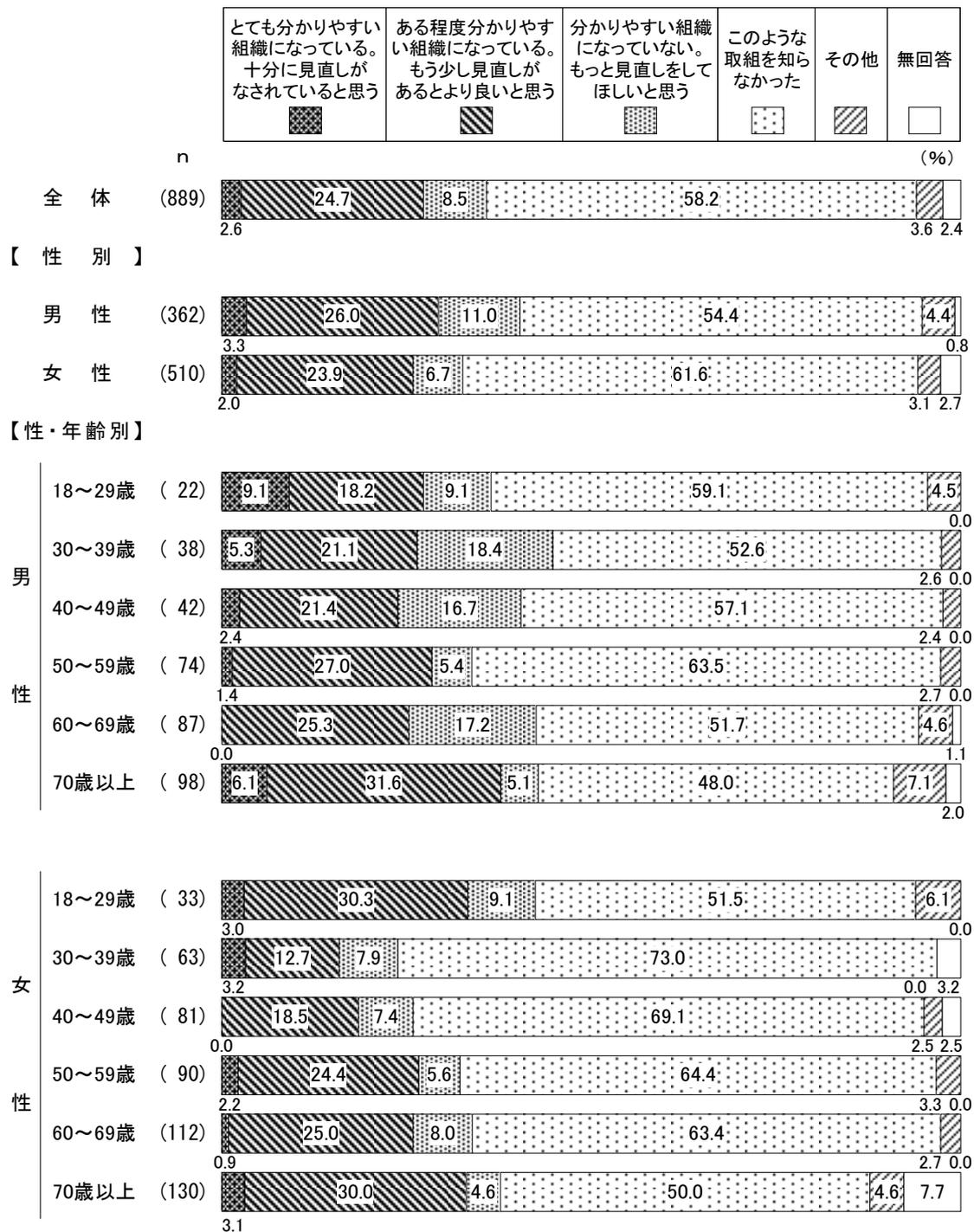


市役所の組織の見直しについて聞いたところ、「ある程度分かりやすい組織になっている。もう少し見直しがあるとより良いと思う」(24.7%)が2割半ば、「分かりやすい組織になっていない。もっと見直しをしてほしいと思う」(8.5%)は1割未満となっている。また、「このような取組を知らなかった」(58.2%)は6割近くとなっている。(図9-6-1)

性別にみると、「このような取組を知らなかった」は女性（61.6%）が男性（54.4%）より7.2ポイント高くなっている。一方、「分かりやすい組織になっていない。もっと見直しをしてほしいと思う」は男性（11.0%）が女性（6.7%）より4.3ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「ある程度分かりやすい組織になっている。もう少し見直しがあるとより良いと思う」は男性70歳以上（31.6%）で3割を超えて高くなっている。「このような取組を知らなかった」は女性30～39歳（73.0%）で7割を超えて高くなっている。（図9-6-2）

図9-6-2 市役所の組織の見直しについて（性・年齢別）

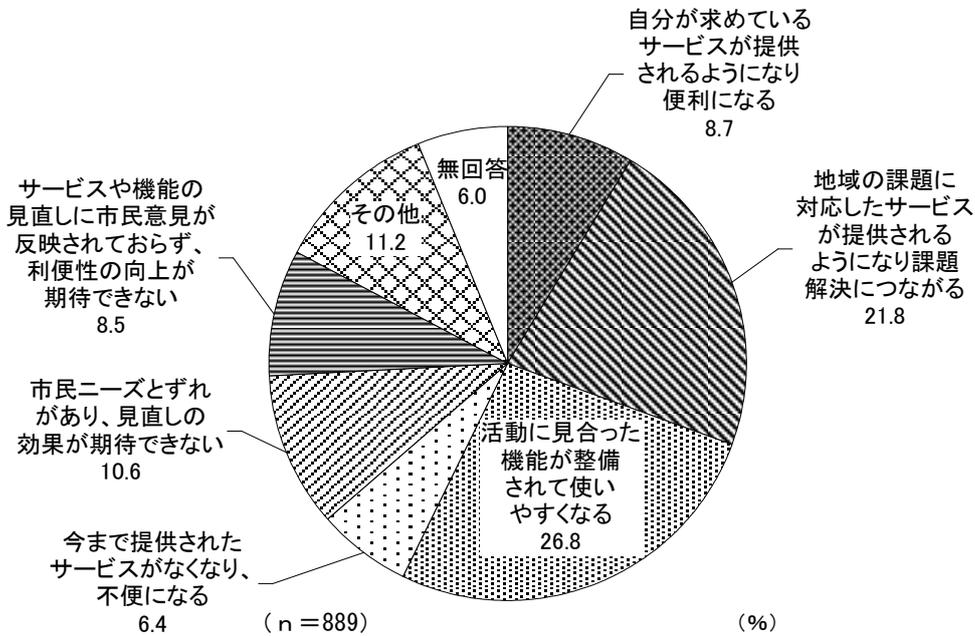


(7) 施設で提供するサービスや施設機能の見直しが進むことについて

◇「活動に見合った機能が整備されて使いやすくなる」が3割近く

問29 公共施設マネジメントの取り組みにより、施設で提供するサービスや施設機能の見直しが進むことについてあなたの考えに近いものを1つ選んでください。

図9-7-1

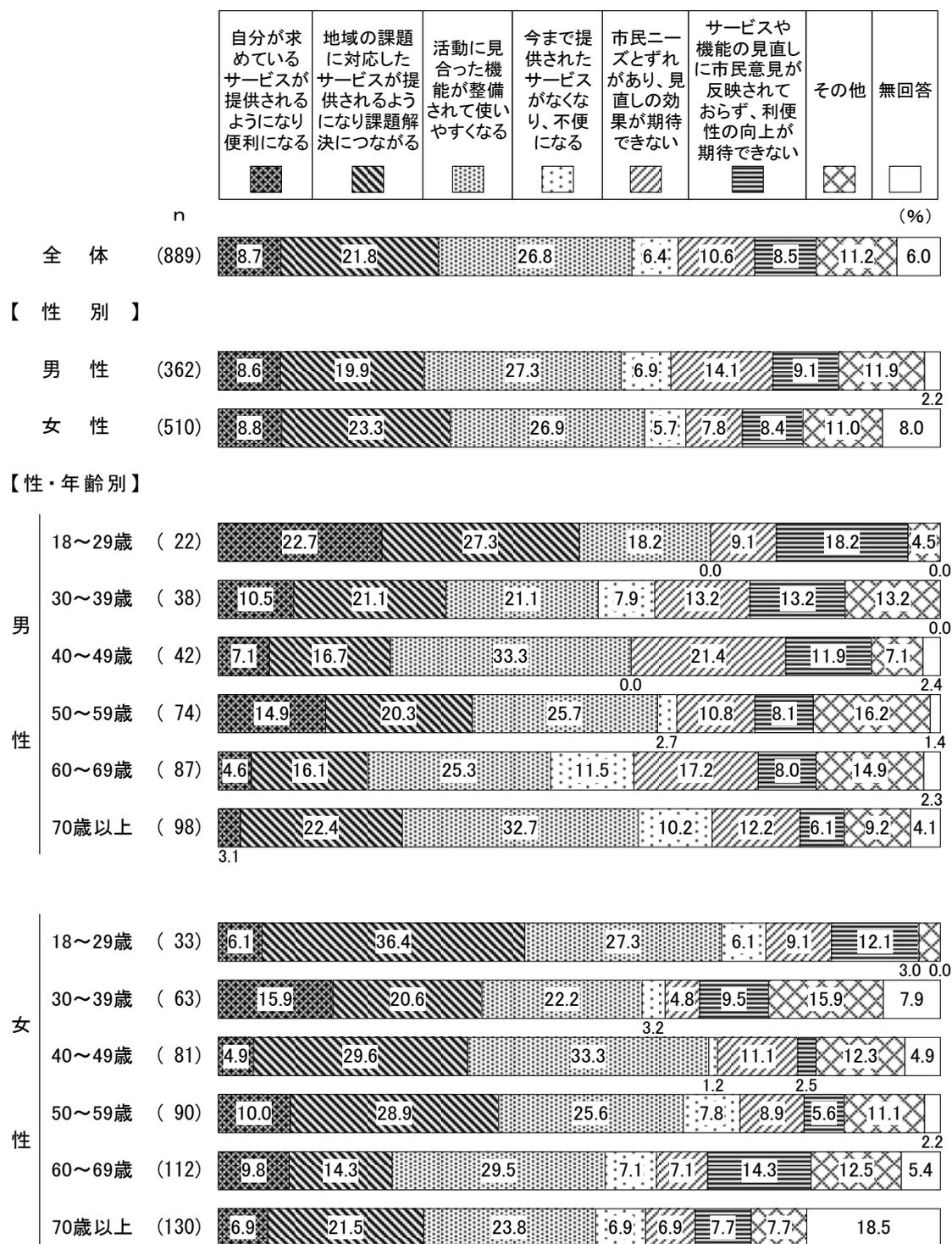


施設で提供するサービスや施設機能の見直しが進むことについて聞いたところ、「活動に見合った機能が整備されて使いやすくなる」(26.8%)が3割近くで最も高く、次いで「地域の課題に対応したサービスが提供されるようになり課題解決につながる」(21.8%)、「市民ニーズとずれがあり、見直しの効果が期待できない」(10.6%)、「自分が求めているサービスが提供されるようになり便利になる」(8.7%)などの順となっている。(図9-7-1)

性別にみると、「市民ニーズとずれがあり、見直しの効果が期待できない」は男性（14.1%）が女性（7.8%）より6.3ポイント高くなっている。一方、「地域の課題に対応したサービスが提供されるようになり課題解決につながる」は女性（23.3%）が男性（19.9%）より3.4ポイント高くなっている。

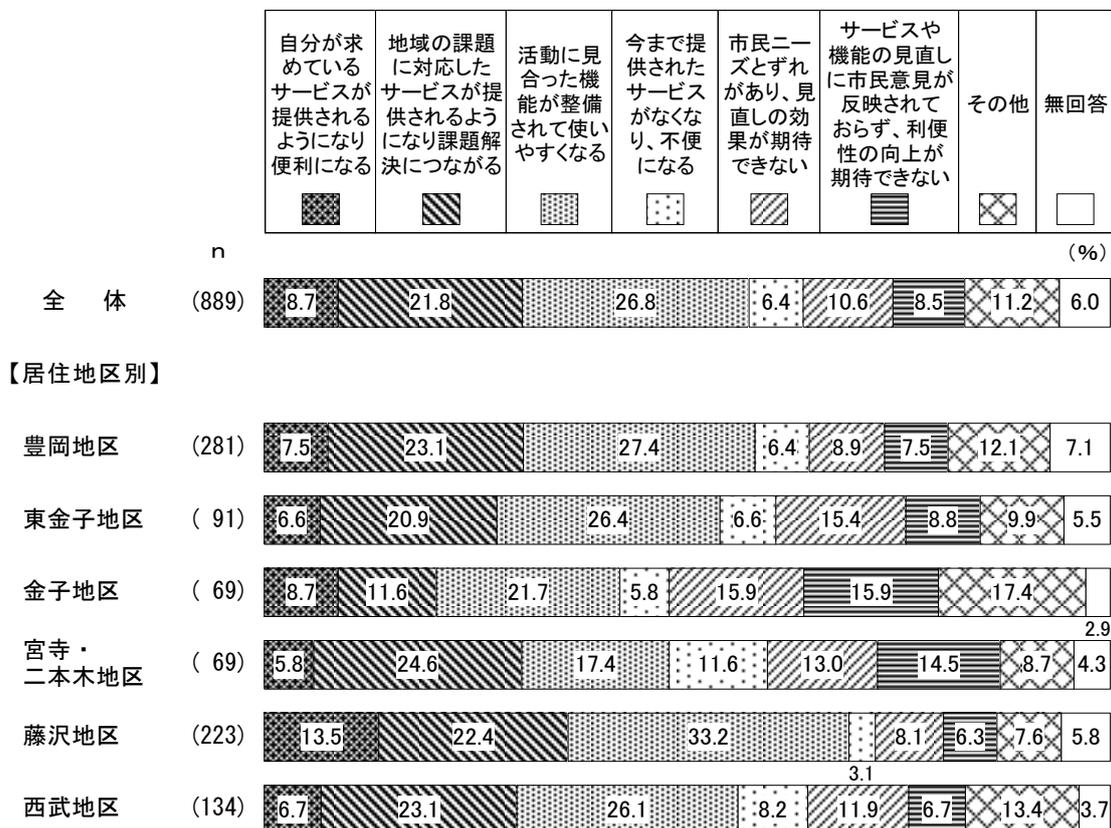
性・年齢別にみると、「地域の課題に対応したサービスが提供されるようになり課題解決につながる」は女性18～29歳（36.4%）で3割半ばと高くなっている。「活動に見合った機能が整備されて使いやすくなる」は男性40～49歳（33.3%）、男性70歳以上（32.7%）、女性40～49歳（33.3%）で3割を超えて高くなっている。（図9-7-2）

図9-7-2 施設で提供するサービスや施設機能の見直しが進むことについて（性・年齢別）



居住地区別にみると、「地域の課題に対応したサービスが提供されるようになり課題解決につながる」は宮寺・二本木地区（24.6%）で2割半ばと高くなっている。「活動に見合った機能が整備されて使いやすくなる」は藤沢地区（33.2%）で3割を超えて高くなっている。（図9-7-3）

図9-7-3 施設で提供するサービスや施設機能の見直しが進むことについて（居住地区別）

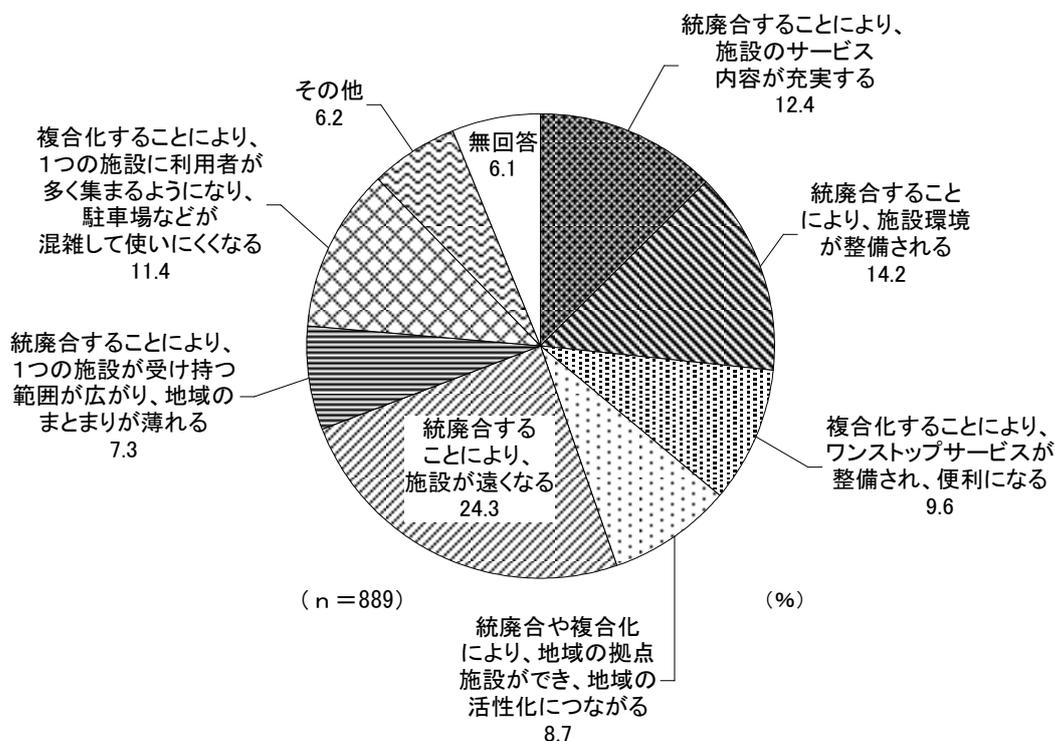


(8) 施設の統廃合や複合化が進むことについて

◇「統廃合することにより、施設が遠くなる」が2割半ば

問30 公共施設マネジメントの取組により、施設の統廃合や複合化が進むことについて、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

図9-8-1

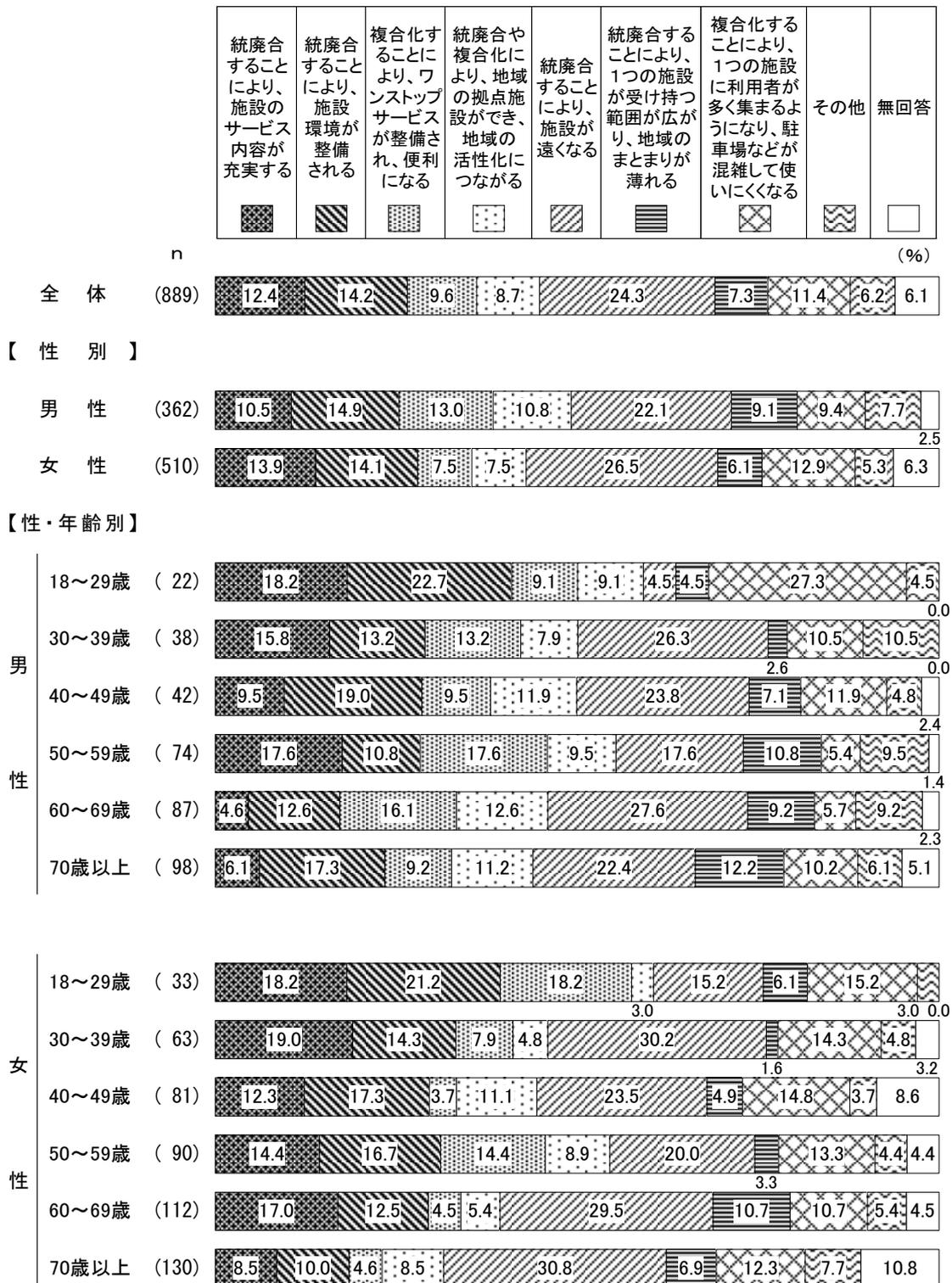


施設の統廃合や複合化が進むことについて聞いたところ、「統廃合することにより、施設が遠くなる」(24.3%)が2割半ばで最も高く、次いで「統廃合することにより、施設環境が整備される」(14.2%)、「統廃合することにより、施設のサービス内容が充実する」(12.4%)、「複合化することにより、1つの施設に利用者が多く集まるようになり、駐車場などが混雑して使いにくくなる」(11.4%)などの順となっている。(図9-8-1)

性別にみると、「複合化することにより、ワンストップサービスが整備され、便利になる」は男性（13.0%）が女性（7.5%）より5.5ポイント高くなっている。一方、「統廃合することにより、施設が遠くなる」は女性（26.5%）が男性（22.1%）より4.4ポイント高くなっている。

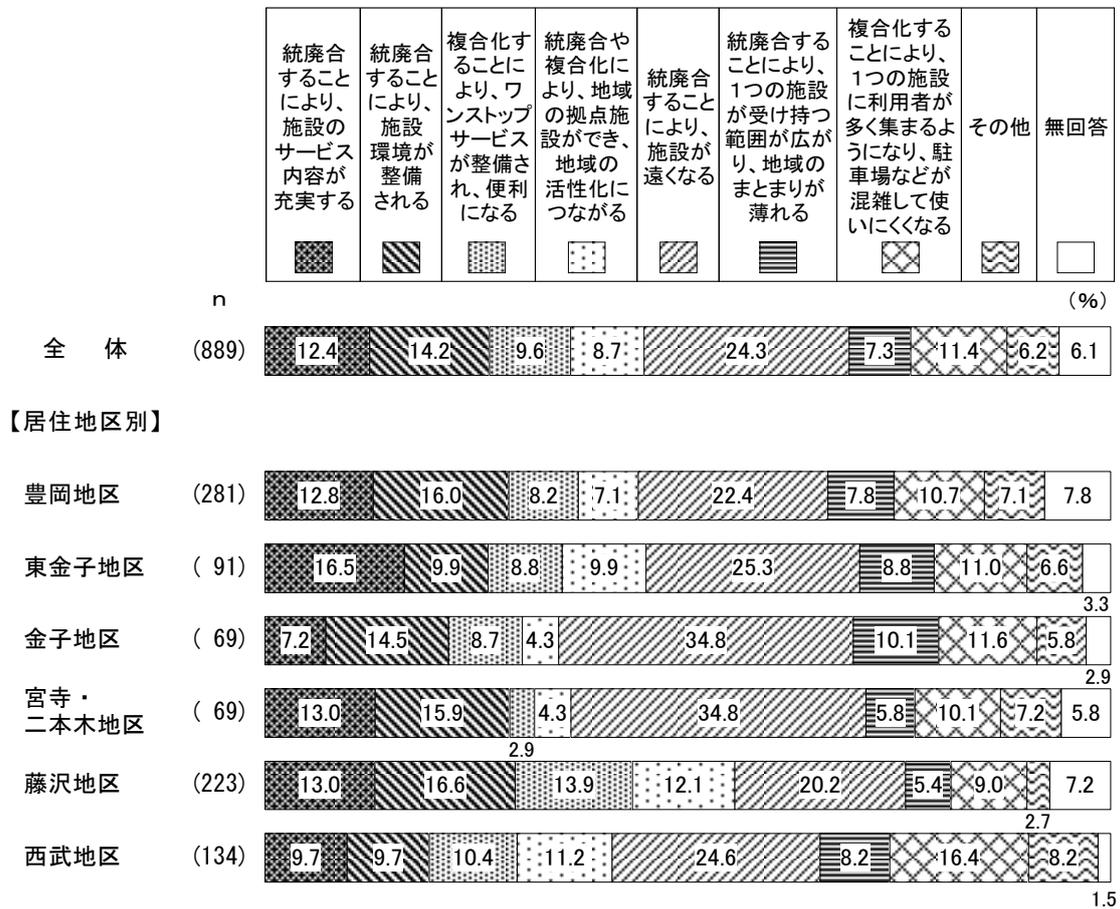
性・年齢別にみると、「統廃合することにより、施設が遠くなる」は女性30～39歳（30.2%）、女性60～69歳（29.5%）、女性70歳以上（30.8%）でほぼ3割と高くなっている。「複合化することにより、1つの施設に利用者が多く集まるようになり、駐車場などが混雑して使いにくくなる」は男性18～29歳（27.3%）で3割近くと高くなっている。（図9-8-2）

図9-8-2 施設の統廃合や複合化が進むことについて（性・年齢別）



居住地区別にみると、「統廃合することにより、施設が遠くなる」は金子地区と宮寺・二本木地区（ともに34.8%）で3割半ばと高くなっている。（図9-8-3）

図9-8-3 施設の統廃合や複合化が進むことについて（居住地区別）



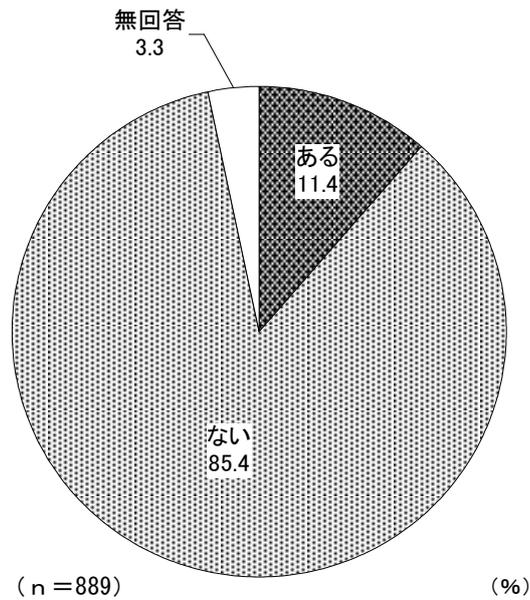
## 10. 人権やSDGs（持続可能な開発目標）について

(1) 差別を受けたと感じた・差別しているのを見聞きしたことがあるか

◇「ある」が1割を超える

問31 人権に関して、あなた自身が過去5年間に差別を受けたと感じたことがありますか。また差別をしているのを見聞きしたことがありますか。

図10-1-1

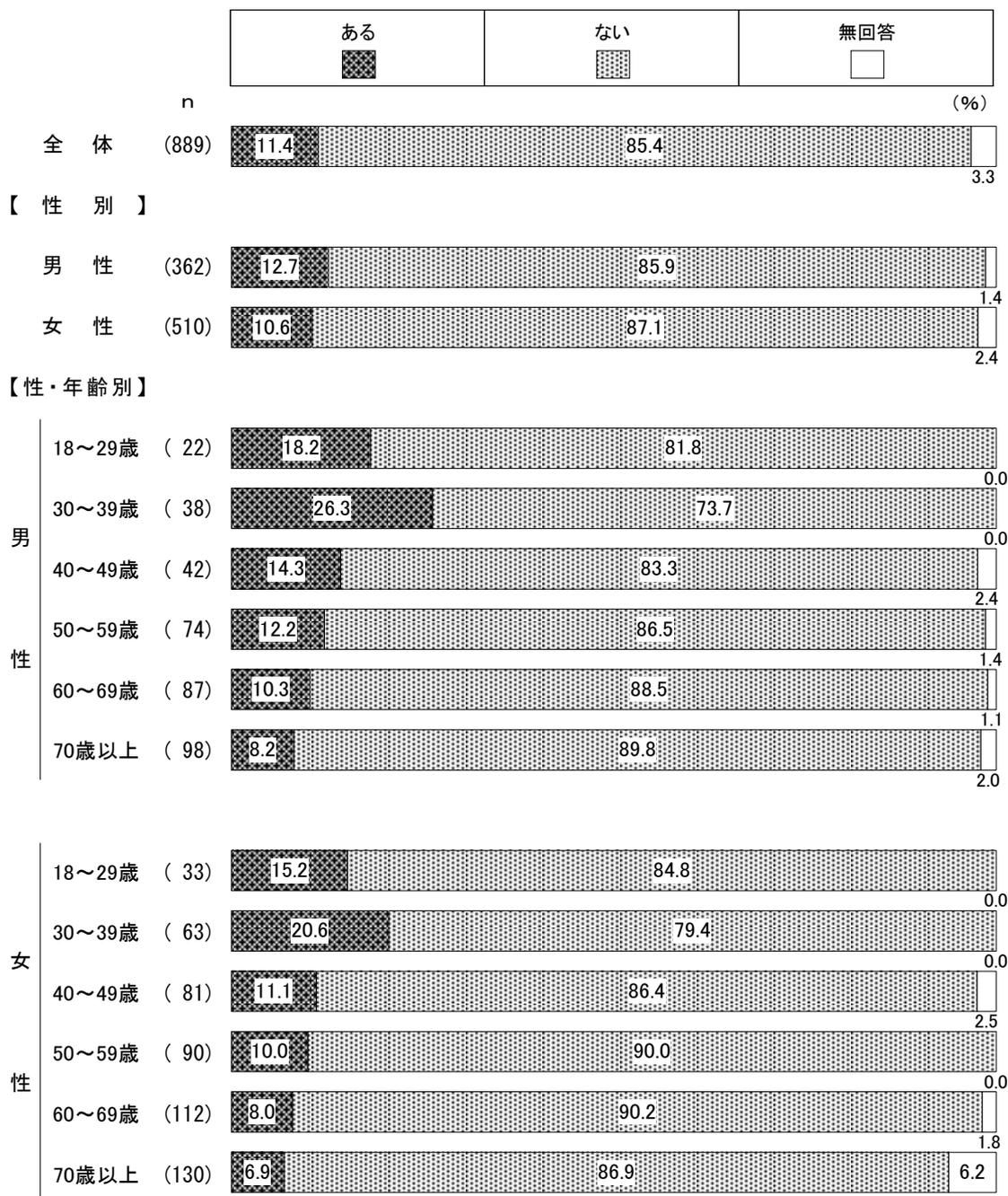


差別を受けたと感じた、差別しているのを見聞きしたことがあるか聞いたところ、「ある」(11.4%)が1割を超え、「ない」(85.4%)は8割半ばとなっている。(図10-1-1)

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年齢別にみると、「ある」は男性30～39歳（26.3%）で2割半ばと高くなっている。一方、「ない」は女性50～59歳（90.0%）、女性60～69歳（90.2%）、男性70歳以上（89.8%）で9割と高くなっている。（図10-1-2）

図10-1-2 差別を受けたと感じた・差別しているのを見聞きしたことがあるか（性・年齢別）



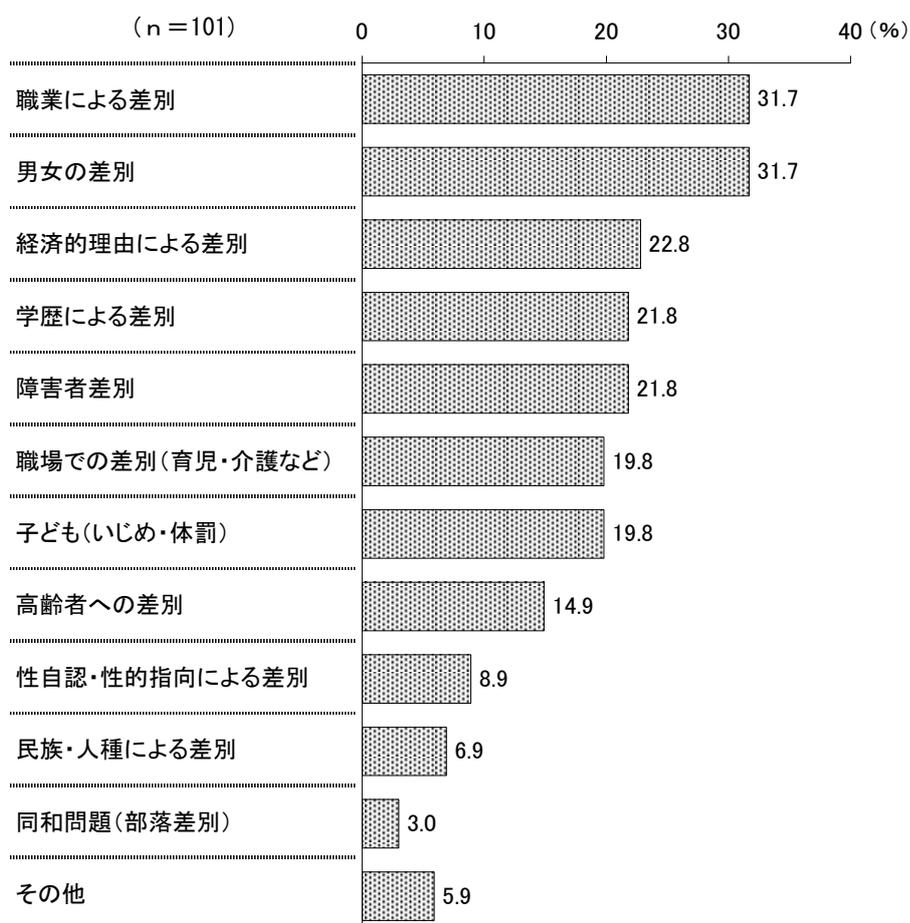
## (2) 差別の内容

◇「職業による差別」と「男女の差別」がともに3割を超える

(問31で、「ある」と答えた方に)

問31-1 それはどのような差別ですか。次の選択肢の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。

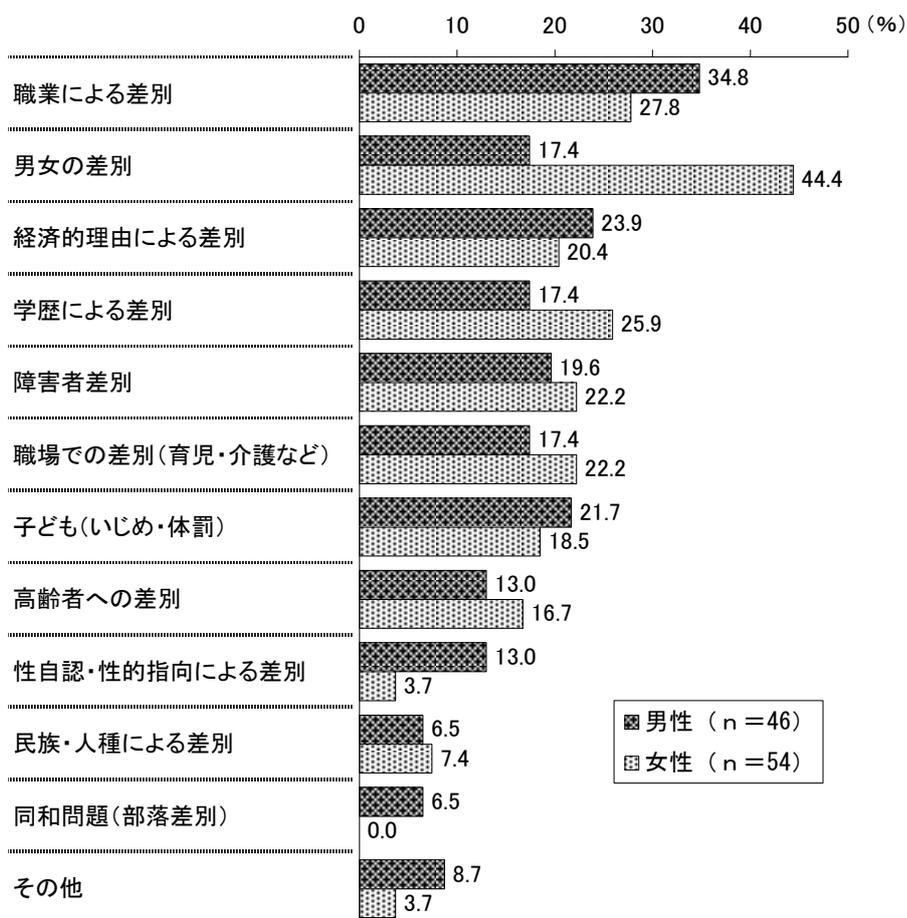
図10-2-1



差別を受けたと感じた、差別しているのを見聞きしたことが「ある」と答えた人(101人)に、その内容について聞いたところ、「職業による差別」と「男女の差別」(ともに31.7%)がともに3割を超えて高く、次いで「経済的理由による差別」(22.8%)、「学歴による差別」と「障害者差別」(ともに21.8%)などの順となっている。(図10-2-1)

性別にみると、「男女の差別」は女性（44.4%）が男性（17.4%）より27.0ポイント、「学歴による差別」は女性（25.9%）が男性（17.4%）より8.5ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「性自認・性的指向による差別」は男性（13.0%）が女性（3.7%）より9.3ポイント、「職業による差別」は男性（34.8%）が女性（27.8%）より7.0ポイント、それぞれ高くなっている。（図10-2-2）

図10-2-2 差別の内容（性別）



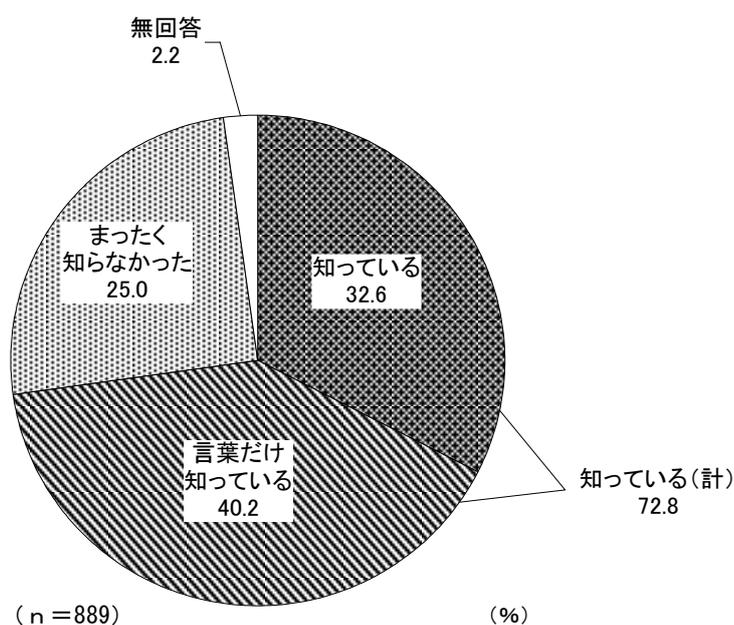
### (3) SDGs (持続可能な開発目標) について

◇『知っている(計)』が7割を超える

問32 持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) は、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「誰ひとり取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標 (※) です。あなたはこの取組をご存じですか。

※この目標の下に169のターゲット、232の指標が定められています。

図10-3-1

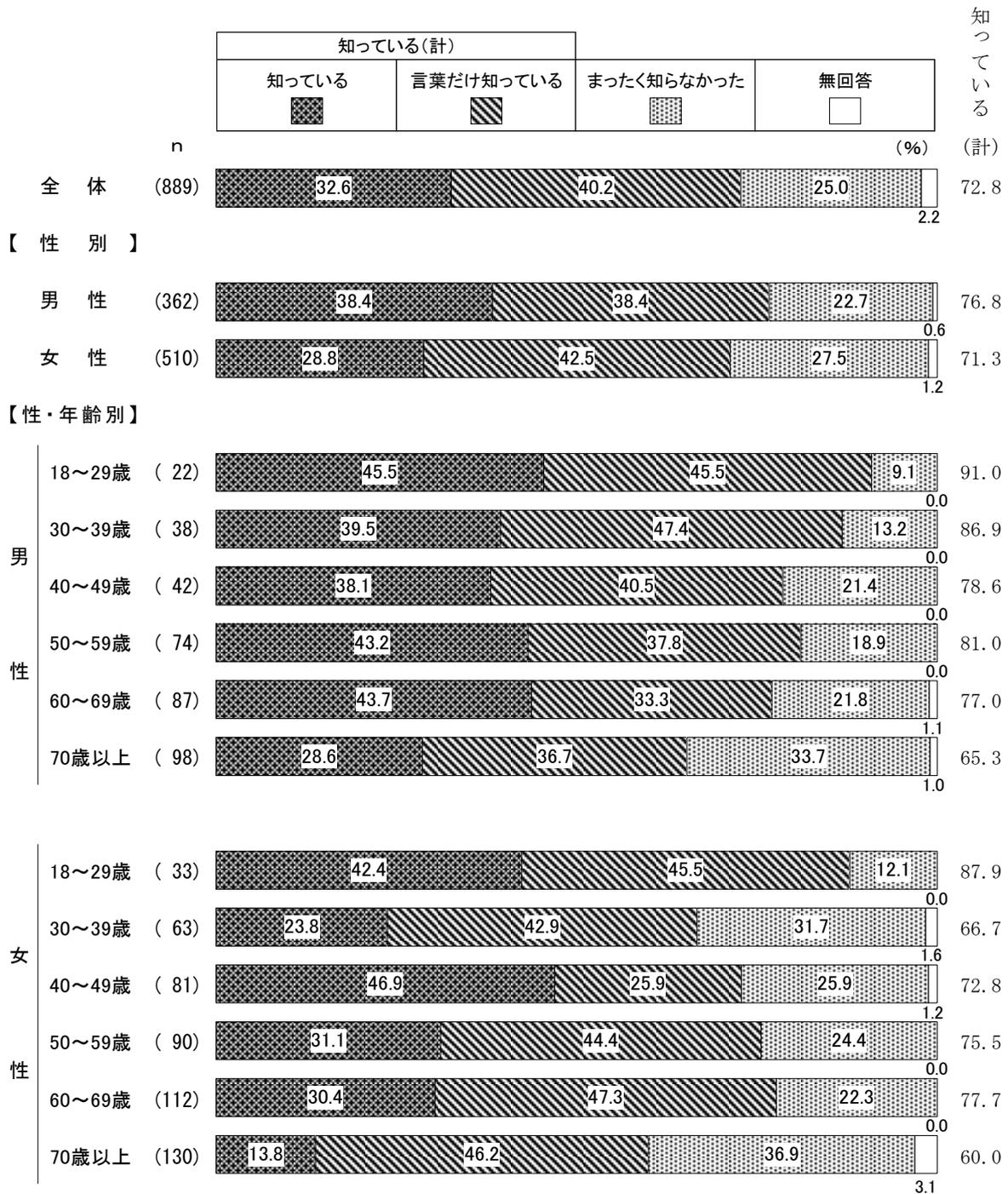


SDGs (持続可能な開発目標) について聞いたところ、「知っている」(32.6%)と「言葉だけ知っている」(40.2%)を合わせた『知っている(計)』(72.8%)が7割を超えて高くなっている。一方、「まったく知らなかった」(25.0%)は2割半ばとなっている。(図10-3-1)

性別にみると、『知っている（計）』は男性（76.8%）が女性（71.3%）より5.5ポイント高くなっている。

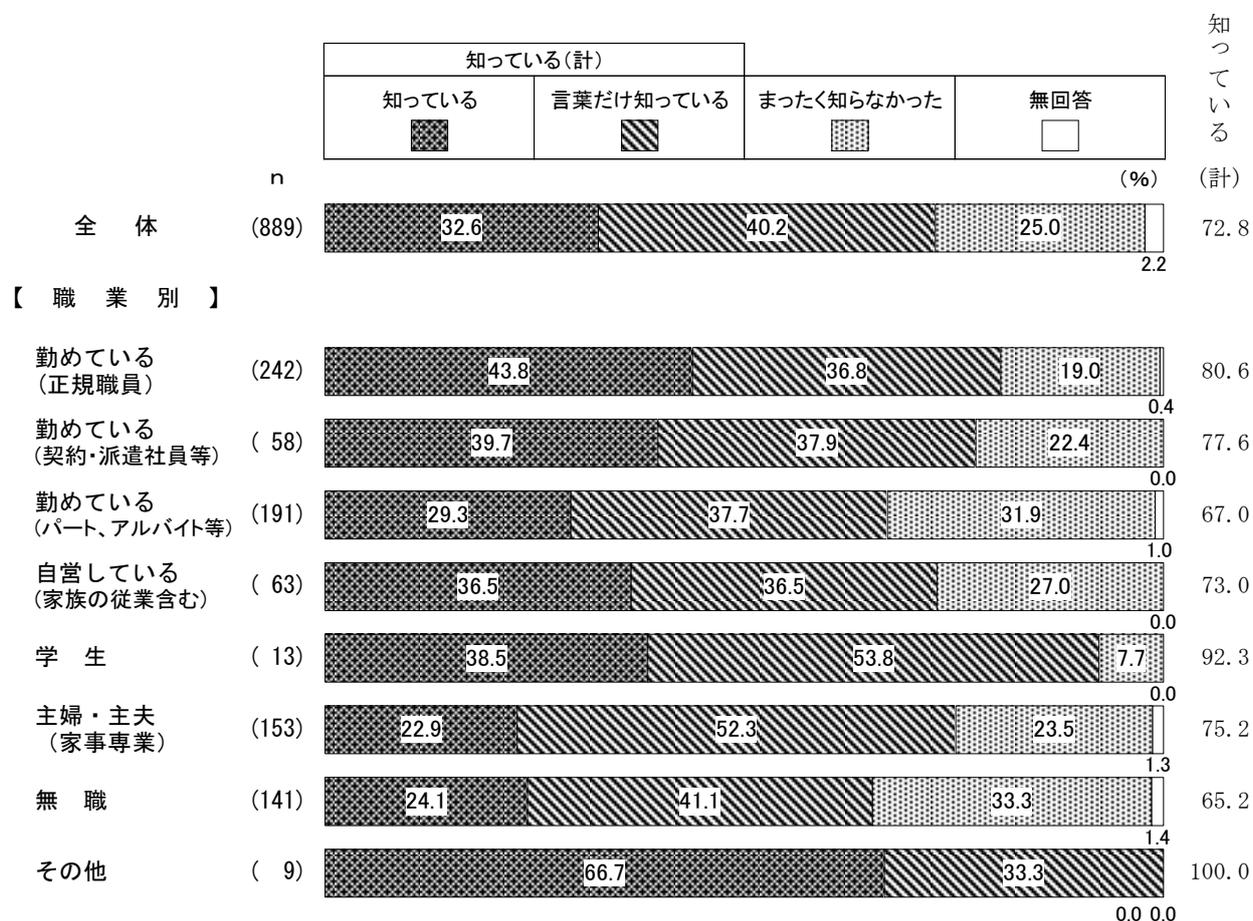
性・年齢別にみると、「知っている」は女性40～49歳（46.9%）で5割近くと高くなっている。『知っている（計）』は男性18～29歳（91.0%）で9割を超えて高くなっている。一方、「まったく知らなかった」は女性70歳以上（36.9%）で4割近くと高くなっている。（図10-3-2）

図10-3-2 SDGs（持続可能な開発目標）について（性・年齢別）



職業別にみると、『知っている（計）』は“勤めている（正規職員）”（80.6%）でほぼ8割と高くなっている。一方、「まったく知らなかった」は“無職”（33.3%）と“勤めている（パート、アルバイト等）”（31.9%）で3割を超えて高くなっている。（図10-3-3）

図10-3-3 SDGs（持続可能な開発目標）について（職業別）

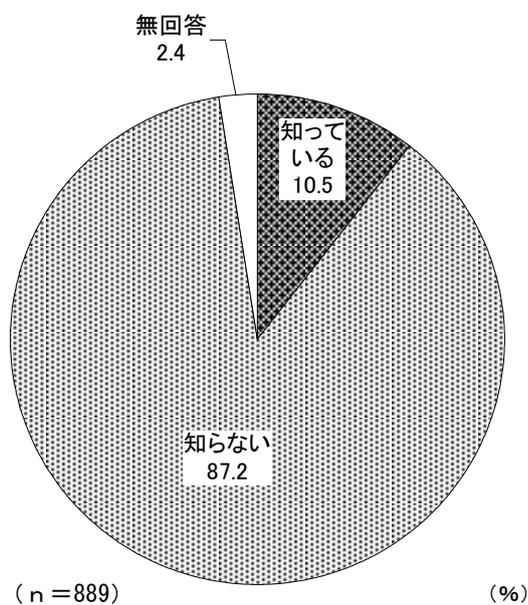


#### (4) 入間のパーパスについて

◇「知っている」がほぼ1割

問33 あなたは入間のパーパス“心豊かでいられる、「未来の原風景」を創造し传承する。”を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

図10-4-1

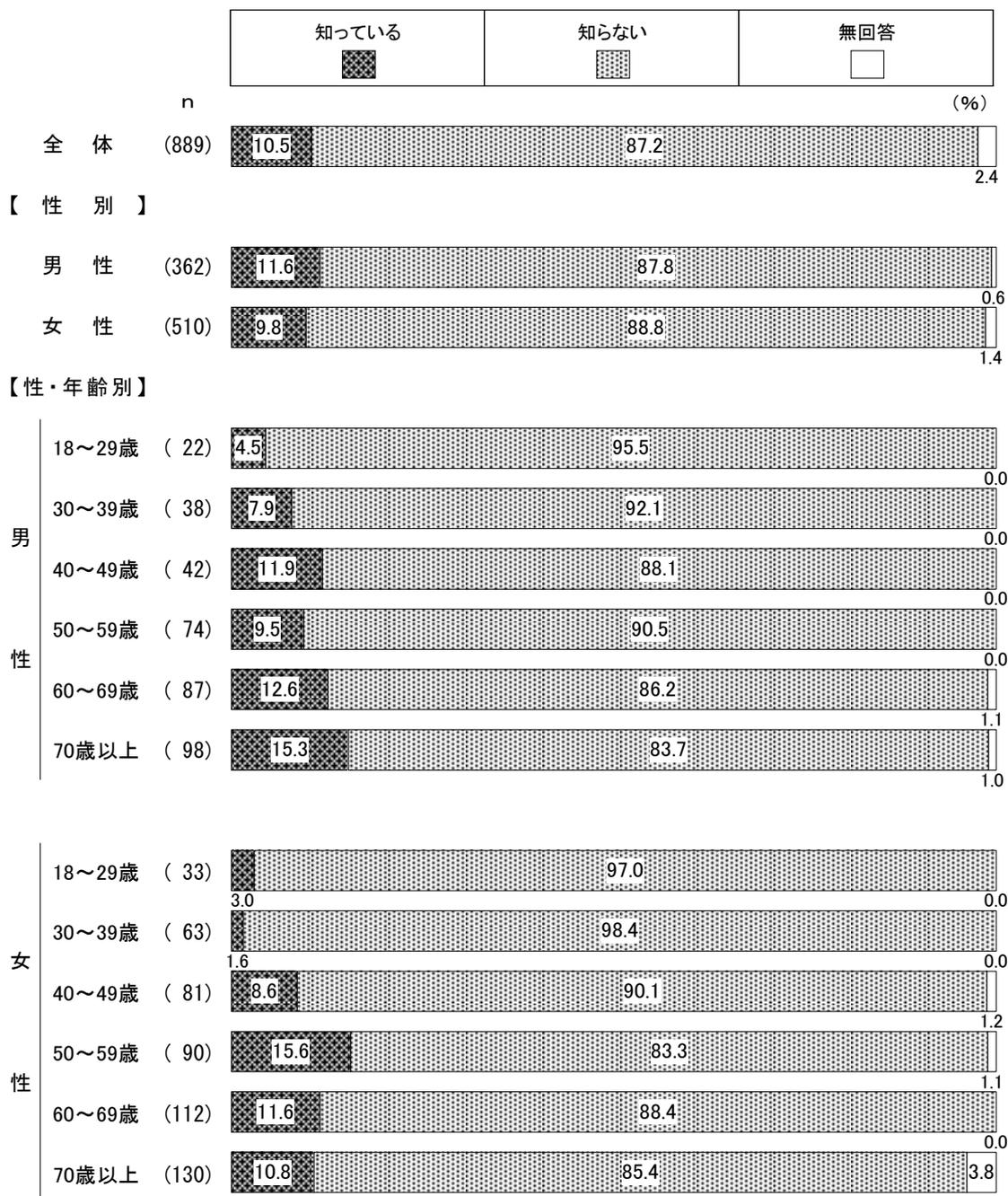


入間のパーパスについて聞いたところ、「知っている」(10.5%)がほぼ1割、「知らない」(87.2%)は9割近くとなっている。(図10-4-1)

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年齢別にみると、「知っている」は女性50～59歳（15.6%）と男性70歳以上（15.3%）で1割半ばとなっている。一方、「知らない」は女性18～29歳（97.0%）と女性30～39歳（98.4%）で10割近くと高くなっている。（図10-4-2）

図10-4-2 入間のパーパスについて（性・年齢別）



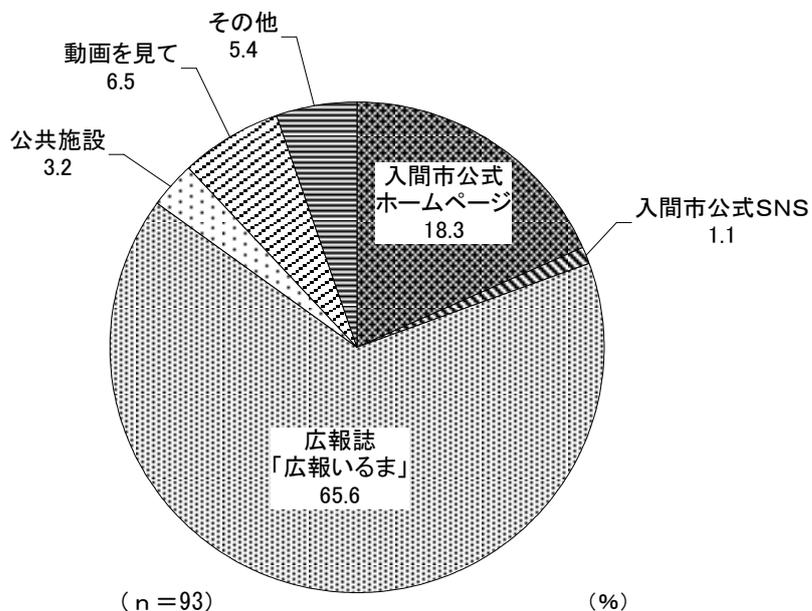
(5) 入間のパーパスを知ったきっかけ

◇「広報誌『広報いるま』」が6割半ば

(問33で、「知っている」と答えた方に)

問33-1 入間のパーパスをどこで知りましたか。次の中から1つ選んでください。

図10-5-1



入間のパーパスを「知っている」と答えた人(93人)に、知ったきっかけを聞いたところ、「広報誌『広報いるま』」(65.6%)が6割半ばで最も高く、次いで「入間市公式ホームページ」(18.3%)、「動画をみて」(6.5%)、「公共施設」(3.2%)などの順となっている。(図10-5-1)

## IV 調査票

## ～あなたの声をお聴かせください～

### －市民意識調査ご協力のお願い－

日ごろから市政推進のために格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

入間市では、市民の皆様と行政が一体となり、「みんなでつくる住みやすさが実感できるまち いるま」を実現するため、定期的に市民意識調査を実施して、市民の皆さんのご意見やご要望などをお伺いし、今後の市政に反映させる基礎資料として活用しています。

今回実施する第14回入間市市民意識調査では、市内にお住まいの18歳以上の方2,000人を無作為に抽出し、調査対象としています。

つきましては、9月24日(火)までにパソコンやスマートフォン等からインターネットでご回答いただくか、調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

なお、調査票に名前の記入欄はありません。調査結果はすべて数字だけで統計的に処理をし、他の目的には使用しませんので、ご回答いただきました皆様にご迷惑をおかけすることはございません。ありのままのご意見をお聴かせください。

インターネット・調査票それぞれの回答方法については、裏面をご確認ください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年9月

入間市長 杉島 理一郎

【問い合わせ先】 調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

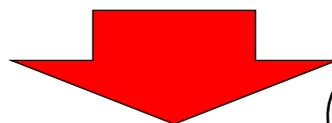
入間市企画部企画課政策・渉外担当

電話 04-2964-1111(代表)(内線3131・3132)

ファックス 04-2965-0232

Eメール ir113000@city.iruma.lg.jp

裏面の注意点を必ずご確認ください。  
ご回答ください。



ご協力よろしく  
お願いします。



## 【ご回答の際のご注意】

あて名のご本人がご回答ください。

インターネット・調査票それぞれの回答方法における注意点をよくお読みください。

### <インターネットで回答する場合>

- ① 以下に記載しておりますURLをブラウザのURL欄に直接入力するか、QRコードを読み込み、回答フォームへアクセスしてください。
- ② 最初に以下のIDを入力し、それぞれの設問にご回答ください。  
回答内容により設問の表示が自動的に切り替わりますので、お手数ですが設問順にお答えください。  
※IDは二重回答を防ぐために用いており、個人を特定するものではありません。
- ③ 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが具体的にその内容をご記入ください。

全て入力が完了したら・・・

『回答する』をクリックして回答完了となります。9月24日（火）までにご回答ください。

URL：<https://logoform.jp/form/7Bob/690898>



ID : ●●●●●●

インターネットで回答する場合、最初にこのIDを入力してください。

### <調査票で回答する場合>

- ① 回答は、あてはまる番号を選び、その番号を○で囲んでください。記入欄が設けられている場合は、記入欄にご回答ください。
- ② 「1つだけ」「2つまで」など回答の数が限られている質問では、あなたがもっともよくあてはまるとお考えになる回答を、指定の数以内で選んで、その番号に○をつけてください。  
記入欄が設けられている場合は、記入欄にご回答ください。
- ③ 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが（ ）内にできるだけ具体的にその内容をご記入ください。
- ④ 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や（ ）内のことわり書きをよくお読みください。

調査票の記入が済みましたら・・・

同封の返信用封筒に入れて9月24日（火）までにご返送ください

## 第14回 入間市市民意識調査 ～あなたの声をお聴かせください～

～はじめに、入間市のくらしやイメージ、地域活動などについておたずねします。～

### 【住みよさ】

問1 あなたは、今住んでいる入間市を住みよい所であると思いますか。それとも住みにくい所であると思いますか。次の中から1つ選んでください。

1 住みよい

2 どちらかといえば住みよい

3 どちらともいえない →問2へ

4 どちらかといえば住みにくい → 問1-2へ

5 住みにくい

▶(問1で、「1」「2」と答えた方に)

問1-1 住みよいと思われる理由を1つ選んでください。

1 住みなれているから

2 通勤・通学に便利だから

3 地域での人間関係がよいから

4 買い物など毎日の生活に便利だから

5 自然環境がよいから

6 居住環境がよいから

7 公共施設が充実しているから

8 娯楽・文化施設が充実しているから

9 その他 ( )

→ 問2へお進みください

(問1で、「4」「5」と答えた方に)

問1-2 住みにくいと思われる理由を1つ選んでください。

1 転入して間もないのでよくわからないから

2 通勤・通学に不便だから

3 地域での人間関係がよくないから

4 買い物など毎日の生活に不便だから

5 自然環境がよくないから

6 居住環境がよくないから

7 公共施設が充実していないから

8 娯楽・文化施設が充実していないから

9 その他 ( )

### 【愛着】

問2 あなたは、入間市に何か誇りや、愛着のようなものを感じますか。次の中から1つ選んでください。

1 非常に感じる

2 ある程度感じる

3 ふつう

4 あまり感じない

5 まったく感じない

【入間市の魅力】

問3 市では、「暮らしてみたいまち」「住み続けたいまち」を目指して、地域資源を活かしたシティセールスに取り組んでいます。あなたが入間市の環境や施設、行事等の中で入間らしい魅力や個性を感じるものは何ですか。次の1～38の項目の中から7つまで選んでください。

【自然環境】	20 文化創造アトリエ・アミーゴ
1 茶畑と狭山茶	21 旧石川組製糸西洋館
2 加治丘陵（桜山展望台・トラスト地唐沢流域樹林地含む）	22 旧黒須銀行
3 狭山丘陵（さいたま緑の森博物館含む）	【行事】
4 入間川・霞川・不老川（大森調節池含む）	23 入間万燈まつり
5 谷田（やた）の泉	24 八十八夜新茶まつり
6 牛沢カタクリ自生地	25 入間茶祭り
【生活環境】	26 生涯学習フェスティバル
7 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）	27 いるま太鼓セッション
8 ていーろーど・ていーワゴン	28 農業まつり・ふれあい朝市
9 西武池袋線・JR八高線沿線	29 おとうろうまつり
10 入間市駅周辺の商業地（アイボット、サイオス含む）	【その他】
11 大型商業施設（アウトレット、イオンなど）	30 わんぱく相撲
12 米軍ハウスのある街並み	31 入間市民大学
13 彩の森入間公園	32 防災訓練
14 中央公園	33 市民清掃デー
【施設】	34 姉妹都市・友好都市交流
15 健康福祉センター	35 入間市マスコットキャラクター「いるティー」
16 入間市博物館「アリット」	36 いるまの子どもへ贈る歌「どこから来たの？」
17 児童センター「アイクス」	37 パーパス（5シンボリックアクション）
18 青少年活動センター	38 その他（ ）
19 産業文化センター	

問3-1 問3の1～38の項目のうち、入間市の魅力を市内外に発信するために、市が優先してPRに取り組むべきものは何ですか。該当する番号を【記入欄】に3つ選んで記入してください。

【記入欄】

優先してPRに取り組むべきもの



--	--	--

【入間市のまちづくり】

問4 あなたは、将来の入間市はどのようなまちであってほしいと思いますか。あなたが希望するまちを次の項目の中から3つまで選んでください。

- 1 地域の活動やボランティア活動など、コミュニティ活動が盛んなまち
- 2 生涯にわたって学習活動やスポーツ活動が盛んなまち
- 3 子どもの教育環境が充実したまち
- 4 安心して子育てができるまち
- 5 高齢者や障害者が安心して生活できるまち
- 6 健康増進のための環境や医療体制が整ったまち
- 7 入間市駅前などの中心市街地ににぎわいのあるまち
- 8 区画整理により市街地が整備された利便性の高いまち
- 9 公園や緑地などの多い、うるおいのあるまち
- 10 鉄道やバスなどの公共交通網が整備された利便性の高いまち
- 11 自然環境の保全が進んだ緑豊かなまち
- 12 地域の特性を活かした農業の盛んなまち
- 13 商業・工業が盛んで活気のあるまち
- 14 観光客が多く訪れる、魅力あるまち
- 15 芸術や文化活動が盛んなまち
- 16 防災・防犯体制の充実した安全で安心して暮らせるまち
- 17 その他 ( )

問5 あなたが「住みやすい」と感じる点はどのような点ですか。以下の選択肢のうち、2つまで選んでください。

- 1 駅周辺に都市機能が集約されることで、にぎわいや魅力があること
- 2 多様な交通手段により、外出の際に不便がないこと
- 3 困りごとの相談や行政手続きができる等、地域に根ざした拠点があること
- 4 防災・減災対策がしっかりとっていて、安心して暮らせること
- 5 まとまった緑地などの自然が多く残っていること
- 6 自治会やサークル活動など地域のつながりが活発であること
- 7 様々な行政手続きが電子化され、市役所に行かなくても気軽に手続きが行えること

問6 あなたが感じる「住みやすさ」を実現していくために、市はどのように取り組んだらよいと思いますか。あなたが最も必要だと思う選択肢を1つ選んでください。

- 1 市民や市民団体等との協働により、必要な策を講じて取り組むこと
- 2 市内外の企業等による民間活力を活用し、必要な策を講じて取り組むこと
- 3 市が単独で必要な策を講じて取り組むこと

【定住】

問7 あなたは、これからもずっと入間市に住んでいたいと思いますか。それとも市外に移りたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1 これからも住み続けたい	3 できれば市外へ移りたい	5 わからない→問8へ
2 当分住んでいたい	4 市外へ移るつもり	

(問7で、「1」「2」と答えた方に)

問7-1 住み続けたいと思われる理由を2つまで選んでください。

1 住みなれているから
2 自分の家(土地)だから
3 家の広さなど居住環境がよいから
4 家賃や住宅の価格が安いから
5 通勤・通学に便利だから
6 仕事の関係で
7 買い物など毎日の生活に便利だから
8 地域での人間関係がよいから
9 自然・街並みが好きだから
10 娯楽・文化施設が充実しているから
11 子どもの教育・子育て環境が充実しているから
12 その他( )

(問7で、「3」「4」と答えた方に)

問7-2 市外へ移りたいと思われる理由を2つまで選んでください。

1 自分の家(土地)でないから
2 家が狭いなど居住環境がよいから
3 家賃や住宅の価格が高いから
4 通勤・通学に不便だから
5 仕事の関係で
6 買い物など毎日の生活に不便だから
7 地域での人間関係がよいから
8 自然・街並みがよいから
9 娯楽・文化施設が充実していないから
10 子どもの教育・子育て環境が充実していないから
11 その他( )

【地域活動】

問8 あなたは、近所との付き合いをふだんどのようにしていますか。次の中から1つ選んでください。

1 困った時などお互いに助け合っている
2 一緒に買い物に行ったり、訪問し合ったりしている
3 たまに立ち話をするくらいである
4 道で会えばあいさつする程度である
5 近所との付き合いはほとんどしていない
6 その他( )

問9 あなたの家庭(世帯)では、区・自治会に加入していますか。次の中から1つ選んでください。

1 加入している	-----▶ 問9-1へ
2 加入していない	→問9-4へ
3 加入していたが退会した	→問9-5へ
4 加入していないが、今後加入する予定	→問10へ
5 わからない	→問10へ

(問9で、「1」と答えた方に)

問9-1 区・自治会などの地域活動にどの程度参加をしていますか。次の中から1つ選んでください。

1 積極的に参加している

2 どちらかという、積極的に参加している

3 どちらともいえない →問10へ

4 どちらかという、消極的である

5 消極的である

→ 問9-3へ

→ (問9-1で、「1」「2」と答えた方に)

問9-2 参加する主な理由を1つ選んでください。

1 地域の課題が解決できて住みやすくなると思うから

2 地域の人とコミュニケーションが取れるから

3 地域で暮らす人としての責任だと思うから

4 地域の役に立てることが生きがいになるから

5 知り合いに誘われたから

6 その他 ( )

→ 問10へお進みください

(問9-1で、「4」「5」と答えた方に)

問9-3 地域活動の参加に対して消極的な理由を1つ選んでください。

1 忙しくて時間がないから

2 参加するきっかけがないから

3 どんな活動をしているのか情報がないから

4 参加するメリットがないから

5 地域の人とのつきあいがわずらわしいから

6 地域に関心がないから

7 その他 ( )

→ 問10へお進みください

(問9で、「2」と答えた方に)

問9-4 加入しない主な理由を1つ選んでください。

1 忙しくて時間がないから

2 加入方法が分からないから

3 加入するメリットがないから

4 地域の人とのつきあいがわずらわしいから

5 どんな活動をしているのか情報がないから

6 地域に関心がないから

7 勧誘されていないから

8 その他 ( )

→ 問10へお進みください

(問9で、「3」と答えた方に)

問9-5 退会された主な理由を1つ選んでください。

1 忙しくて参加できなくなったから

2 加入するメリットがないから

3 地域の人とのつきあいがわずらわしいから

4 活動や行事が大変だったから

5 活動や行事が楽しくないから

6 その他 ( )

～つぎに、生活環境についておたずねします。～

【生活環境の満足度】

問 10 あなたは、次のような生活環境項目について、どの程度満足していますか。また、市はどの施策に取り組むことが重要だと思いますか。あなたのお気持ちに最も近いものを1つずつ選んでください。  
(P.19に「市の取組内容や統計情報」をまとめていますので、ご参考ください。)

<項目>	<満足度>					<重要度>				
	とても満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	非常に不満	とても重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない
(1) 上水道による水の安定供給	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 公共下水道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 道路・道路網・橋の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 鉄道利用の便と路線網	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) バス利用の便と路線網	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 駐車場・自転車置き場	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 区画整理などによる市街地整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 信号機・ガードレールなどの交通安全施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9) 公園・緑地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 河川の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 地震や風水害などの防災対策や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) ごみ収集・処理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 騒音などの公害防止体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 防犯灯などの防犯施設や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 消防・救急施設や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 医療機関・医療体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 休日・夜間診療体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 健康診断・健康増進などの保健予防体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) 障害者(児)福祉のための施設や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20) 高齢者福祉のための施設や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 幼稚園の整備・充足	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 小・中学校の施設や教育内容	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 社会教育活動・文化サークル活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26) スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27) 博物館の施設やサービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28) 図書館の施設やサービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29) 地区センターの施設やサービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30) 文化施設や文化活動内容	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31) 自然環境保全の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32) 観光資源の活用と観光基盤の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

※項目は次ページに続きます。

<項目>	<満足度>					<重要度>				
	とても満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	非常に不満	とても重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない
(33) 文化財などの保護	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(34) 自治会等のコミュニティ活動への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35) 地域の連帯感	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(36) 市民との協働のまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37) 就労のための機関や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38) 若者や子育て世代のための定住支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39) 買い物・金融機関など日常生活の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(40) 外国人市民への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(41) 市役所の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(42) 市職員の対応	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 10-1 問 10 の(1)～(42)の項目のうち、あなたが市の施策として優先的に取り組むべきであると思うものを7つまで選んで、該当する番号を【記入欄】に記入してください。

優先的に取り組むべき施策項目 →

【記入欄】						

～つぎに、防災についておたずねします。～

【防災】

問 11 災害に備えて、準備や対策をとっていますか。(災害時の対応について、家族などで相談して決めていることや準備していることがありますか。)

1 ある	2 ない →問12へ
------	------------

→(問11で、「1」と答えた方に)

問 11-1 それは具体的にどのようなことですか。次の中からいくつでも選んでください。

1 家族の集合場所や連絡方法などを話し合っている	7 特に、火気器具周辺の整理整頓をしている
2 防災訓練などに参加するようにしている	8 隣近所の人と初期消火や避難について協力できる体制ができている
3 携帯用ラジオなど、情報収集の手段を用意している	9 住まいの耐震診断を行い、改修工事や補強を行った(行う予定)
4 水や食料(2～3日間程度)の備えをしている	10 消火器・救急セットなどの備えをしている
5 倒れやすい家具等の転倒防止やガラス等の飛散防止対策をしている	11 その他( )
6 食料品以外にも、非常時の持ち出し品の備えをしている	

～つぎに、ボランティア活動についておたずねします。～

【ボランティア活動】

問 12 今後、ボランティア活動に参加してみたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1 ぜひ参加したい	3 参加するつもりはない	→ 問 13 へ
2 機会があれば参加したい	4 わからない	

▶ (問 12 で、「1」「2」と答えた方に)

問 12-1 あなたは、どんなボランティア活動に参加したいですか。次の中からいくつでも選んでください。

1 コミュニティ活動推進	7 子育て支援	13 男女共同参画社会の促進
2 まちづくり	8 青少年の健全育成	14 情報化社会支援
3 交通安全	9 障害者の支援	(パソコン指導等)
4 防災・防犯活動	10 高齢者の支援	15 芸術・文化振興
5 環境・自然保護	11 保健・医療・福祉	16 スポーツ振興
6 国際交流・外国人支援	12 社会教育の推進	17 その他 ( )

～つぎに、情報化についておたずねします。～

【情報化】

問 13 あなたは、次にあげるメディアなどを利用していますか。それぞれの項目について1つずつ選んでください。

<項目>	<利用度>			
	よく利用している	たまに利用している	今は利用していないが 今後は利用したい	今も利用していないし 今後も利用しない
(1) 市公式ホームページ	1	2	3	4
(2) 入間市 LINE 公式アカウント	1	2	3	4
(3) 市公式 X (旧 Twitter)	1	2	3	4
(4) 広報いるま (紙媒体)	1	2	3	4
(5) 市公式 YouTube チャンネル	1	2	3	4
(6) 地域のラジオ、ケーブルテレビ (入間市関連の番組)	1	2	3	4
(7) マイナポータル	1	2	3	4
(8) コンビニ交付サービス	1	2	3	4

問 14 あなたは今年、入間市公式ホームページをご覧になったことがありますか。

1 ある →問14-1へ	2 ない →問15へ
--------------	------------

(問 14 で、「1」と答えた方に)

問 14-1 ホームページの満足度をうかがいます。それぞれの項目について1つずつ選んでください。

<項目>	<満足度>				
	とても満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	非常に不満
(1) 情報掲載の速さ	1	2	3	4	5
(2) 情報の探しやすい	1	2	3	4	5
(3) 掲載情報のわかりやすさ	1	2	3	4	5
(4) ページの見やすさ	1	2	3	4	5
(5) 必要な情報が得られましたか	1	2	3	4	5

問 15 市がインターネットで行うサービスのうち、どのようなものを利用していますか（利用したいと思いますか）。次の項目から5つまで選んでください。

- |                             |                       |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1 公共施設や図書館などの貸出予約           | 15 コンビニ交付サービス         |
| 2 証明書の申請等、各種手続き             | 16 イベント情報             |
| 3 市税や水道料金、施設使用料などの電子納付      | 17 サークル情報             |
| 4 選挙の投票速報・開票速報              | 18 高齢者支援情報            |
| 5 防災情報                      | 19 市政情報               |
| 6 災害時の安否確認などの伝言板            | 20 メール配信サービス          |
| 7 不審者情報・身近な犯罪情報             | 21 市公式 X (旧 Twitter)  |
| 8 防災行政用無線の放送内容              | 22 入間市 LINE 公式アカウント   |
| 9 交通情報                      | 23 市公式 You Tube チャンネル |
| 10 休日・夜間の当番医                | 24 その他 ( )            |
| 11 在宅健康相談・医療相談              | 25 特にない               |
| 12 在宅教育・育児相談                | 26 情報機器を持っているが利用しない   |
| 13 子育て情報                    | 27 情報機器を持っていないので利用しない |
| 14 ぴったりサービス (子育てワンストップサービス) |                       |

～つぎに、市政情報についておたずねします。～

問 16 あなたは、市政の動きや市の仕事・行事などについて、主に何から情報を得ていますか。次の中から1つ選んでください。

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1 市公式ホームページ         | 5 市役所や地区センターなど |
| 2 広報いるま (紙媒体)       | 6 友人や家族からの口コミ  |
| 3 市公式 X (旧 Twitter) | 7 その他 ( )      |
| 4 入間市 LINE 公式アカウント  |                |

【広報いるま】

問 17 あなたは「広報いるま」をどの程度読んでいますか。次の中から1つ選んでください。

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1 必ず毎号読んでいます | 3 あまり読まない  |
| 2 ときどき読んでいます | 4 まったく読まない |

(問 17 で、「1」「2」と答えた方に)

問 17-1 読んでいる理由を次の中から1つ選んでください。

- |                           |
|---------------------------|
| 1 市の重要な情報がわかりやすくまとまっているから |
| 2 イベントや行事の情報を知りたいから       |
| 3 地域のニュースや出来事に関心があるから     |
| 4 政策や計画についての最新情報を得たいから    |
| 5 家族や友人に役立つ情報が掲載されているから   |
| 6 その他 ( )                 |

(問 17 で、「3」「4」と答えた方に)

問 17-2 読んでいない理由を次の中から1つ選んでください。

- |                       |
|-----------------------|
| 1 忙しくて読む時間がないから       |
| 2 必要な情報は他の手段で得られるから   |
| 3 内容が自分にとってあまり興味がないから |
| 4 配布されていることを知らなかったから  |
| 5 デジタルメディアの方が便利だから    |
| 6 その他 ( )             |

【市議会だより】

問 18 あなたは、どのような媒体で市議会の情報を得ていますか。次の中から該当するものを全て選んでください。

1 市議会だより	4 エフエム茶笛
2 入間市議会ホームページ	5 特になし
3 入間ケーブルテレビ	

～つぎに、施設利用についておたずねします。～

【施設利用】

問 19 市内にはさまざまな公共施設がありますが、あなたは次の施設を利用していますか。また、利用していない場合、その理由は何ですか。それぞれの項目について1つずつ選んでください。

(ア) 利用の程度で「3. あまり利用していない」「4. まったく利用していない」と回答された方は、(イ) 利用していない理由をお答えください。

<項 目>	(ア) 利用の程度				(イ) 利用していない理由					
	よく利用している	たまに利用している	あまり利用していない	まったく利用していない	利用する必要がない	場所をしない	施設まで遠い	内容が充実していない	利用時間帯が合わない	その他
(1)図書館(分館含む)	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(2)産業文化センター	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(3)児童センター「アイクス」	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(4)博物館「アリット」	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(5)地区センター、公民館	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(6)老人福祉センターやまゆり荘	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(7)市民体育館・地区体育館	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(8)武道館	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(9)屋外スポーツ施設 (野球場・テニスコート・プール他)	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(10)健康福祉センター	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(11)農村環境改善センター	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(12)総合クリーンセンター・リサイクルプラザ	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(13)学校開放(体育館・グラウンド)	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(14)桜山展望台・唐沢樹林地(加治丘陵)	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(15)さいたま緑の森博物館(狭山丘陵)	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(16)文化創造アトリエ・アミーゴ	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(17)彩の森入間公園	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(18)中央公園	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(19)青少年活動センター	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(20)市民活動センター(イミン内)	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(21)男女共同参画推進センター(イミン内)	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6

～つぎに、健康・スポーツ、芸術文化活動についておたずねします。～

【健康・スポーツ】

問 20 あなたは、この1年間にスポーツをどの程度行いましたか。次の中から1つ選んでください。

※「スポーツ」とは、日常的な身体活動（徒歩や自転車による通勤や買い物など）から健康維持のための軽い運動（ウォーキングやラジオ体操など）、競技スポーツ、レクリエーション、さらにeスポーツまでを含めた様々な身体活動としています。

1 週に5日以上	5 月に1～3日	8 していない →問20-4へ
2 週に3日以上	6 3か月に1～2日	9 わからない →問21へ
3 週に2日以上	7 年に1～3日	
4 週に1日以上		
▶問 20-1、2、3へ	▶問 20-1、2、3、4へ	

(問 20 で、「1」～「7」と答えた方に)

問 20-1 それはどんなスポーツですか。次の中から該当するものを全て選んでください。

1 日常的な身体活動（徒歩や自転車による通勤や買い物など）
2 ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなど）
3 体操（日常のストレッチ・ラジオ体操・美容体操など）
4 その他（例：サッカー・野球・ダンス・スケートボード・eスポーツなど）
（具体的な種目： )

(問 20 で、「1」～「7」と答えた方に)

問 20-2 どんな場所でスポーツを行いましたか。次の中から該当するものを全て選んでください。

1 自宅または自宅周辺	7 地区センター（公民館）
2 公共スポーツ施設	8 健康福祉センター
3 学校体育施設	9 その他の公共施設
4 民間商業スポーツ施設	10 道路
（フィットネスクラブ、スキー場、ゴルフ場など）	11 山岳・海・川などの自然環境
5 職場	12 その他（ )
6 公園	

(問 20 で、「1」～「7」と答えた方に)

問 20-3 スポーツを行った目的は何ですか。主なものを2つまで選んでください。

1 健康のため	5 精神の修養や訓練のため	8 美容のため
2 体力（筋力）増進・維持のため	6 自己の記録や能力を	9 肥満解消、ダイエットのため
3 楽しみ・気晴らしとして	向上させるため	10 その他（ )
4 運動不足を感じるから	7 家族・友人・仲間との交流として	

(問 20 で、「5」～「8」と答えた方に)

問 20-4 スポーツを行わなかった（少なかった）理由は何ですか。主なものを2つまで選んでください。

1 仕事が忙しいから	7 指導者がいないから
2 家事や育児が忙しいから	8 お金に余裕がないから
3 健康上の理由から	9 スポーツが苦手だから
4 年をとったから	10 スポーツ以上に大切なことがあるから
5 場所や施設がないから	11 その他（ )
6 仲間がいないから	12 特に理由はない

【芸術文化活動】

問 21 あなたは、この1年間に、芸術文化を鑑賞したことがありますか。該当するものを全て選んでください。

1 音楽	9 工芸（陶芸・染色など）
2 演劇（現代劇・ミュージカルなど）	10 文芸（詩・俳句・短歌・文学など）
3 バレエ・モダンダンス	11 生活文化（華道・茶道・書道など）
4 日本舞踊	12 写真
5 伝統芸能（歌舞伎・能・狂言・文楽など）	13 映画・ビデオ
6 民俗芸能（神楽・人形芝居・地域の祭りなど）	14 その他（ )
7 邦楽（民謡・箏・三味線・尺八など）	15 特にない
8 美術（絵画・彫刻など）	

問 22 入間市の芸術文化の振興のために、市はどのようなことをすればよいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

1 入間市の文化の内外への情報発信	5 市民の芸術文化活動の支援
2 文化資産の保存・継承	6 文化施設の整備
3 芸術文化の交流を進めるためのネットワークづくり	7 芸術文化イベントの開催
4 新たな芸術文化の創造への支援	8 その他（ )
	9 特に必要ない

～つぎに、市で行っている行政改革の取組についておたずねします。～

【行政改革】

問 23 行政改革を進めるにあたって、市が重点的に取り組むべきと思うものは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

1 情報通信技術（ICT）を活用したサービス提供の充実（利用者に合わせた情報提供、電子申請、コンビニ交付など）
2 公共施設の見直し（施設の統廃合、複合化、多機能化の推進など）
3 民間活力の導入の強化（窓口業務の民間委託、公共施設運営の民営化＜指定管理者制度やPFI（※）の活用＞など）
4 市民参加と協働のまちづくりの推進
5 事務を効率化・合理化する
6 事務事業の見直し（事務事業の選択と重点化、事業の評価と改善、効果のうすれた事業の廃止・縮小など）
7 新たな財源の確保（ふるさと納税や有料広告の充実、優良企業の誘致・定着、その他財源の開発など）
8 組織機構の簡素化・効率化と職員数の適正管理
9 職員の意識改革や人材育成の推進
10 その他（ )
11 わからない

※PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法

問 24 行政サービスの利用者負担について、あなたの意見に最も近いものを1つ選んでください。

1 市民の負担を増やさないように、ある程度行政サービスを制限すべきである
2 行政サービスを充実させるためには、サービスを受ける市民の負担がある程度増えるのも仕方がない
3 その他（ )
4 わからない

問 25 公共的なサービスを、市と市民と民間事業者が役割分担して提供することで、サービスをよくしながら経費の節約などを進める取組について、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

- 1 十分に役割分担が進んでいる。成果を挙げていると思う
- 2 ある程度役割分担が進んでいる。ある程度成果を挙げていると思う
- 3 役割分担が進んでいるとは思わない。成果が上がっていないと思う
- 4 このような取組を知らなかった
- 5 その他 ( )

問 26 目的を達成した事業や効果が低くなった事業はどんどん廃止・見直しなどをして、市民ニーズに合わせて効率よく質の高いサービスを提供していくという取組について、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

- 1 廃止・見直し・再構築が十分行われている。良いサービスが提供されていると思う
- 2 廃止・見直し・再構築がある程度行われている。良いサービスが提供されつつあると思う
- 3 廃止・見直し・再構築が不十分である。良いサービスが提供されていないと思う
- 4 このような取組を知らなかった
- 5 その他 ( )

問 27 有料広告やふるさと納税といった新しい収入の確保、施設・サービスの利用料の見直しなどにより歳入を増やし、事務事業の実施体制や手順の見直し、コスト削減、統廃合などにより歳出を減らす市の取組について、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

- |                             |                       |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1 取組が十分に行われている。努力が認められる     | 3 取組が不十分である。もっと努力すべきだ |
| 2 取組がある程度行われている。一定の努力が認められる | 4 このような取組を知らなかった      |
|                             | 5 その他 ( )             |

問 28 市役所の組織は、時代や市民ニーズの変化に対応するため、定期的に部署の配置や担当人数を変えています。最近では、平成29年度に組織を大きく見直しましたが、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

- 1 とても分かりやすい組織になっている。十分に見直しがなされていると思う
- 2 ある程度分かりやすい組織になっている。もう少し見直しがあるとより良いと思う
- 3 分かりやすい組織になっていない。もっと見直しをしてほしいと思う
- 4 このような取組を知らなかった
- 5 その他 ( )

#### 【公共施設マネジメント】

問 29 公共施設マネジメントの取り組みにより、施設で提供するサービスや施設機能の見直しが進むことについてあなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 1 自分が求めているサービスが提供されるようになり便利になる       | 5 市民ニーズとずれがあり、見直しの効果が期待できない               |
| 2 地域の課題に対応したサービスが提供されるようになり課題解決につながる | 6 サービスや機能の見直しに市民意見が反映されておらず、利便性の向上が期待できない |
| 3 活動に見合った機能が整備されて使いやすくなる             | 7 その他 ( )                                 |
| 4 今まで提供されたサービスがなくなり、不便になる            |   |

問 30 公共施設マネジメントの取組により、施設の統廃合や複合化が進むことについて、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- |   |
|---|
| 1 統廃合することにより、施設のサービス内容が充実する                         |
| 2 統廃合することにより、施設環境が整備される                             |
| 3 複合化することにより、ワンストップサービスが整備され、便利になる                  |
| 4 統廃合や複合化により、地域の拠点施設ができ、地域の活性化につながる                 |
| 5 統廃合することにより、施設が遠くなる                                |
| 6 統廃合することにより、1つの施設が受け持つ範囲が広がり、地域のまとまりが薄れる           |
| 7 複合化することにより、1つの施設に利用者が多く集まるようになり、駐車場などが混雑して使いにくくなる |
| 8 その他 ( )   |

～つぎに、人権や持続可能な開発目標などについておたずねします。～

【人権問題】

問 31 人権に関して、あなた自身が過去 5 年間に差別を受けたと感じたことがありますか。また差別をしているのを見聞きしたことがありますか。

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1 ある →問31-1へ | 2 ない →問32へ |
|--------------|------------|

(問 31 で、「1」と答えた方に)

問 31-1 それはどのような差別ですか。次の選択肢の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。

- |                    |               |                  |
|--------------------|---------------|------------------|
| 1 学歴による差別          | 5 男女の差別       | 9 子ども (いじめ・体罰)   |
| 2 職業による差別          | 6 経済的理由による差別  | 10 高齢者への差別       |
| 3 職場での差別 (育児・介護など) | 7 民族・人種による差別  | 11 性自認・性的指向による差別 |
| 4 障害者差別            | 8 同和問題 (部落差別) | 12 その他 ( )       |

【SDGs】

問 32 持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) は、2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「誰ひとり取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030 年を年限とする 17 の国際目標 (※) です。あなたはこの取組をご存じですか。

※この目標の下に 169 のターゲット、232 の指標が定められています。

- |         |             |              |
|---------|-------------|--------------|
| 1 知っている | 2 言葉だけ知っている | 3 まったく知らなかった |
|---------|-------------|--------------|

【パーパス】

問 33 あなたは入間のパーパス“心豊かでいられる、「未来の原風景」を創造し伝承する。”を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

- |         |                |
|---------|----------------|
| 1 知っている | 2 知らない →問 34 へ |
|---------|----------------|

→(問 33 で、「1」と答えた方に)

問 33-1 入間のパーパスをどこで知りましたか。次の中から1つ選んでください。

- |               |              |           |
|---------------|--------------|-----------|
| 1 入間市公式ホームページ | 3 広報誌「広報いるま」 | 5 動画を見て   |
| 2 入間市公式 SNS   | 4 公共施設       | 6 その他 ( ) |

～最後に、あなたご自身のことがらについておたずねします。～  
統計的にのみ用いますので、ご迷惑をおかけするようなことはございません。

問 34 あなたの性別についておたずねします。

1 男性	2 女性	3 その他 ( )
------	------	-----------

問 35 あなたの年齢についておたずねします。

1 18～29歳	3 40～49歳	5 60～69歳
2 30～39歳	4 50～59歳	6 70歳以上

問 36 あなたのご家族の構成はどうなっていますか。

※選択肢「3」と「4」、両方に当てはまる場合には「4」にのみ○をつけてください。

1 単身	3 二世帯世帯(親と子(18歳以上))	5 三世帯世帯(親と子と孫)
2 夫婦だけ	4 二世帯世帯(親と子(18歳未満))	6 兄弟だけ
		7 その他 ( )

問 37 あなたは、入間市に何年ぐらい住んでいますか。

1 生まれてからずっと →問38へ	4 5年以上～10年未満
2 20年以上	5 1年以上～5年未満
3 10年以上～20年未満	6 1年未満

▶(問 37 で、「2」～「6」と答えた方に)

問 37-1 あなたは、入間市に住む前はどこに住んでいましたか。

1 所沢市・飯能市・狭山市・日高市	4 東京都下の市町村
2 その他の埼玉県内の市町村	5 その他 ( )
3 東京都23区内	

問 38 あなたは、現在仕事をお持ちですか。

1 勤めている(正規職員)	6 主婦・主夫(家事専業)
2 勤めている(契約・派遣社員等)	7 無職
3 勤めている(パート、アルバイト等)	8 その他 ( )
4 自営している(家族の従業含む)	
5 学生	→ 問39へ

▶(問 38 で、「1」～「5」と答えた方に)

問 38-1 職場や通学地はどこでしょうか。

1 自宅と同じ	5 東京都23区内
2 入間市内	6 東京都下の市町村
3 所沢市・飯能市・狭山市・日高市	7 その他 ( )
4 その他の埼玉県内の市町村	

問 39 現在のお住まいは、次のうちどれにあてはまりますか。

1 持ち家（一戸建て）	5 公営・UR（旧公団）・公社の賃貸住宅
2 持ち家（中高層集合住宅）	6 社宅・寮・官舎
3 民間の借家（一戸建て）	7 間借り・同居
4 民間の借家（アパート・マンション）	

問 40 あなたは、どの地区に住んでいますか。

1 豊岡地区	3 金子地区	5 藤沢地区
2 東金子地区	4 宮寺・二本木地区	6 西武地区

【自由意見】

市政についてお気づきの点がありましたら、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。


～お忙しいところ、調査にご協力いただきましてありがとうございます。～

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、  
9月24日（火）まで にご返送ください。

●市の取組内容や統計情報（問10の補足資料）

1	上水道による水の安定供給	普及率：99.99%
2	公共下水道の整備	普及率：88.61%
3	道路・道路網・橋の整備	都市計画道路や幹線道路の整備に取り組むとともに、計画に基づき、道路及び橋りょうの維持管理に取り組んでいます。
4	鉄道利用の便と路線網	市内駅数5駅：西武池袋線入間市駅・武蔵藤沢駅・仏子駅・元加治駅、JR八高線金子駅
5	バス利用の便と路線網	西武バス・ていーろーど・ていーワゴンによる路線網があり、交通空白地域カバー率は89.1%です。
6	駐車場・自転車置き場	市営駐輪場整備数：入間市駅3か所、武蔵藤沢駅2か所、仏子駅3か所、元加治駅2か所、金子駅3か所
7	区画整理などによる市街地整備	入間市駅北口及び扇台土地区画整理事業による市街地整備を進めています。
8	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通事故防止のため、道路反射鏡・道路照明灯・道路標示などを計画的に整備しています。
9	公園・緑地の整備	市内公園数：249か所（総面積692,515.46㎡）
10	河川の整備	現在、不老川緊急治水工事を実施中です。
11	地震や風水害などの防災対策や体制	地域防災計画を策定し、毎年防災訓練を実施しています。また、入間市防災ハンドブックの配布、避難所の開設・混雑情報配信サービスの導入を行っています。
12	ごみ収集・処理	ごみの収集回数：可燃ごみ週3回、資源ごみ週2回、不燃ごみ週1回
13	騒音などの公害防止体制	公害全般においては各種啓発活動等を行い防止に努めています。
14	防犯灯などの防犯施設や体制	自治会を通じ防犯灯の整備・維持管理、防犯活動及び犯罪被害者に対して継続して支援を取り組んでいます。
15	消防・救急施設や体制	埼玉西部消防組合と消防団の連携により、消防体制の充実に取り組んでいます。
16	医療機関・医療体制	市内病院・クリニック数：60施設
17	休日・夜間診療体制	休日当番病院、入間市夜間診療所、狭山市急患センターとの連携等、医療体制を整えています。
18	健康診断・健康増進などの保健予防体制	集団検診・人間ドック・市民健康診断などを実施しています。
19	障害者（児）福祉のための施設や体制	障害のある方が安心して生活し、社会の一員として生き生きと暮らせるよう自立支援や相談支援を行っています。
20	高齢者福祉のための施設や体制	生活支援や介護予防、介護サービスの充実を図ることなどにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるまちを目指しています。
21	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親家庭の親子が安心して子育て・子育てができるよう、経済的支援や学習支援、自立支援等を行っています。
22	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	公立・民間保育所（園）数：26施設、公立・民間学童保育室数：28施設、子育て支援センター：9施設
23	幼稚園の整備・充足	市内私立幼稚園数：9園
24	小・中学校の施設や教育内容	公立小学校：16校、公立中学校：11校。茶摘み体験や盆点前を学ぶなど、入間市ならではの学習活動や授業を行っています。
25	社会教育活動・文化サークル活動	様々な活動を通じ、地域活動の気運を高め、住民同士の連携・協働を促進します。
26	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	様々な大会、小中学生の初心者を対象とした教室を開催する等、スポーツに親しむきっかけづくりを進めています。
27	博物館の施設やサービス	市民の学習活動の支援するための資料収集や提供を行っています。また、常設展示である「入間の歴史」をリニューアルしました。
28	図書館の施設やサービス	本館：1館、分館：3館。各施設の蔵書だけでなく、パソコンやスマートフォン、タブレットなどで利用できる電子図書館の充実も図っています。
29	地区センターの施設やサービス	令和5年度より地域住民の利便性向上や福祉の発展を目的に、「支所機能」「公民館機能」「自治振興支援機能」「防災拠点機能」「福祉総合相談窓口機能」「地域包括支援センター」の6つの機能を備えた複合施設として再編しました。
30	文化施設や文化活動内容	文化創造アトリエAMIGOや産業文化センターでのイベントや催し物を通じ、文化活動の支援・振興に取り組んでいます。
31	自然環境保全の推進	加治丘陵や茶畑といった魅力的な自然環境の保全、活用を進めています。
32	観光資源の活用と観光基盤の整備	茶畑の景観を活用した茶畑テラス「茶の輪」を整備するなど、新しい観光スポットを作り、地域経済の活性化に取り組んでいます。
33	文化財などの保護	旧石川組製糸西洋館や旧黒須銀行などの文化財の保存・活用に取り組んでいます。
34	自治会等のコミュニティ活動への支援	自治会数：118区・自治会。自治会優待カードの発行による加入促進を行っています。
35	地域の連帯感	自治会における自主防災会設置率100%、令和6年度市民清掃デー参加世帯数27,730世帯
36	市民との協働のまちづくり	地域の課題に対して、市民や団体が協働して取り組んでいます。
37	就労のための機関や体制	就職支援セミナーの実施や市役所内にふるさとハローワークを設置しています。
38	若者や子育て世代のための定住支援	飯能信用金庫と協定を結び、市民向けに住宅ローン金利を優遇する商品の取り扱いをしてもらう等、定住支援に取り組んでいます。
39	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	大型店舗立地数：31か所、市内金融機関数：17か所
40	外国人市民への支援	外国人市民向けの情報新聞「IRUMA COM+COM」を4言語で毎月発行しています。
41	市役所の利用のしやすさ	マイナンバーカードを使ったコンビニ交付サービスで各種証明書を取得可能にするなど、来なくても済む市役所を目指しています。
42	市職員の対応	親切・丁寧な対応を心掛けるよう接遇研修を実施しています。

令和6年度

第14回 入間市市民意識調査 報告書

令和7（2025）年1月

発行：入間市企画部企画課政策・渉外担当

埼玉県入間市豊岡一丁目16番1号

〒358-8511 電話：04-2964-1111（代表）

編集：株式会社 エスピー研